

まちづくりアンケート調査結果の概要

平成18年11月

土 浦 市

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
3 回収状況.....	1
4 留意点.....	1
調査結果の総括	3
1 土浦市の住み心地.....	3
2 定住意向.....	3
3 土浦市への愛着心.....	3
4 施策の満足度・重要度（市民）.....	4
（１）分野・施策ごとの満足度・重要度.....	4
（２）施策分野ごとの満足度・重要度.....	8
5 土浦らしさ.....	16
6 将来イメージ.....	17
7 土浦市にほしいもの.....	18
8 少子化対策.....	19
9 地域活動への参加.....	20

調査の概要

1 調査の目的

本アンケートは、第7次土浦市総合計画の策定に当たり、市民の意向を把握し、その結果を総合計画に反映させることを目的として実施したものです。

2 調査の方法

調査の区分	対象者	調査方法
市民	20歳以上の市民 5,500人を住民基本台帳から無作為抽出。	配布：郵送 回収：郵送
中学生	市内全中学2年生。	配布・回収とも学校を通じて実施。
大学生	つくば国際短期大学及びつくば国際大学の学生。	学校を通じて配布し、回収は返送用封筒により郵送。
市職員	土浦市役所職員。	全職員に配布、回収は各部で取りまとめ。
インターネット	土浦市ホームページに掲載。	

3 回収状況

調査の区分	配布数	実配布数	有効回収数	有効回収率	所在不明・白票等
市民	5,500	5,451	2,126	39.0%	49
中学生	1,254	1,217	1,179	96.9%	37
大学生	1,470	1,466	490	33.4%	4
市職員	1,146	1,138	986	86.6%	8
インターネット			12		2

インターネットによる回答結果については、「調査報告書」に掲載しています。

4 留意点

1) 集計について

比率は、全て百分率(%)で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。従って、比率の合計が100.0%に満たない、あるいは超える場合があります。

また、設問の終わりに(複数回答)とあるものは、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよいことから、合計の比率が100.0%にならない場合があります。

2) 用語の取り扱いについて

図表及び文章中で、選択肢を一部省略して用いています。

3) アンケート調査の信頼性

市民アンケートは、20歳以上の市民の中から無作為で5,500人を抽出して実施しました。

このため、調査結果には統計上の誤差（標本誤差）が生じることがあります。そこで、次式により信頼度を95%とした場合の標本誤差を計算して、20歳以上の全市民の回答を推測します。

なお、標本誤差はサンプル数（n）および有効回収率（P）によって異なってきます。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \cdot \frac{P(100 - P)}{n}}$$

N = 母集団の総数
n = 基数（サンプル数）
P = 有効回収率

下表のように、市民アンケートでは、母集団（4月1日住基、20歳以上）を115,727人として有効回収数（サンプル数 = 2,126票）から標本誤差を計算すると、±2.1%以内（最大で±2.1%）になります。

なお、一般的には、標本誤差が5%以内であればよいとされております。

アンケートの標本誤差

サンプル数	市民アンケート (抽出調査)
回答比率	2,126
10%または90%	±1.3
20%または80%	±1.7
30%または70%	±1.9
40%または60%	±2.1
50%	±2.1

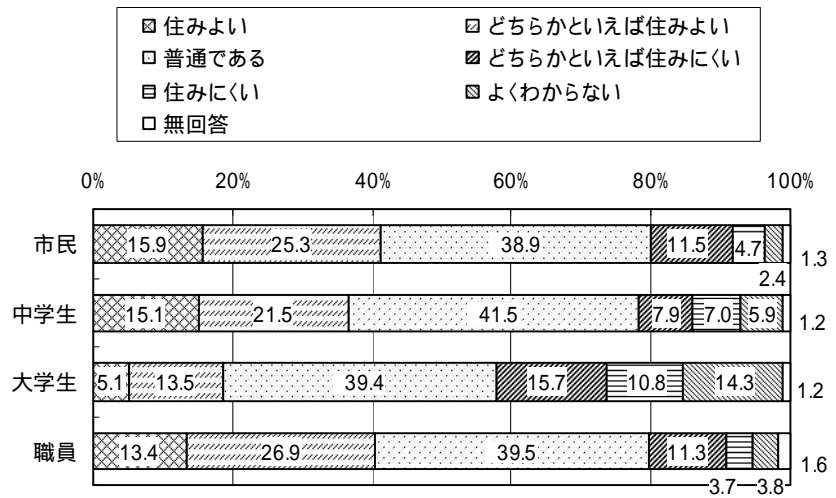
<表の見方>

標本誤差の計算結果が上表であり、「全体の回答者数が2,126人であり、その設問中の選択肢の解答率が50%であった場合、その回答比率には±2.1%（最大で2.1%）程度の誤差がありうる」ことを示しています。

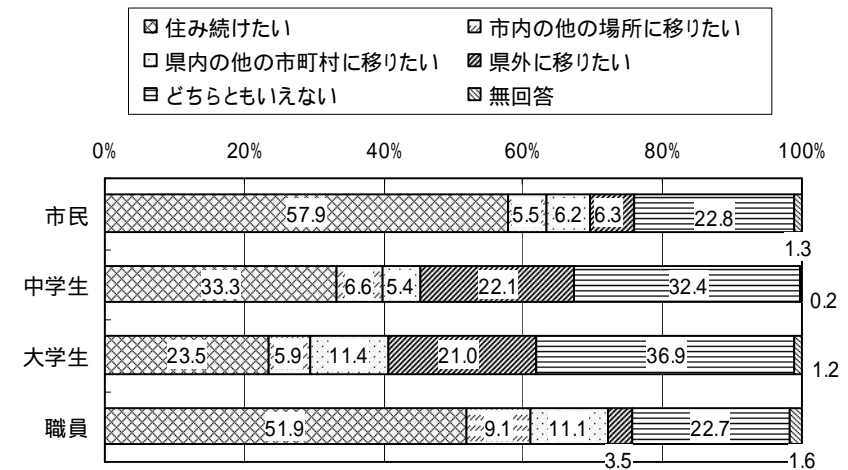
つまり、実際の比率は、(50.0 - 2.1)% から (50.0 + 2.1)% の間にあると見込まれます。

調査結果の総括

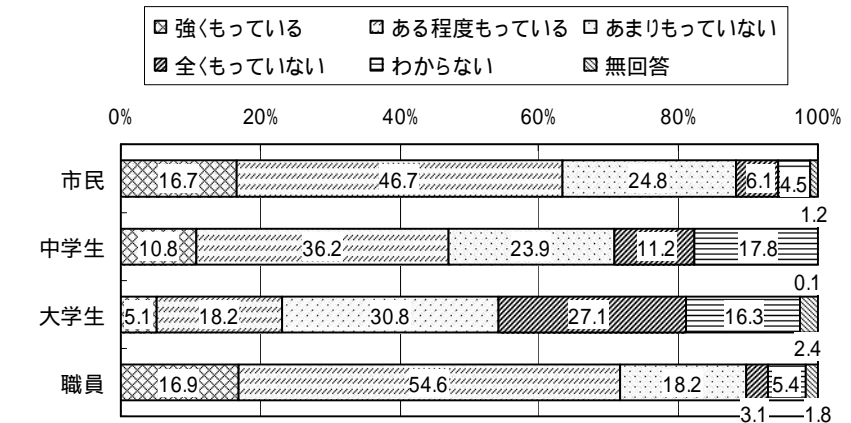
1 土浦市の住み心地



2 定住意向

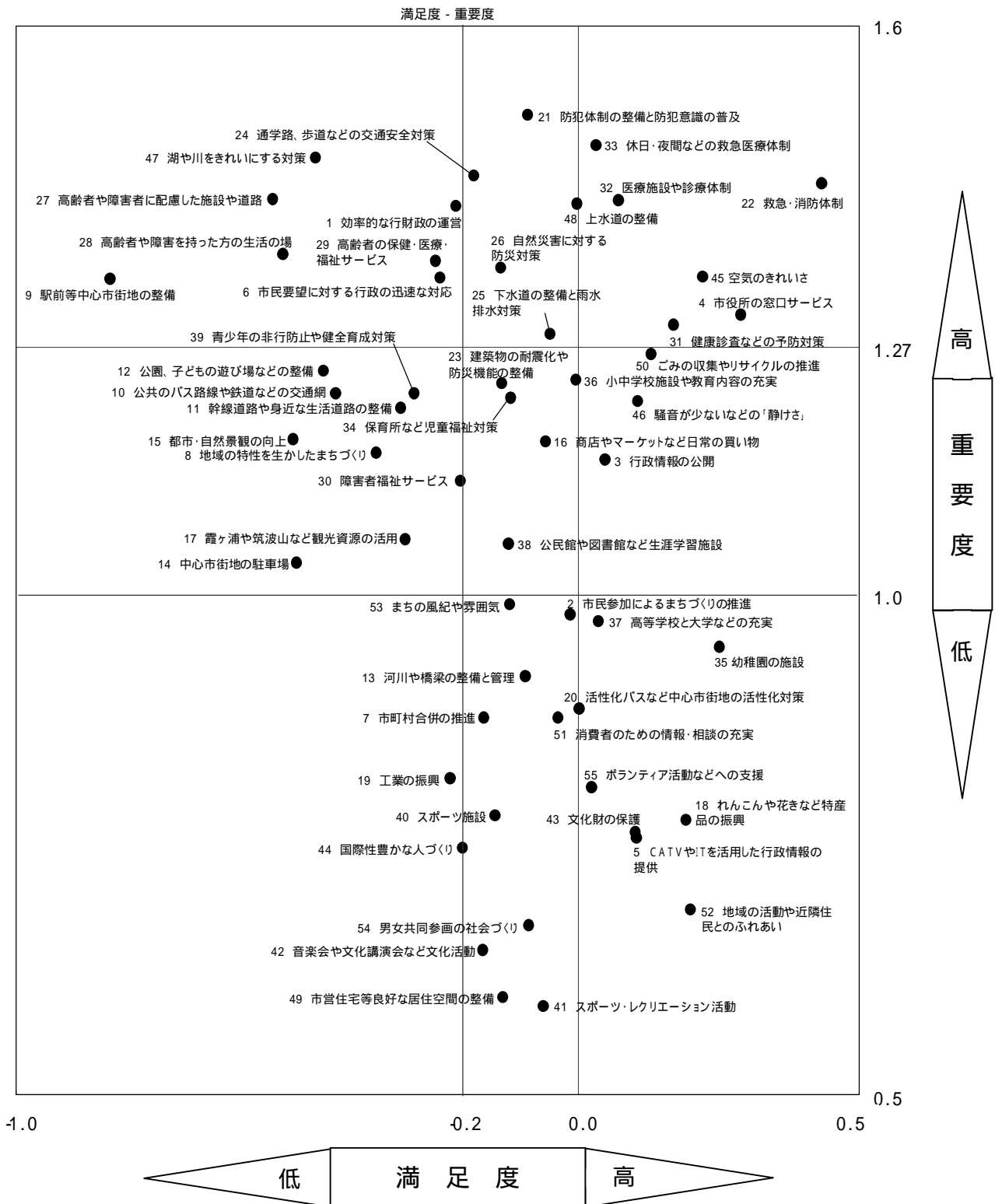


3 土浦市への愛着心

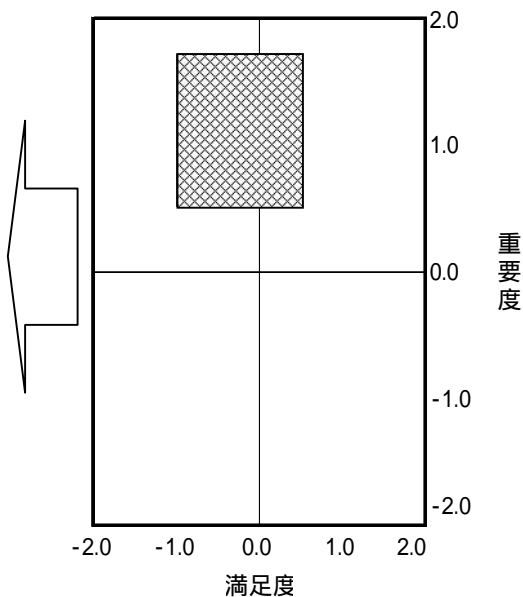


4 施策の満足度・重要度（市民）

（1）分野・施策ごとの満足度・重要度 施策ごと



施策の満足度・重要度について



前ページの図は、市民アンケートの「市の施策の満足度と重要度」の回答結果からそれぞれの加重平均値を求め、横軸に満足度、縦軸に重要度をとり、数値をプロットしたものである。

加重平均値は、満足している（重要である）を+2ポイント、やや満足している（やや重要）を+1ポイント、どちらともいえないを0ポイント、やや不満である（あまり重要でない）を-1ポイント、不満である（重要ではない）を-2ポイントとして、それぞれのポイントに回答数を掛け、その合計を回答実数で割って求めた。（市民アンケート結果12ページ参照）

回答者全員が満足又は重要と回答していれば2.0となり、逆に全員が不満または重要でないと回答していれば-2.0となる。

今回の調査結果では、満足度が、ほぼ-1.0から0.5の範囲、重要度は、ほぼ0.5から1.6の範囲と、それぞれ一定の範囲に分布しており、その範囲が左図の網掛で表した部分に該当する。ポイントでみれば、満足度は0.0をはさんでマイナス寄りとなり、重要度は全ての項目がプラスになっている。

<年齢別>

年齢別満足度上位5位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	れんこんや花きなど特産品の振興 救急・消防体制		幼稚園の施設	CATVやITを活用した行政情報の提供	文化財の保護
30歳代	CATVやITを活用した行政情報の提供	地域の活動や近隣住民とのふれあい 救急・消防体制		れんこんや花きなど特産品の振興	文化財の保護
40歳代	救急・消防体制	空気のきれいさ	れんこんや花きなど特産品の振興	幼稚園の施設 地域の活動や近隣住民とのふれあい	
50歳代	救急・消防体制	空気のきれいさ 市役所の窓口サービス		幼稚園の施設	騒音が少ないなどの「静けさ」 地域の活動や近隣住民とのふれあい
60歳代	救急・消防体制	市役所の窓口サービス	空気のきれいさ	幼稚園の施設	健康診査などの予防対策 地域の活動や近隣住民とのふれあい
70歳以上	救急・消防体制	市役所の窓口サービス	ごみの収集やリサイクルの推進	幼稚園の施設	空気のきれいさ

年齢別重要度上位5位

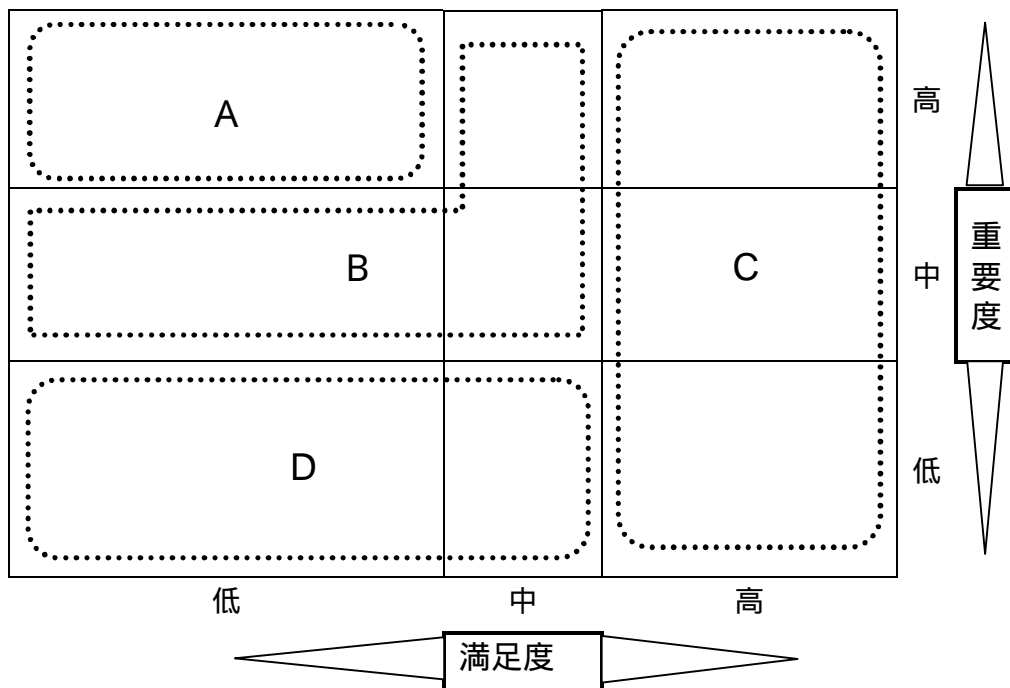
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	休日・夜間などの救急医療体制	駅前等中心市街地の整備	湖や川をきれいにする対策	防犯体制の整備と防犯意識の普及	医療施設や診療体制
30歳代	防犯体制の整備と防犯意識の普及	休日・夜間などの救急医療体制	通学路、歩道などの交通安全対策	駅前等中心市街地の整備 医療施設や診療体制	
40歳代	効率的な行財政の運営	湖や川をきれいにする対策	防犯体制の整備と防犯意識の普及	休日・夜間などの救急医療体制	通学路、歩道などの交通安全対策
50歳代	湖や川をきれいにする対策 効率的な行財政の運営		上水道の整備	防犯体制の整備と防犯意識の普及	高齢者や障害者に配慮した施設や道路
60歳代	上水道の整備 防犯体制の整備と防犯意識の普及		湖や川をきれいにする対策	救急・消防体制	高齢者の保健・医療・福祉サービス
70歳以上	救急・消防体制	防犯体制の整備と防犯意識の普及	休日・夜間などの救急医療体制	通学路、歩道などの交通安全対策	自然災害に対する防災対策 上水道の整備 高齢者の保健・医療・福祉サービス

図の作成方法

全 55 項目を 3 つのグループに区分し、満足度の高中低、重要度の高中低に分けて、各施策の分布をみた。

満足度は、-0.2 と 0.0 を、重要度は、1.0 と 1.27 を境界とした。合計 9 つの柵ができる。これを下図のように、分類した。

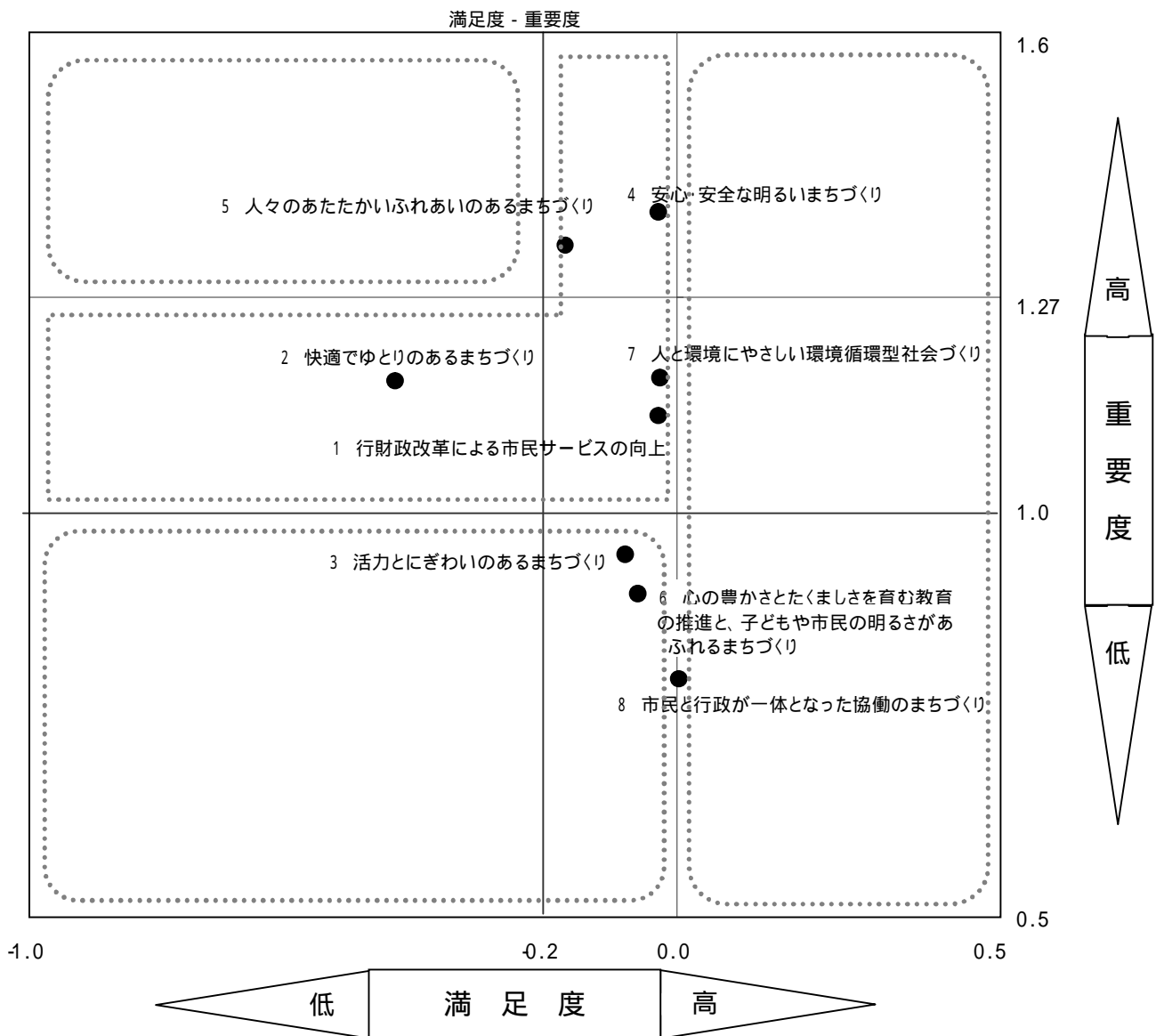
重要度：高	満足度：低	A
重要度：高～中	満足度：中	B
重要度：中	満足度：低	B
重要度：高～低	満足度：高	C
重要度：低	満足度：中～低	D



8分野の満足度・重要度

分野ごとに、構成する施策の平均を求め、満足度と重要度を横軸、縦軸としてグラフ化した。満足度の低い分野は、「快適でゆとりのあるまちづくり」で、唯一満足度が低いゾーンに位置する。

重要度は、「安心・安全な明るいまちづくり」や「人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり」が高いゾーンに位置している。



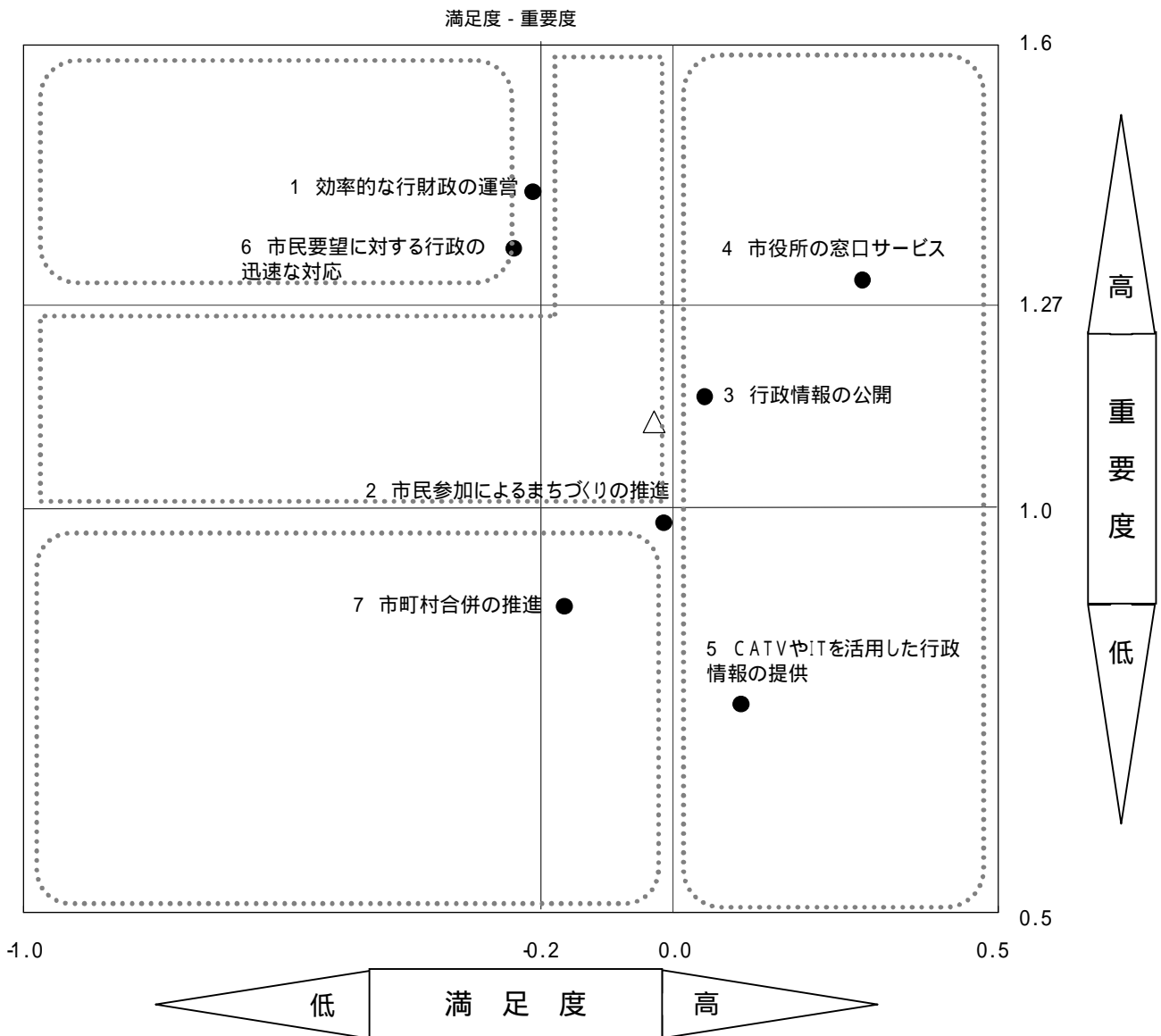
(2) 施策分野ごとの満足度・重要度

施策分野ごとに満足度・重要度をみた。なお、 は施策分野の平均である。

行財政改革による市民サービスの向上

満足度が低く、重要度が高い施策として、「効率的な行財政の運営」や「市民要望に対する行政の迅速な対応」があげられる。

一方、満足度も重要度も高い施策は、「市役所の窓口サービス」である。

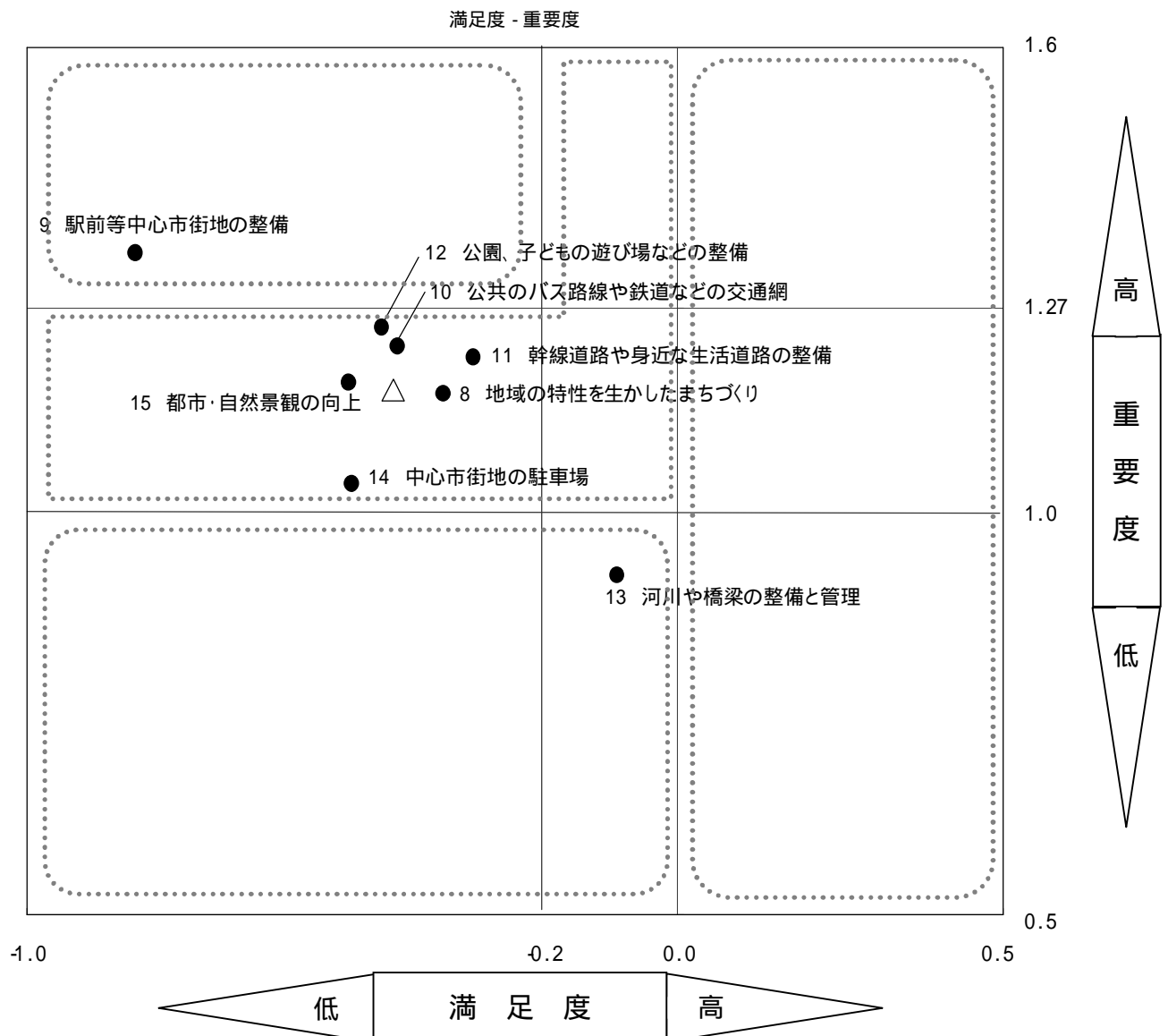


快適でゆとりのあるまちづくり

相対的に、満足度が低く、重要度が高いといえる。

満足度が高い施策は一つもなく、「河川や橋梁の整備と管理」が満足度・中で重要度・低である。
他の施策はすべて満足度が低く、重要度も中に属する施策が多くなっている。

満足度が低く、重要度が高い施策は、「駅前等中心市街地の整備」である。

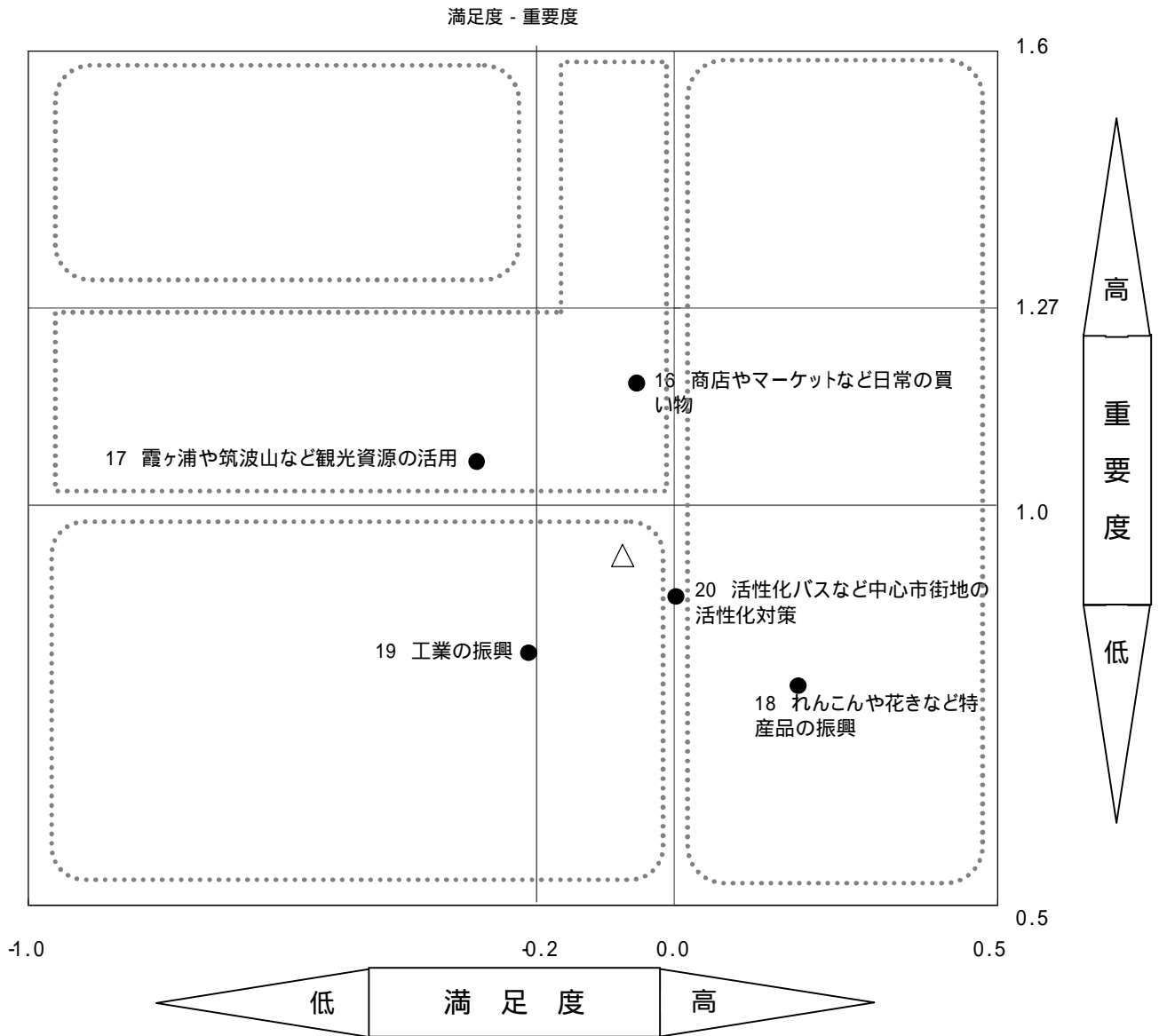


活力とにぎわいのあるまちづくり

満足度はまあまあだが、重要度は低い。

重要度・高の施策は一つもなく、もっとも重要度が高い施策は重要度・中の「商店やマーケットなど日常の買い物」で、満足度は中である。

重要度の低い施策は、「れんこんや花きなど特産品の振興」、「工業の振興」、「活性化バスなど中心市街地の活性化」である。

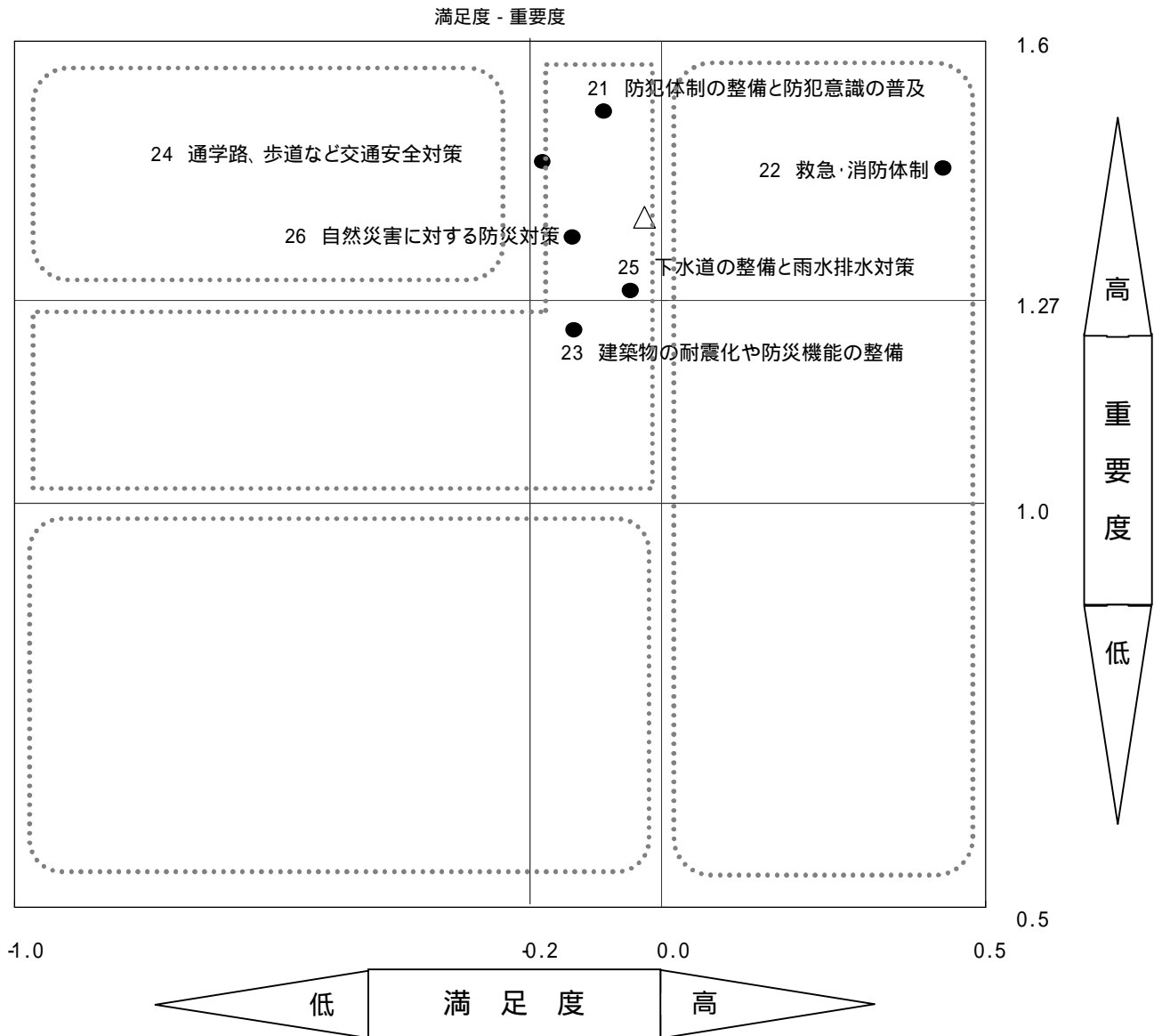


安心・安全な明るいまちづくり

満足度も高く、重要度も高い。

特に、「救急・消防体制」は満足度も重要度も高くなっている。

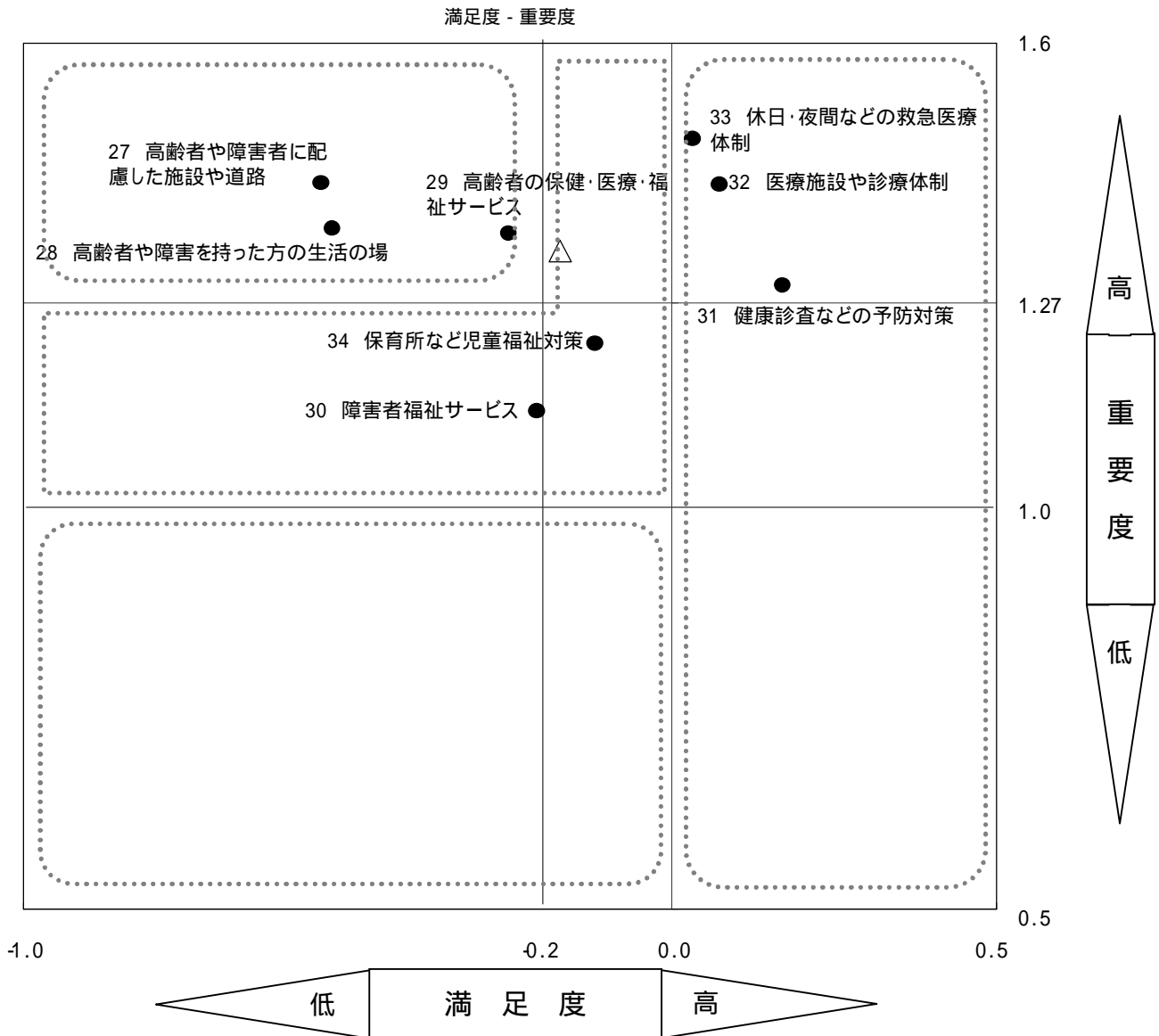
重要度については、「建築物の耐震化や防災機能の整備」を除く施策が重要度・高に位置している。「建築物の耐震化や防災機能の整備」も重要度・高に近い。



人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり

重要度は全般的に高いが、満足度はばらつきがある。

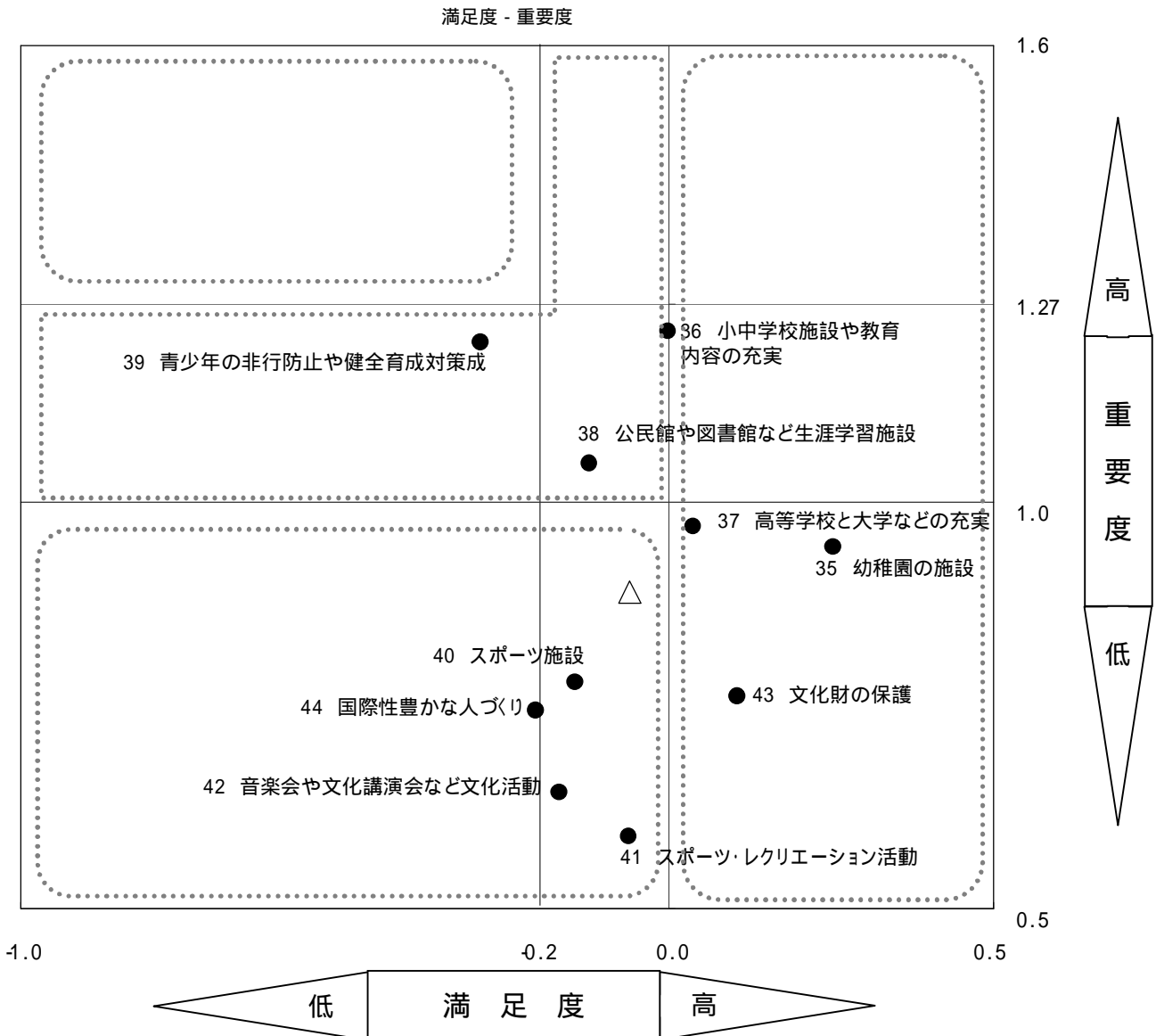
満足度、重要度ともに高くなっている施策が「健康診査などの予防対策」、「医療施設や診療体制」、「休日・夜間などの救急医療体制」であり、今後の最重点施策と位置づけられる満足度が低く、重要度が高い施策は「高齢者や障害者に配慮した施設や道路」、「高齢者や障害者を持った方の生活の場」、「高齢者の保健・医療・福祉サービス」である。



心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

相対的に、満足度は高いが、重要度は低い。

満足度は高いが、重要度が低い施策は、「幼稚園の施設」、「史跡や歴史的建造物などの文化財の保護」、「高等学校と大学などの充実」である。

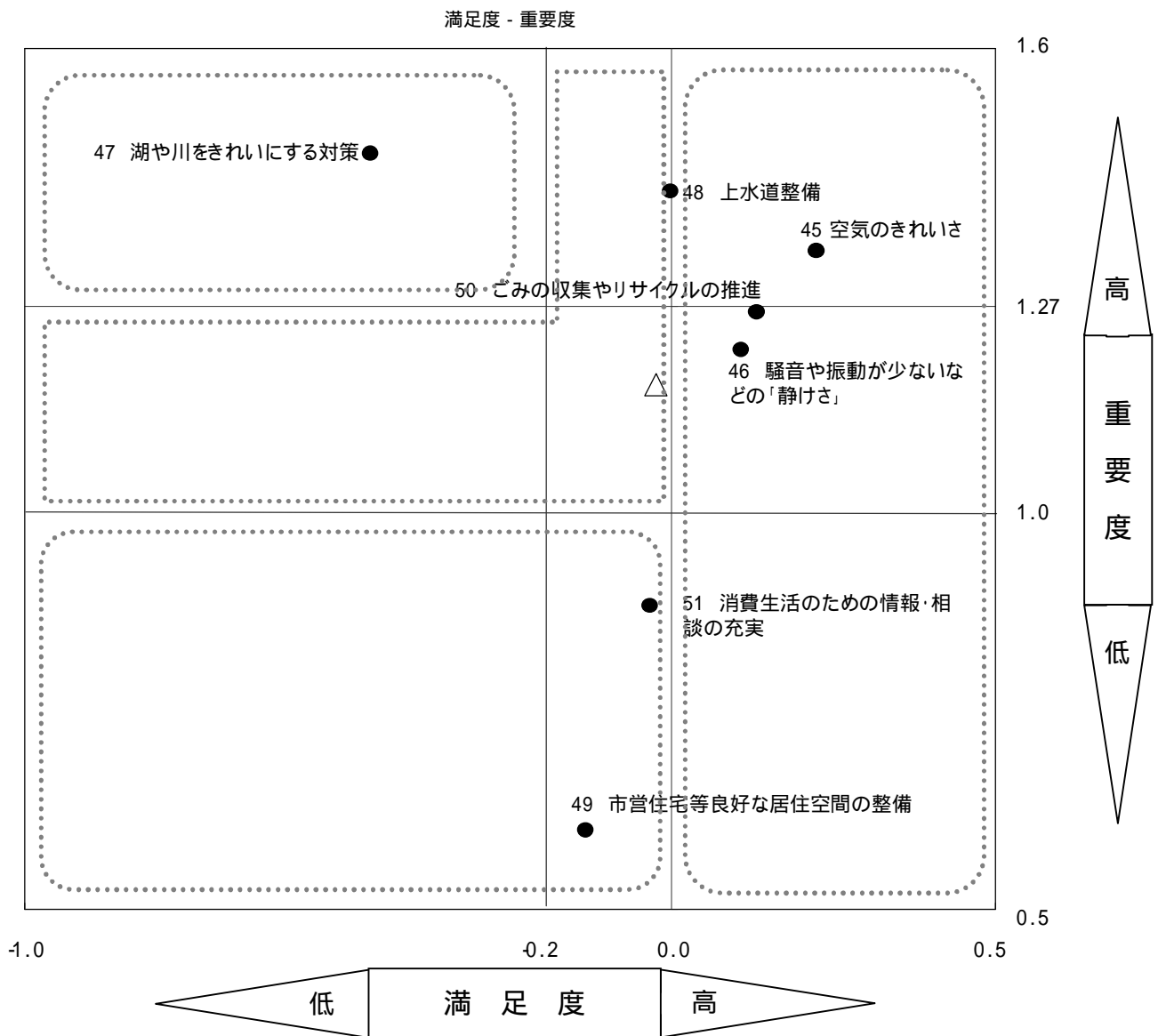


人と環境にやさしい環境循環型社会づくり

相対的に満足度は高いが、重要度にはばらつきがある。

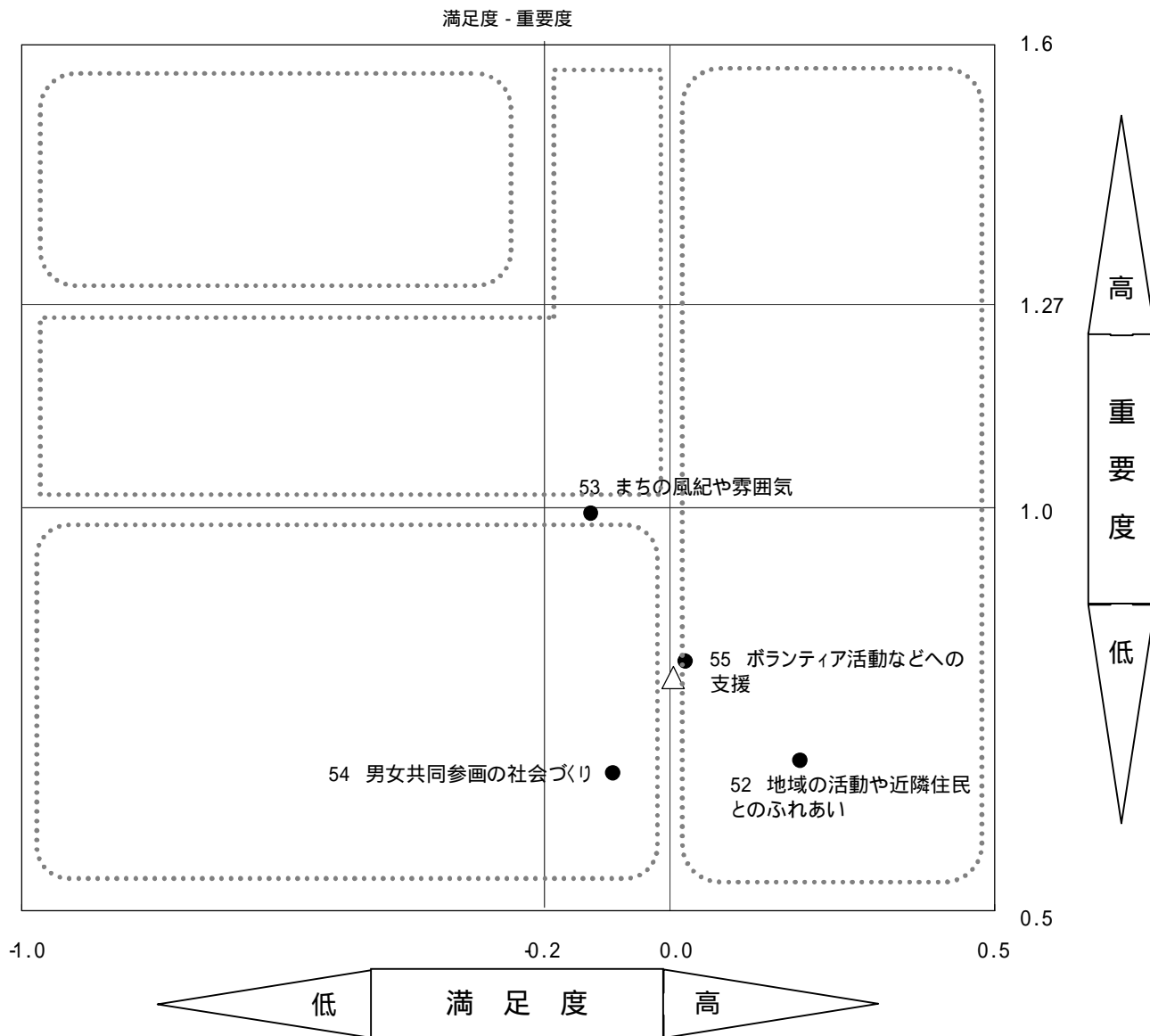
満足度が低く、重要度が高い施策は、「湖や川をきれいにする対策」である。

また、重要度が低い施策として、「市営住宅等良好な居住空間の整備」(満足度・中)、「消費生活のための情報・相談の充実」(満足度・中)がある。

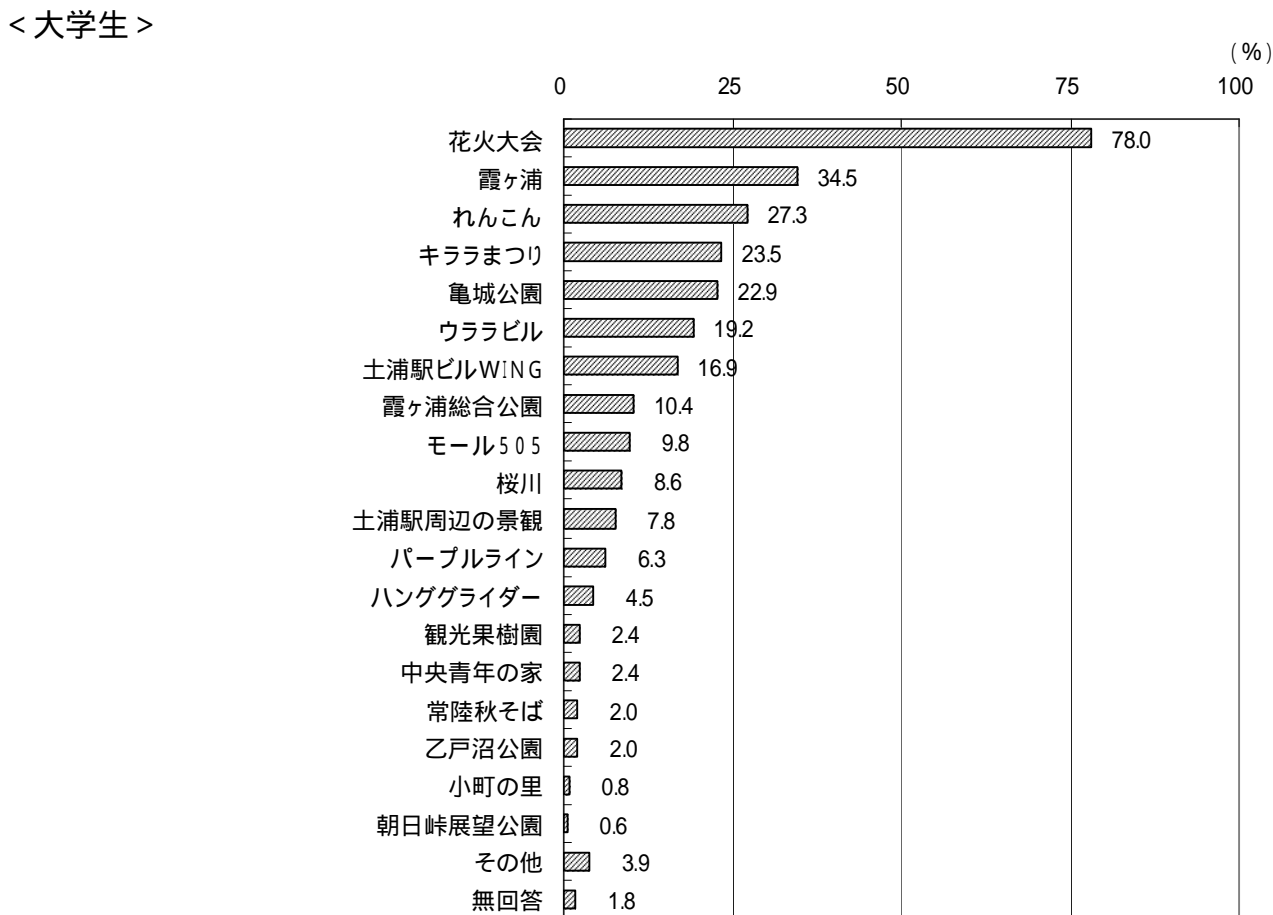
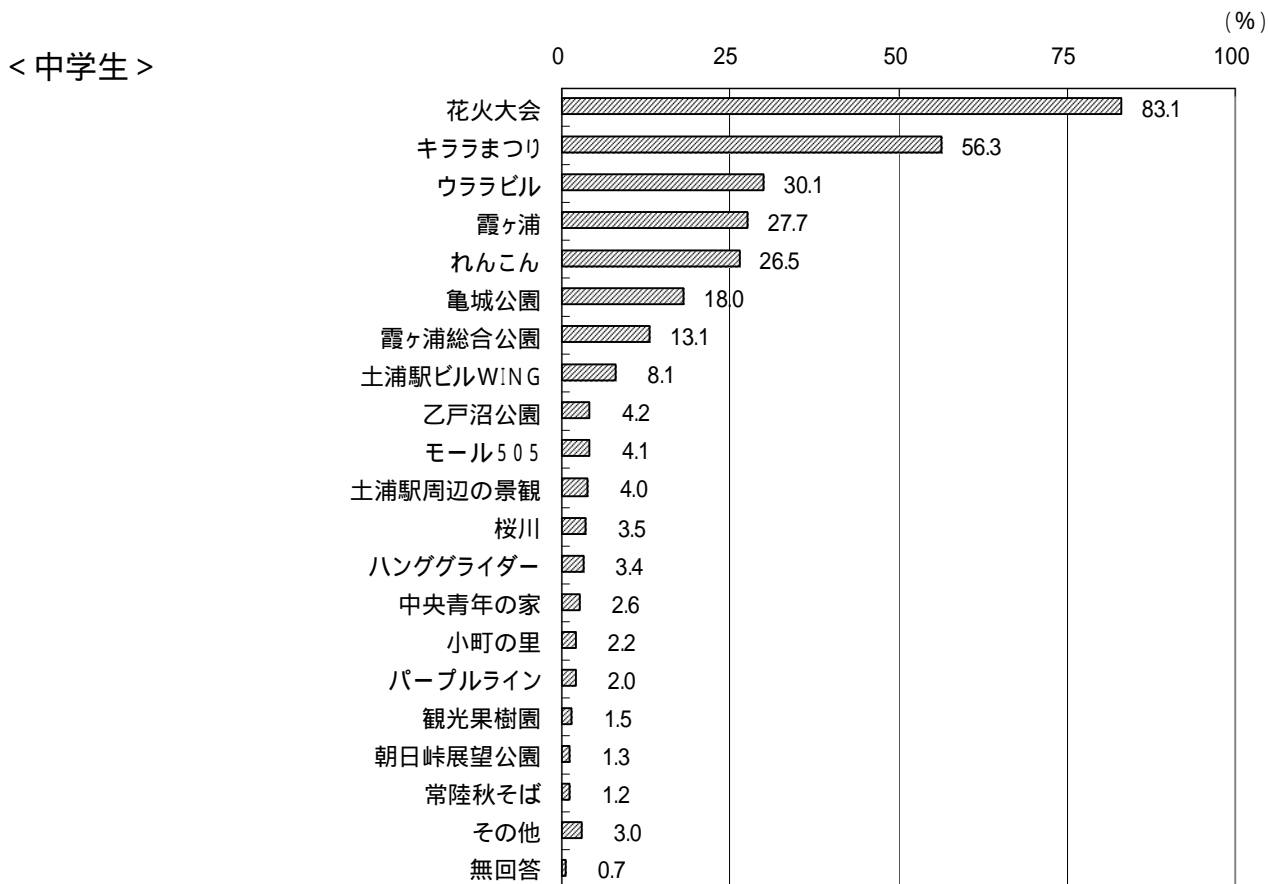


市民と行政が一体となった協働のまちづくり

相対的に満足度は高いが、重要度は低い。

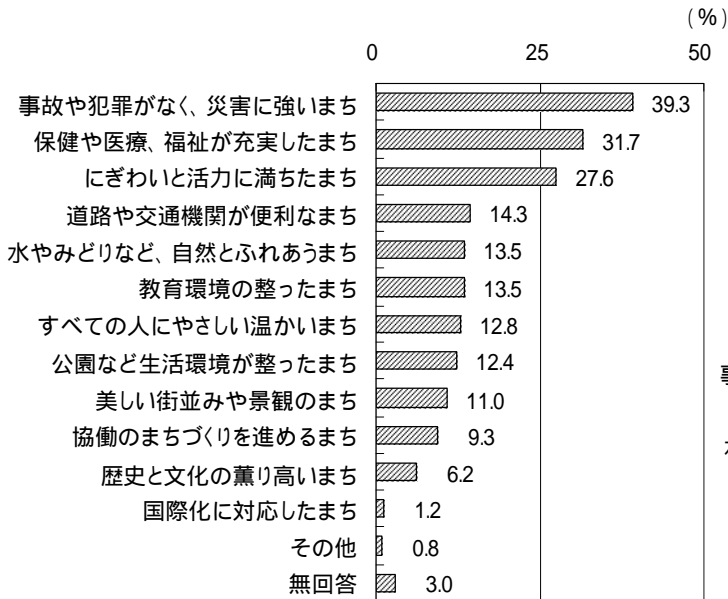


5 土浦らしさ

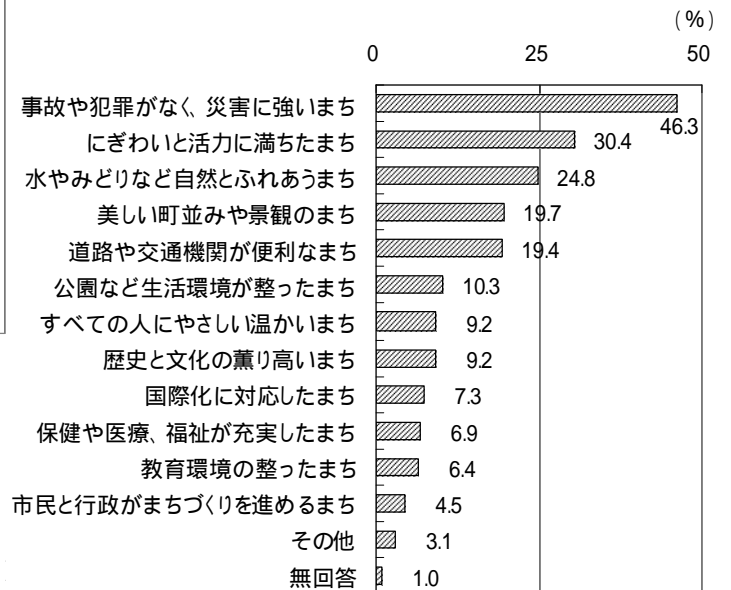


6 将来イメージ

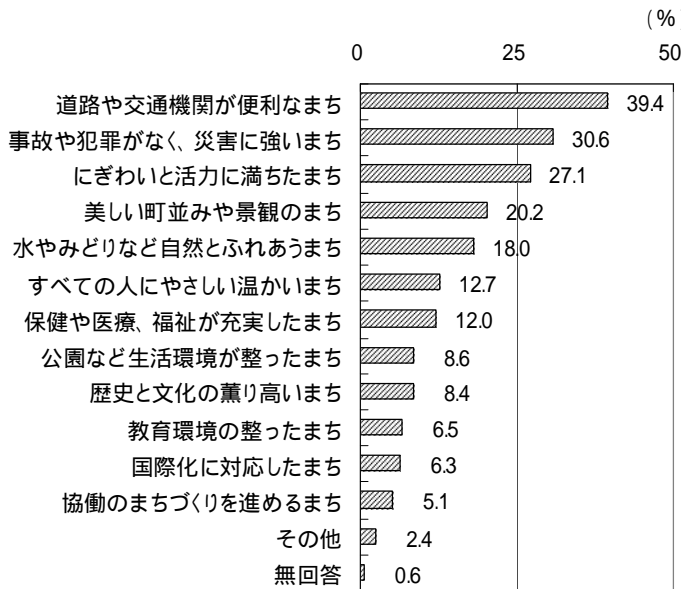
< 市民 >



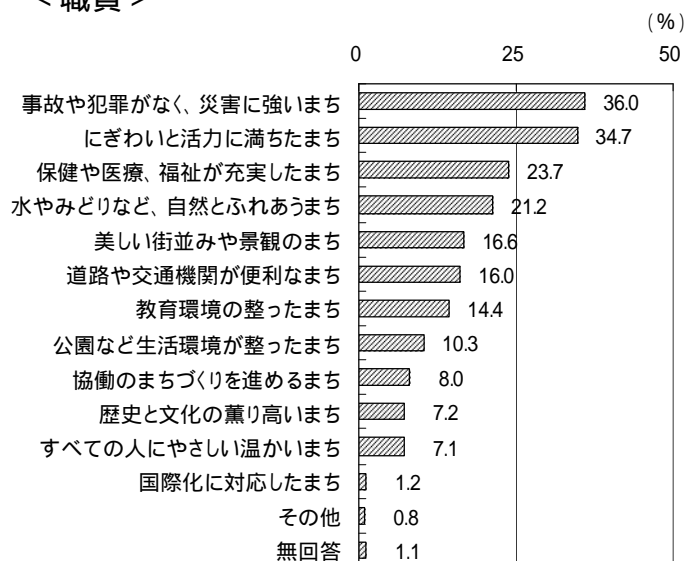
< 中学生 >



< 大学生 >



< 職員 >



7 土浦市にほしいもの

上位 10 件

< 市民 >

項目	件数	割合
図書館	111	8.9
スポーツ施設・体育館	91	7.3
ショッピングセンター	84	6.8
娯楽施設	65	5.2
公園	63	5.1
デパート	52	4.2
交通機関	51	4.1
駐車場	42	3.4
ホール	39	3.1
博物館・美術館	32	2.6
その他	669	53.9
記入者数	1,241	100.0

記入項目件数の合計は 1,299 件です。複数の項目を記入した方もいます。

< 中学生 >

項目	件数	割合
ショッピングセンター	116	12.8
娯楽施設	113	12.5
店舗・お店・商店街	112	12.3
スポーツ施設	84	9.3
デパート	54	6.0
子どもの遊び場・施設	39	4.3
公園	38	4.2
テーマパーク	30	3.3
自然・自然とふれあえる場	29	3.2
図書館	25	2.8
その他	289	31.9
記入者数	907	100.0

< 大学生 >

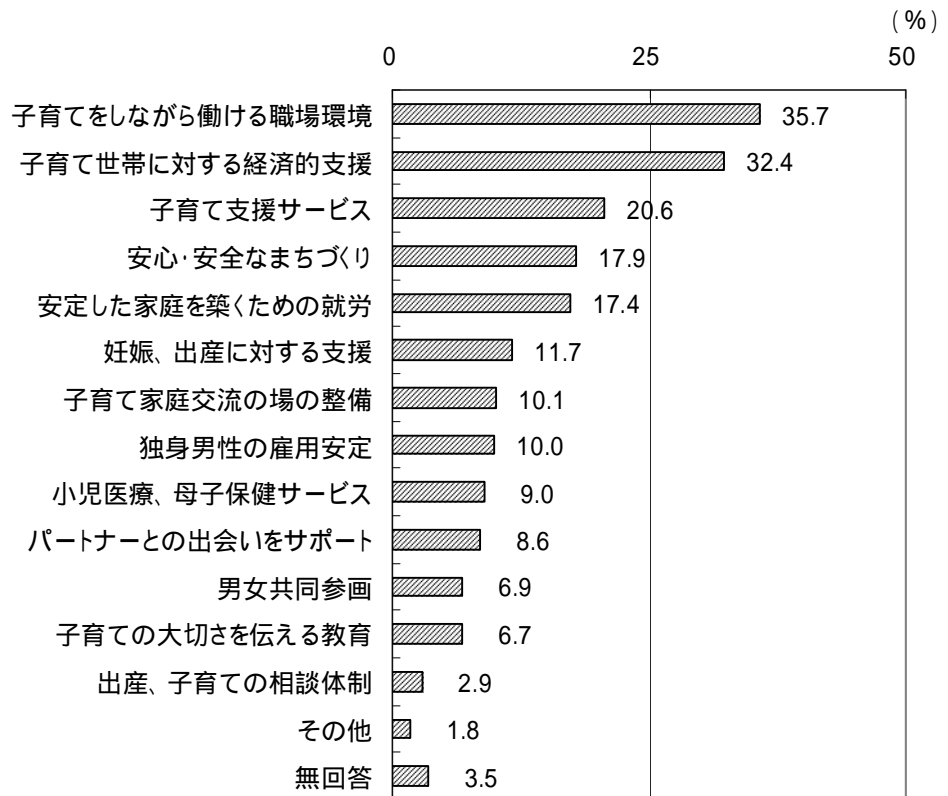
項目	件数	割合
ショッピングセンター	48	18.0
店舗・お店・商店街	37	13.9
娯楽施設	33	12.4
スポーツ施設・運動公園	20	7.5
交通機関	19	7.1
子どもの遊び場・施設	16	6.0
デパート	14	5.3
公園	8	3.0
駐車場	7	2.6
自然・自然とふれあえる場	6	2.3
図書館	6	2.3
その他	53	19.9
記入者数	266	100.0

< 職員 >

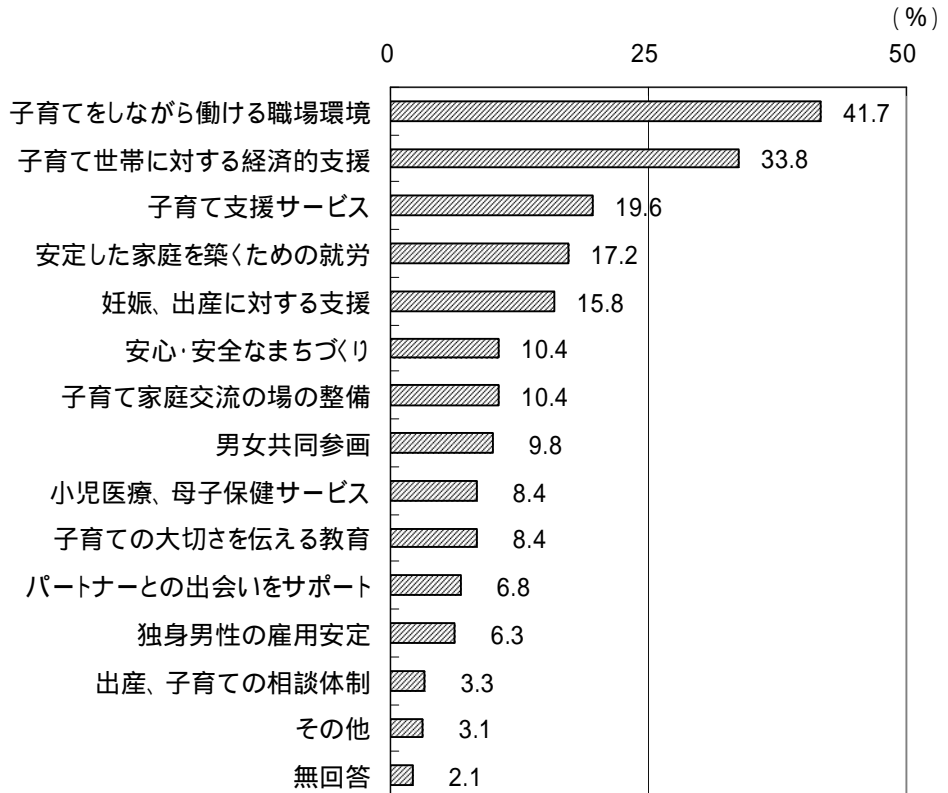
項目	件数	割合
ショッピングセンター	33	12.7
娯楽施設	30	11.6
公営競技施設	20	7.7
デパート	17	6.6
交通機関	17	6.6
スポーツ施設・体育館	15	5.8
児童施設・児童福祉	13	5.0
文化施設	13	5.0
観光、観光施設	13	5.0
美術館	10	3.9
その他	89	34.4
記入者数	259	100.0

8 少子化対策

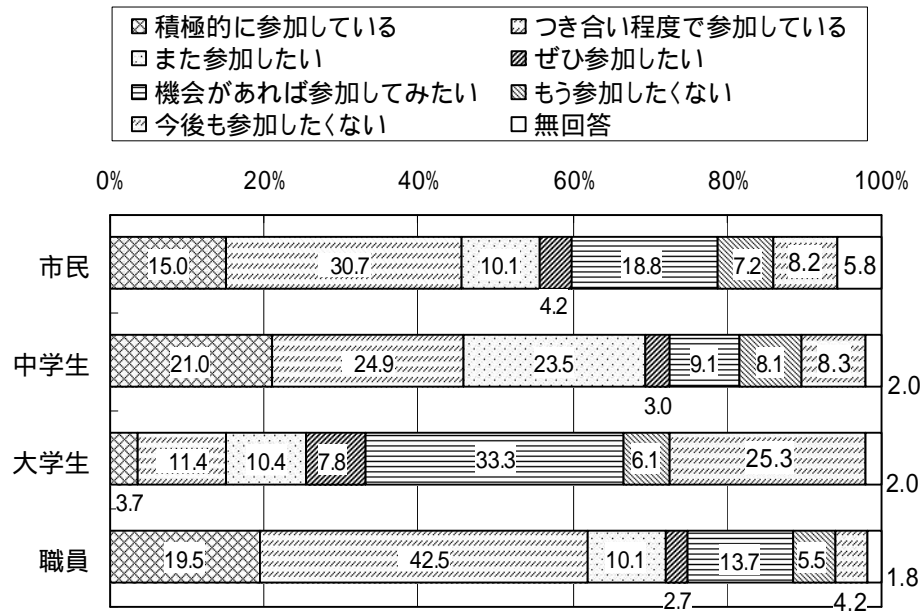
< 市民 >



< 職員 >



9 地域活動への参加



調査の結果

1 市民

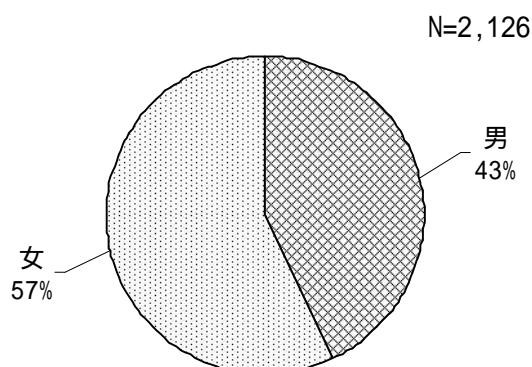
- 1 調査の結果（市民）

1 回答者の属性

あなたの性別は。

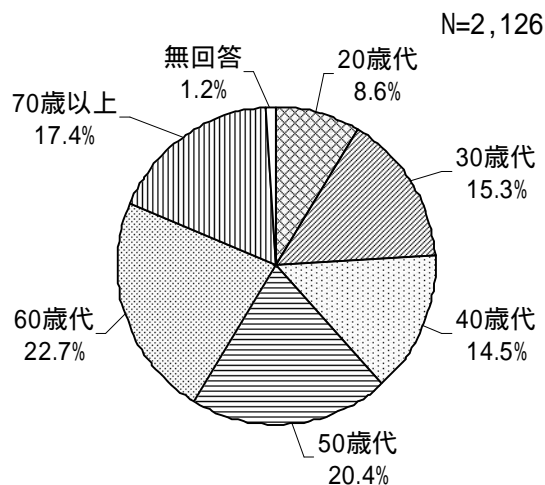
回答者の属性をみると、性別は、「男」が43%、「女」が57%です。

若干、“女性”の回答者比率が高くなっています。



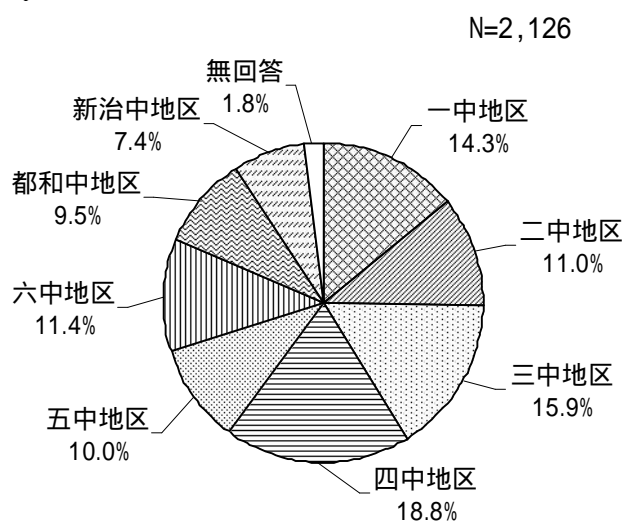
あなたの年齢は。

年齢は、「60歳代」が最も多く22.7%であり、「50歳代」が20.4%、「70歳以上」が17.4%となっています。



あなたのお住まいの地区（中学校区）は。

居住地区は、「四中地区」が18.8%、「三中地区」が15.9%、「一中地区」が14.3%です。

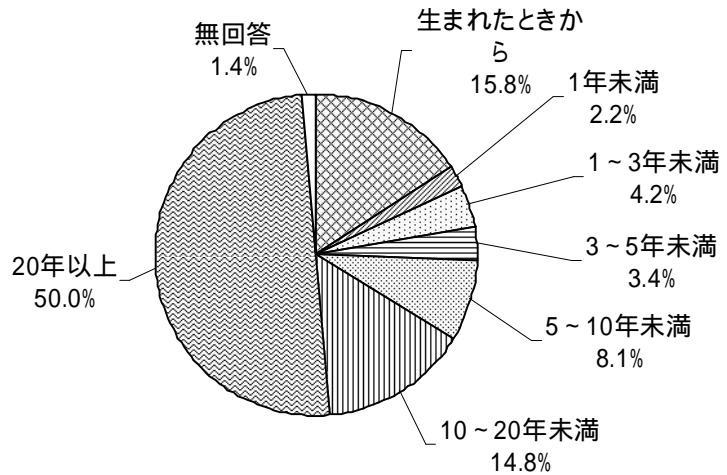


あなたが土浦市（旧新治村も含めて）にお住まいの期間は。

N=2,126

居住年数は、「20年以上」が50.0%、「生まれたときから」が15.8%で、合わせて“20年以上”が65.8%です。

また、“5年未満”は、9.8%となっています。

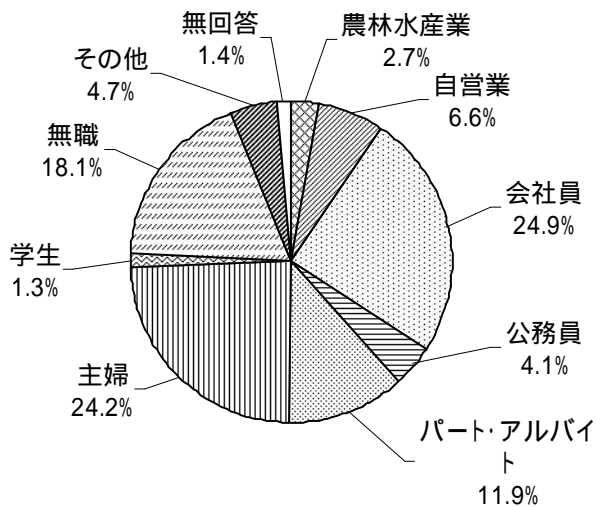


あなたの職業は。（兼業の方は主たる方を選んでください）

N=2,126

職業は、「会社員」が24.9%、「主婦」が24.2%、「無職」が18.1%です。

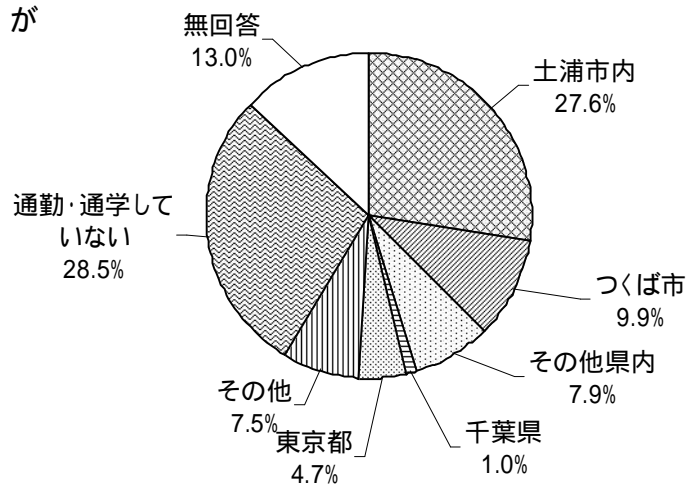
「パート・アルバイト」の11.9%を含めて、“働いている”のは50.2%です。



あなたの勤務先、通学先は。

N=2,126

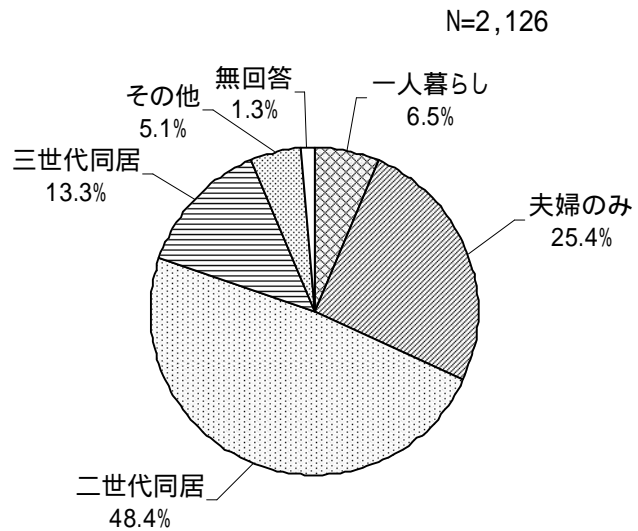
勤務先、通学先は、「土浦市内」が27.6%となっています。



あなたの家族構成は。

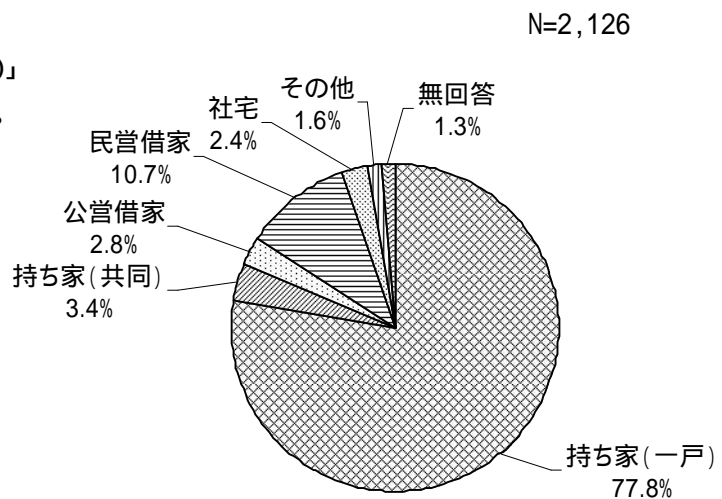
家族構成は、「二世世代同居」が48.4%、「夫婦のみ」が25.4%、「三世世代同居」が13.3%です。

“親と子”の核家族が半数を占めることがわかります。また、「夫婦のみ」を合わせると、73.8%です。



あなたの家は。

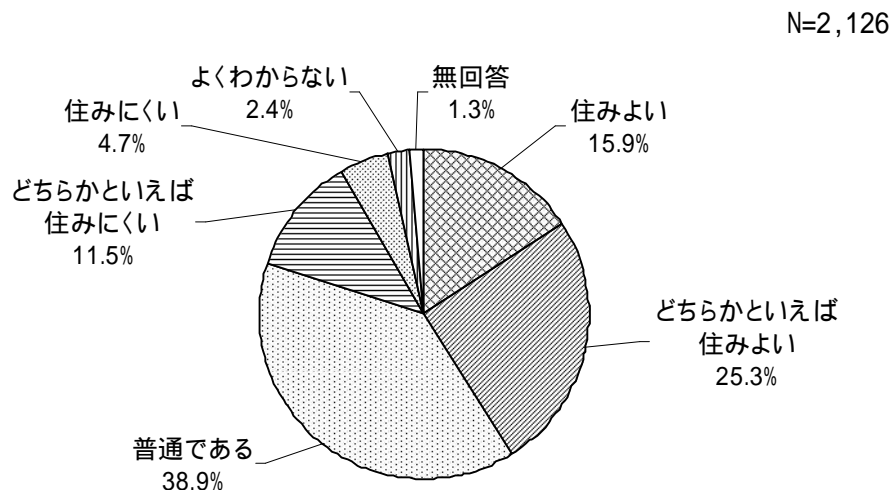
住宅形態は、「持ち家（一戸建て）」が77.8%、「民間借家」が10.7%です。



2 土浦市の住み心地

(1)土浦市の住み心地

問1 あなたは、土浦市の住み心地についてどのように感じていますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



土浦市の住み心地は、「住みよい」が15.9%、「どちらかといえば住みよい」が25.3%で、合わせて「住みよい」が41.2%です。

一方、「住みにくい」が4.7%、「どちらかといえば住みにくい」が11.5%で、合わせて「住みにくい」が16.2%となっています。

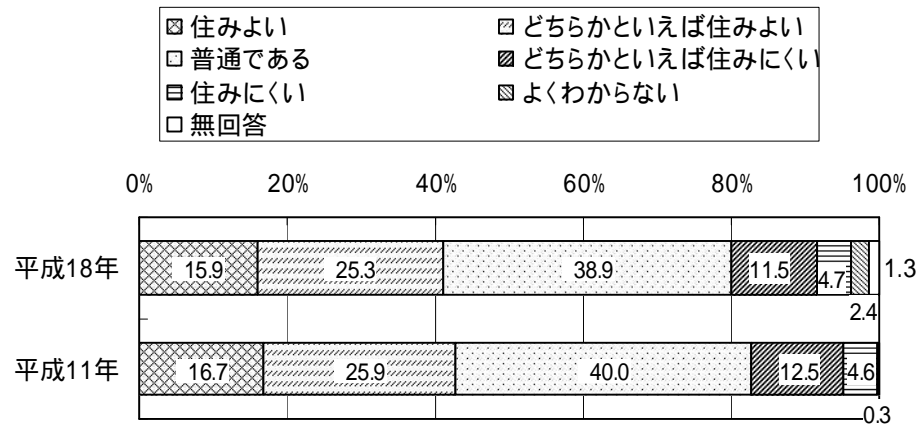
「普通である」が38.9%であり、「住みよい」の41.2%を合わせて、「肯定的」な回答が80.1%を占めます。

前回の調査と比較すると、「住みよい」が42.6%から41.2%へと、1.4ポイント減少していますが、大きな変化はないといえます。

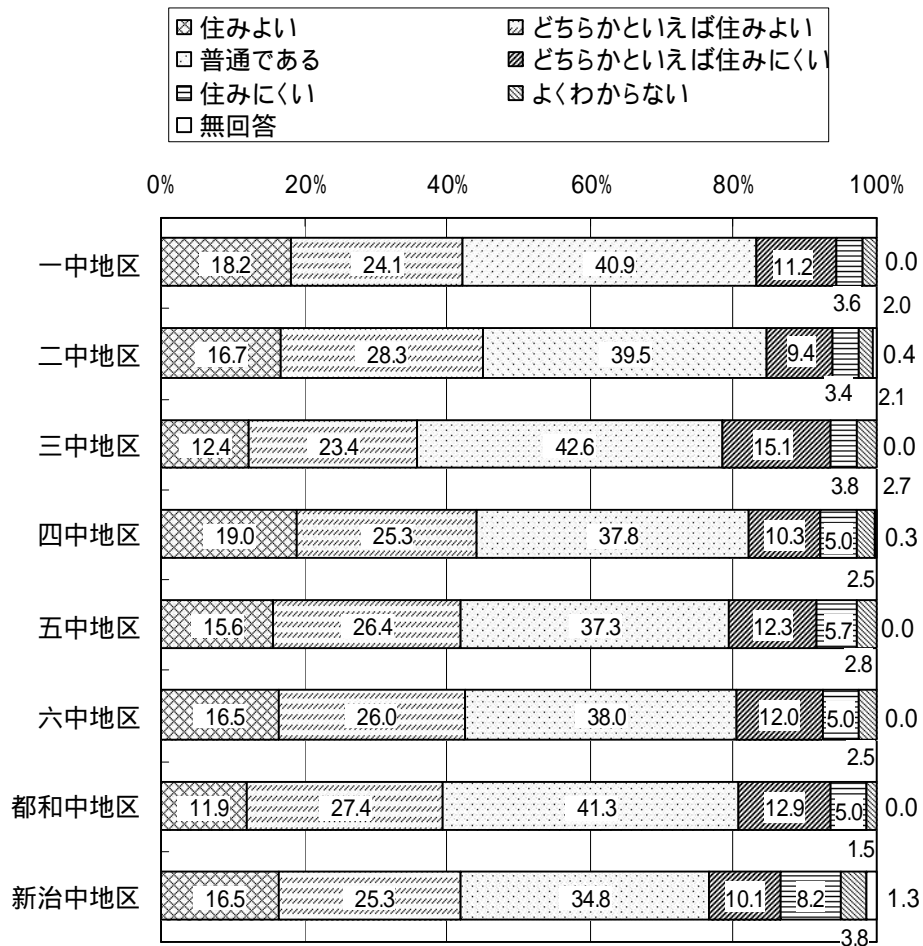
地区別では、二中地区、四中地区、六中地区などで、比較的「住みよい」が多くなっています。

年齢別では、高齢になるにしたがって「肯定的」な回答が多くなる傾向にあります。

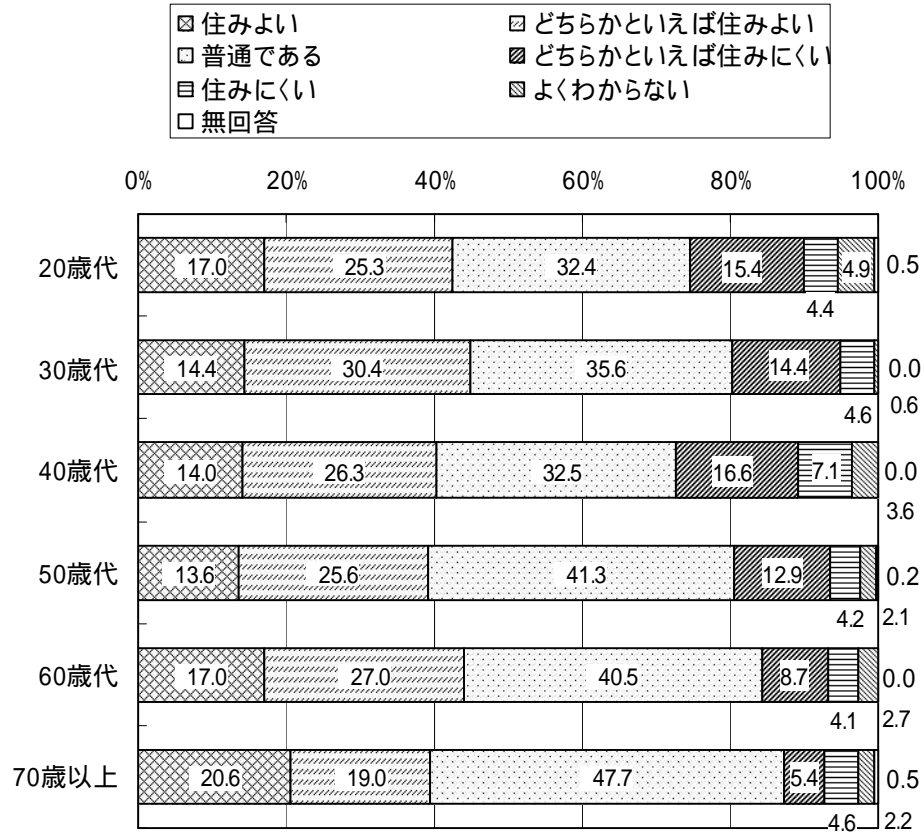
住み心地【前回比較】



地区別住み心地

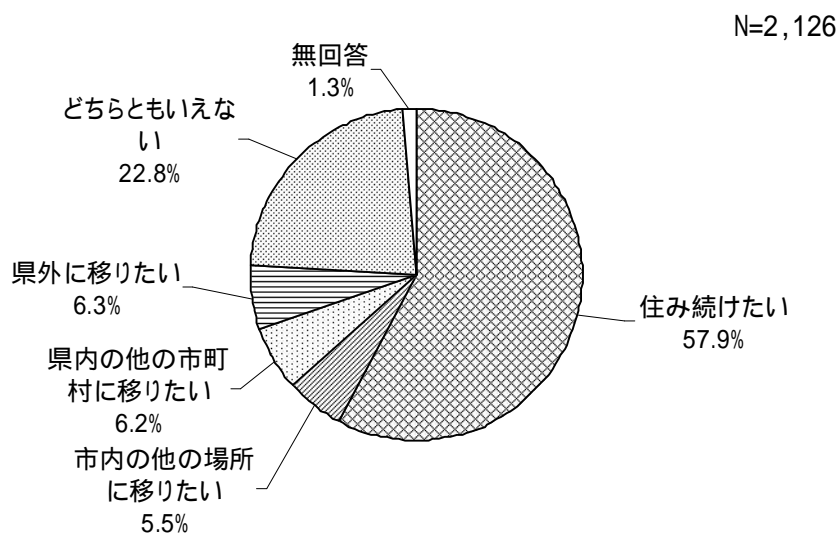


年齢別住み心地



(2)定住意向

問2 あなたは、今住んでいる場所にこれからも住み続けたいと思いますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



定住意向は、「住み続けたい」が57.9%、「市内の他の場所に移りたい」が5.5%で、合わせて“市内定住意向”は、63.4%です。

“市外移転”を希望するのは、「県外に移りたい」の6.3%と、「県内の他の市町村に移りたい」の6.2%を合わせて、12.5%です。

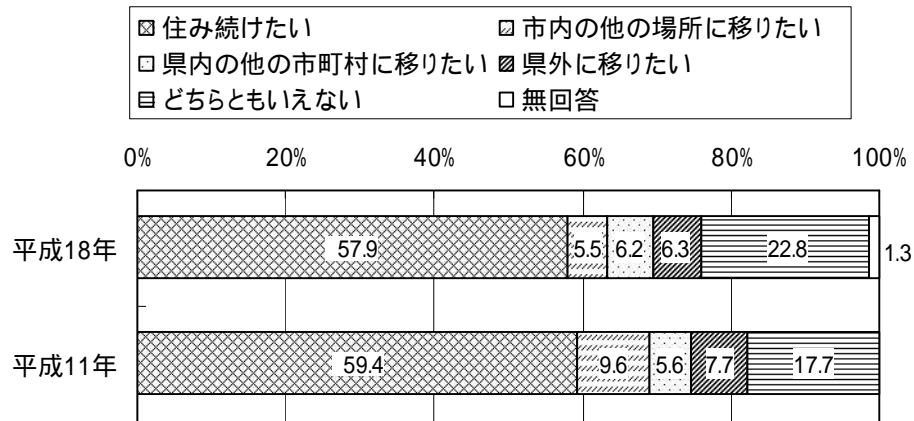
「どちらともいえない」が22.8%であり、“市内定住”の63.4%を合わせて、“肯定的”な回答が86.2%を占めます。

前回の調査と比較すると、“市内定住意向”が69.0%から63.4%へと、5.6ポイント減少しています。

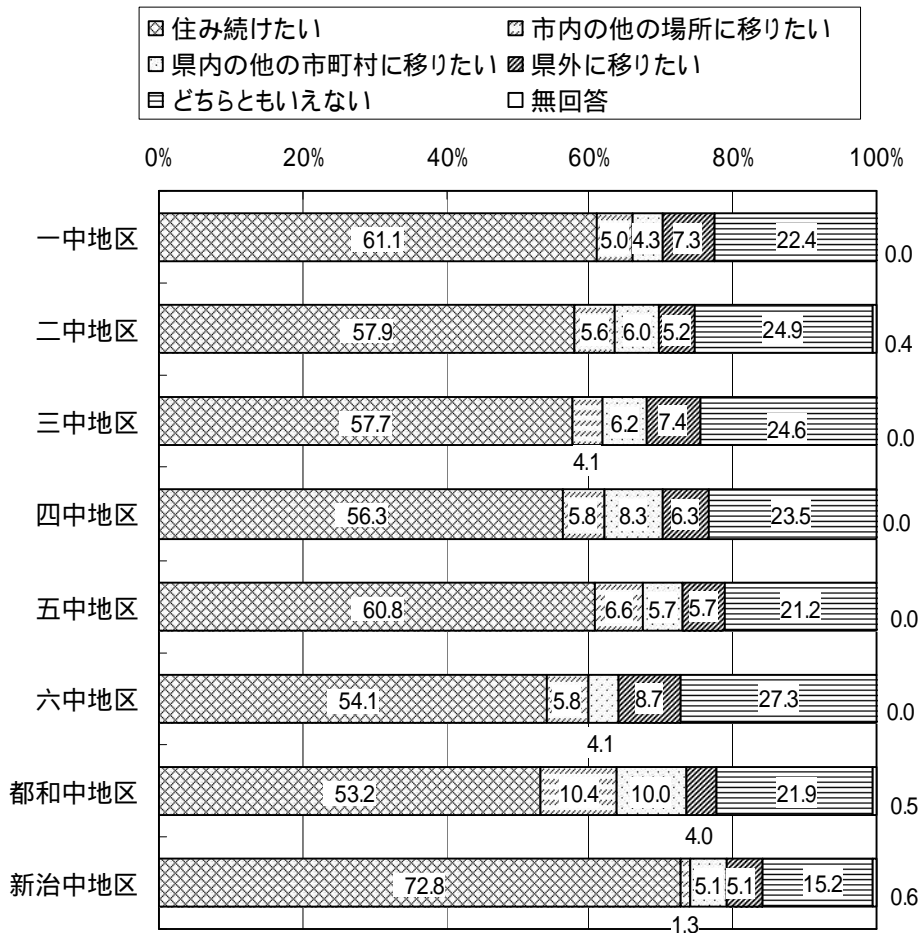
地区別では、新治中地区、五中地区などで、比較的“市内定住意向”が高くなっています。

年齢別では、高齢になるにしたがって、「住み続けたい」とする割合が高くなる傾向にあります。

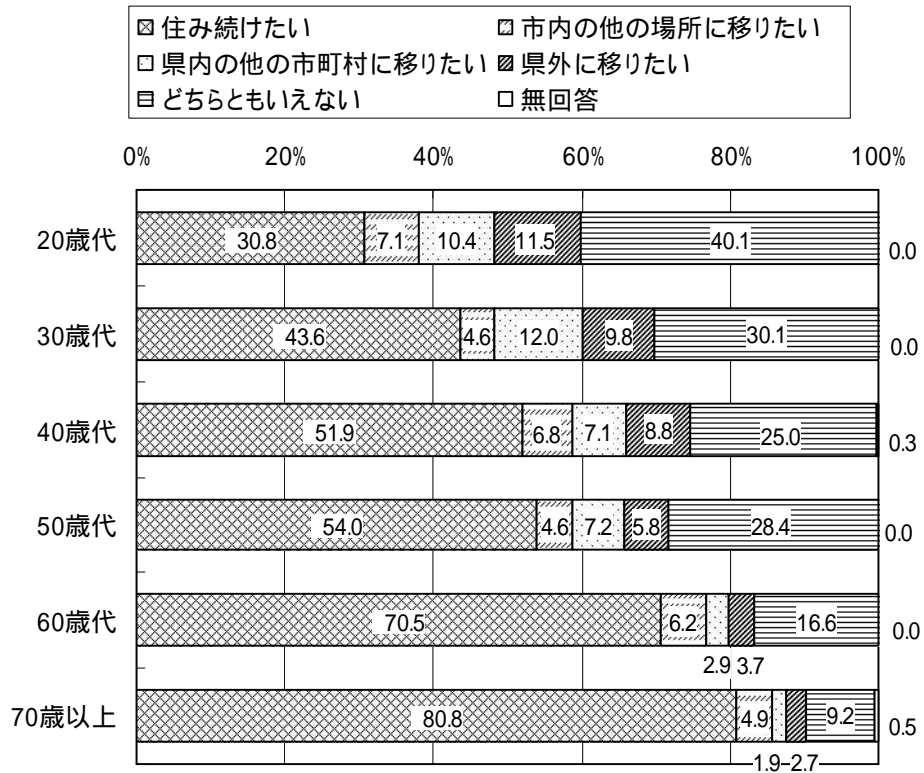
定住意向【前回比較】



地区別定住意向

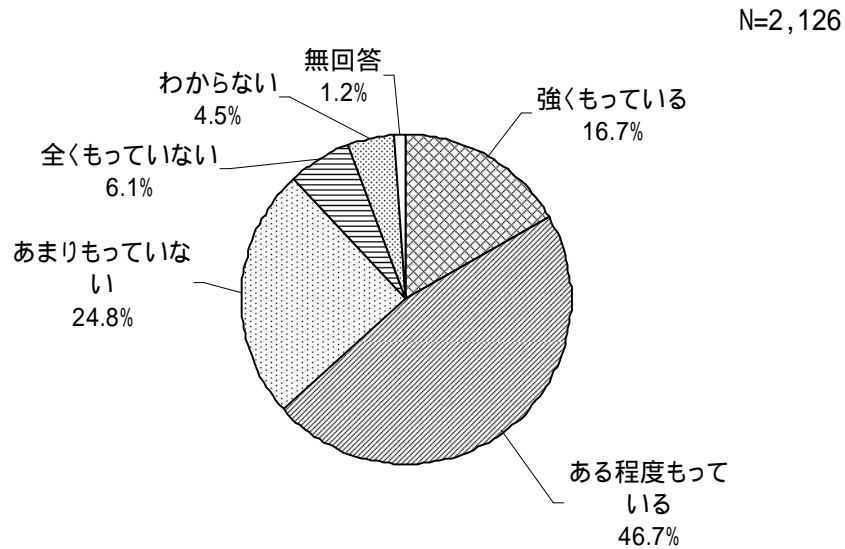


年齢別定住意向



(3)愛着心

問3 あなたは、土浦市に「わがまち」といった愛着をもっていますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



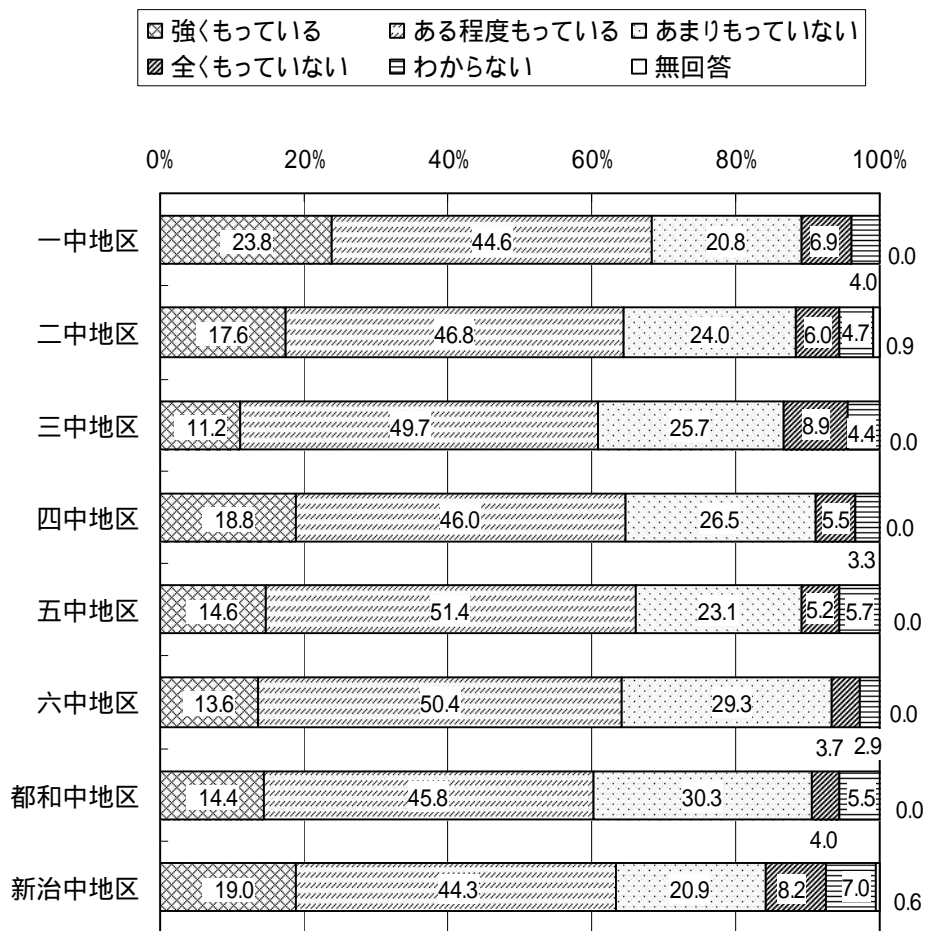
土浦市に“わがまち”といった愛着を「強くもっている」が16.7%、「ある程度もっている」が46.7%で、合わせて“愛着をもっている”が63.4%です。

愛着を「全くもっていない」が6.1%、「あまりもっていない」が24.8%で、合わせて“愛着をもっていない”が30.9%です。

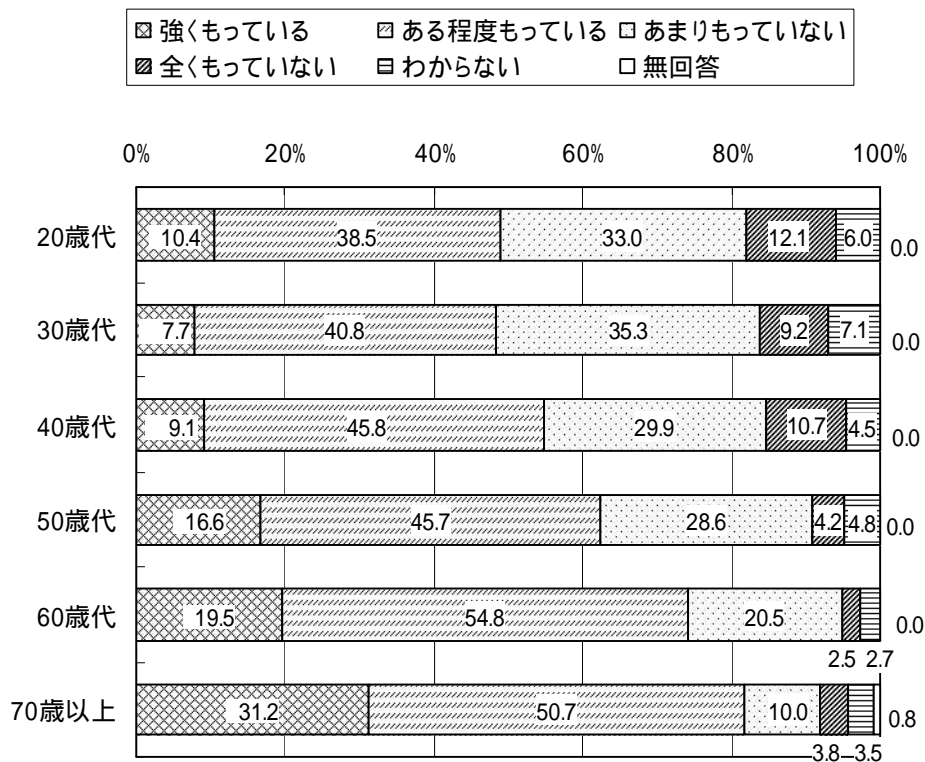
地区別では、一中地区で“愛着をもっている”割合が比較的多くなっています。

年齢別では、高齢になるにしたがって、“愛着をもっている”割合が高くなっています。

地区別愛着心



年齢別愛着心



3 市の施策の満足度・重要度

問4 以下に示すことについて、あなたはどのように感じていますか。次の項目（満足度、重要度）ごとに、当てはまる番号を1つ選び、「 」で囲んでください。

N=2,126

<加重平均の算出>

以下の計算式で求めた。

加重平均

$$= \frac{(A \times 2 + B \times 1 + C \times 0 + D \times (-1) + E \times (-2))}{\text{(回答実数)}}$$

- A:満足している（重要）(+ 2ポイント)
- B:やや満足している（やや重要）(+ 1ポイント)
- C:どちらともいえない（どちらともいえない）(0ポイント)
- D:やや不満である（あまり重要でない）(- 1ポイント)
- E:不満である（重要ではない）(- 2ポイント)

回答者が全員「満足している」であれば、2.0ポイントなり、全員が「やや満足している」であれば、1.0ポイントとなる。

施策の満足度は、「救急・消防体制」が0.43ポイントで最も高く、次いで「市役所の窓口サービス」が0.29ポイント、「幼稚園の施設」が0.25ポイントです。

満足度が低いものは、「駅前等中心市街地の整備」が-0.83ポイントと突出しており、次いで「高齢者や障害者に配慮した施策や道路」が-0.54ポイント、「高齢者や障害を持った方の生活の場」が-0.52ポイント、「都市・自然景観の向上」が-0.51ポイントです。

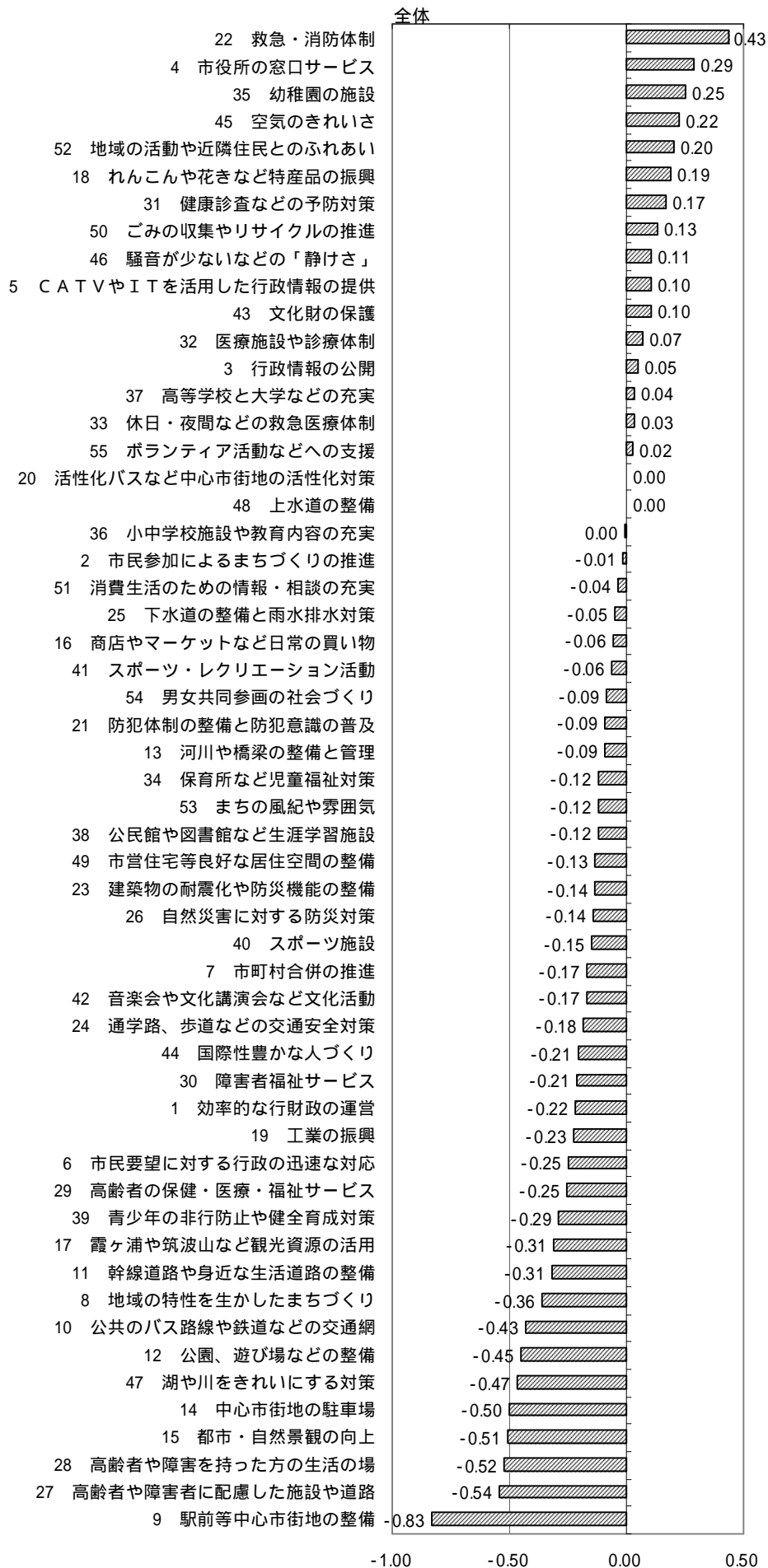
全体的に満足度がプラスのものが少なく3分の1程度に留まっています。

重要度の高いものでは、「防犯体制の整備と防犯意識の普及」が1.51ポイント、「休日・夜間などの救急医療体制」が1.48ポイント、「湖や川をきれいにする対策」が1.47ポイント、「通学路、歩道などの交通安全対策」が1.45ポイント、「救急・消防体制」が1.44ポイントとなっており、安全安心への関心が高いことが伺えます。

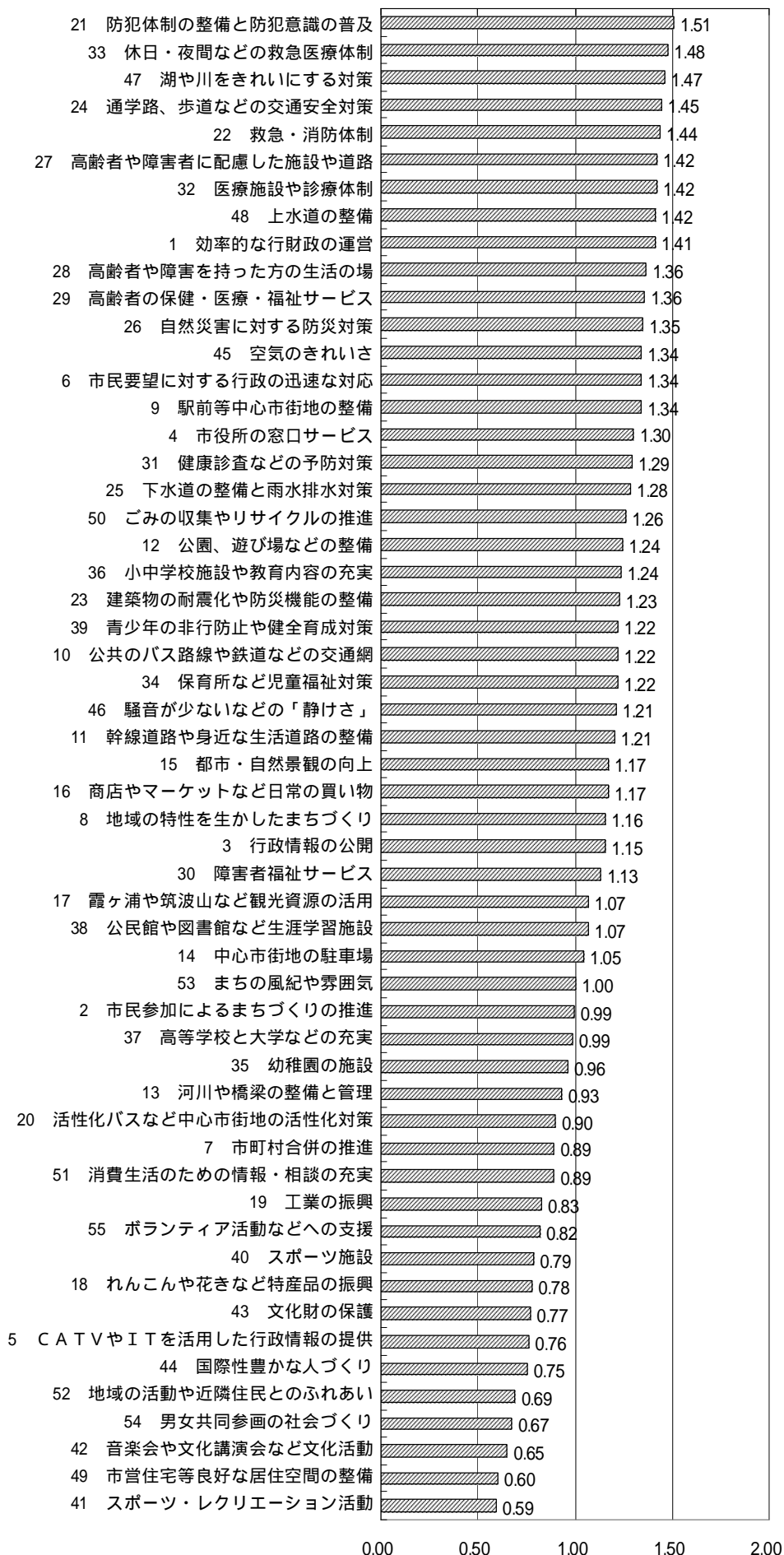
また重要度のポイントが低いものには、「スポーツ・レクリエーション活動」「市営住宅等良好な居住空間の整備」「音楽会や文化講演会などの文化活動」「男女共同参画の社会づくり」「地域の活動や近隣住民とのふれあい」などがあげられている。

施策の項目の番号は、アンケート調査票の通し番号です。

施策の満足度（全体）



施策の重要度（全体）



施策の満足度【前回比較】

施策の満足度について、前回（平成 11 年）調査と比較すると、31 項目中、前回よりも評価がよくなったのが 22 項目、横ばいが 1 項目、悪くなったのが 8 項目であり、全体的に評価が高まっています。

評価が高まったものとしては、「ごみの収集やリサイクルの推進」や「救急・消防体制」、「地域の活動や近隣住民とのふれあい」などがあり、また、評価はマイナスとなっていますが、前回より満足度が上がったものとして「高齢者や障害者に配慮した施設や道路」や「通学路、歩道などの交通安全対策」、「下水道の整備と雨水排水対策」などがあります。

平成 18 年調査は、全部で 55 項目を調査していますが、11 年調査の項目数が少なかったため、比較できたのは 31 項目です。

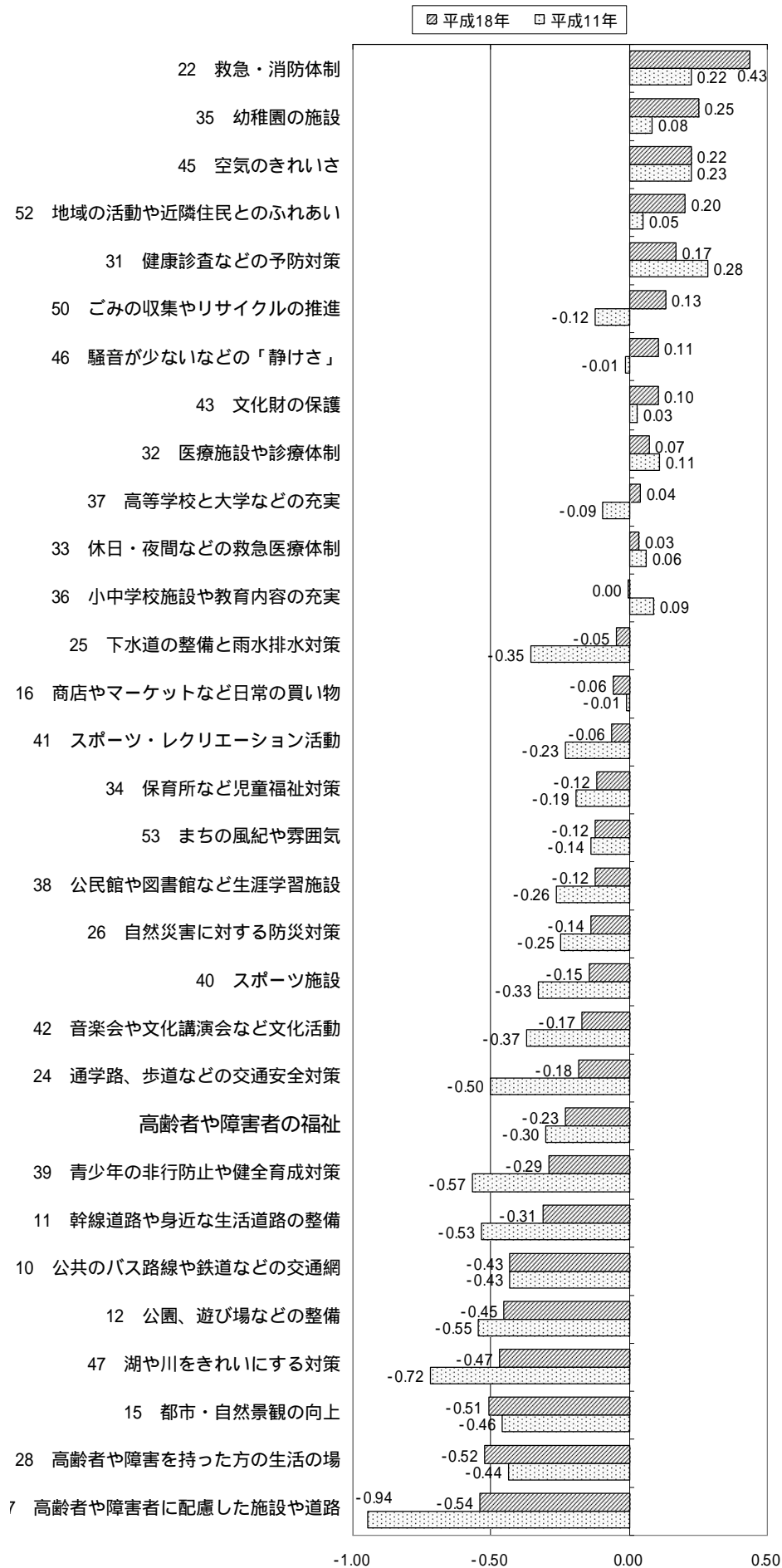
「高齢者や障害者の福祉」は、平成 18 年調査では「高齢者」と「障害者」を分けて聞いていますが、平均値を使って比較しました。

数値は、加重平均値である。（次ページ＜加重平均の算出＞方法参照。）

加重平均値の前回比較（ プラス、 マイナス、 - 横ばい）

	平成18年調査	平成11年調査	差	
22 救急・消防体制	0.43	0.22	0.21	
35 幼稚園の施設	0.25	0.08	0.17	
45 空気のきれいさ	0.22	0.23	-0.01	
52 地域の活動や近隣住民とのふれあい	0.20	0.05	0.15	
31 健康診査などの予防対策	0.17	0.28	-0.11	
50 ごみの収集やリサイクルの推進	0.13	-0.12	0.25	
46 騒音が少ないなどの「静けさ」	0.11	-0.01	0.12	
43 文化財の保護	0.10	0.03	0.07	
32 医療施設や診療体制	0.07	0.11	-0.04	
37 高等学校と大学などの充実	0.04	-0.09	0.13	
33 休日・夜間などの救急医療体制	0.03	0.06	-0.03	
36 小中学校施設や教育内容の充実	0.00	0.09	-0.09	
25 下水道の整備と雨水排水対策	-0.05	-0.35	0.30	
16 商店やマーケットなど日常の買い物	-0.06	-0.01	-0.05	
41 スポーツ・レクリエーション活動	-0.06	-0.23	0.17	
34 保育所など児童福祉対策	-0.12	-0.19	0.07	
53 まちの風紀や雰囲気	-0.12	-0.14	0.02	
38 公民館や図書館など生涯学習施設	-0.12	-0.26	0.14	
26 自然災害に対する防災対策	-0.14	-0.25	0.11	
40 スポーツ施設	-0.15	-0.33	0.18	
42 音楽会や文化講演会など文化活動	-0.17	-0.37	0.20	
24 通学路、歩道などの交通安全対策	-0.18	-0.50	0.32	
高齢者や障害者の福祉	-0.23	-0.30	0.07	
39 青少年の非行防止や健全育成対策	-0.29	-0.57	0.28	
11 幹線道路や身近な生活道路の整備	-0.31	-0.53	0.22	
10 公共のバス路線や鉄道などの交通網	-0.43	-0.43	0.00	-
12 公園、遊び場などの整備	-0.45	-0.55	0.10	
47 湖や川をきれいにする対策	-0.47	-0.72	0.25	
15 都市・自然景観の向上	-0.51	-0.46	-0.05	
28 高齢者や障害者を持った方の生活の場	-0.52	-0.44	-0.08	
27 高齢者や障害者に配慮した施設や道路	-0.54	-0.94	0.40	

差は、「平成 18 年調査 - 平成 11 年調査」である。



地区別満足度・重要度

地区別満足度上位5位

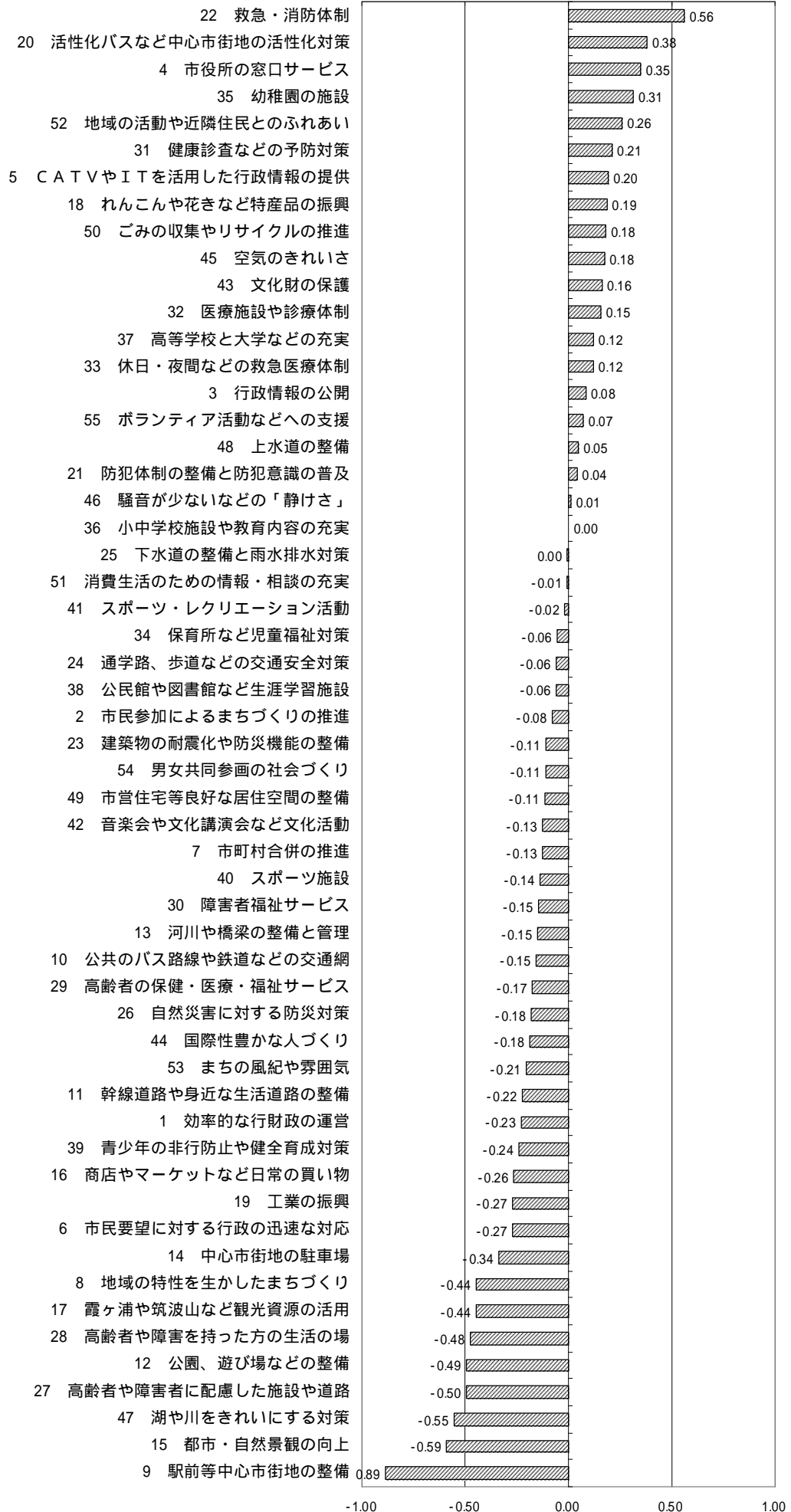
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	22 救急・消防体制	20 活性化バスなど中心市街地の活性化対策	4 市役所の窓口サービス	35 幼稚園の施設	52 地域の活動や近隣住民とのふれあい
二中地区	22 救急・消防体制	4 市役所の窓口サービス	52 地域の活動や近隣住民とのふれあい	35 幼稚園の施設 18 れんこんや花きなど特産品の振興	
三中地区	22 救急・消防体制	4 市役所の窓口サービス	18 れんこんや花きなど特産品の振興	45 空気のきれいさ	52 地域の活動や近隣住民とのふれあい
四中地区	22 救急・消防体制	4 市役所の窓口サービス	45 空気のきれいさ 20 活性化バスなど中心市街地の活性化対策		35 幼稚園の施設
五中地区	22 救急・消防体制	16 商店やマーケットなど日常の買い物	18 れんこんや花きなど特産品の振興	45 空気のきれいさ	35 幼稚園の施設
六中地区	22 救急・消防体制 4 市役所の窓口サービス 45 空気のきれいさ			35 幼稚園の施設	31 健康診査などの予防対策
都和中地区	22 救急・消防体制	35 幼稚園の施設	50 ごみの収集やリサイクルの推進	52 地域の活動や近隣住民とのふれあい	4 市役所の窓口サービス
新治中地区	45 空気のきれいさ	46 騒音が少ないなどの「静けさ」	48 上水道の整備	22 救急・消防体制 35 幼稚園の施設	

地区別重要度上位5位

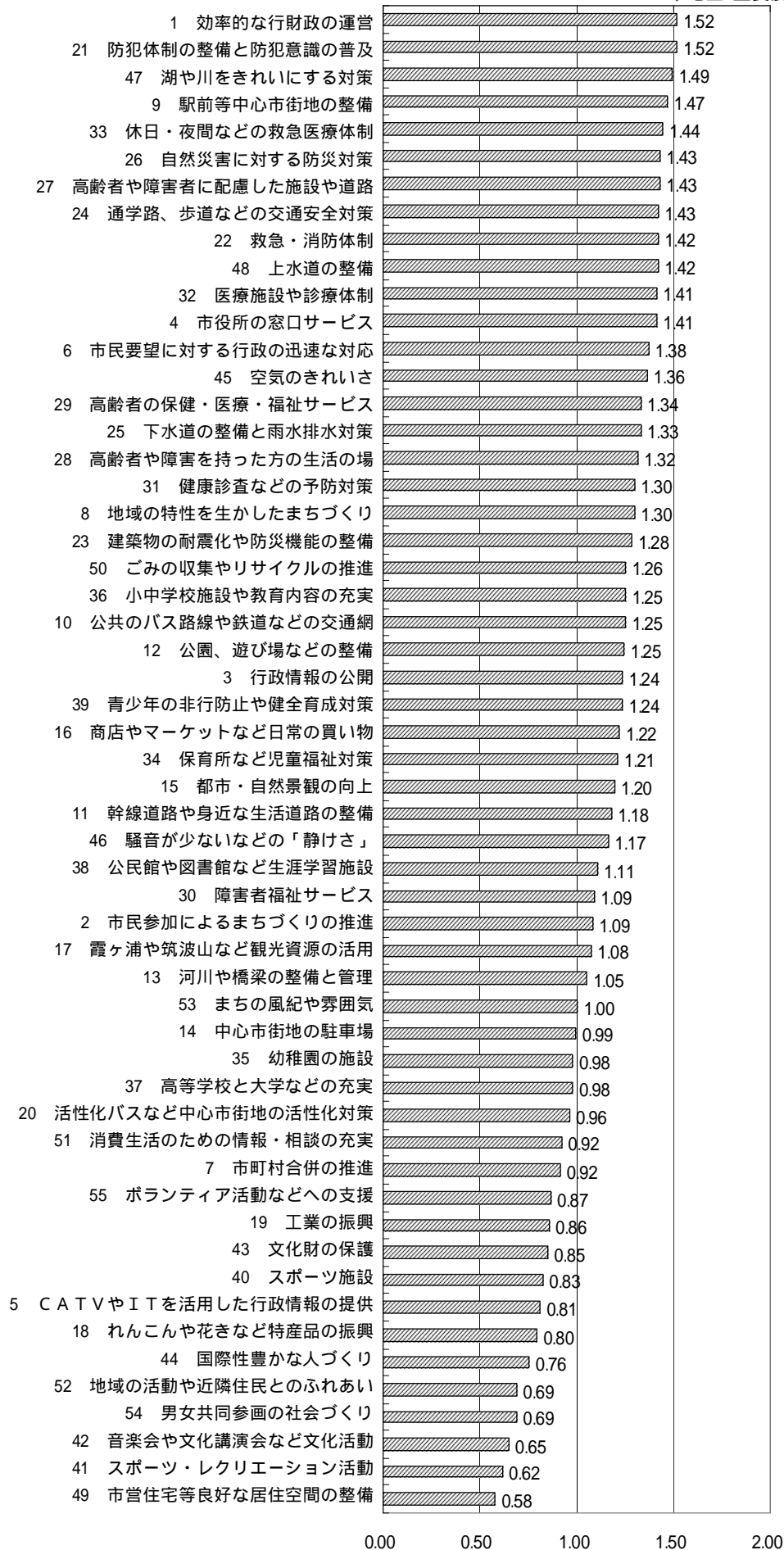
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	1 効率的な行財政の運営	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	47 湖や川をきれいにする対策	9 駅前等中心市街地の整備	33 休日・夜間などの救急医療体制
二中地区	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	33 休日・夜間などの救急医療体制	22 救急・消防体制	27 高齢者や障害者に配慮した施設や道路 9 駅前等中心市街地の整備	
三中地区	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	33 休日・夜間などの救急医療体制	24 通学路、歩道などの交通安全対策	47 湖や川をきれいにする対策	27 高齢者や障害者に配慮した施設や道路
四中地区	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	47 湖や川をきれいにする対策	33 休日・夜間などの救急医療体制	1 効率的な行財政の運営	32 医療施設や診療体制 9 駅前等中心市街地の整備
五中地区	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	24 通学路、歩道などの交通安全対策	33 休日・夜間などの救急医療体制	48 上水道の整備 32 医療施設や診療体制	
六中地区	47 湖や川をきれいにする対策 48 上水道の整備		21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	29 高齢者の保健・医療・福祉サービス 33 休日・夜間などの救急医療体制	
都和中地区	22 救急・消防体制 21 防犯体制の整備と防犯意識の普及		33 休日・夜間などの救急医療体制	24 通学路、歩道などの交通安全対策	48 上水道の整備
新治中地区	33 休日・夜間などの救急医療体制	1 効率的な行財政の運営	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及 22 救急・消防体制		32 医療施設や診療体制

< 一中地区 >

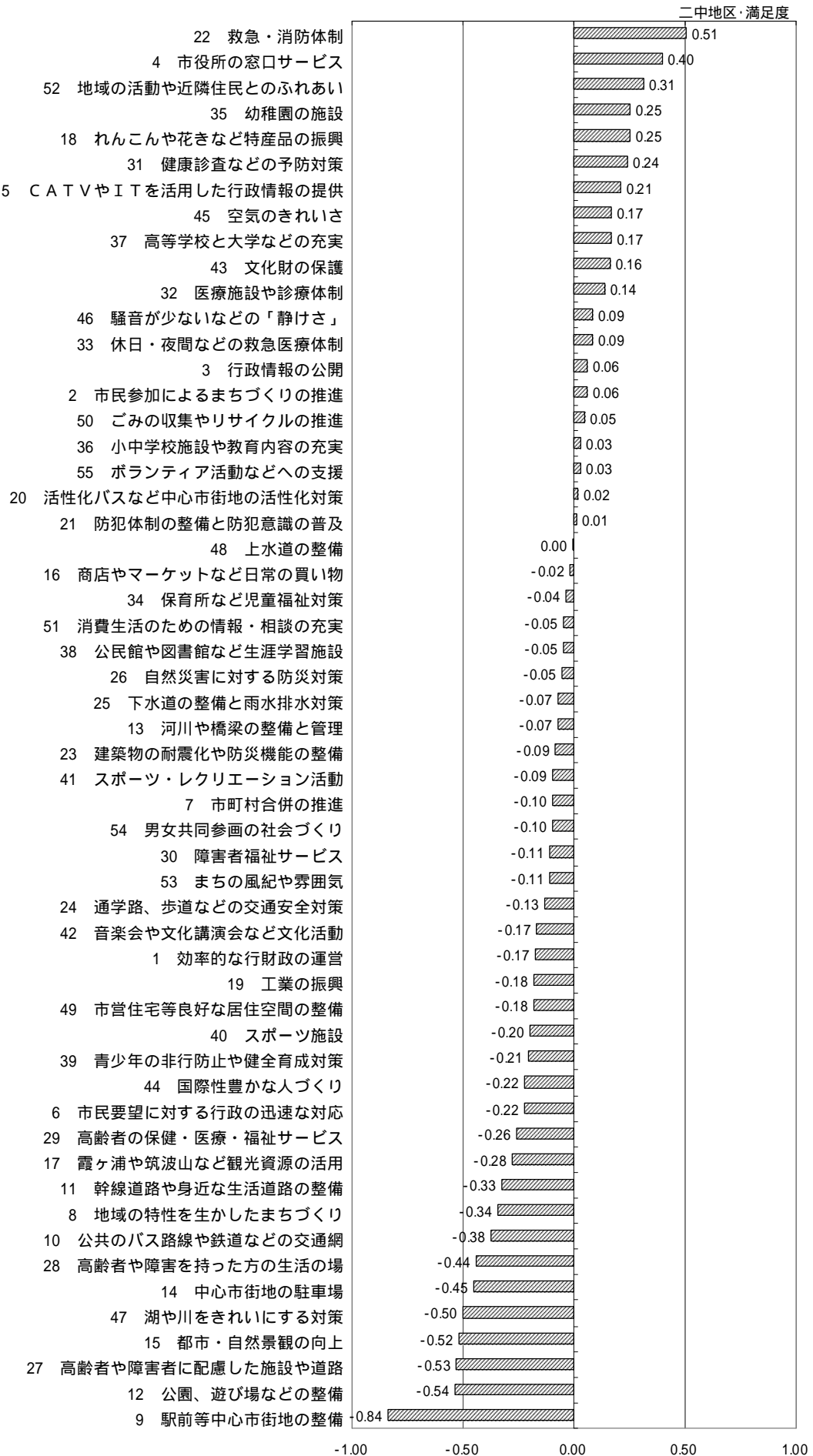
一中地区・満足度

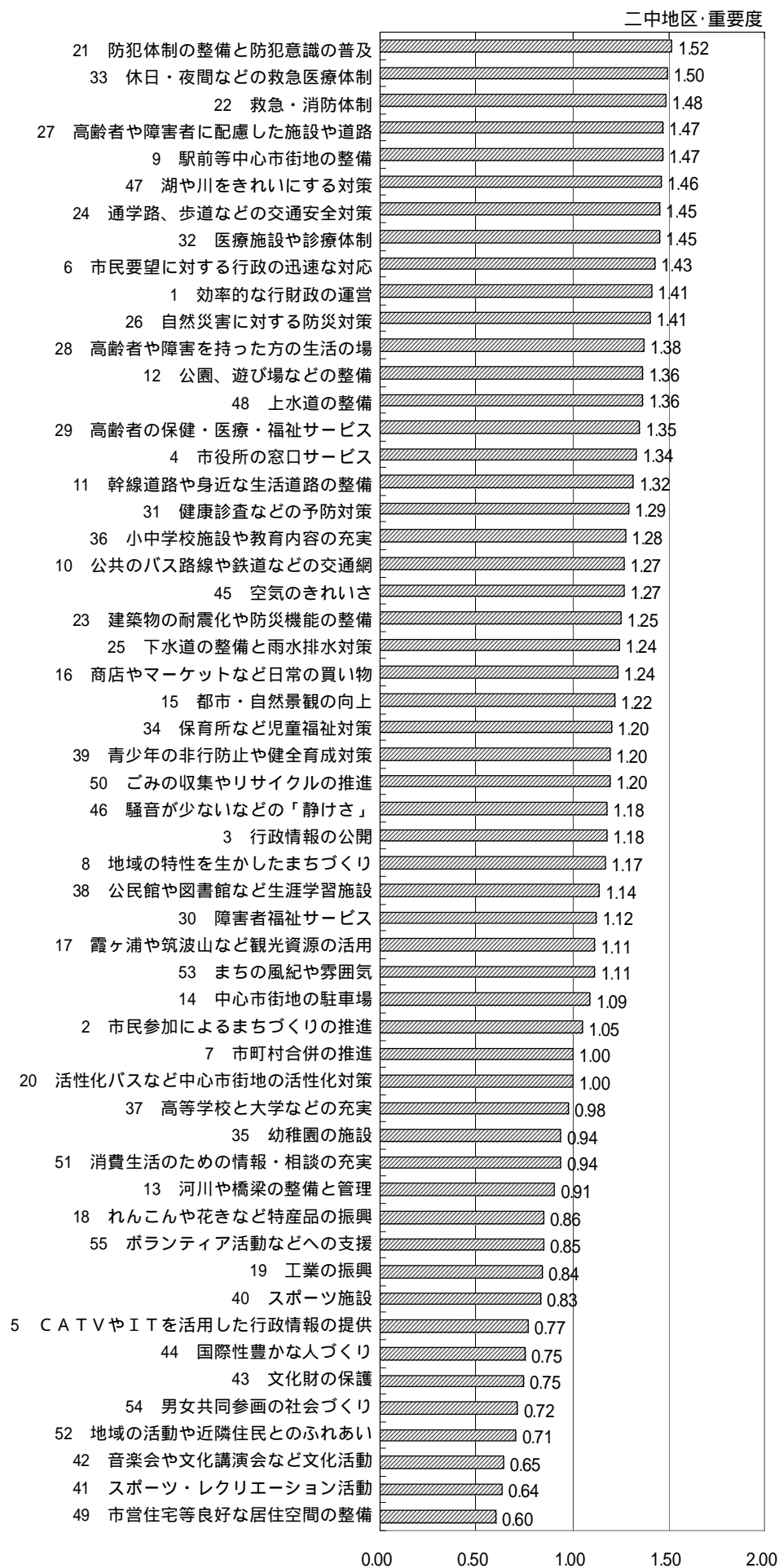


一中地区・重要度

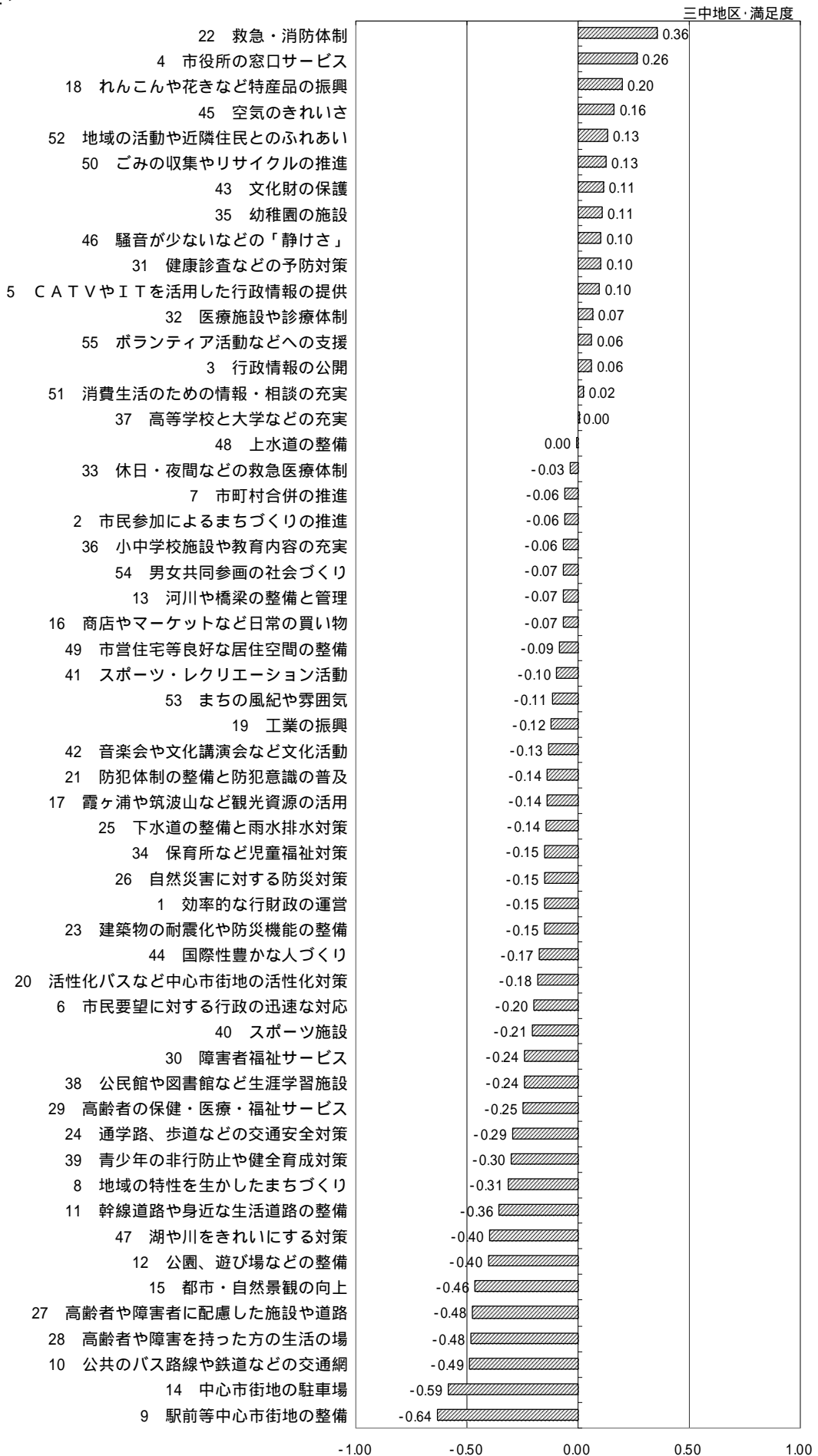


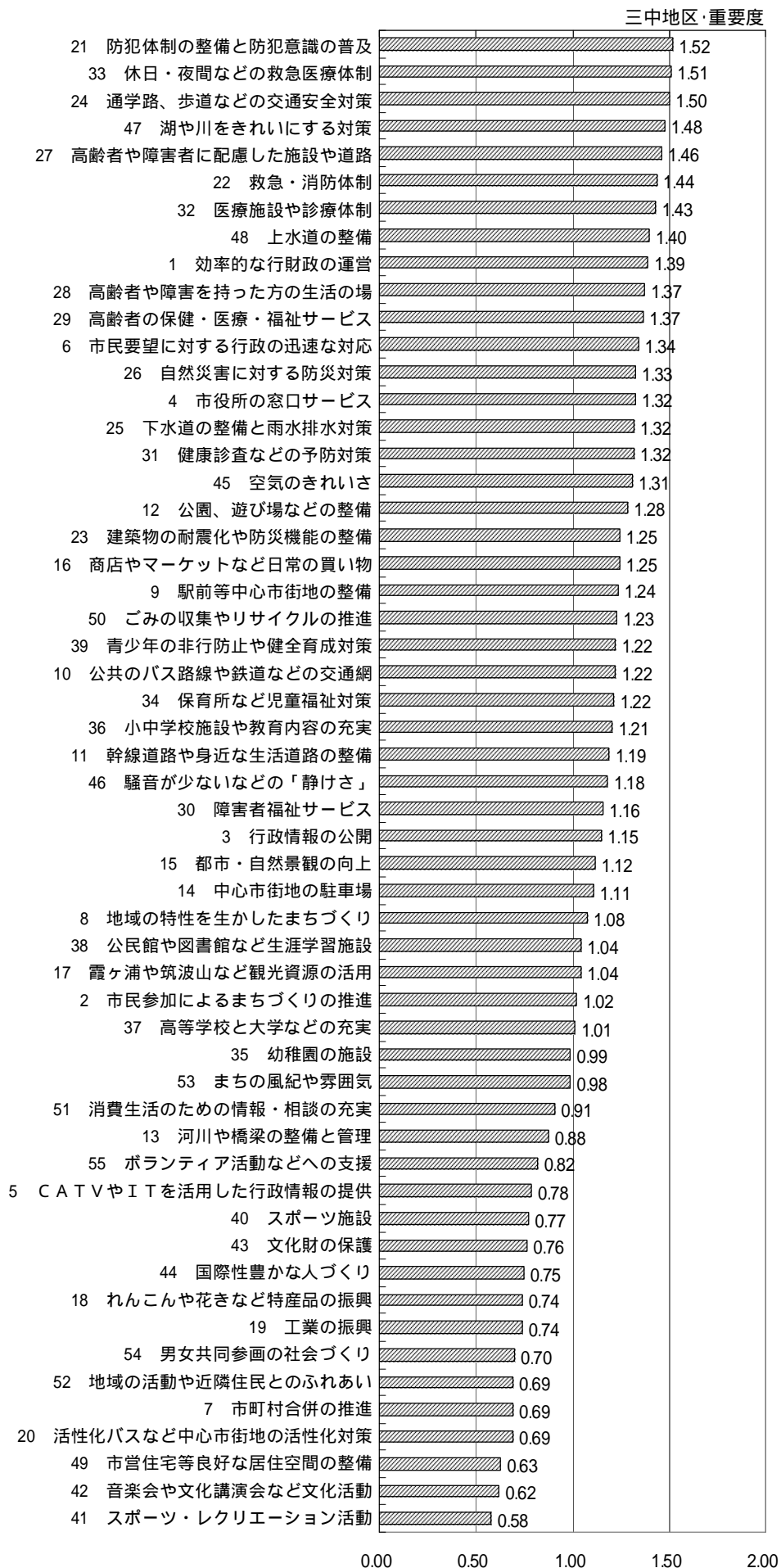
< 二中地区 >



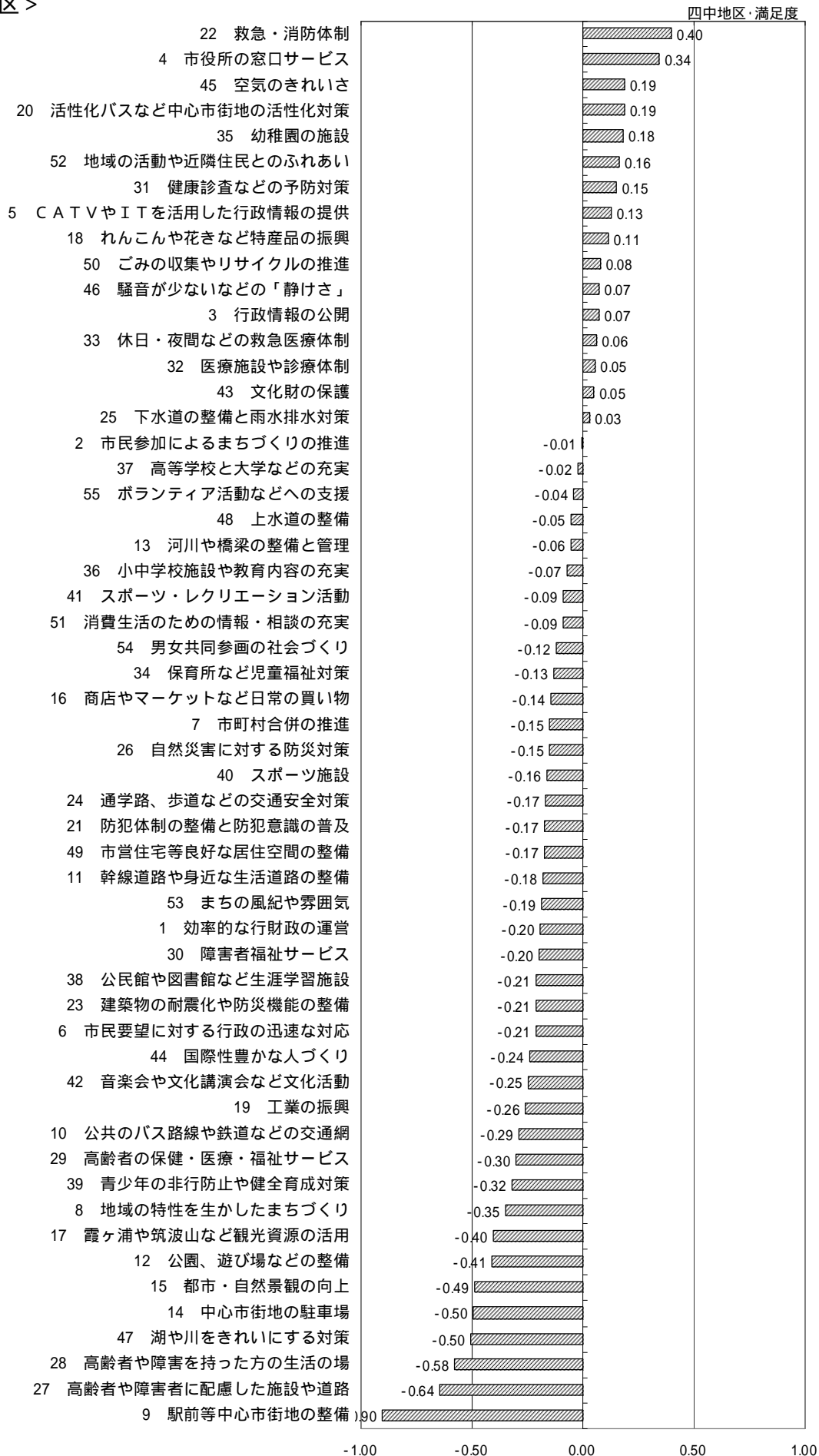


< 三中地区 >

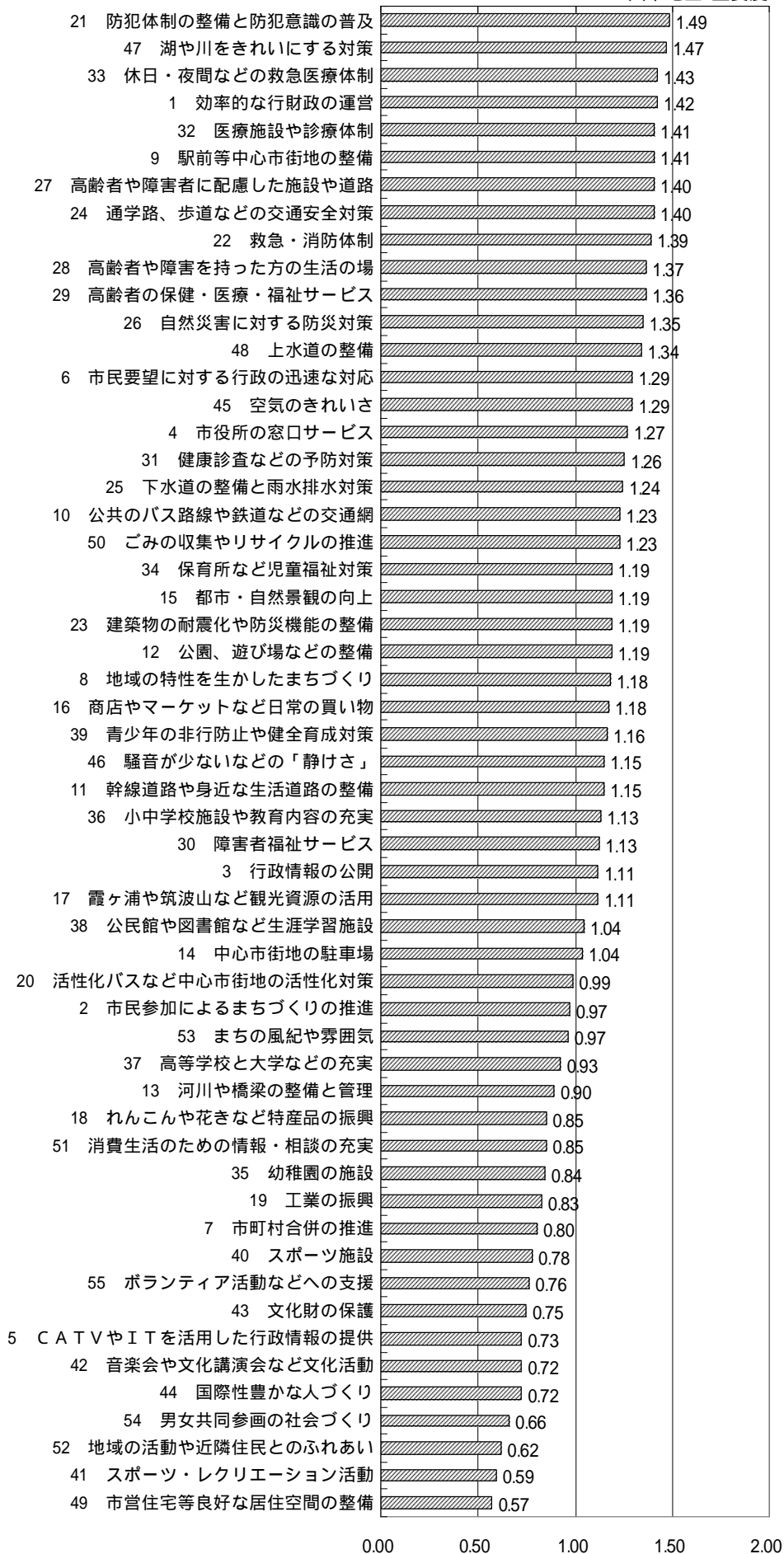




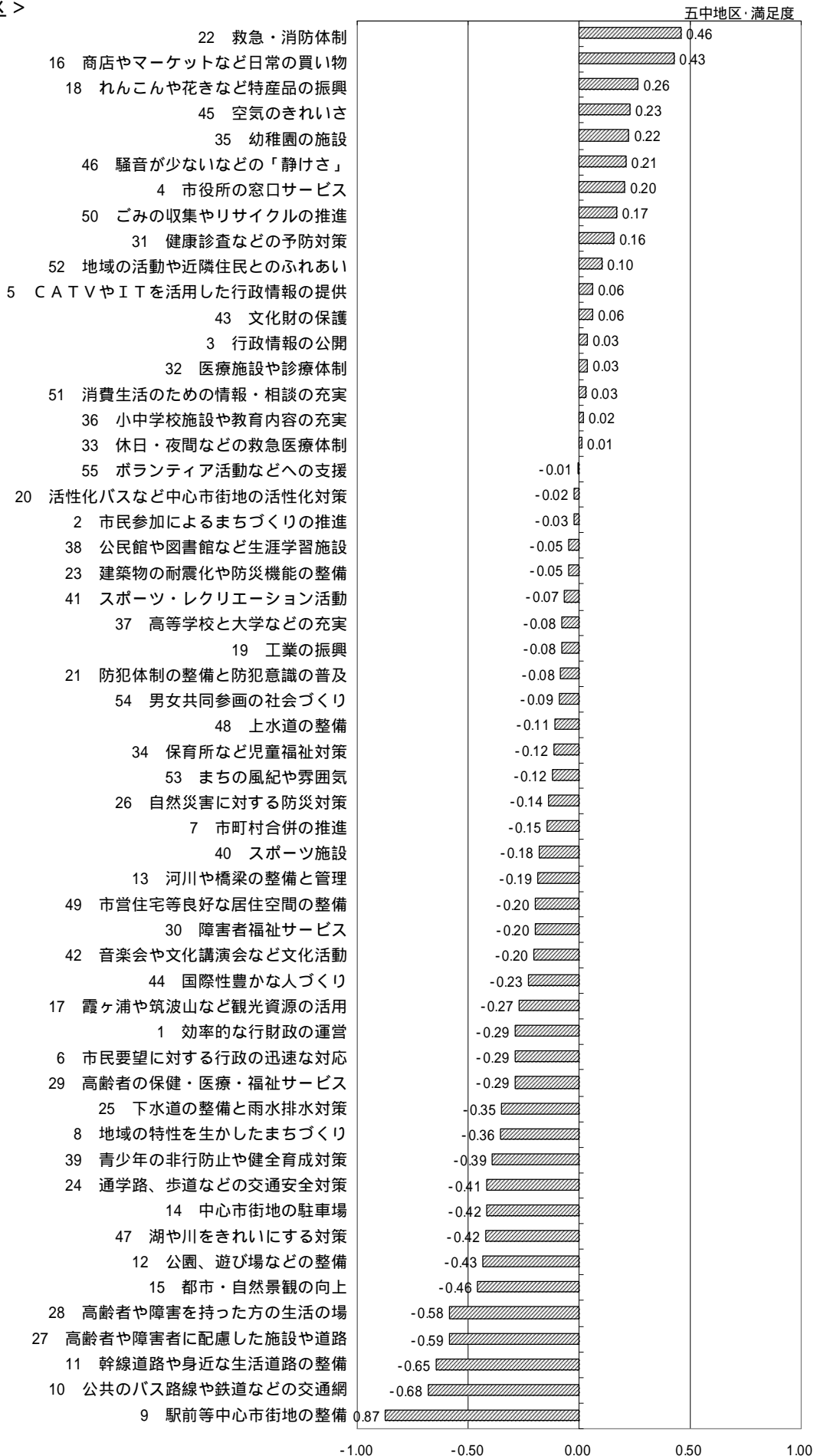
< 四中地区 >

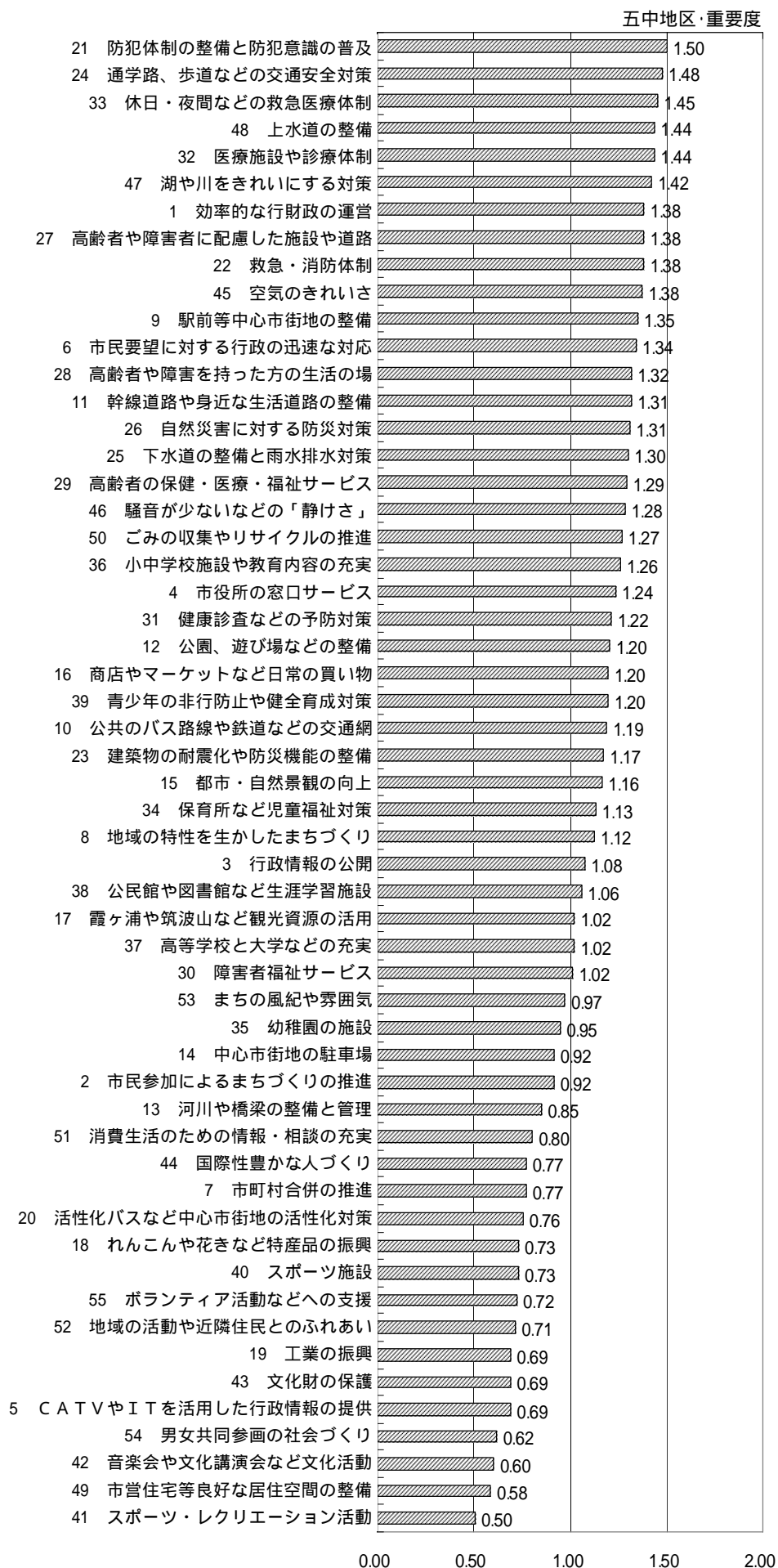


四中地区・重要度



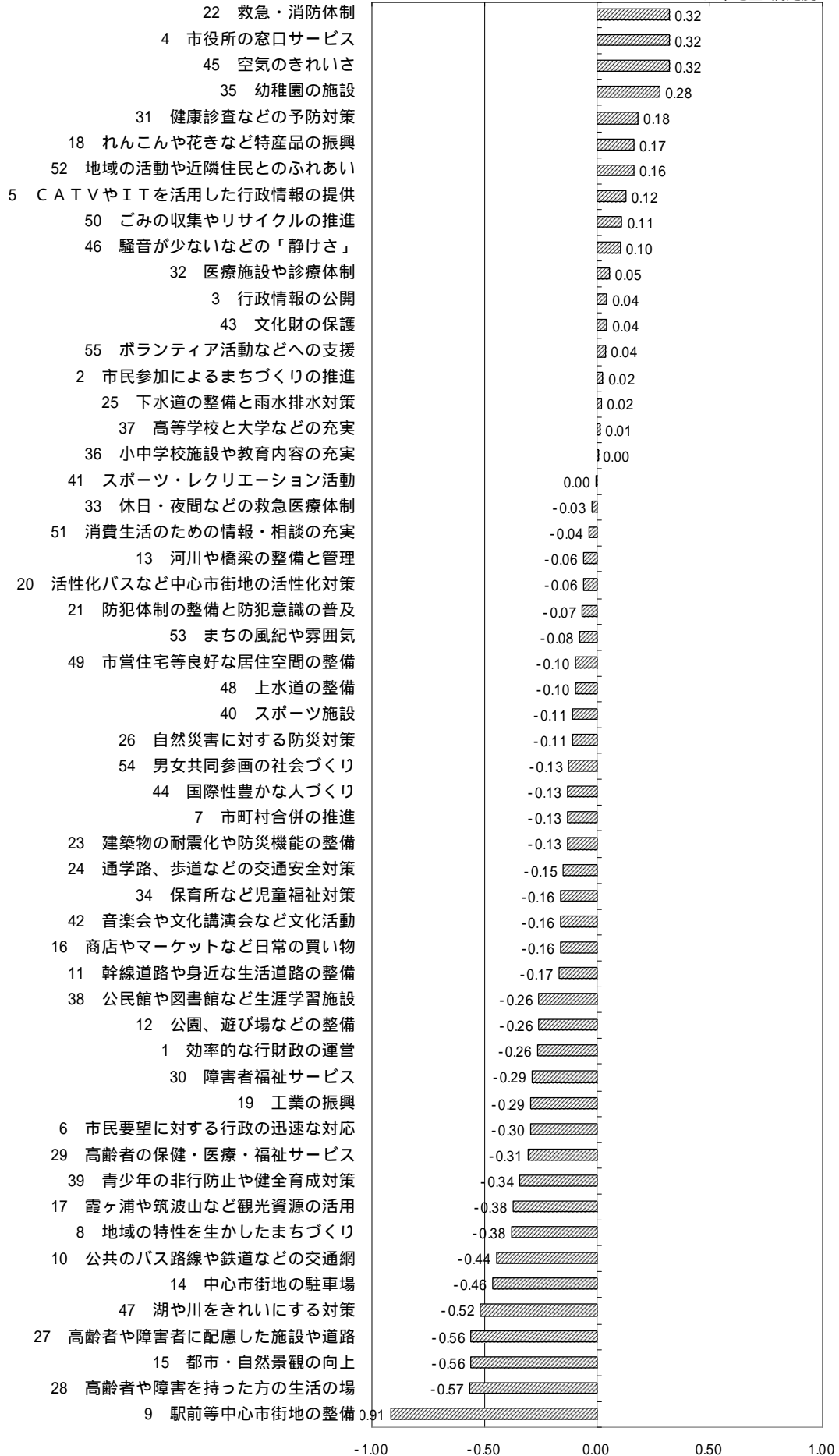
< 五中地区 >



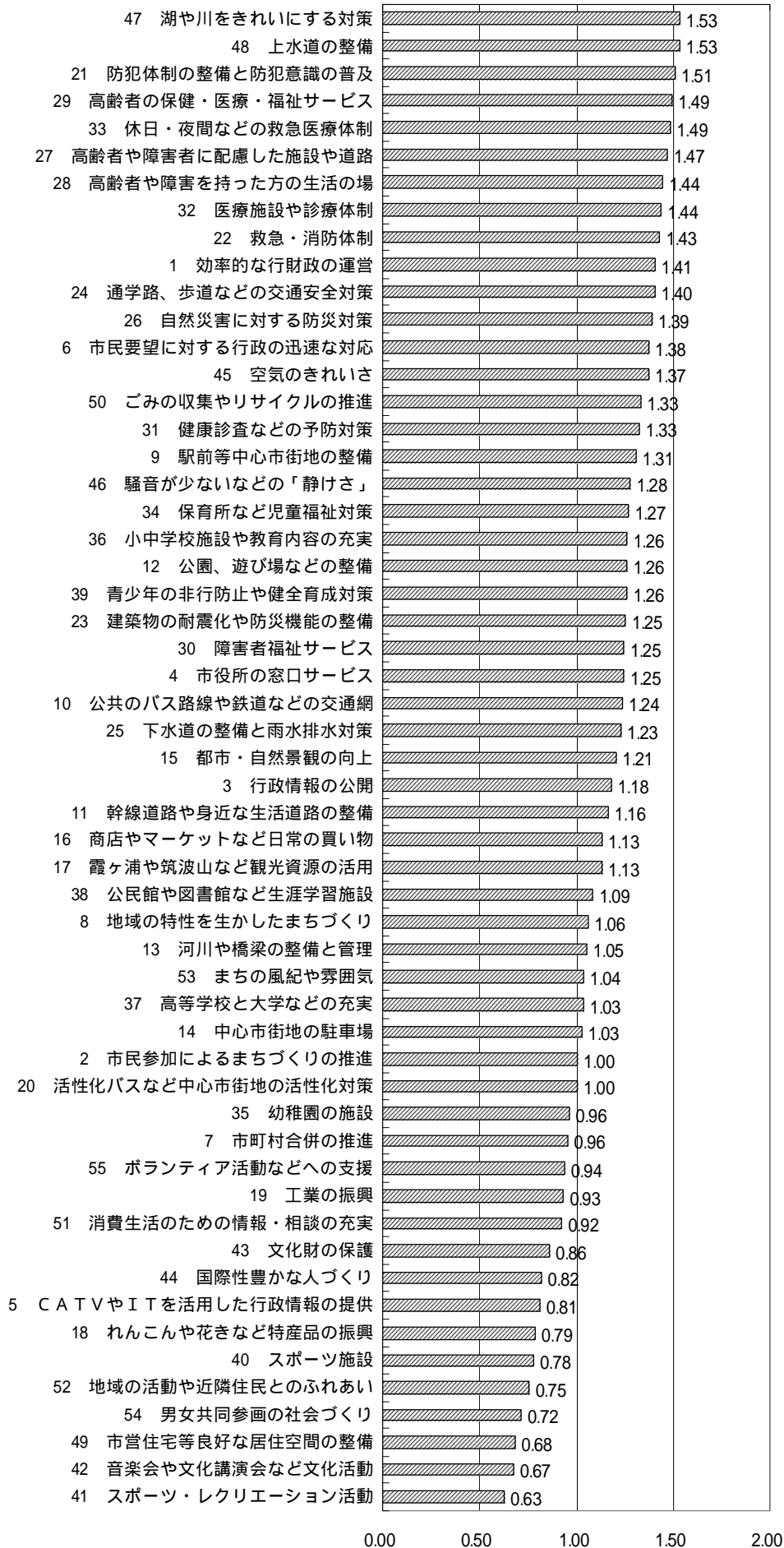


< 六中地区 >

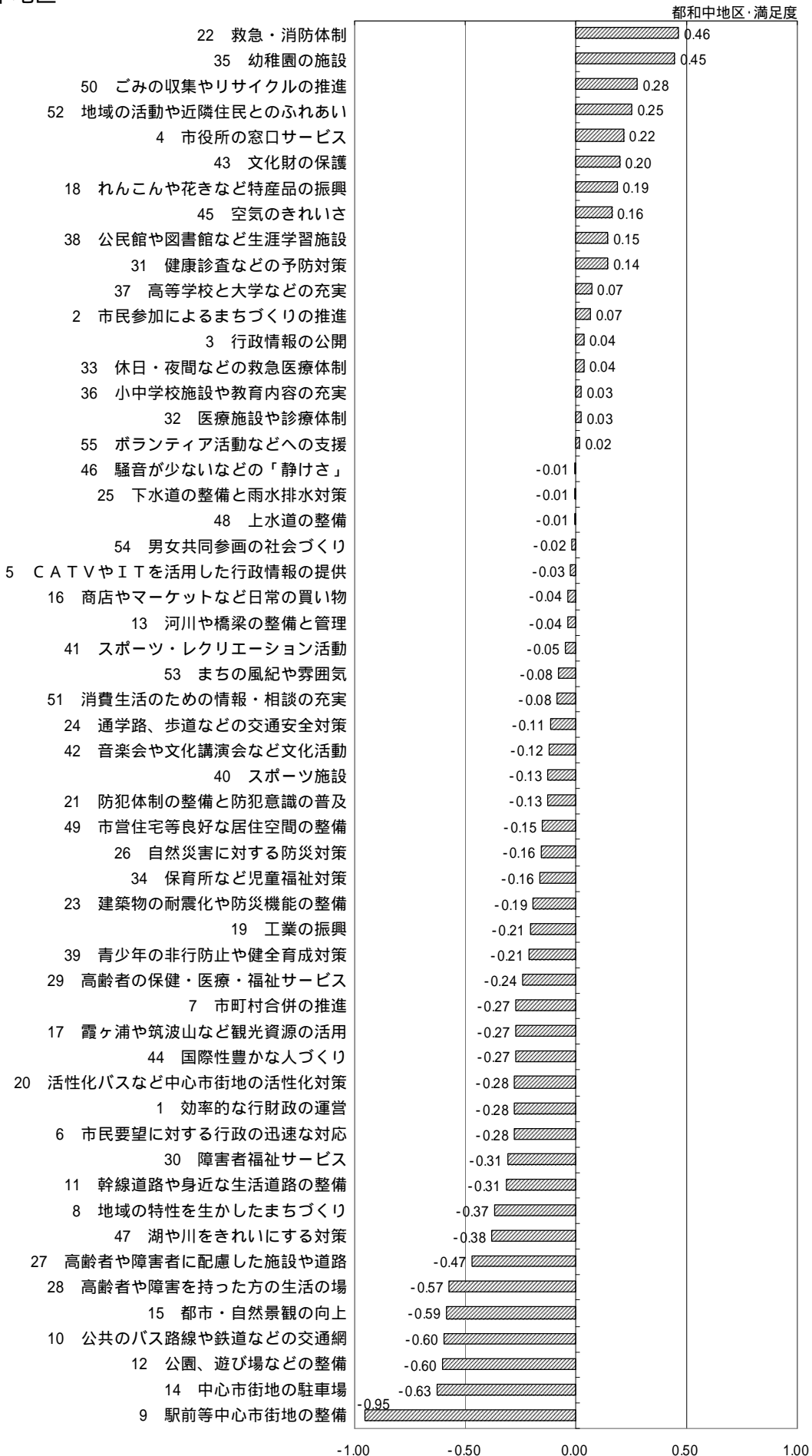
六中地区・満足度



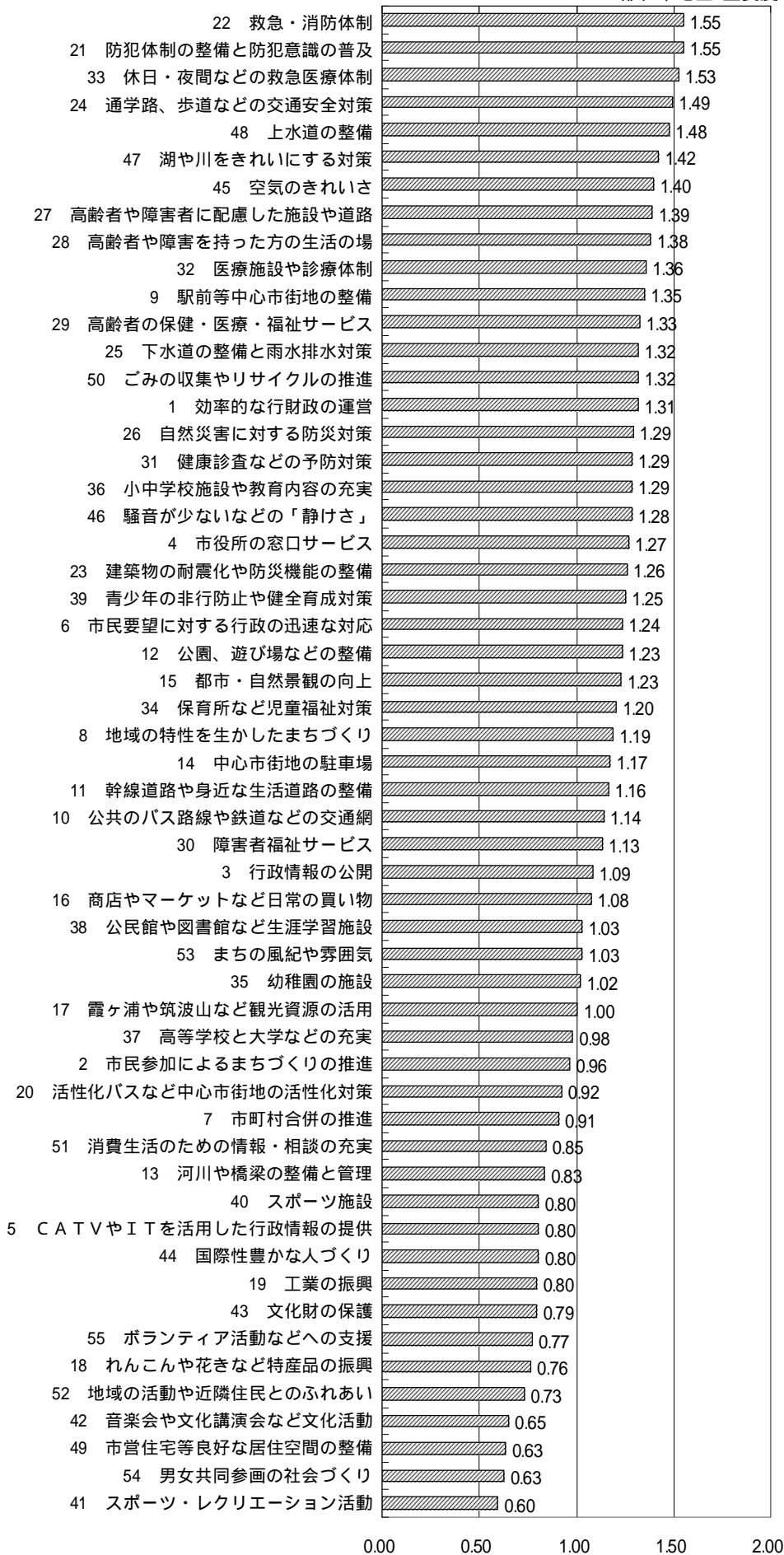
六中地区・重要度



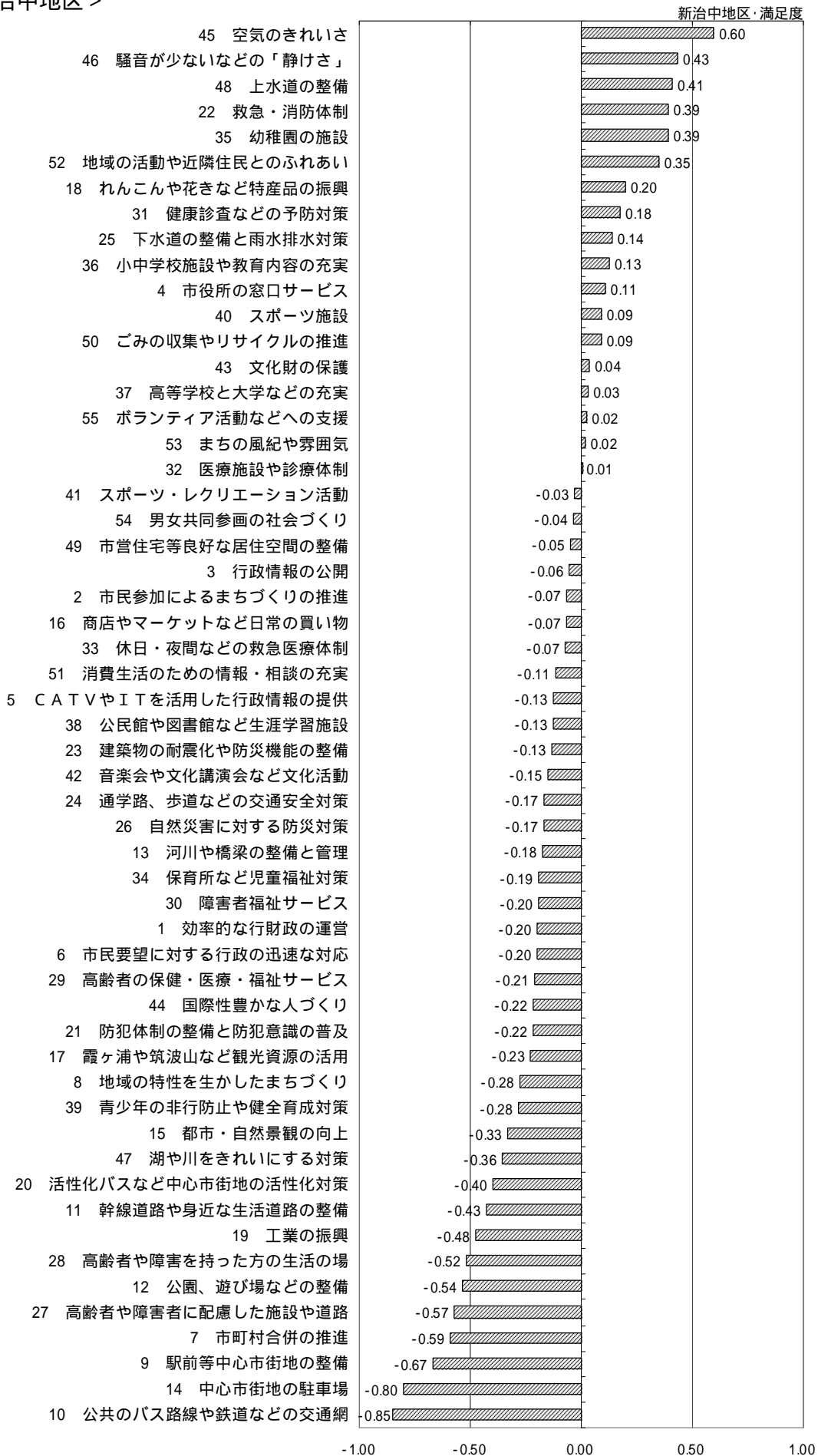
< 都和中地区 >



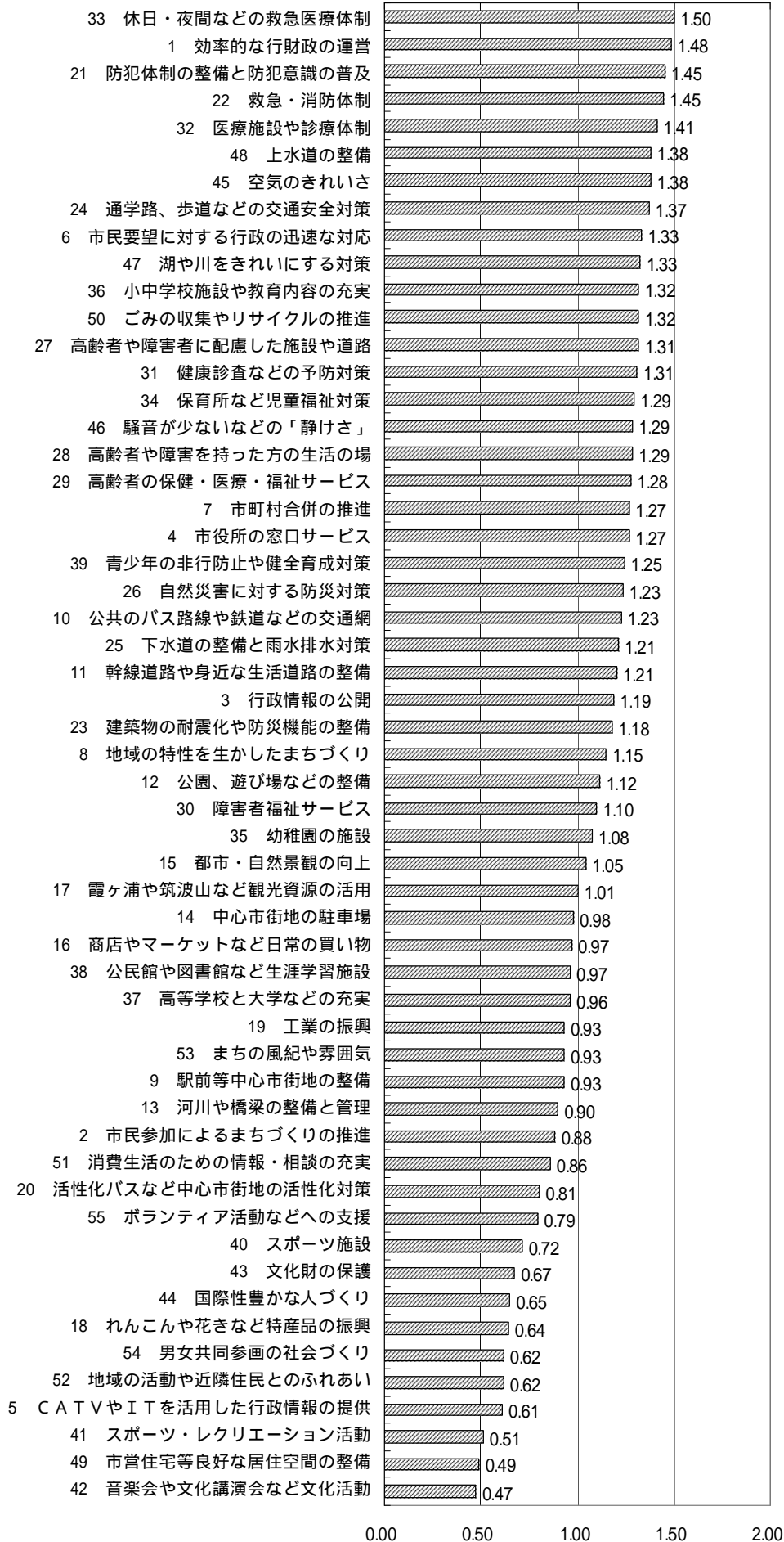
都和中地区・重要度



< 新治中地区 >



新治中地区・重要度



年齢別満足度・重要度

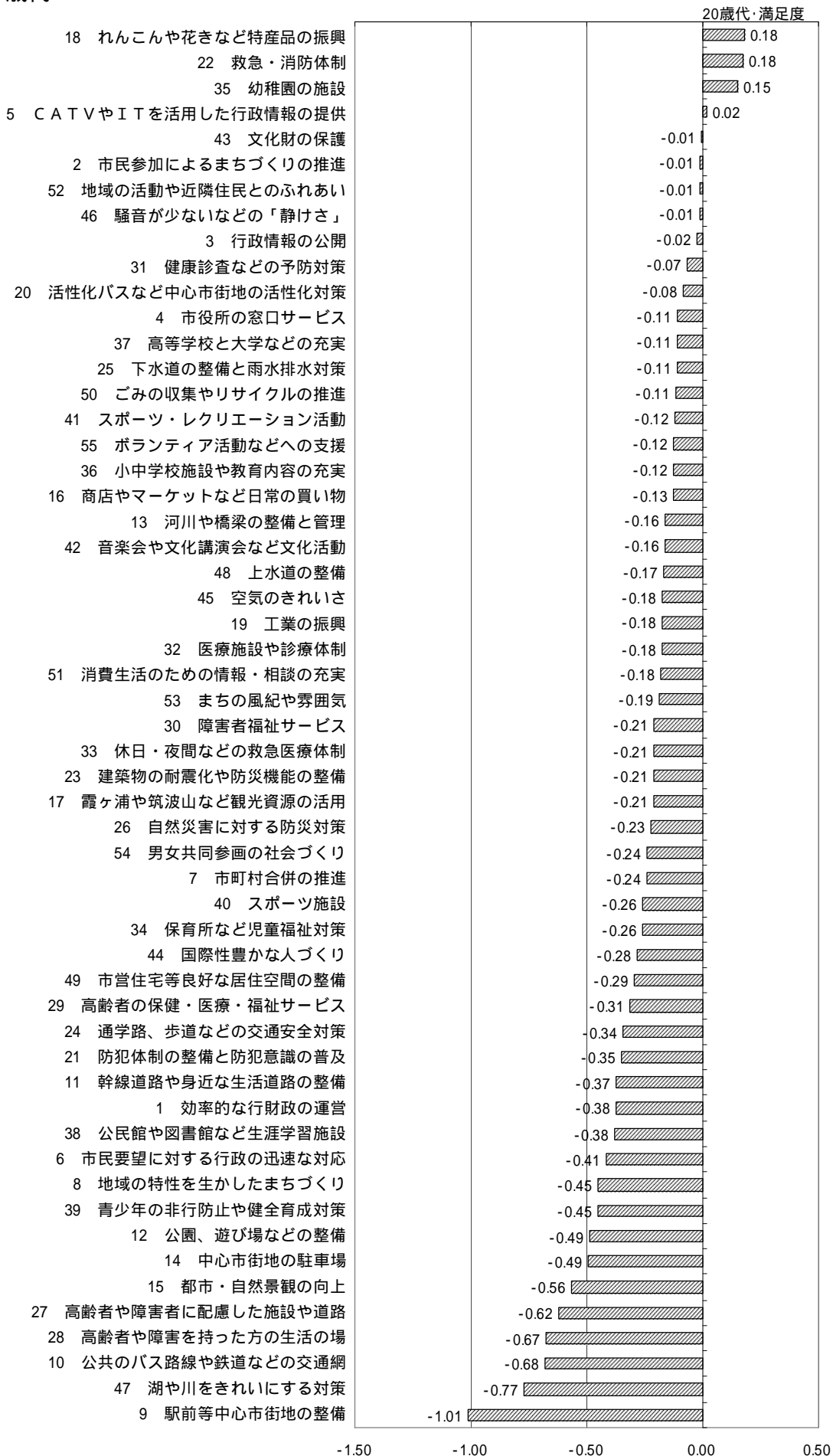
年齢別満足度上位5位

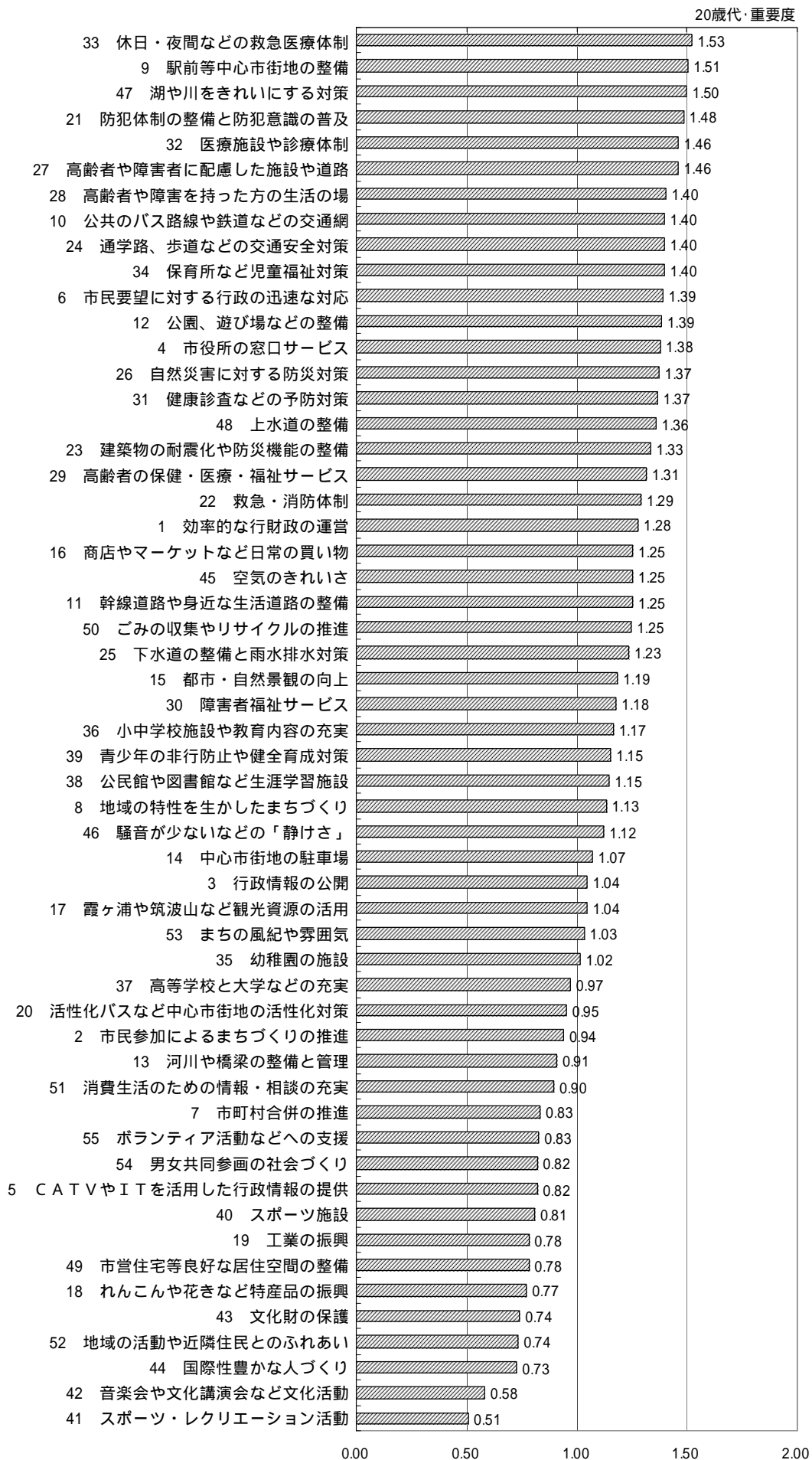
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	18 れんこんや花きなど特産品の振興	22 救急・消防体制	35 幼稚園の施設	5 C A T VやI Tを活用した行政情報の提供	43 文化財の保護
30歳代	5 C A T VやI Tを活用した行政情報の提供	52 地域の活動や近隣住民とのふれあい 22 救急・消防体制		18 れんこんや花きなど特産品の振興	43 文化財の保護
40歳代	22 救急・消防体制	45 空気のきれいさ	18 れんこんや花きなど特産品の振興	35 幼稚園の施設 52 地域の活動や近隣住民とのふれあい	
50歳代	22 救急・消防体制	45 空気のきれいさ 4 市役所の窓口サービス		35 幼稚園の施設	46 騒音が少ないなどの「静けさ」 52 地域の活動や近隣住民とのふれあい
60歳代	22 救急・消防体制	4 4 市役所の窓口サービス	45 空気のきれいさ	35 幼稚園の施設	31 健康診査などの予防対策 52 地域の活動や近隣住民とのふれあい
70歳以上	22 救急・消防体制	44 市役所の窓口サービス	ごみの収集やリサイクルの推進	35 幼稚園の施設	45 空気のきれいさ

年齢別重要度上位5位

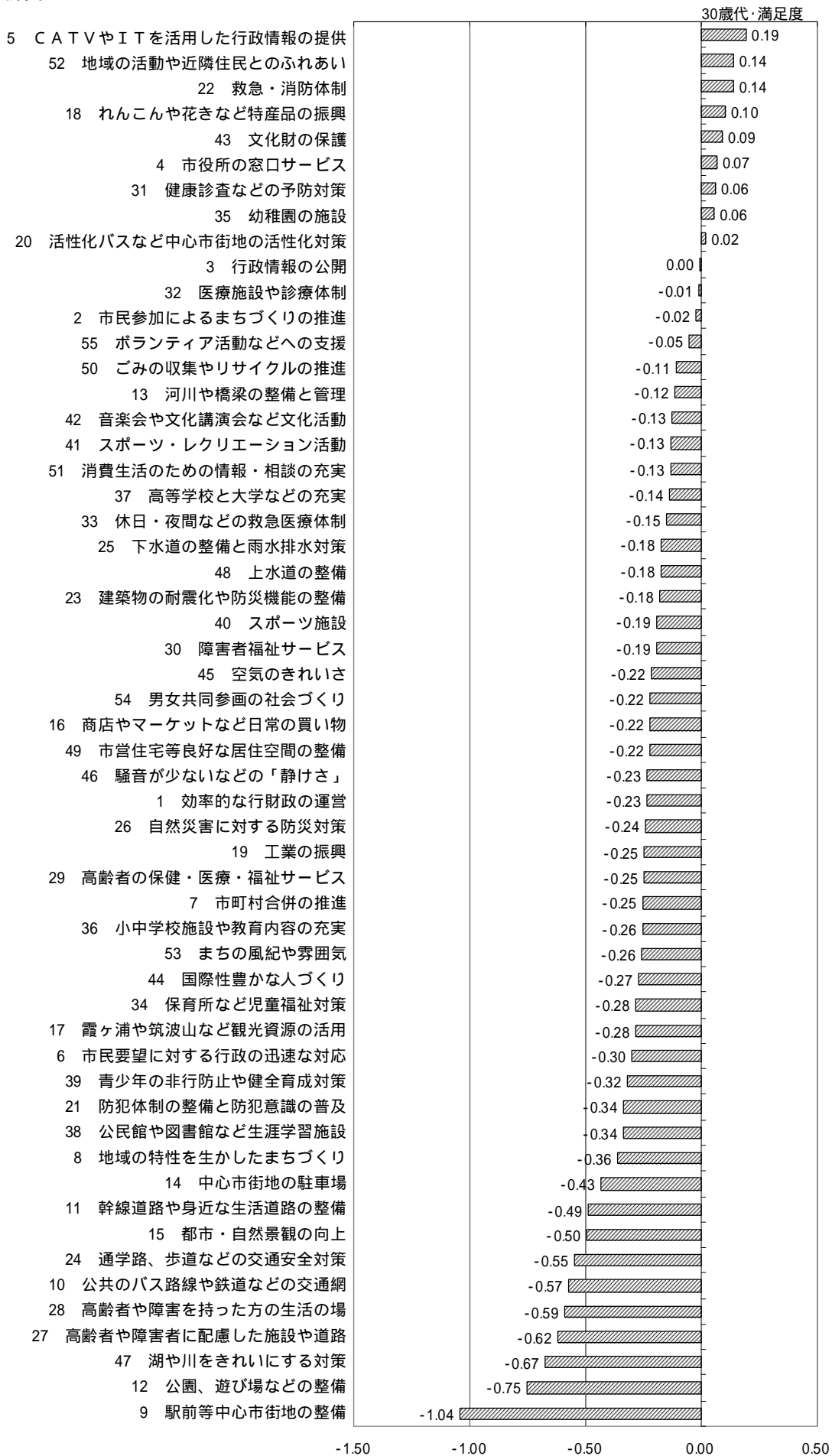
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	33 休日・夜間などの救急医療体制	9 駅前等中心市街地の整備	47 湖や川をきれいにする対策	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	32 医療施設や診療体制
30歳代	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	33 休日・夜間などの救急医療体制	24 通学路、歩道などの交通安全対策	9 駅前等中心市街地の整備 32 医療施設や診療体制	
40歳代	1 効率的な行財政の運営	47 湖や川をきれいにする対策	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	33 休日・夜間などの救急医療体制	24 通学路、歩道などの交通安全対策
50歳代	47 湖や川をきれいにする対策 1 効率的な行財政の運営		48 上水道の整備	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	27 高齢者や障害者に配慮した施設や道路
60歳代	48 上水道の整備 21 防犯体制の整備と防犯意識の普及		47 湖や川をきれいにする対策	22 救急・消防体制	29 高齢者の保健・医療・福祉サービス
70歳以上	22 救急・消防体制	21 防犯体制の整備と防犯意識の普及	33 休日・夜間などの救急医療体制	24 通学路、歩道などの交通安全対策	26 自然災害に対する防災対策 48 上水道の整備 29 高齢者の保健・医療・福祉サービス

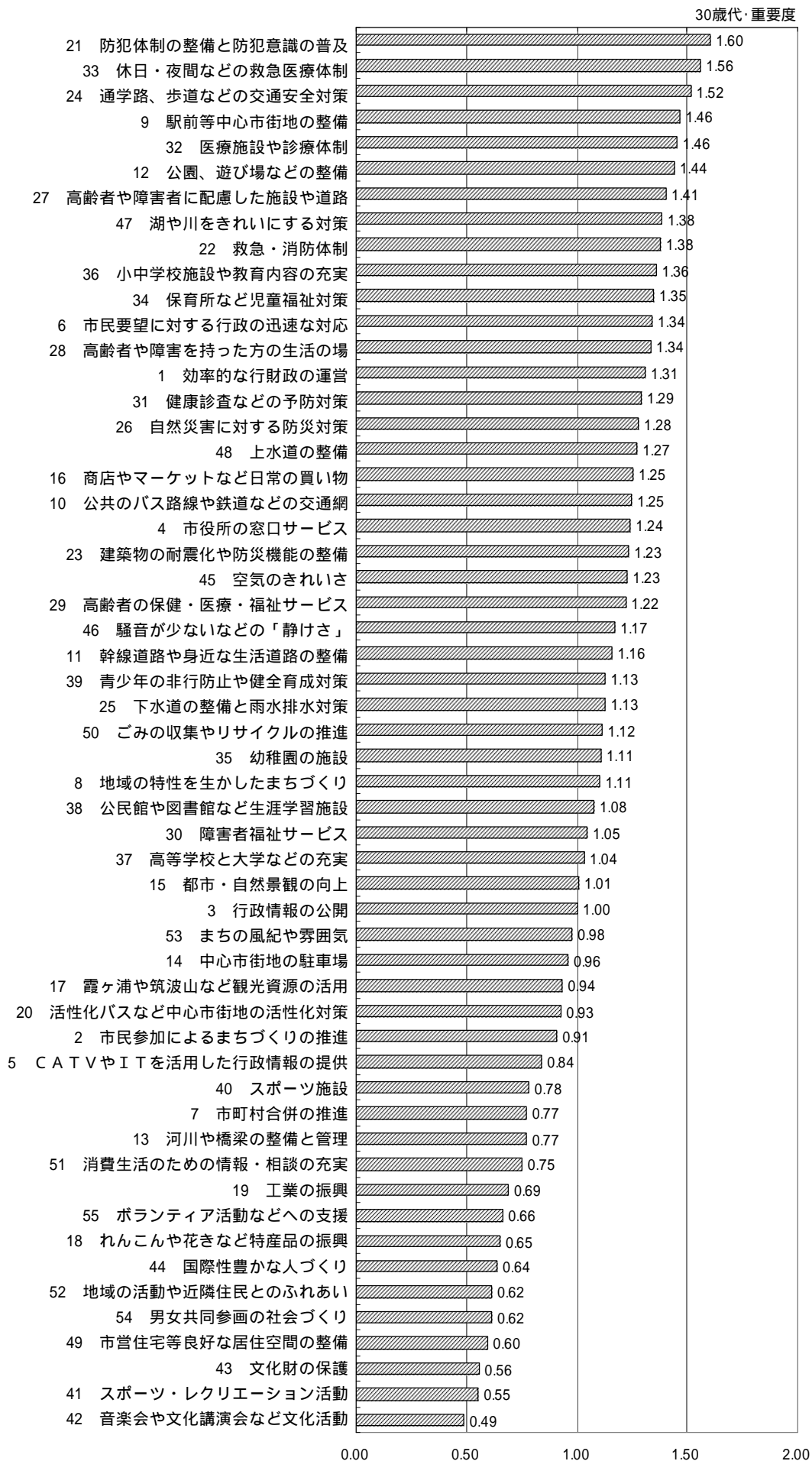
< 20 歳代 >



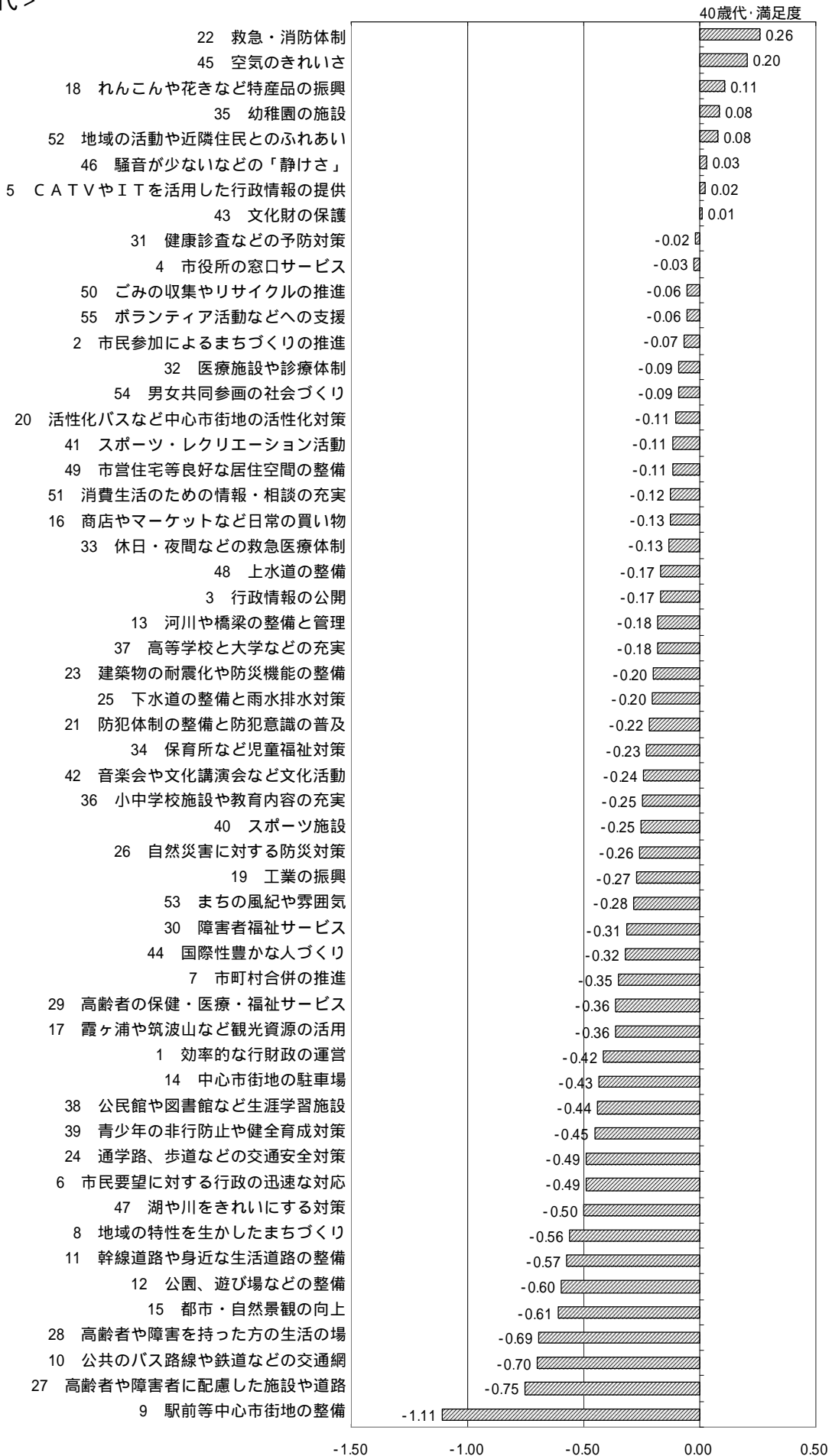


< 30 歳代 >

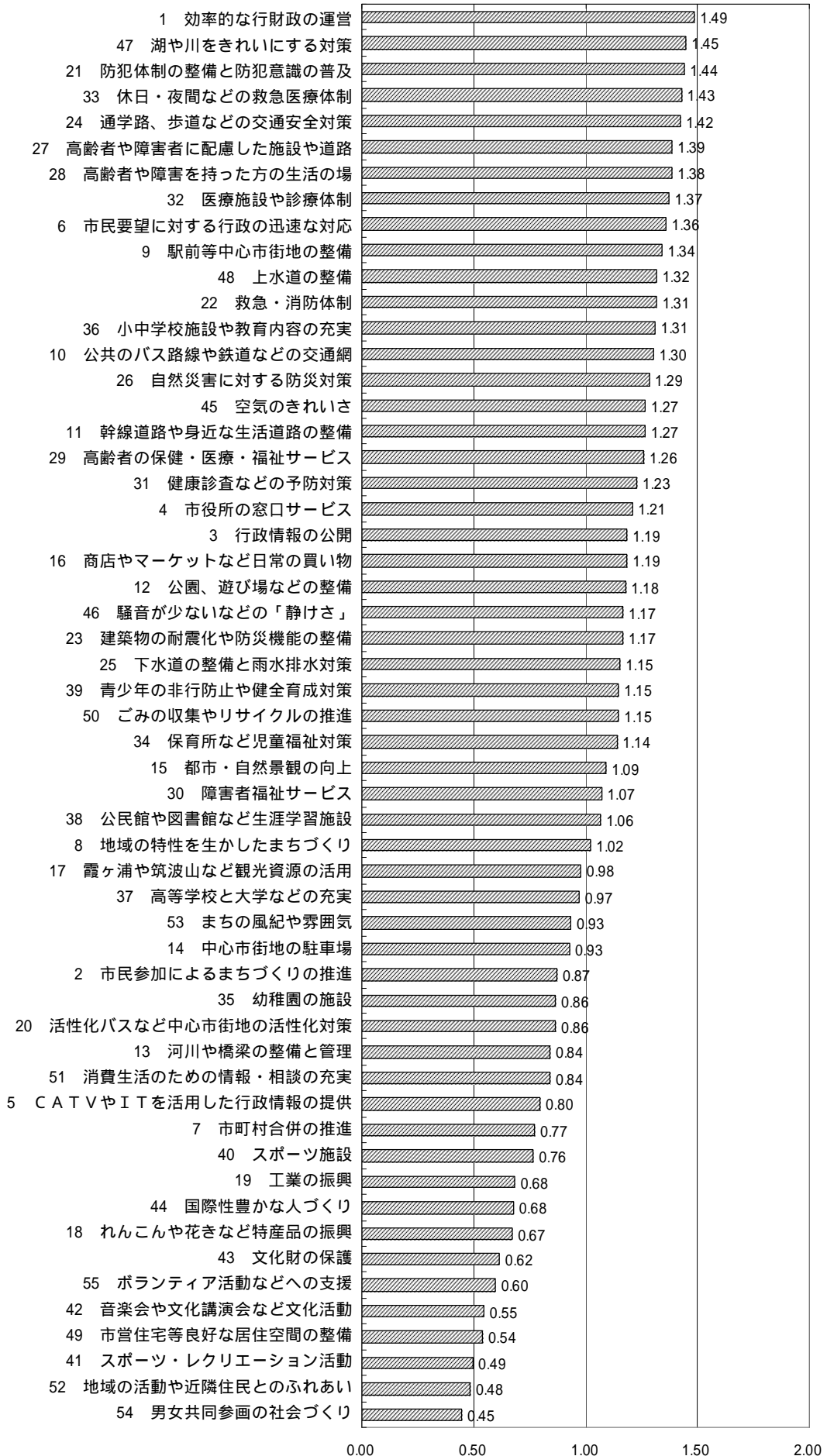




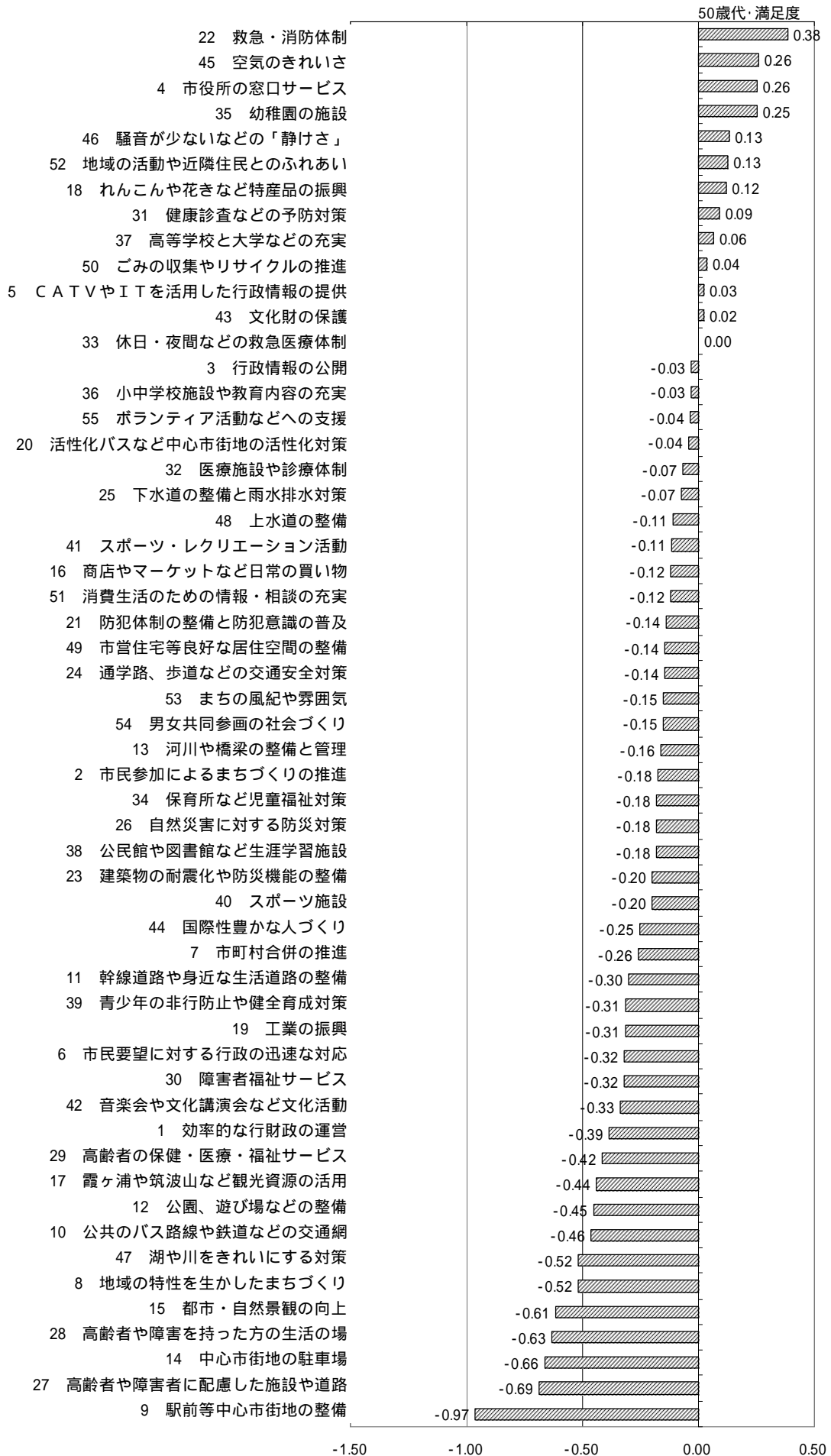
< 40 歳代 >



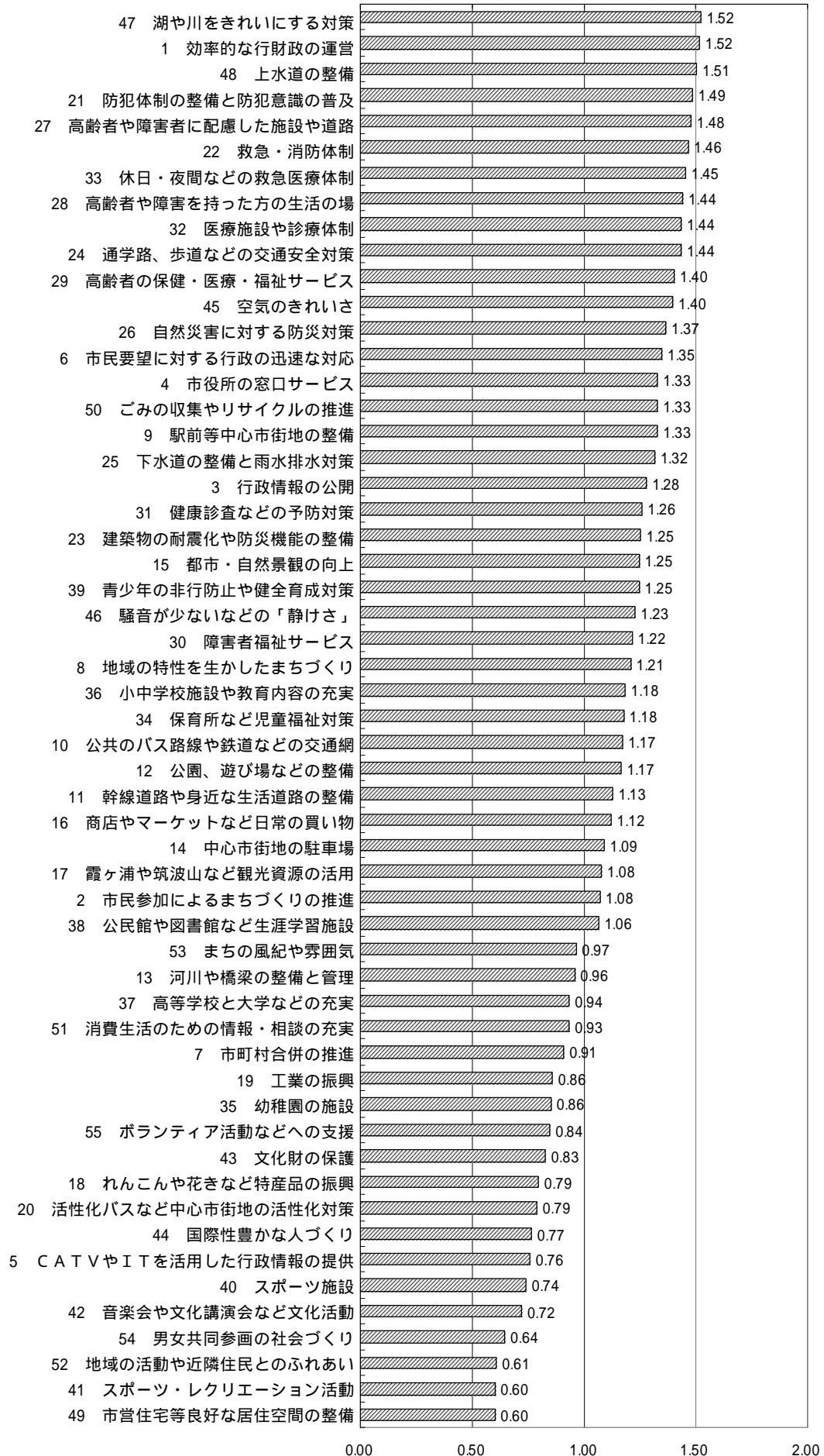
40歳代・重要度



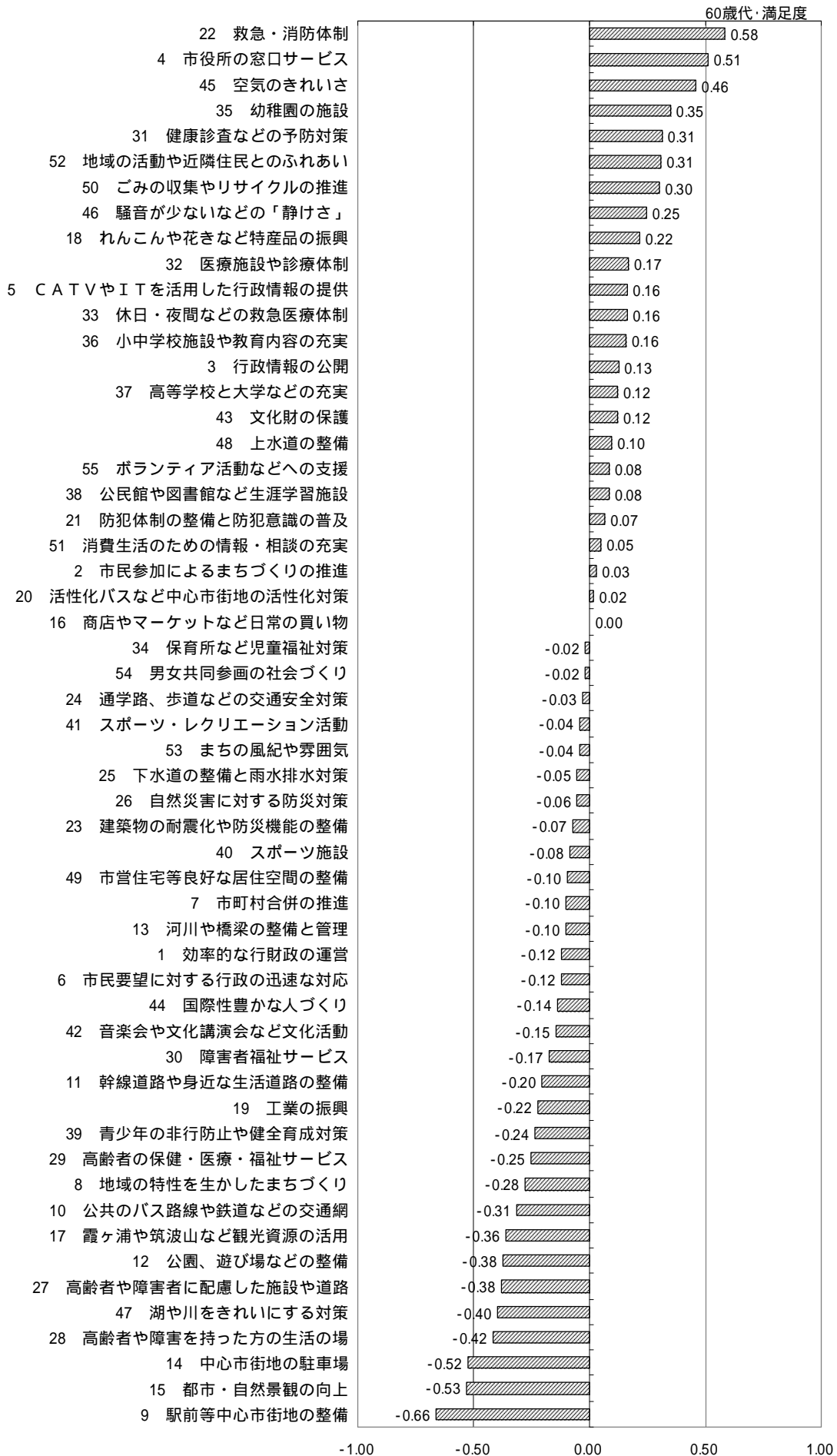
< 50 歳代 >

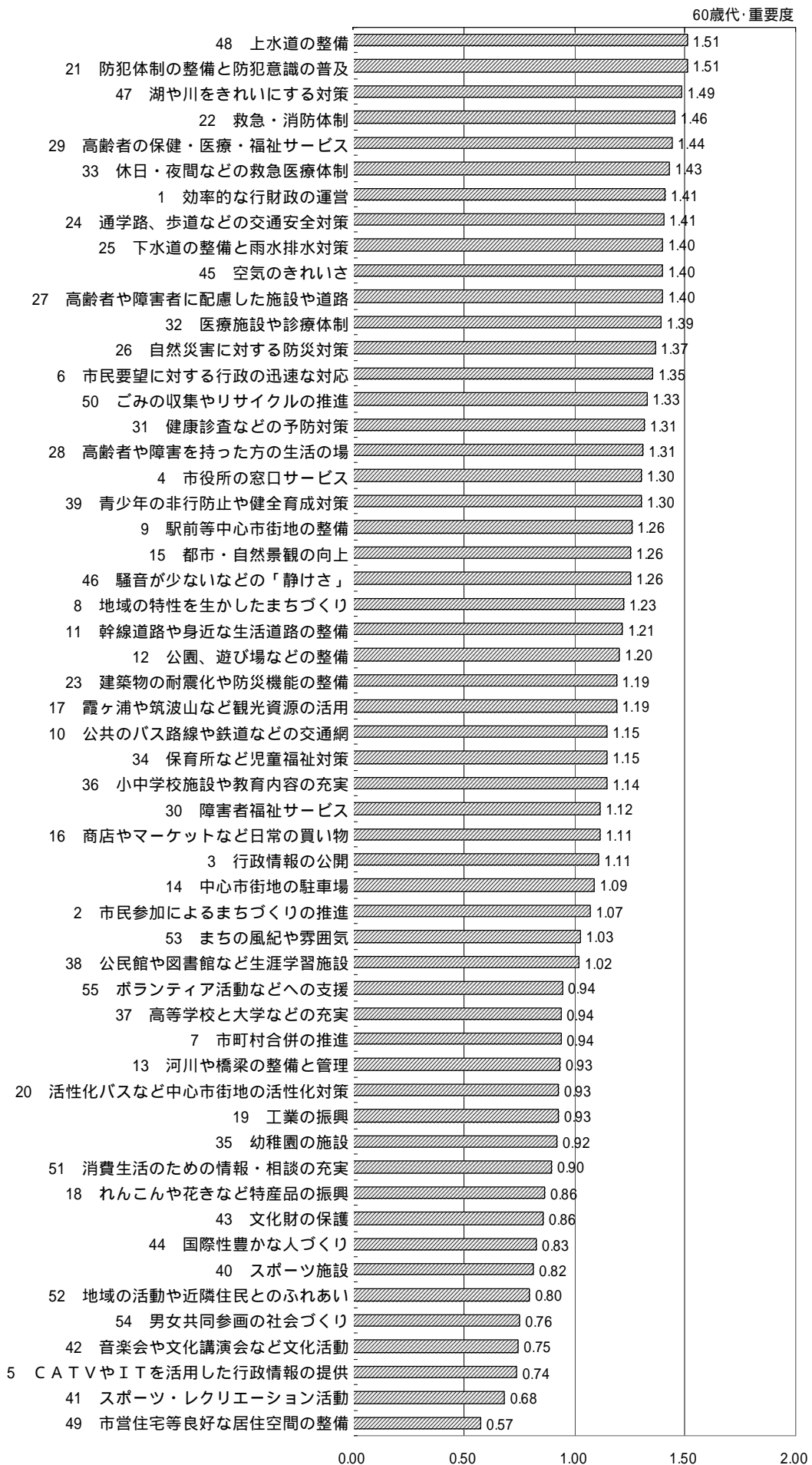


50歳代・重要度

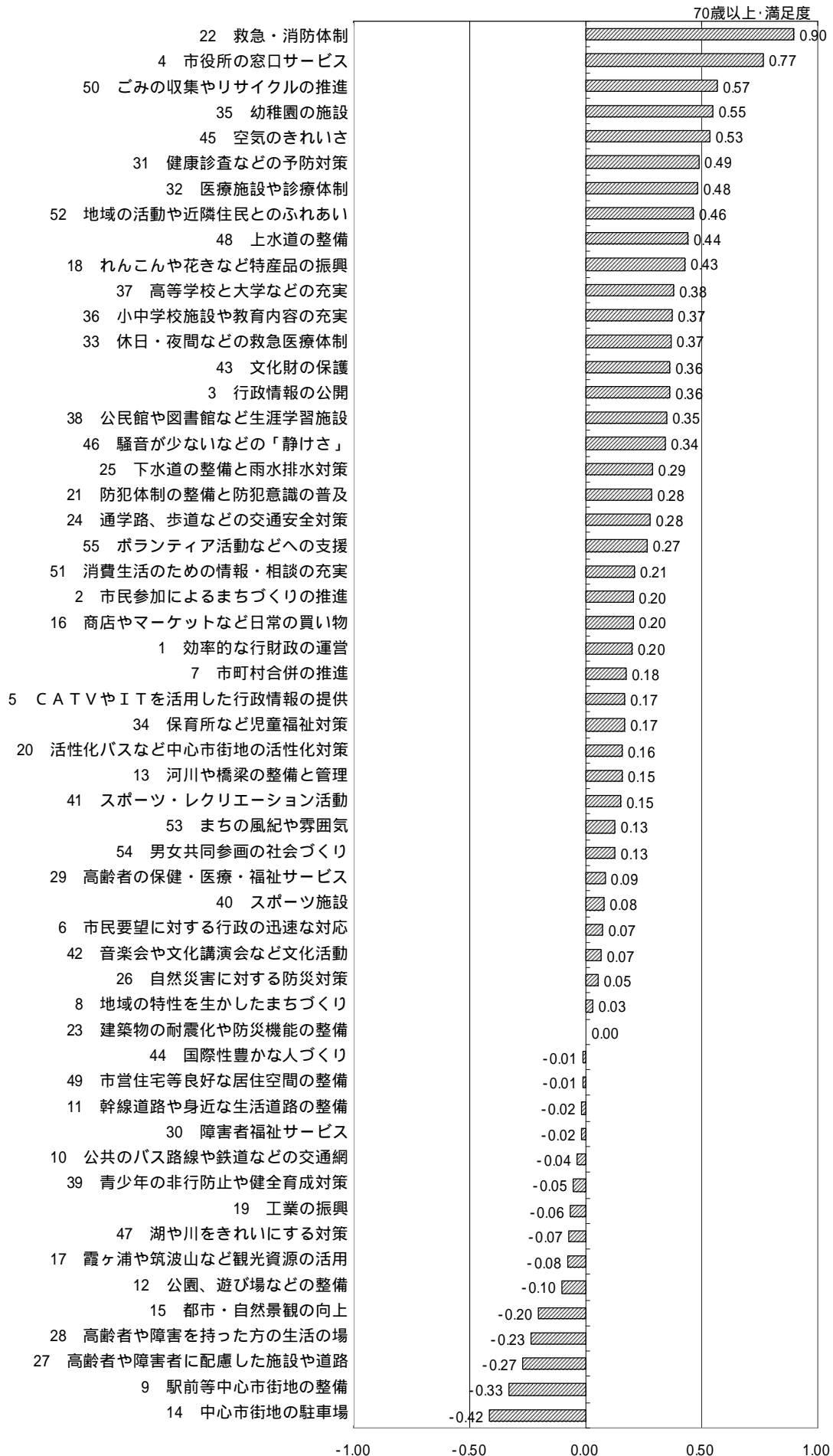


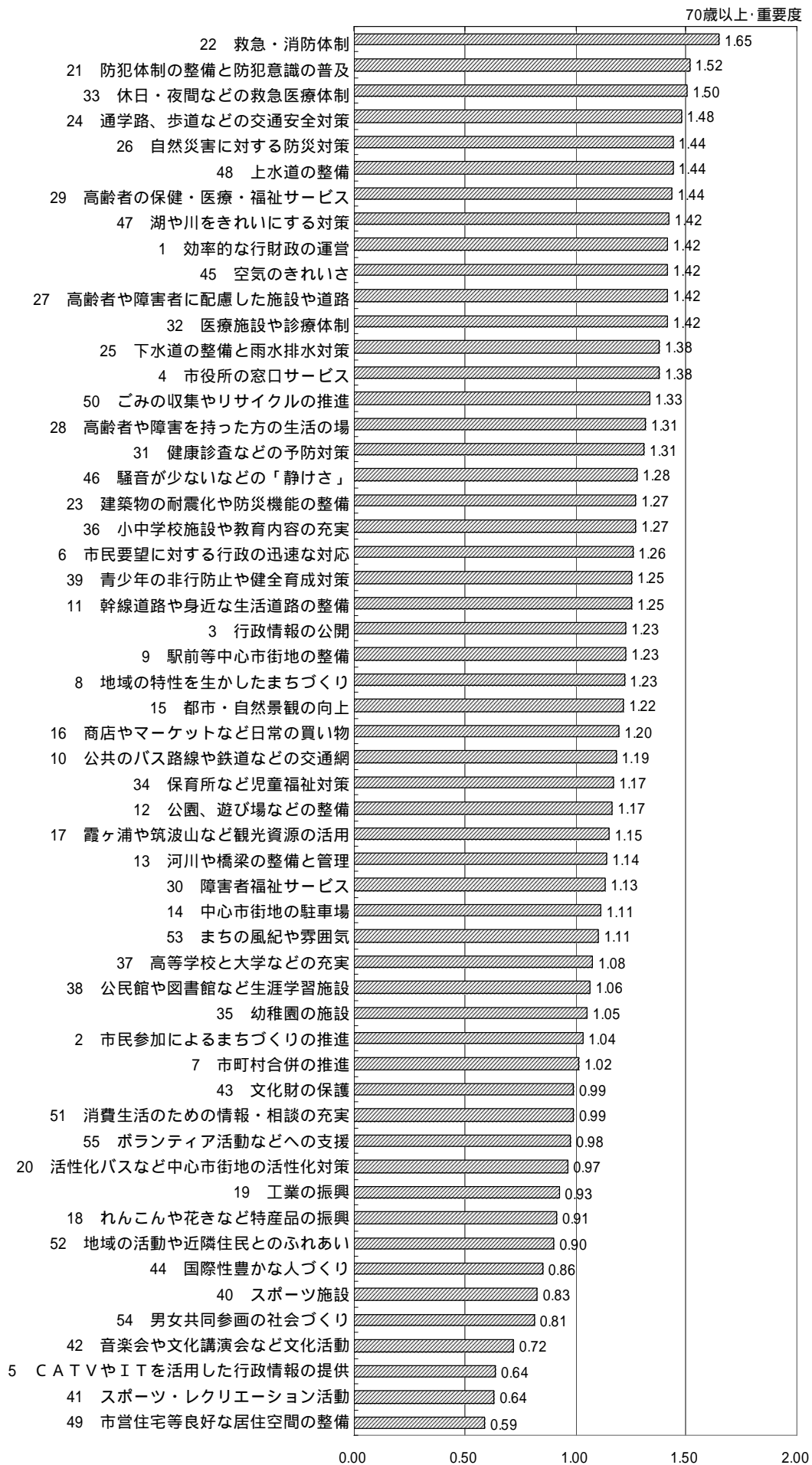
< 60 歳代 >





< 70 歳以上 >

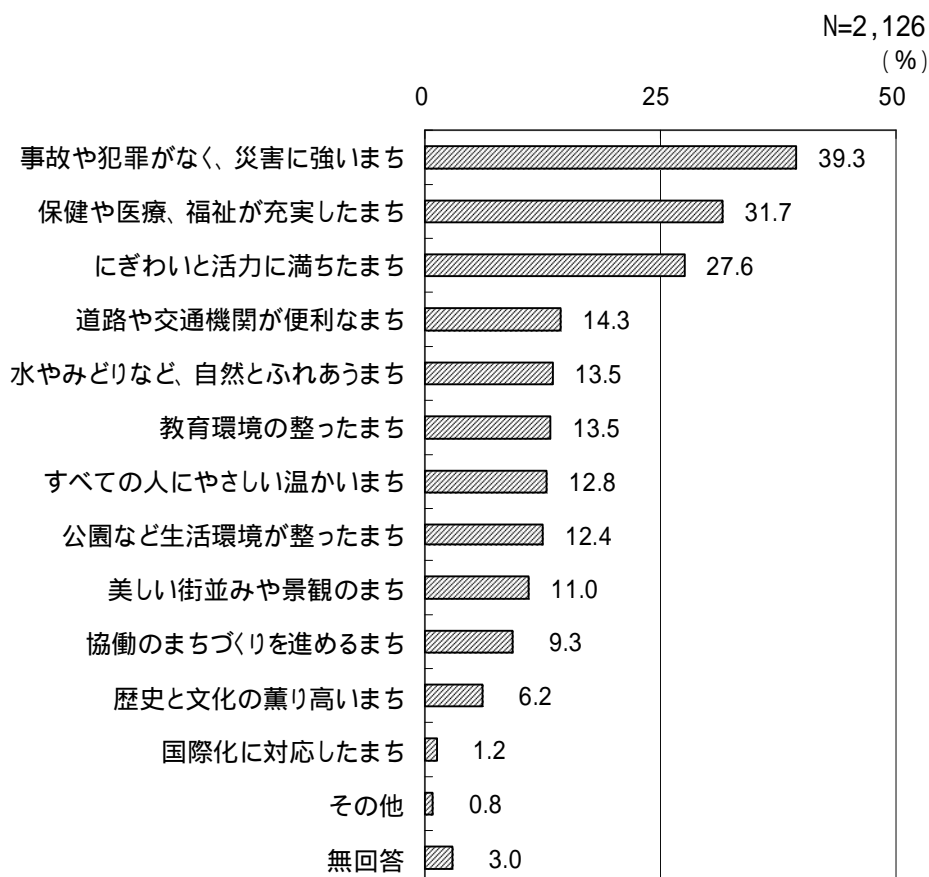




4 今後のまちづくり

(1) 将来イメージ

問5 あなたは、土浦市がどのようなまちになればいいと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで番号を回答欄にご記入ください。



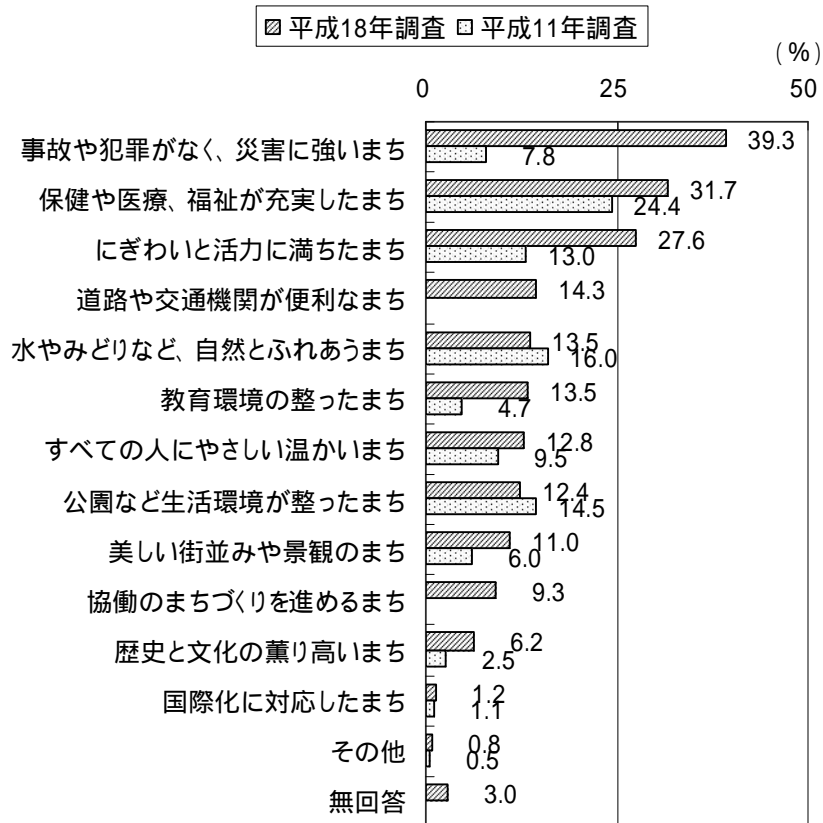
将来のまちのイメージでは、「事故や犯罪がなく、災害に強いまち」が39.3%と最も多く、次いで「保健や医療、福祉が充実したまち」が31.7%、「にぎわいと活力に満ちたまち」が27.6%となっており、約3割の人がこのいずれかのまちになればいいと答えています。

前回調査と比較すると、「事故や犯罪がなく、災害に強いまち」や「にぎわいと活力に満ちたまち」が、大きく増加しています。

地区別では、各地区とも「事故や犯罪がなく、災害に強いまち」が上位にきていますが、一中地区では、「にぎわいと活力に満ちたまち」が第1位になっています。

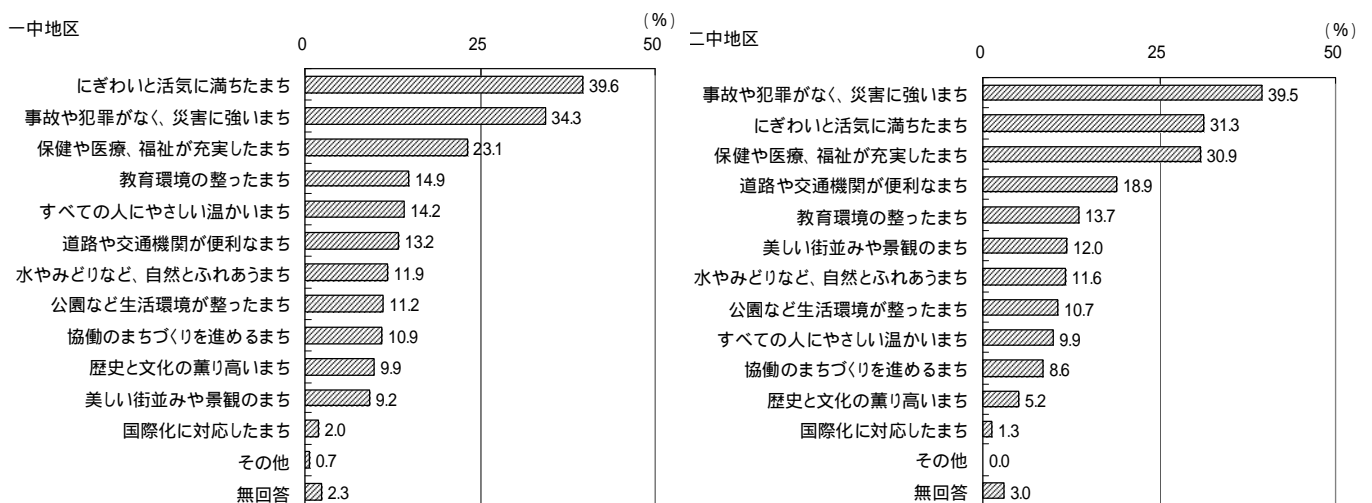
年齢別では、全ての年代で「事故や犯罪がなく、災害に強いまち」が第1位になっています。

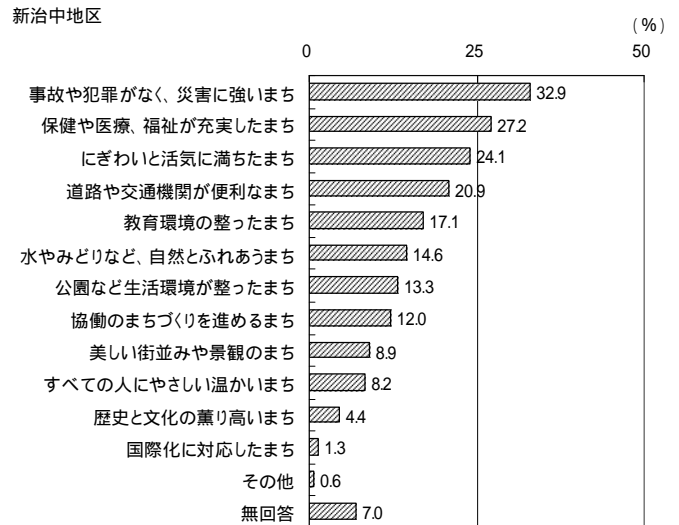
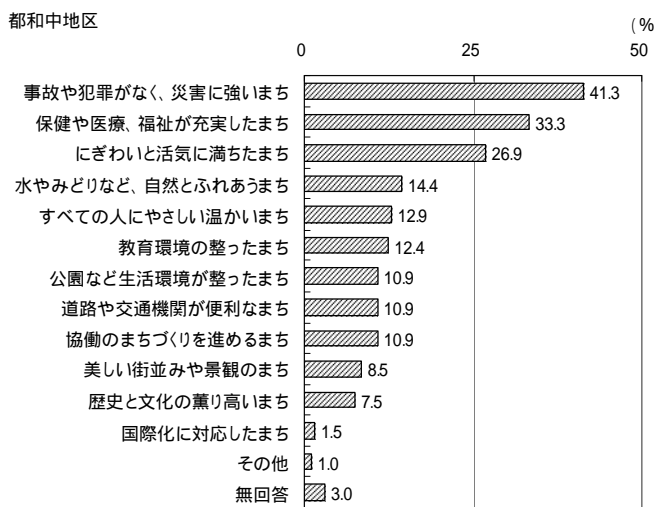
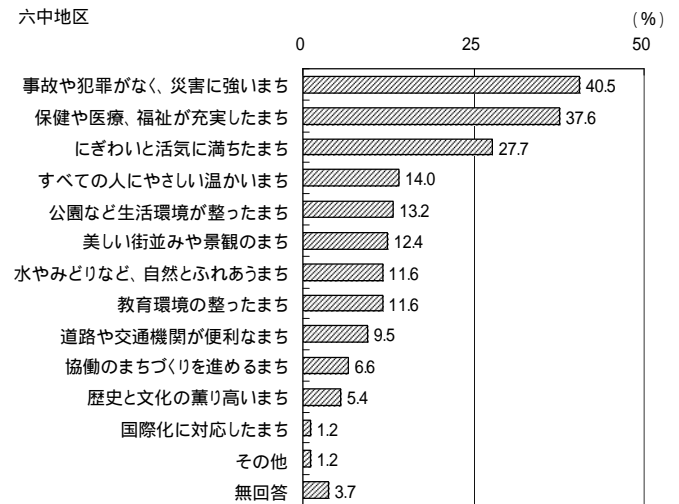
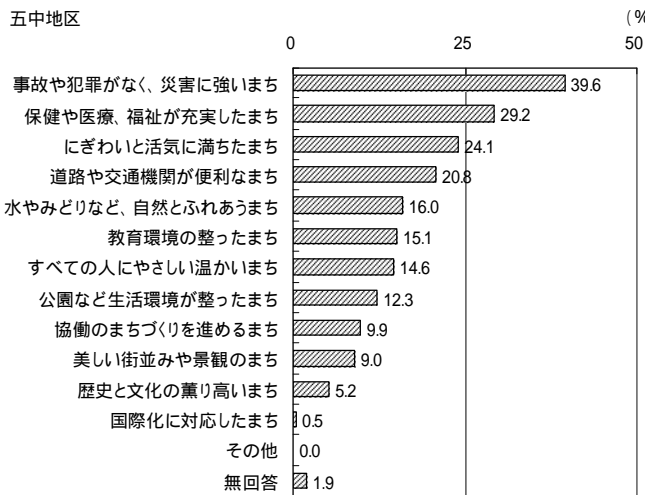
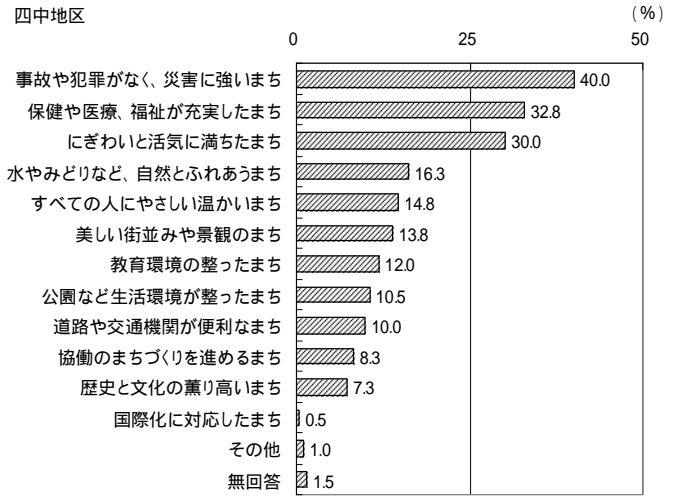
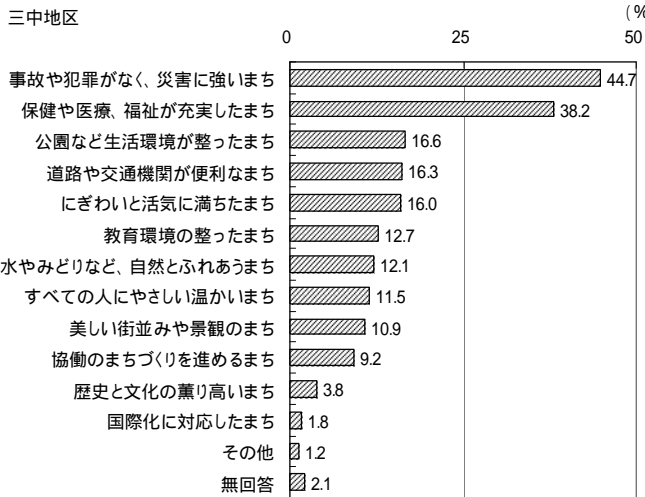
将来イメージ【前回比較】



「道路や交通機関が便利なまち」と「協働のまちづくりを進めるまち」は、平成11年度調査にはない。

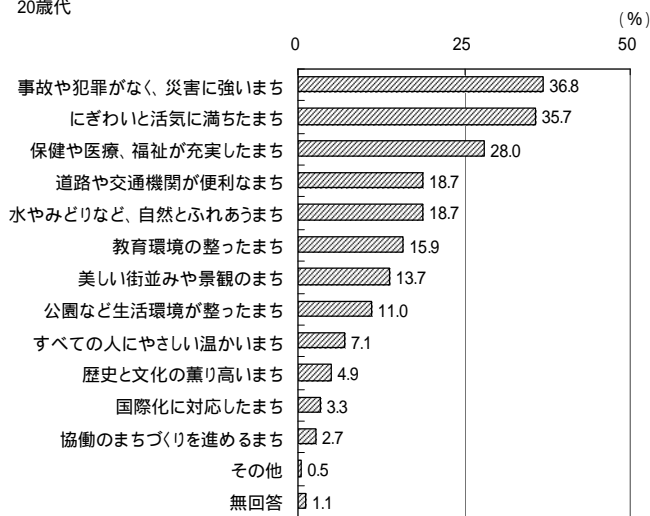
地区別将来イメージ



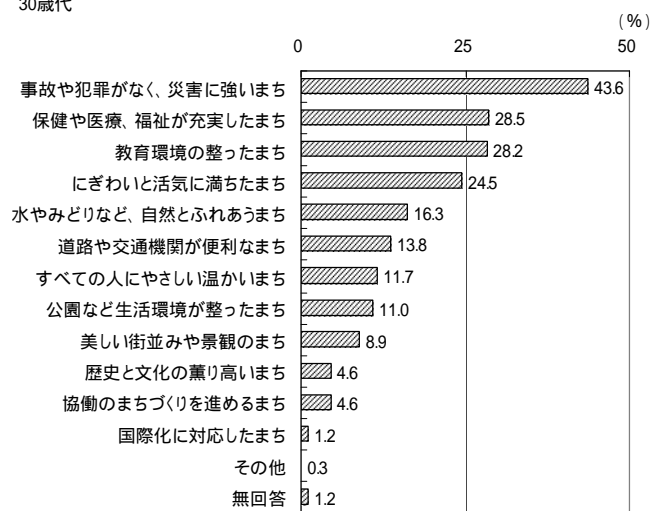


年齢別将来イメージ

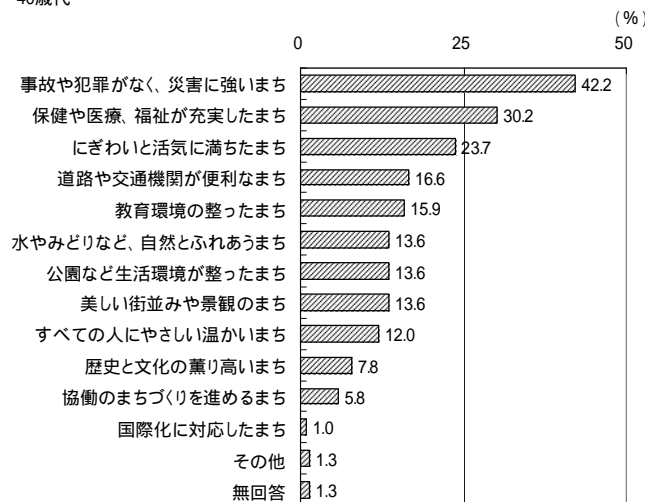
20歳代



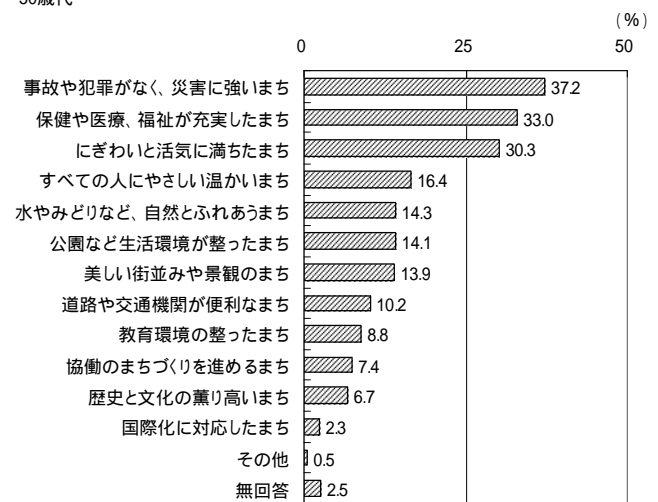
30歳代



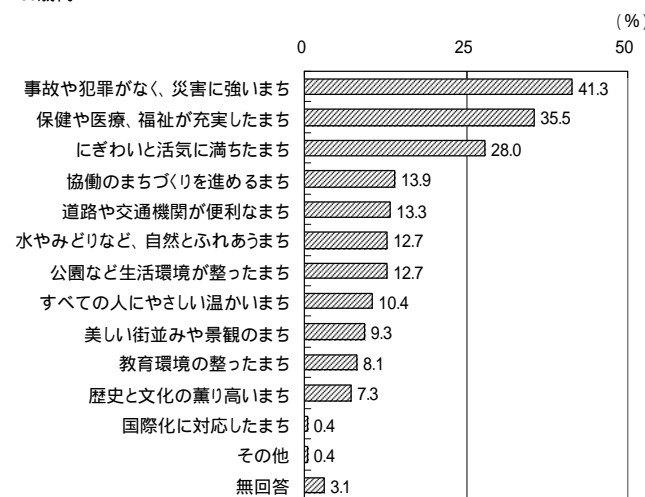
40歳代



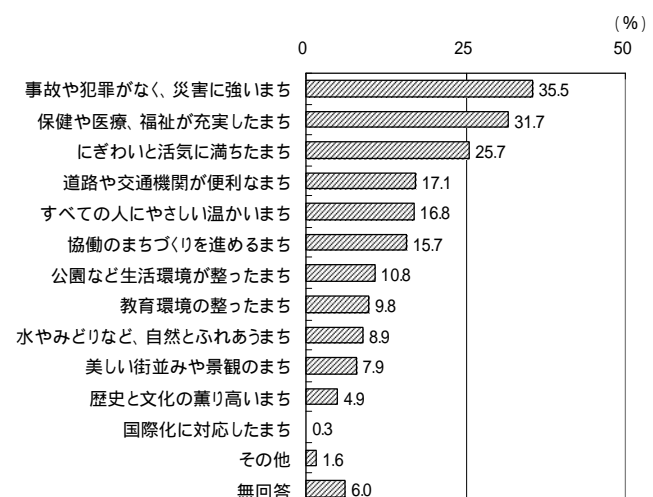
50歳代



60歳代



70歳以上



(2)土浦市にほしいもの

問6 あなたが、土浦にあったらいいと思うもの（施設、サービスなど）は何ですか。
1つだけ記入してください。

土浦市にあったらいいと思うものは、「図書館」や「スポーツ施設・体育館」、「ショッピングセンター」、「娯楽施設」、「公園」、「デパート」、「交通機関」などの指摘が多くなっています。

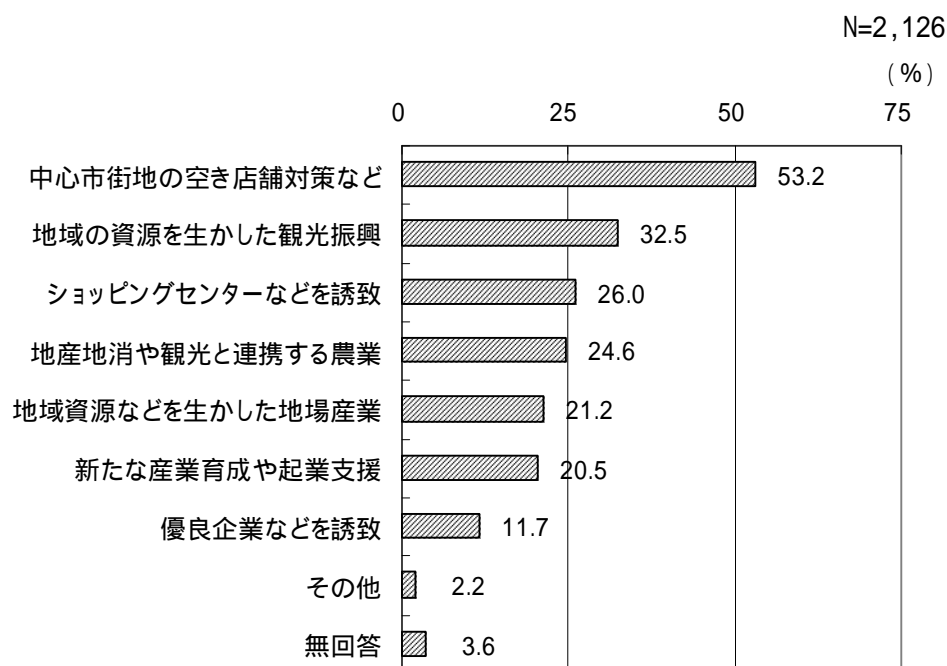
10件以上の指摘のあったもの

項目	件数	割合(%)
図書館	111	8.9
スポーツ施設・体育館	91	7.3
ショッピングセンター	84	6.8
娯楽施設	65	5.2
公園	63	5.1
デパート	52	4.2
交通機関	51	4.1
駐車場	42	3.4
ホール	39	3.1
博物館・美術館	32	2.6
高齢者福祉施設	30	2.4
プール	27	2.2
病院	20	1.6
場外馬券場	18	1.5
商店街	17	1.4
温泉	16	1.3
霞ヶ浦	16	1.3
文化施設	13	1.0
子どもの遊び場	12	1.0
福祉バス等	12	1.0
保育施設	12	1.0
市民会館	11	0.9
テーマパーク	11	0.9
市役所休日営業	11	0.9
観光ガイド、施設	10	0.8
その他	433	34.9
記入者数	1,241	100.0

5 まちの活性化

(1)産業振興策

問7 「活力とにぎわいのあるまち土浦」のため、どのような産業振興の取り組みが重要だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで番号を回答欄にご記入ください。



“活力とにぎわいのあるまち土浦”のために必要な産業振興の取り組みとしては、「中心市街地の空き店舗対策など」が53.2%と最も多く、次いで、「地域の資源を生かした観光振興」が32.5%です。

地区別では、各地区とも「中心市街地の空き店舗対策など」が第1位となっています。特に、一中地区では63.0%となっています。

年齢別では、各年代とも「中心市街地の空き店舗対策など」が第1位となっています。特に、20歳代では63.2%となっています。

地区別産業振興策

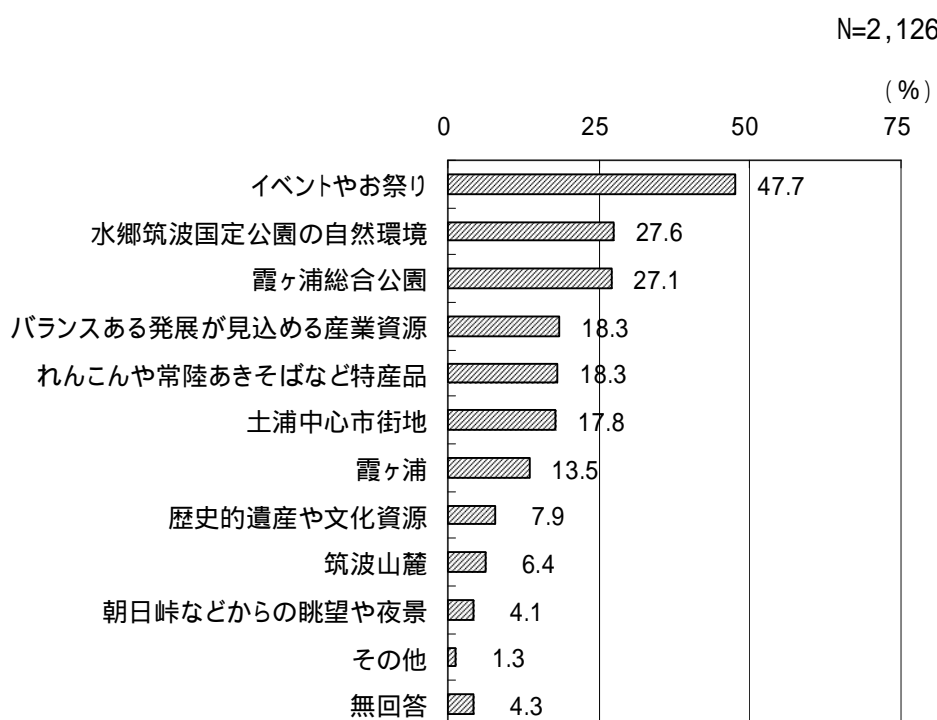
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	中心市街地の空き店舗対策など 63.0	地域の資源を生かした観光振興 32.3	ショッピングセンターなどを誘致 24.1	地産地消や観光と連携する農業 20.5	地域資源などを生かした地場産業 19.8
二中地区	中心市街地の空き店舗対策など 60.1	地域の資源を生かした観光振興 37.3	ショッピングセンターなどを誘致 26.6	地域資源などを生かした地場産業、新たな産業育成や起業支援 18.0	
三中地区	中心市街地の空き店舗対策など 46.7	地域の資源を生かした観光振興 31.4	地域資源などを生かした地場産業 28.7	地産地消や観光と連携する農業 28.1	新たな産業育成や起業支援 23.1
四中地区	中心市街地の空き店舗対策など 53.8	地域の資源を生かした観光振興 31.8	ショッピングセンターなどを誘致 29.3	地産地消や観光と連携する農業 25.5	地域資源などを生かした地場産業 新たな産業育成や起業支援 19.5
五中地区	中心市街地の空き店舗対策など 49.5	ショッピングセンターなどを誘致 30.7	地域の資源を生かした観光振興、地産地消や観光と連携する農業 28.8		新たな産業育成や起業支援 23.1
六中地区	中心市街地の空き店舗対策など 55.8	地域の資源を生かした観光振興 34.7	ショッピングセンターなどを誘致 26.9	新たな産業育成や起業支援 23.1	地産地消や観光と連携する農業 22.7
都和中地区	中心市街地の空き店舗対策など 57.2	地域の資源を生かした観光振興 34.3	地産地消や観光と連携する農業 28.9	ショッピングセンターなどを誘致 22.4	地域資源などを生かした地場産業 21.9
新治中地区	中心市街地の空き店舗対策など 34.2	地域の資源を生かした観光振興、地産地消や観光と連携する農業 30.4		地域資源などを生かした地場産業 24.1	ショッピングセンターなどを誘致 23.4

年齢別産業振興策

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	中心市街地の空き店舗対策など 63.2	ショッピングセンターなどを誘致 45.6	新たな産業育成や起業支援 24.2	地域の資源を生かした観光振興、地域資源などを生かした地場産業 18.1	
30歳代	中心市街地の空き店舗対策など 56.4	ショッピングセンターなどを誘致 45.7	地域の資源を生かした観光振興 21.8	新たな産業育成や起業支援 20.9	地産地消や観光と連携する農業 19.9
40歳代	中心市街地の空き店舗対策など 52.6	ショッピングセンターなどを誘致 28.6	地域の資源を生かした観光振興 26.6	地産地消や観光と連携する農業 24.4	新たな産業育成や起業支援、地域資源などを生かした地場産業 22.7
50歳代	中心市街地の空き店舗対策など 50.6	地域の資源を生かした観光振興 36.5	地産地消や観光と連携する農業 24.5	地域資源などを生かした地場産業 24.0	ショッピングセンターなどを誘致 22.4
60歳代	中心市街地の空き店舗対策など 51.7	地域の資源を生かした観光振興 39.8	地産地消や観光と連携する農業 28.8	地域資源などを生かした地場産業 23.0	新たな産業育成や起業支援 20.3
70歳以上	中心市街地の空き店舗対策など 51.8	地域の資源を生かした観光振興 40.4	地産地消や観光と連携する農業 28.5	地域資源などを生かした地場産業 19.0	ショッピングセンターなどを誘致 16.3

(2)地域資源の活用

問8 今後のまちづくりのため、有効に活用すべき地域資源には、どのようなものがあると考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで番号を回答欄にご記入ください。



まちづくりに有効に活用すべき地域資源としては、「イベントやお祭り」が47.7%と約半数を占め、次いで、「水郷筑波国定公園の自然環境」が27.6%、「霞ヶ浦総合公園」が27.1%です。

地区別では、各地区とも「イベントやお祭り」が第1位となっており、半数前後を占めています。

年齢別では、各地区とも「イベントやお祭り」が第1位となっています。特に、20歳代では62.1%を占めています。

地区別地域資源の活用

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	イベントやお祭り 50.8	霞ヶ浦総合公園 28.4	水郷筑波国定公園 の自然環境 24.8	土浦中心市街地 22.4	バランスある発展 が見込める産業資 源 16.5
二中地区	イベントやお祭り 45.1	水郷筑波国定公園 の自然環境 28.3	霞ヶ浦総合公園 24.0	土浦中心市街地 22.3	バランスある発展 が見込める産業資 源 19.3
三中地区	イベントやお祭り 48.8	水郷筑波国定公園 の自然環境 31.4	霞ヶ浦総合公園 23.1	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 22.5	土浦中心市街地 16.3
四中地区	イベントやお祭り 47.8	霞ヶ浦総合公園 32.8	水郷筑波国定公園 の自然環境 27.0	土浦中心市街地 18.8	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 16.8
五中地区	イベントやお祭り 48.1	水郷筑波国定公園 の自然環境 29.7	霞ヶ浦総合公園 27.4	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 23.6	バランスある発展 が見込める産業資 源 21.2
六中地区	イベントやお祭り 46.7	霞ヶ浦総合公園 35.5	水郷筑波国定公園 の自然環境 24.4	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 21.9	バランスある発展 が見込める産業資 源 19.8
都和中地区	イベントやお祭り 45.3	水郷筑波国定公園 の自然環境 27.9	霞ヶ浦総合公園 24.4	バランスある発展 が見込める産業資 源 21.9	れんこんや常陸秋 そばなど特産品、 土浦中心市街地 16.9
新治中地区	イベントやお祭り 46.2	水郷筑波国定公園 の自然環境 25.3	バランスある発展 が見込める産業資 源 22.8	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 17.1	霞ヶ浦総合公園 15.8

年齢別地域資源の活用

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	イベントやお祭り 62.1	土浦中心市街地 23.1	霞ヶ浦 20.9	れんこんや常陸秋そばなど特産品 霞ヶ浦総合公園	19.8
30歳代	イベントやお祭り 59.5	霞ヶ浦総合公園 25.8	霞ヶ浦 21.5	土浦中心市街地 19.0	れんこんや常陸秋 そばなど特産品、 水郷筑波国定公園 の自然環境 16.9
40歳代	イベントやお祭り 46.1	霞ヶ浦総合公園 26.3	水郷筑波国定公園 の自然環境 24.0	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 22.7	土浦中心市街地 18.8
50歳代	イベントやお祭り 45.0	水郷筑波国定公園 の自然環境 29.1	霞ヶ浦総合公園 28.2	バランスある発展 が見込める産業資 源 20.3	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 19.2
60歳代	イベントやお祭り 39.4	水郷筑波国定公園 の自然環境 35.9	霞ヶ浦総合公園 28.0	バランスある発展 が見込める産業資 源 21.6	土浦中心市街地 18.3
70歳以上	イベントやお祭り 45.8	水郷筑波国定公園 の自然環境 31.7	霞ヶ浦総合公園 30.6	バランスある発展 が見込める産業資 源 19.2	れんこんや常陸秋 そばなど特産品 17.1

(3)その他の地域資源

問9 土浦ならではのもので、まだ生かされていないもの、またはもっと売りこむべきもの（ふるさと自慢）がありましたら、ご記入ください。

例) 食の関係、歴史的な特性、有名なスポット、人など

土浦の地域資源としては、「霞ヶ浦」、「レンコン」、「歴史的特性」、「花火大会」、「筑波山」、「亀城公園」、「サイクリングロード」、「カレー」、「桜川」、「桜」などが指摘されています。

中でも、「霞ヶ浦」と「レンコン」が多くなっています。

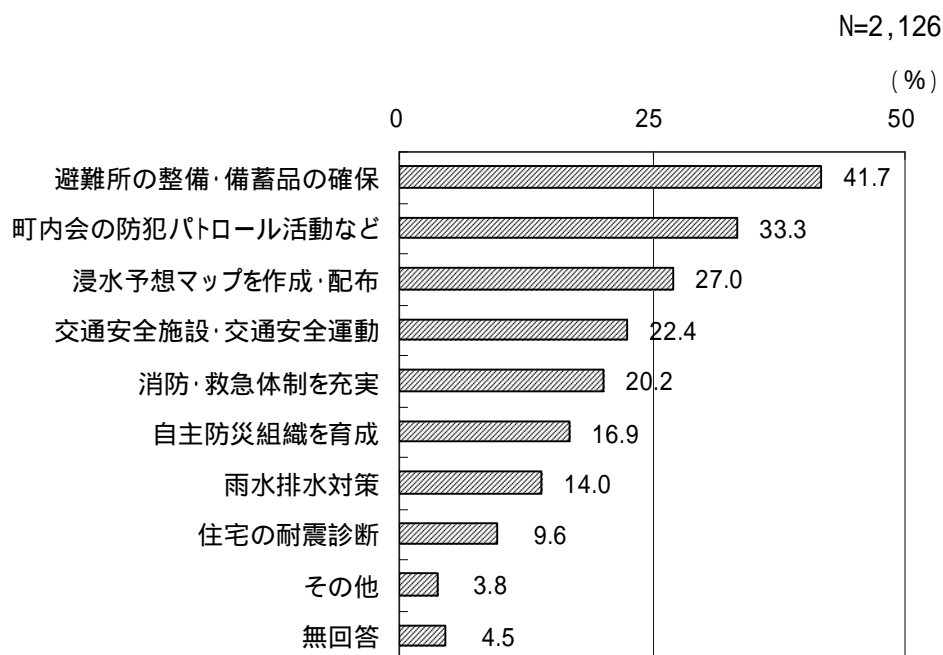
5件以上の指摘のあったもの

項目	件数	割合(%)
霞ヶ浦	200	31.1
レンコン	106	16.5
歴史的特性	30	4.7
花火大会	25	3.9
筑波山	24	3.7
亀城公園	21	3.3
サイクリングロード	21	3.3
カレー	12	1.9
桜川	12	1.9
桜	12	1.9
食	10	1.6
農産物	10	1.6
水郷公園	9	1.4
予科練	9	1.4
うなぎ	8	1.2
ワカサギ	7	1.1
霞ヶ浦総合公園	5	0.8
佃煮	5	0.8
その他	118	18.3
記入者数	644	100.0

6 安心・安全なまちづくり

(1) 安心・安全なまちづくり

問 10 本市が進めている「安心・安全なまちづくり」のため、特に重要だと思うものは何ですか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



“安心・安全なまちづくり”のために重要と思うことについては、「避難所の整備・備蓄品の確保」が41.7%と最も多く、次いで、「町内会の防犯パトロール活動など」が33.3%、「浸水予想マップを作成・配布」が27.0%です。

地区別では、各地区とも「避難所の整備・備蓄品の確保」が第1位となっています。

年齢別では、各年代とも「避難所の整備・備蓄品の確保」が第1位となっています。

地区別安心・安全なまちづくり

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
一中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 44.2	浸水予想マップを作成・配布 41.3	町内会の防犯パトロール活動など 28.4	交通安全施設・交通安全運動 18.5	消防・救急体制を充実、雨水排水対策 17.2
二中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 42.5	町内会の防犯パトロール活動など 33.9	浸水予想マップを作成・配布 27.0	交通安全施設・交通安全運動 21.0	消防・救急体制を充実 18.5
三中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 46.4	町内会の防犯パトロール活動など 34.6	交通安全施設・交通安全運動 24.6	消防・救急体制を充実 21.6	浸水予想マップを作成・配布 17.8
四中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 40.5	町内会の防犯パトロール活動など 36.3	浸水予想マップを作成・配布 29.0	交通安全施設・交通安全運動 20.8	消防・救急体制を充実 19.0
五中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 35.8	町内会の防犯パトロール活動など 34.4	交通安全施設・交通安全運動 31.1	浸水予想マップを作成・配布 22.2	消防・救急体制を充実 21.2
六中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 43.4	町内会の防犯パトロール活動など 31.0	浸水予想マップを作成・配布 27.3	交通安全施設・交通安全運動 22.7	消防・救急体制を充実 21.1
都和中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 44.8	町内会の防犯パトロール活動など 36.3	交通安全施設・交通安全運動 22.9	浸水予想マップを作成・配布 22.4	自主防災組織を育成 17.4
新治中地区	避難所の整備・備蓄品の確保 34.8	消防・救急体制を充実 29.1	町内会の防犯パトロール活動など、浸水予想マップを作成・配布 27.2		自主防災組織を育成 19.0

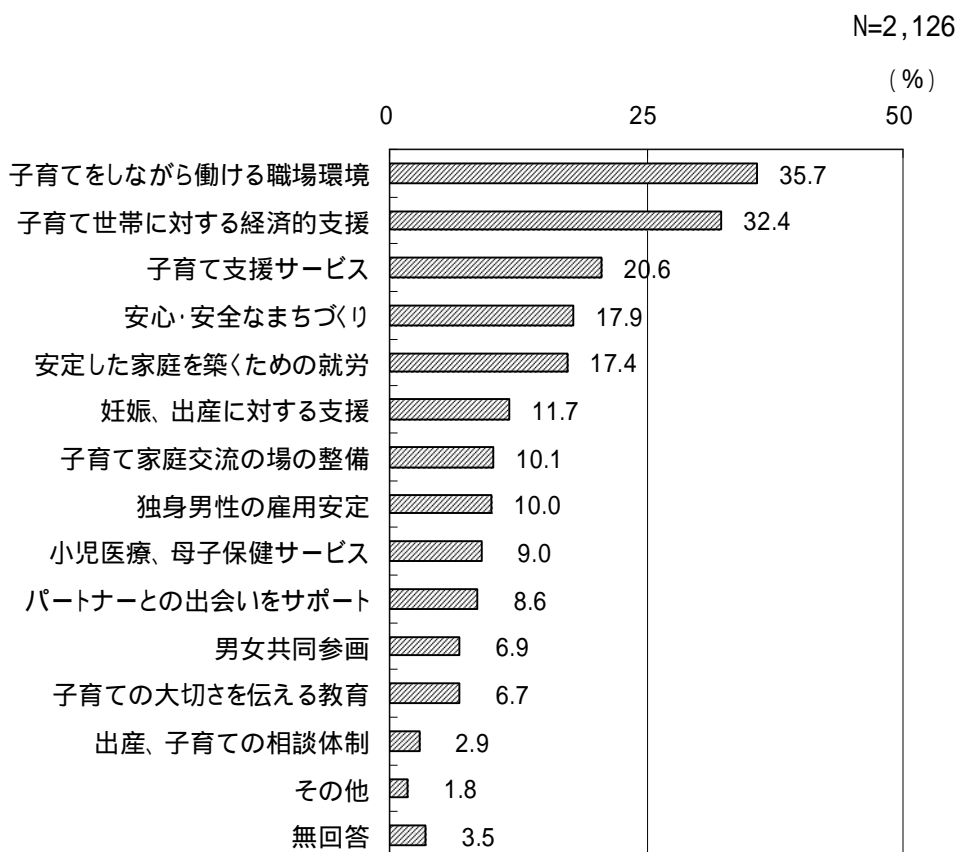
年齢別安心・安全なまちづくり

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
20歳代	避難所の整備・備蓄品の確保 42.9	町内会の防犯パトロール活動など 38.5	浸水予想マップを作成・配布 30.8	交通安全施設・交通安全運動 22.5	消防・救急体制を充実 20.3
30歳代	避難所の整備・備蓄品の確保 48.8	町内会の防犯パトロール活動など 37.1	交通安全施設・交通安全運動 32.5	浸水予想マップを作成・配布 24.2	消防・救急体制を充実 16.3
40歳代	避難所の整備・備蓄品の確保 44.8	町内会の防犯パトロール活動など 33.4	交通安全施設・交通安全運動 30.2	浸水予想マップを作成・配布 22.7	消防・救急体制を充実 17.9
50歳代	避難所の整備・備蓄品の確保 42.3	町内会の防犯パトロール活動など 29.3	浸水予想マップを作成・配布 28.4	消防・救急体制を充実 22.4	交通安全施設・交通安全運動 19.9
60歳代	避難所の整備・備蓄品の確保 37.8	町内会の防犯パトロール活動など 33.6	浸水予想マップを作成・配布 27.2	消防・救急体制を充実 20.5	交通安全施設・交通安全運動 19.9
70歳以上	避難所の整備・備蓄品の確保 38.2	町内会の防犯パトロール活動など 31.4	浸水予想マップを作成・配布 29.3	自主防災組織を育成 25.2	消防・救急体制を充実 22.0

7 少子高齢化について

(1)少子化対策

問 11 少子化に歯止めをかけるためには、どのような対策が必要だと思いますか。
特に必要と思うものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



少子化対策としては、「子育てをしながら働ける職場環境」が35.7%、「子育て世帯に対する経済的支援」が32.4%となっており、この2点が3割を超えています。

地区別では、各地区とも「子育てをしながら働ける職場環境」と「子育て世帯に対する経済的支援」が上位2位以内となっています。

年齢別では、20歳代と30歳代は「子育て世帯に対する経済的支援」が第1位、40歳代以上は「子育てをしながら働ける職場環境」が第1位となっています。

地区別少子化対策

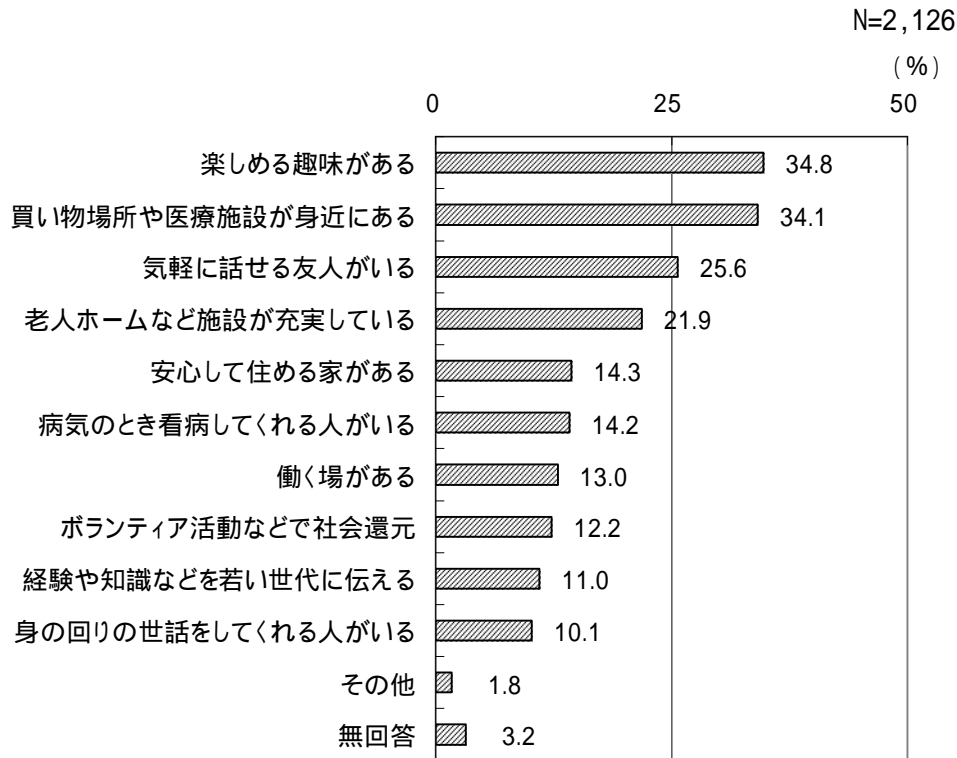
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	子育てをしながら働ける職場環境 31.4	子育て世帯に対する経済的支援 31.0	子育て支援サービス 21.1	安心・安全なまちづくり 20.5	安定した家庭を築くための就労 18.5
二中地区	子育て世帯に対する経済的支援 38.2	子育てをしながら働ける職場環境 36.5	安心・安全なまちづくり 20.6	子育て支援サービス 20.2	安定した家庭を築くための就労 14.2
三中地区	子育てをしながら働ける職場環境 36.4	子育て世帯に対する経済的支援 30.5	子育て支援サービス 24.6	安心・安全なまちづくり 17.5	安定した家庭を築くための就労 17.2
四中地区	子育てをしながら働ける職場環境 37.3	子育て世帯に対する経済的支援 31.5	子育て支援サービス 22.8	安定した家庭を築くための就労 18.3	安心・安全なまちづくり 15.0
五中地区	子育て世帯に対する経済的支援 32.5	子育てをしながら働ける職場環境 29.2	子育て支援サービス 19.3	安定した家庭を築くための就労、 安心・安全なまちづくり 17.9	
六中地区	子育てをしながら働ける職場環境 37.2	子育て世帯に対する経済的支援 36.0	安定した家庭を築くための就労 20.2	子育て支援サービス 16.1	安心・安全なまちづくり 14.5
都和中地区	子育てをしながら働ける職場環境 39.3	子育て世帯に対する経済的支援 31.8	子育て支援サービス 21.9	安心・安全なまちづくり 17.9	安定した家庭を築くための就労 16.9
新治中地区	子育てをしながら働ける職場環境 41.1	子育て世帯に対する経済的支援 29.7	安心・安全なまちづくり 20.9	子育て支援サービス 15.8	安定した家庭を築くための就労 14.6

年齢別少子化対策

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	子育て世帯に対する経済的支援 45.1	子育てをしながら働ける職場環境 37.9	妊娠、出産に対する支援 22.5	子育て支援サービス 17.0	子育て家庭交流の場の整備 14.3
30歳代	子育て世帯に対する経済的支援 54.6	子育てをしながら働ける職場環境 30.4	子育て支援サービス 24.5	妊娠、出産に対する支援 18.4	小児医療、母子保健サービス 12.9
40歳代	子育てをしながら働ける職場環境 37.3	子育て世帯に対する経済的支援 30.8	子育て支援サービス 22.7	安定した家庭を築くための就労 21.1	安心・安全なまちづくり 14.6
50歳代	子育てをしながら働ける職場環境 37.4	子育て世帯に対する経済的支援 26.3	子育て支援サービス 25.9	安定した家庭を築くための就労 21.2	安心・安全なまちづくり 16.6
60歳代	子育てをしながら働ける職場環境 39.2	子育て世帯に対する経済的支援 25.5	子育て支援サービス 20.1	安定した家庭を築くための就労 18.7	安心・安全なまちづくり 17.8
70歳以上	子育てをしながら働ける職場環境 32.5	安心・安全なまちづくり 31.4	子育て世帯に対する経済的支援 24.4	安定した家庭を築くための就労 16.3	子育て支援サービス 12.5

(2)豊かな老後を送るために必要なこと

問 12 あなたは、豊かな老後を送るためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



豊かな老後を送るために必要なことでは、「楽しめる趣味がある」が34.8%、「買い物場所や医療施設が身近にある」が34.1%でそれぞれ3割を超えて多くなっています。

地区別では、各地区とも「楽しめる趣味がある」と「買い物場所や医療施設が身近にある」が上位2位以内となっています。

年齢別では、50歳代以下では「買い物場所や医療施設が身近にある」が第1位であり、60歳代以上では「楽しめる趣味がある」が第1位となっています。

地区別豊かな老後を送るために必要なこと

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	楽しめる趣味がある 37.0	買い物場所や医療施設が身近にある 31.0	気軽に話せる友人がいる 26.1	老人ホームなど施設が充実している 24.8	安心して住める家がある 14.5
二中地区	楽しめる趣味がある 33.0	買い物場所や医療施設が身近にある 32.6	気軽に話せる友人がいる 25.3	老人ホームなど施設が充実している 21.9	安心して住める家がある 18.0
三中地区	楽しめる趣味がある 36.4	買い物場所や医療施設が身近にある 33.7	気軽に話せる友人がいる 23.1	老人ホームなど施設が充実している 22.2	病気のとき看病してくれる人がある 15.4
四中地区	楽しめる趣味がある 36.3	買い物場所や医療施設が身近にある 34.3	気軽に話せる友人がいる 25.0	老人ホームなど施設が充実している 21.3	ボランティア活動などで社会還元 15.3
五中地区	買い物場所や医療施設が身近にある 34.0	楽しめる趣味がある 33.5	気軽に話せる友人がいる 31.1	老人ホームなど施設が充実している 19.8	働く場がある 14.6
六中地区	楽しめる趣味がある 36.8	買い物場所や医療施設が身近にある 36.4	気軽に話せる友人がいる 26.4	老人ホームなど施設が充実している 21.1	働く場がある 14.9
都和中地区	買い物場所や医療施設が身近にある 34.3	楽しめる趣味がある 30.8	気軽に話せる友人がいる 23.4	老人ホームなど施設が充実している 22.4	安心して住める家がある 16.4
新治中地区	買い物場所や医療施設が身近にある 38.6	楽しめる趣味がある 30.4	気軽に話せる友人がいる 25.3	老人ホームなど施設が充実している 22.8	病気のとき看病してくれる人がある 16.5

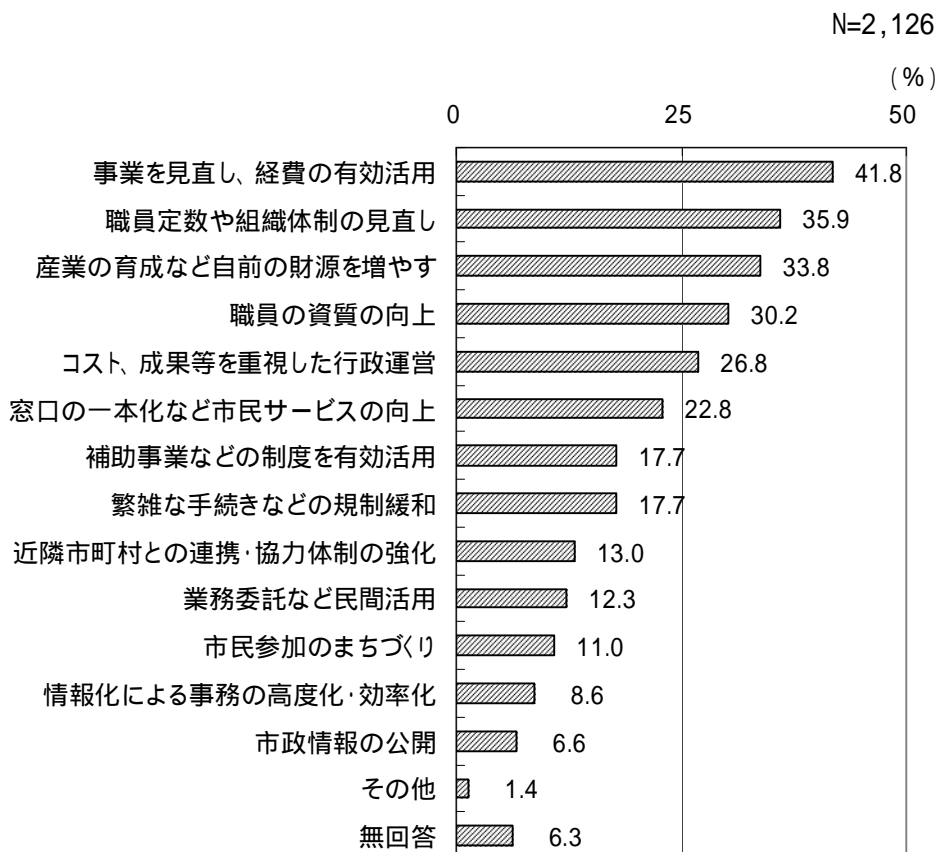
年齢別豊かな老後を送るために必要なこと

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	楽しめる趣味がある 46.7	買い物場所や医療施設が身近にある 32.4	気軽に話せる友人がいる 29.1	安心して住める家がある 20.3	老人ホームなど施設が充実している 14.8
30歳代	楽しめる趣味がある 42.6	買い物場所や医療施設が身近にある 36.2	気軽に話せる友人がいる 28.5	安心して住める家がある 23.6	働く場がある 16.6
40歳代	楽しめる趣味がある 37.3	買い物場所や医療施設が身近にある 30.2	気軽に話せる友人がいる 25.6	働く場がある 20.1	安心して住める家がある 18.2
50歳代	楽しめる趣味がある 35.8	買い物場所や医療施設が身近にある 33.3	老人ホームなど施設が充実している 23.8	気軽に話せる友人がいる 22.2	働く場がある、ボランティア活動などで社会還元 15.7
60歳代	買い物場所や医療施設が身近にある 34.0	老人ホームなど施設が充実している 29.9	楽しめる趣味がある 28.8	気軽に話せる友人がいる 25.7	病気のとき看病してくれる人がある 16.8
70歳以上	買い物場所や医療施設が身近にある 37.9	老人ホームなど施設が充実している 27.4	楽しめる趣味がある 26.6	気軽に話せる友人がいる 24.7	病気のとき看病してくれる人がある 17.1

8 行財政改革

(1) 優先順位

問 13 土浦市では、行財政改革に取り組んでいます。その中で優先すべきものは何だと思
いますか。次の中から当てはまるものを3つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



行政改革の中で優先すべきものとしては、「事業を見直し、経費の有効活用」が41.8%と最も多く、次いで、「職員定数や組織体制の見直し」が35.9%、「産業の育成など自前の財源を増やす」が33.8%、「職員の資質の向上」が30.2%となっており、3割を越えています。

地区別では、各地区とも「事業を見直し、経費の有効活用」、「職員定数や組織体制の見直し」、「産業の育成など自前の財源を増やす」、「職員の資質向上」などが多くなっています。

年齢別では、「事業を見直し、経費の有効活用」が50歳代を除いて第1位となっています。

地区別行財政改革の優先順位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	事業を見直し、経費の有効活用 38.9	職員定数や組織体制の見直し 38.0	産業の育成など自前の財源を増やす 35.0	職員の資質の向上 29.7	窓口の一本化など市民サービスの向上 25.1
二中地区	産業の育成など自前の財源を増やす 41.6	事業を見直し、経費の有効活用 39.1	職員定数や組織体制の見直し 38.2	職員の資質の向上 25.8	コスト、成果等を重視した行政運営 23.2
三中地区	事業を見直し、経費の有効活用 45.3	職員定数や組織体制の見直し 34.6	産業の育成など自前の財源を増やす、 職員の資質の向上 28.7		コスト、成果等を重視した行政運営、 窓口の一本化など市民サービスの向上 26.3
四中地区	事業を見直し、経費の有効活用 44.3	産業の育成など自前の財源を増やす 41.5	職員の資質の向上 32.8	職員定数や組織体制の見直し 31.8	コスト、成果等を重視した行政運営 30.8
五中地区	事業を見直し、経費の有効活用 44.8	職員定数や組織体制の見直し 39.6	職員の資質の向上 35.8	コスト、成果等を重視した行政運営 31.1	産業の育成など自前の財源を増やす 29.2
六中地区	事業を見直し、経費の有効活用 42.1	職員定数や組織体制の見直し 35.5	産業の育成など自前の財源を増やす 31.4	コスト、成果等を重視した行政運営 28.1	職員の資質の向上 27.7
都和中地区	事業を見直し、経費の有効活用、 職員定数や組織体制の見直し 35.3		職員の資質の向上 29.9	産業の育成など自前の財源を増やす 29.4	コスト、成果等を重視した行政運営 28.4
新治中地区	事業を見直し、経費の有効活用 47.5	職員定数や組織体制の見直し 39.2	職員の資質の向上 33.5	産業の育成など自前の財源を増やす 27.2	補助事業などの制度を有効活用 22.8

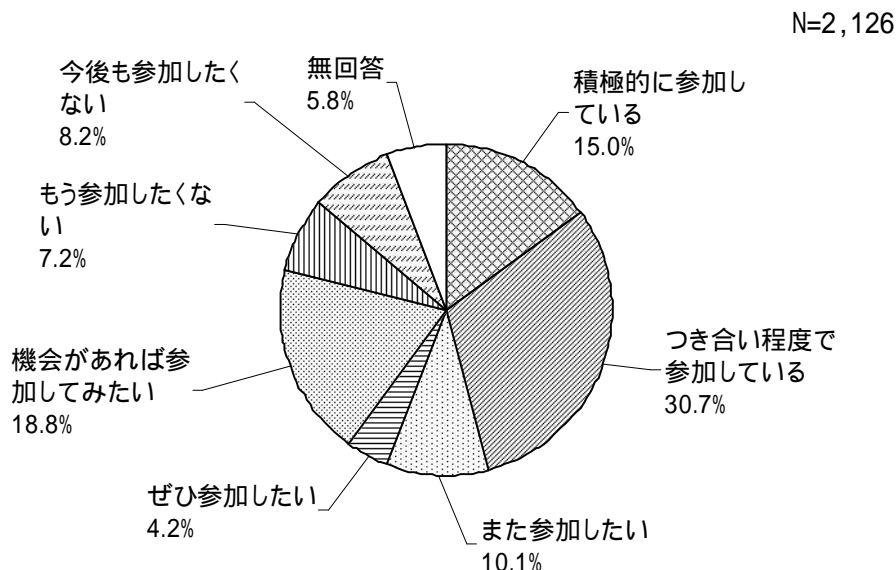
年齢別行財政改革の優先順位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	事業を見直し、経費の有効活用 44.5	職員の資質の向上 32.4	産業の育成など自前の財源を増やす 30.8	職員定数や組織体制の見直し 28.6	コスト、成果等を重視した行政運営 27.5
30歳代	事業を見直し、経費の有効活用 47.2	産業の育成など自前の財源を増やす 37.1	職員定数や組織体制の見直し 34.0	コスト、成果等を重視した行政運営 29.4	職員の資質の向上 28.2
40歳代	事業を見直し、経費の有効活用 47.4	職員の資質の向上 34.7	産業の育成など自前の財源を増やす 33.1	職員定数や組織体制の見直し 32.5	コスト、成果等を重視した行政運営 26.9
50歳代	職員定数や組織体制の見直し 44.1	事業を見直し、経費の有効活用 39.5	コスト、成果等を重視した行政運営 35.8	産業の育成など自前の財源を増やす 29.1	職員の資質の向上 27.9
60歳代	事業を見直し、経費の有効活用 39.6	職員定数や組織体制の見直し 38.8	産業の育成など自前の財源を増やす 35.1	職員の資質の向上 31.1	コスト、成果等を重視した行政運営 25.9
70歳以上	事業を見直し、経費の有効活用 38.8	産業の育成など自前の財源を増やす 36.6	職員定数や組織体制の見直し 31.2	職員の資質の向上 29.0	補助事業などの制度を有効活用 23.0

9 地域まちづくり活動

(1) 地域活動への参加状況

問 14 あなたは、町内会活動やボランティアなど地域の活動にどの程度参加していますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



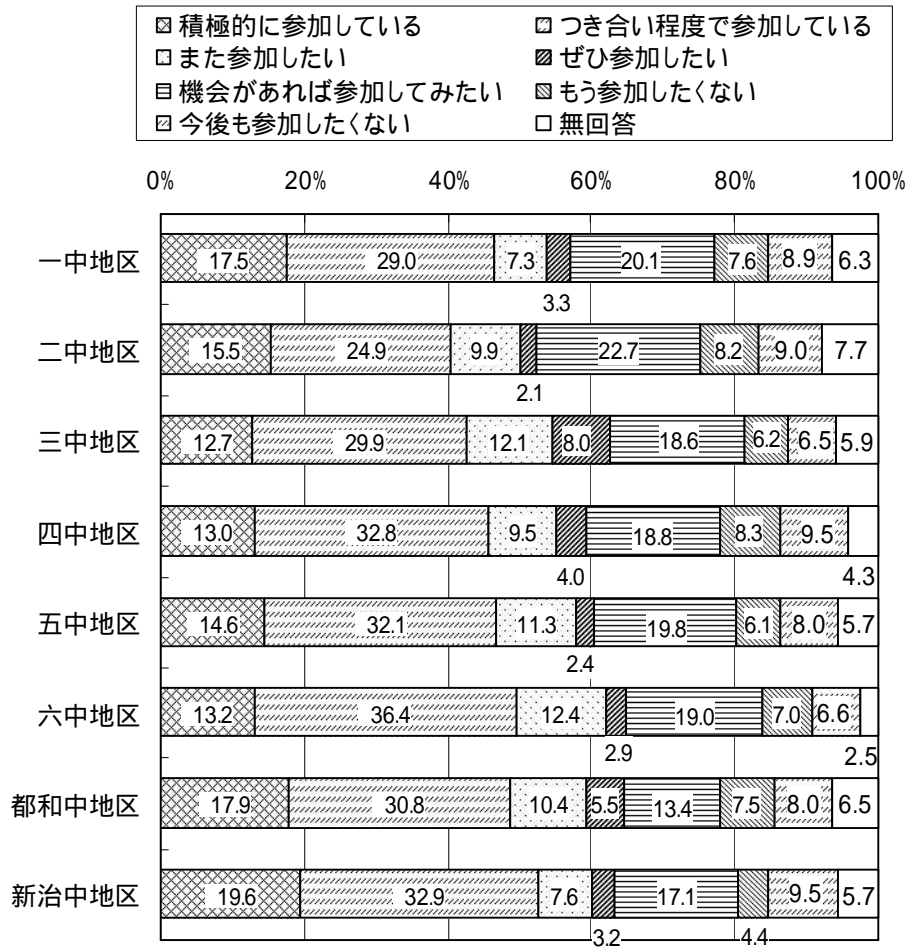
町内会活動やボランティアなど地域の活動への参加状況は、「つき合い程度で参加している」が30.7%と突出しており、2位は「機会があれば参加してみたい」が18.8%です。

“参加している・参加したい”を合計すると、78.8%になり、“参加したくない”の15.4%を大きく上回っています。

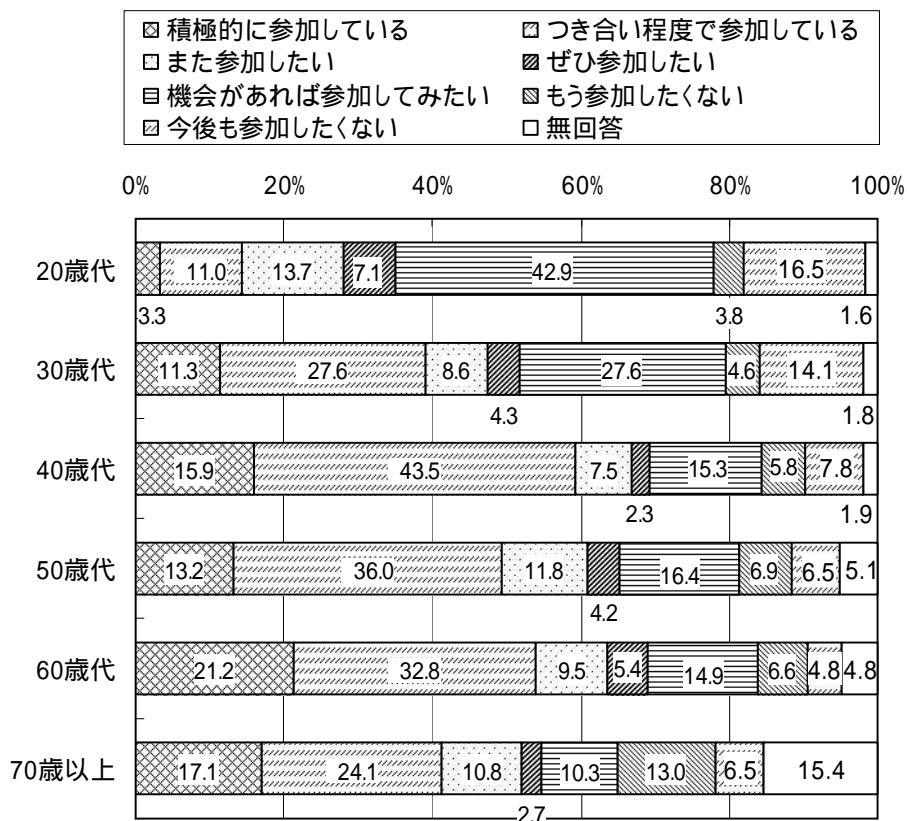
地区別では、各地区とも「つき合い程度で参加している」が多くなっています。

年齢別では、20歳代では「機会があれば参加してみたい」が42.9%で第1位となっていますが、30歳代以上になると、「つき合い程度で参加している」が多くなっています。

地区別地域活動への参加状況

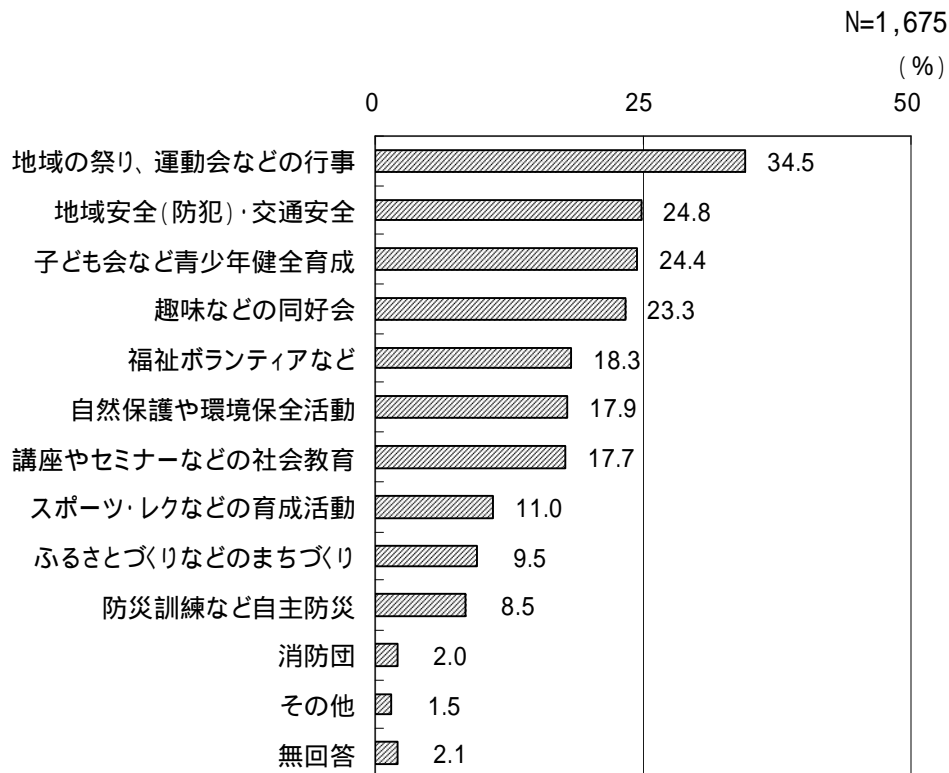


年齢別地域活動への参加状況



(2)参加している（参加したい）内容

問 15（問 14 で回答が「1～5」の方） 具体的には、どのような活動に参加、または参加を希望しますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



具体的に参加してみたい地域の活動としては、「地域の祭り、運動会などの行事」が34.5%と最も多く、次いで「地域安全(防犯)・交通安全」が24.8%、「子ども会など青少年健全育成」が24.4%、「趣味などの同好会」が23.3%です。

地区別では、各地区とも「地域の祭り、運動会などの行事」、「地域安全(防犯)・交通安全」、「子ども会など青少年健全育成」、「趣味などの同好会」などが多くなっています。

年齢別では、20歳代、30歳代、50歳代は「地域の祭り、運動会などの行事」が第1位となっており、40歳代は「子ども会など青少年健全育成」が第1位となっています。60歳代以上は、「趣味などの同好会」が第1位です。

地域別参加している（参加したい）内容

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	地域の祭り、運動会などの行事 28.2	子ども会など青少年健全育成 27.8	地域安全（防犯）・交通安全 26.5	趣味などの同好会 25.6	福祉ボランティアなど、自然保護や環境保全活動 17.9
二中地区	地域の祭り、運動会などの行事 38.3	子ども会など青少年健全育成 26.3	地域安全（防犯）・交通安全 25.7	趣味などの同好会 24.0	福祉ボランティアなど 21.7
三中地区	地域の祭り、運動会などの行事 41.1	地域安全（防犯）・交通安全 28.4	趣味などの同好会 21.8	講座やセミナーなどの社会教育 19.3	子ども会など青少年健全育成 18.9
四中地区	地域の祭り、運動会などの行事 32.4	趣味などの同好会 26.9	子ども会など青少年健全育成 22.4	地域安全（防犯）・交通安全、講座やセミナーなどの社会教育 21.5	
五中地区	地域の祭り、運動会などの行事 34.7	子ども会など青少年健全育成 31.2	地域安全（防犯）・交通安全 30.0	趣味などの同好会 23.5	講座やセミナーなどの社会教育 19.4
六中地区	地域の祭り、運動会などの行事 38.4	子ども会など青少年健全育成、地域安全（防犯）・交通安全 22.2		趣味などの同好会、講座やセミナーなどの社会教育 20.7	
都和中地区	地域の祭り、運動会などの行事 33.1	子ども会など青少年健全育成 26.8	地域安全（防犯）・交通安全 25.5	趣味などの同好会 23.6	福祉ボランティアなど 20.4
新治中地区	地域の祭り、運動会などの行事 26.8	自然保護や環境保全活動 23.6	子ども会など青少年健全育成 22.8	福祉ボランティアなど 22.0	地域安全（防犯）・交通安全 18.9

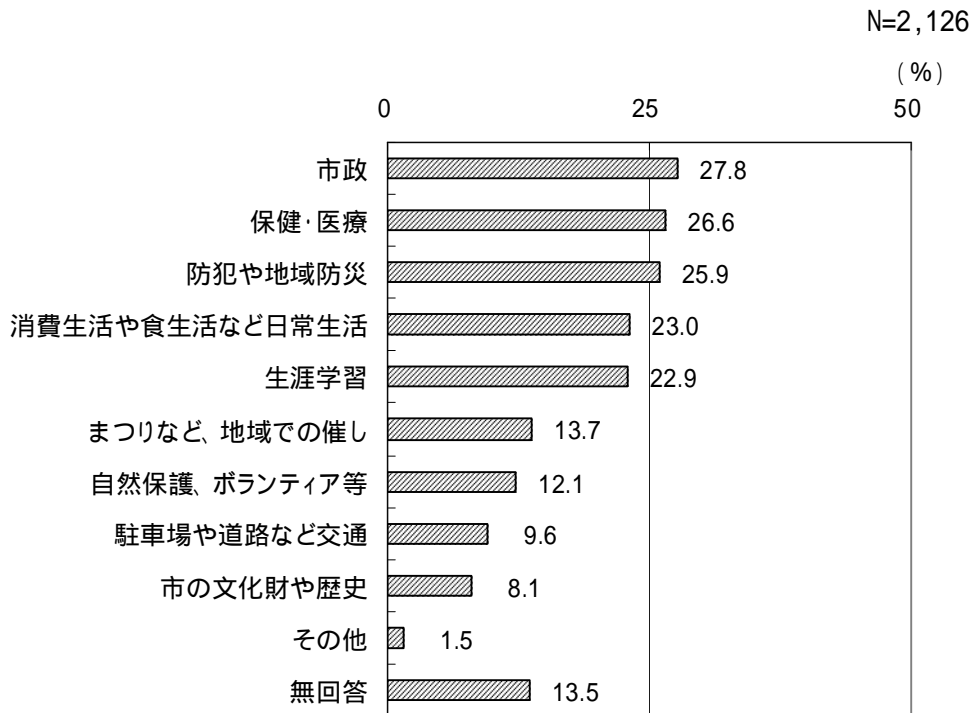
年齢別参加している（参加したい）内容

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	地域の祭り、運動会などの行事 40.8	福祉ボランティアなど 24.6	スポーツ・れくなどの育成活動 23.2	講座やセミナーなどの社会教育 22.5	趣味などの同好会 19.7
30歳代	地域の祭り、運動会などの行事 46.7	子ども会など青少年健全育成 39.4	地域安全（防犯）・交通安全 22.4	スポーツ・れくなどの育成活動 15.1	自然保護や環境保全活動 13.1
40歳代	子ども会など青少年健全育成 50.8	地域の祭り、運動会などの行事 40.0	地域安全（防犯）・交通安全 22.7	講座やセミナーなどの社会教育 15.0	福祉ボランティアなど 14.6
50歳代	地域の祭り、運動会などの行事 32.3	地域安全（防犯）・交通安全 22.9	趣味などの同好会 22.7	子ども会など青少年健全育成 22.1	自然保護や環境保全活動 21.5
60歳代	趣味などの同好会 30.2	地域安全（防犯）・交通安全 29.7	地域の祭り、運動会などの行事 29.0	福祉ボランティアなど 22.3	自然保護や環境保全活動 20.8
70歳以上	趣味などの同好会 40.8	地域安全（防犯）・交通安全 33.3	地域の祭り、運動会などの行事 24.2	自然保護や環境保全活動 17.9	講座やセミナーなどの社会教育 17.1

10 地域情報・まちづくり情報の入手

(1) 知りたい情報等

問 16 土浦市の情報やサービスについて、あなたが特に知りたいものは何ですか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



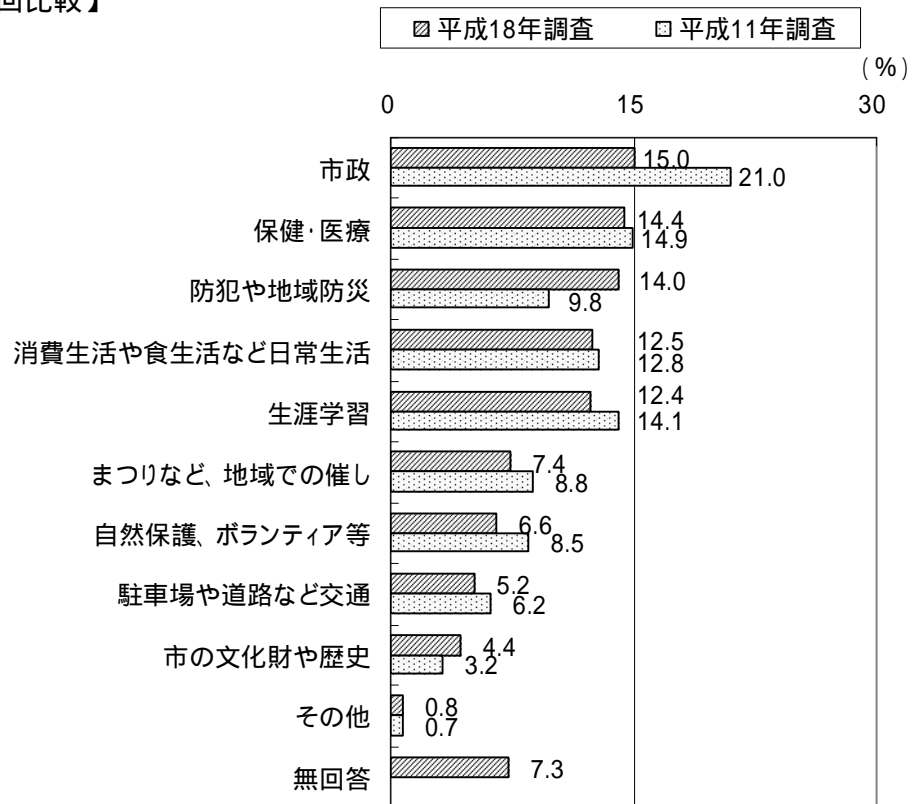
土浦市の情報やサービスについて知りたいものとしては、「市政」が27.8%、「保健・医療」が26.6%、「防犯や地域防災」が25.9%です。

前回の調査と比較すると、上位2項目に変化はありませんが、第1位の「市政」の割合が大きく減少しています。

地区別では、各地区とも「市政」、「保健・医療」、「防犯や地域防災」などが多くなっていますが、地区によってばらつきがあります。

年齢別では、30歳代以下で「保健・医療」が、40歳代で「防犯や地域防災」が、50歳代以上で「市政」が、それぞれ第1位となっています。

知りたい情報等【前回比較】



平成11年の調査結果が合計100%となっていたため、平成18年調査の結果を100%に按分した。

「防犯や地域防災」は、平成11年調査では「地域防災」のみである。

地区別知りたい情報等

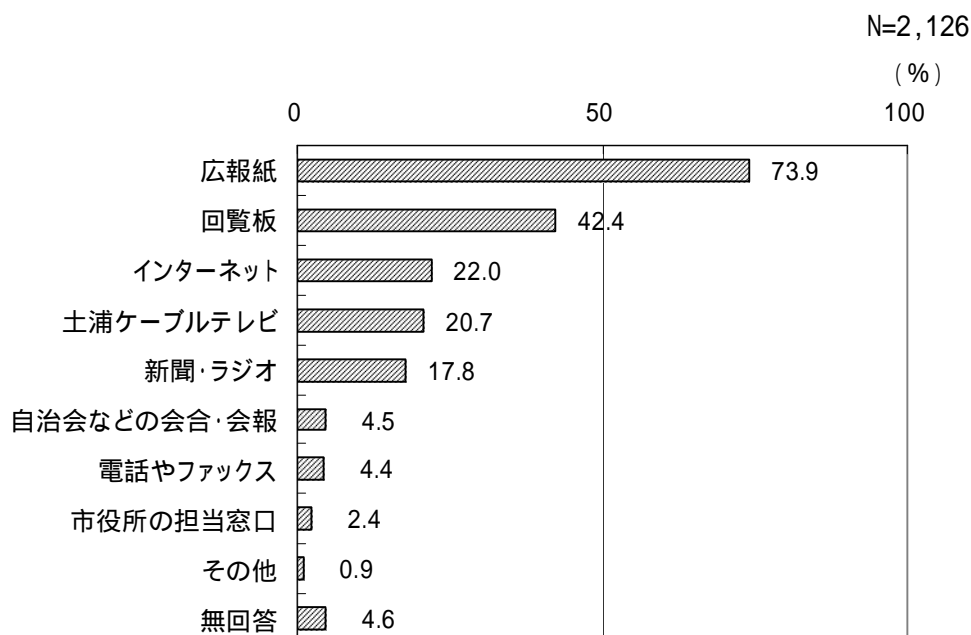
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	市政 31.4	保健・医療 23.8	防犯や地域防災 23.1	生涯学習 21.5	消費生活や食生活など日常生活 20.5
二中地区	防犯や地域防災 31.8	市政 28.8	保健・医療 27.0	消費生活や食生活など日常生活 24.5	生涯学習 17.6
三中地区	保健・医療 32.5	防犯や地域防災 26.9	生涯学習 23.7	市政 23.1	消費生活や食生活など日常生活 21.9
四中地区	市政 31.5	防犯や地域防災 28.5	保健・医療 25.0	生涯学習 24.5	消費生活や食生活など日常生活 22.8
五中地区	生涯学習 30.2	保健・医療 29.2	防犯や地域防災 25.9	消費生活や食生活など日常生活 23.6	市政 20.8
六中地区	防犯や地域防災 28.1	生涯学習、 市政 26.9	消費生活や食生活など日常生活 24.0	保健・医療 22.3	
都和中地区	消費生活や食生活など日常生活、 保健・医療 25.9	市政 25.4	防犯や地域防災、 生涯学習 21.9		
新治中地区	市政 34.8	保健・医療 28.5	消費生活や食生活など日常生活 25.3	防犯や地域防災 19.0	生涯学習 14.6

年齢別知りたい情報等

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	保健・医療 39.0	生涯学習 26.4	まつりなど、地域での催し 25.3	防犯や地域防災 20.9	市政、 駐車場や道路など交通 19.8
30歳代	保健・医療 38.0	防犯や地域防災 27.9	消費生活や食生活など日常生活 27.3	まつりなど、地域での催し 26.4	生涯学習 22.1
40歳代	防犯や地域防災 32.1	保健・医療 31.5	市政 28.9	生涯学習 24.7	消費生活や食生活など日常生活 23.1
50歳代	市政 28.2	生涯学習 27.5	消費生活や食生活など日常生活 23.3	防犯や地域防災 22.2	保健・医療 18.9
60歳代	市政 32.0	防犯や地域防災 24.3	消費生活や食生活など日常生活 22.8	生涯学習 22.0	保健・医療 19.5
70歳以上	市政 34.4	防犯や地域防災 29.0	保健・医療 25.5	消費生活や食生活など日常生活 24.4	生涯学習 16.3

(2)情報等入手手段

問 17 あなたは、土浦市からの情報やサービスを何によって知りたいと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



市からの情報を得る手段としては、「広報紙」が73.9%と突出しており、次いで、「回覧板」が42.4%となっており、従来の情報伝達手段が大勢を占めますが、3位に「インターネット」が22.0%、4位に「土浦ケーブルテレビ」が20.7%と新しい手段もあがってきています。

地区別では、各地区とも「広報紙」、「回覧板」が多くなっています。

年齢別では、各年代とも「広報紙」が第1位となっていますが、第2位は、30歳代以下で「インターネット」、40歳代以上で「回覧板」です。

地区別情報等入手手段

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一中地区	広報紙 75.9	回覧板 40.3	土浦ケーブルテレビ 23.1	インターネット 21.5	新聞・ラジオ 18.5
二中地区	広報紙 72.5	回覧板 38.6	インターネット 25.3	土浦ケーブルテレビ 24.5	新聞・ラジオ 17.6
三中地区	広報紙 72.2	回覧板 42.3	インターネット 24.9	土浦ケーブルテレビ、 新聞・ラジオ	16.9
四中地区	広報紙 76.0	回覧板 41.8	インターネット 23.3	土浦ケーブルテレビ 22.3	新聞・ラジオ 19.0
五中地区	広報紙 74.5	回覧板 41.5	インターネット 23.6	土浦ケーブルテレビ 20.8	新聞・ラジオ 16.5
六中地区	広報紙 76.4	回覧板 43.8	土浦ケーブルテレビ 23.1	インターネット 22.3	新聞・ラジオ 17.8
都和中地区	広報紙 71.1	回覧板 46.3	土浦ケーブルテレビ 20.4	新聞・ラジオ 16.9	インターネット 15.4
新治中地区	広報紙 74.7	回覧板 48.7	新聞・ラジオ 19.6	インターネット 18.4	土浦ケーブルテレビ 8.9

年齢別情報等入手手段

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	広報紙 73.1	インターネット 49.5	土浦ケーブルテレビ 23.6	回覧板 22.0	新聞・ラジオ 18.7
30歳代	広報紙 75.5	インターネット 34.7	回覧板 32.2	土浦ケーブルテレビ 25.2	新聞・ラジオ 19.9
40歳代	広報紙 75.0	回覧板 39.9	インターネット 34.1	土浦ケーブルテレビ 22.4	新聞・ラジオ 14.6
50歳代	広報紙 69.3	回覧板 40.2	インターネット 23.1	土浦ケーブルテレビ 22.4	新聞・ラジオ 18.7
60歳代	広報紙 77.4	回覧板 53.9	土浦ケーブルテレビ 19.3	新聞・ラジオ 16.4	インターネット 8.9
70歳以上	広報紙 74.5	回覧板 50.9	新聞・ラジオ 19.0	土浦ケーブルテレビ 13.6	自治会などの会 合・会報 6.8

11 自由意見

最後に、まちづくりや市政について、ご意見・ご要望、ご提案などがありましたらご自由にお書きください。

自由記入意見欄に記載された意見等の件数をカウントしたところ、「商業・業務」や「道路」、「行政運営」、「公共交通」などで、特に指摘が多くなっています。

自由記入意見件数

意見	件数	割合(%)
保健・福祉	192	11.1
人にやさしいまちづくり	33	1.9
地域福祉	1	0.06
高齢者福祉	51	2.9
児童福祉	57	3.3
障害者(児)福祉	17	1.0
低所得者福祉	4	0.2
保健・医療	22	1.3
国民健康保険	5	0.3
国民年金	2	0.1
生活環境 防災・防犯	254	14.6
環境の保全及び創造	29	1.7
霞ヶ浦の水質浄化	21	1.2
上水道	25	1.4
下水道	34	2.0
住宅	8	0.5
ごみ対策	26	1.5
環境衛生	20	1.2
防災	14	0.8
消防	2	0.1
防犯	55	3.2
交通安全	20	1.2
教育・文化	200	11.5
幼児教育	5	0.3
義務教育	33	1.9
高等・大学等教育	4	0.2
生涯学習	39	2.2
青少年の健全育成	21	1.2
スポーツ・レクリエーション	59	3.4
市民文化	32	1.8
文化財	4	0.2
国際化	3	0.2

(つづき)

意見	件数	割合(%)
産業・観光	317	18.3
商業・業務	196	11.3
観光	89	5.1
農林水産業	25	1.4
勤労者福祉	7	0.4
都市環境 都市基盤	436	25.1
都市環境	5	0.3
中心市街地	7	0.4
市街地	2	0.1
公共交通	109	6.3
道路	156	9.0
公園・緑地	41	2.4
河川・橋梁	28	1.6
駐車場	61	3.5
都市・自然景観	16	0.9
情報通信技術	11	0.6
市政運営	258	14.9
市民参加	54	3.1
コミュニティ活動	11	0.6
地方分権	13	0.7
市町村合併	17	
広域行政	4	
行政運営	132	
財政運営	27	
その他	79	4.6
少子化対策	17	
人口問題	4	
アンケートについて	14	
～のまちづくり	44	
合計	1,736	100

調査の結果

2 中学生

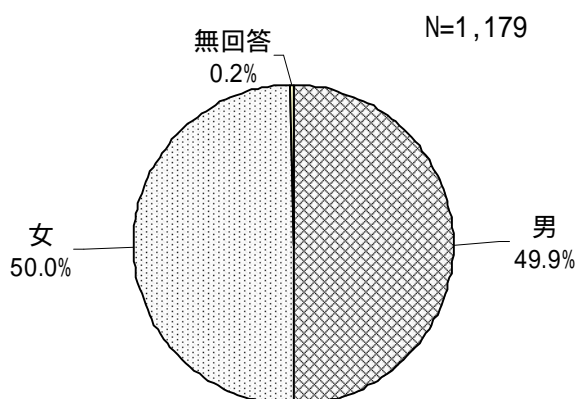
- 2 調査の結果（中学生）

1 回答者の属性

あなたの性別は。

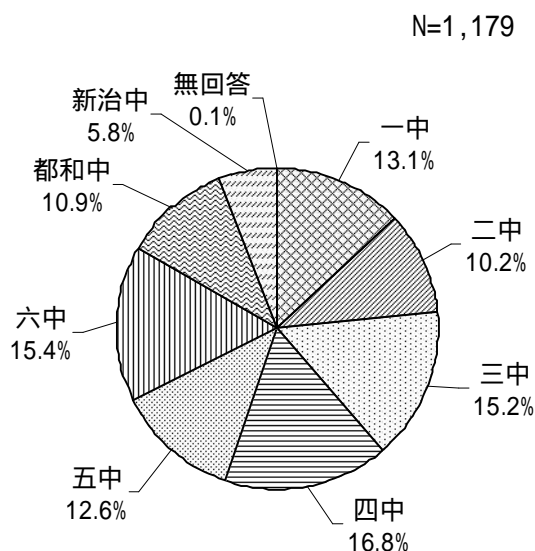
中学生の回答者の属性は、「男」が49.9%、「女」が50.0%です。

“男女”がほぼ同率となっています。



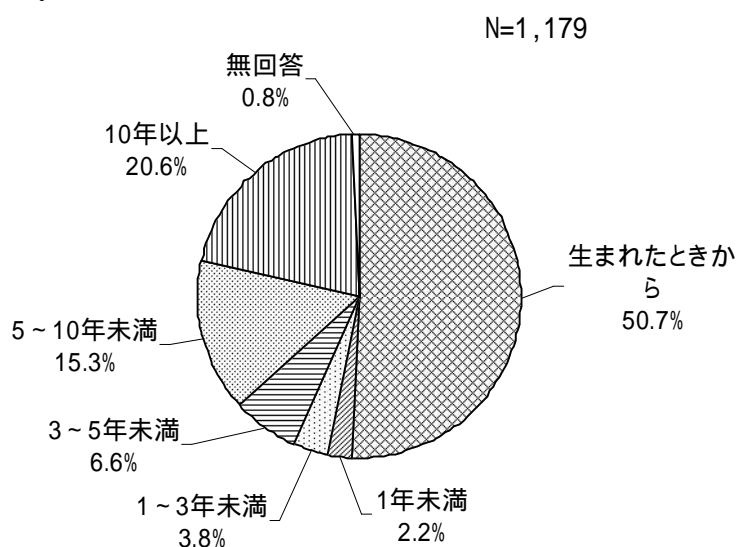
あなたの通う中学校は。

通っている中学校は、「四中」が最も多く16.8%、次いで、「六中」が15.4%、「三中」が15.2%です。



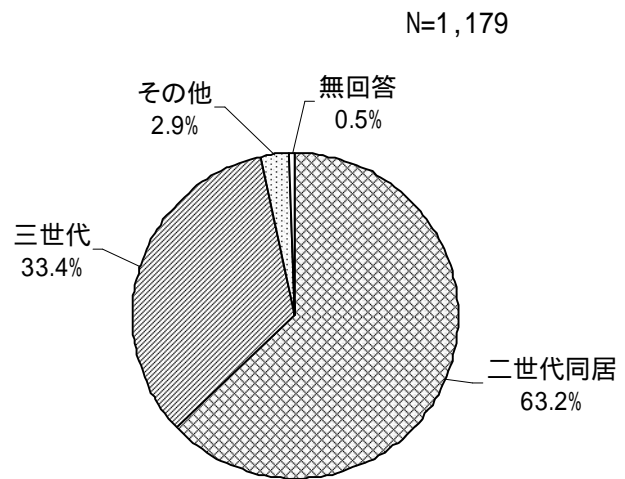
あなたが土浦市（旧新治村も含めて）に住んでいる期間は。

居住年数は、「生まれたときから」が50.7%で、「10年以上」の20.6%を合わせると71.3%になります。



あなたの家族構成は。

家族構成は、「二世世代同居」が63.2%、「三世世代同居」が33.4%であり、一般市民より中学生のいる世帯では、核家族化が進んでいます。



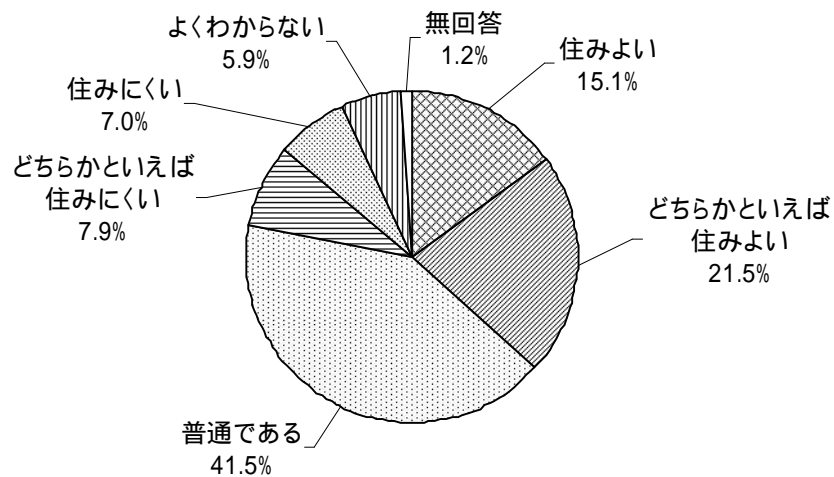
2 土浦市の住み心地

(1)土浦市の住み心地

問1 あなたは、土浦市の住み心地をどのように感じますか。

次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

N=1,179



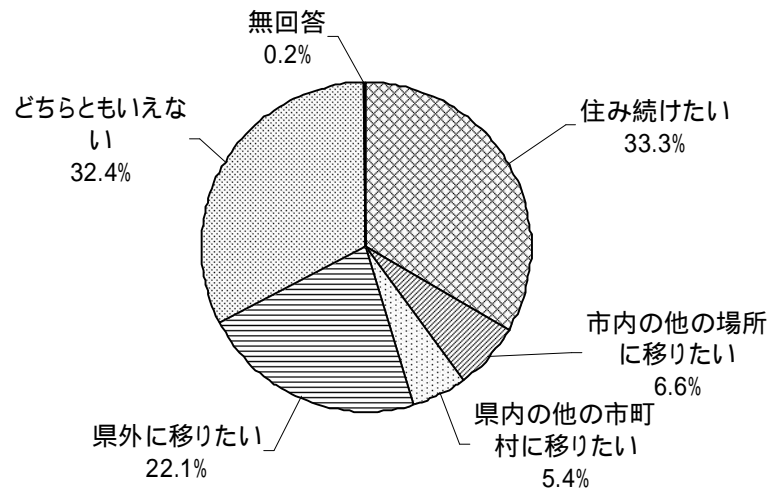
中学生は住み心地について、「住みよい」が15.1%、「どちらかといえば住みよい」が21.5%で、合わせて“住みよい”が36.6%です。

“住みよい”は、“住みにくい”の14.9%を大きく上回っており、「普通である」の41.5%を加えると、78.1%が肯定的な回答です。

(2)定住意向

問2 あなたは、今住んでいる場所にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

N=1,179



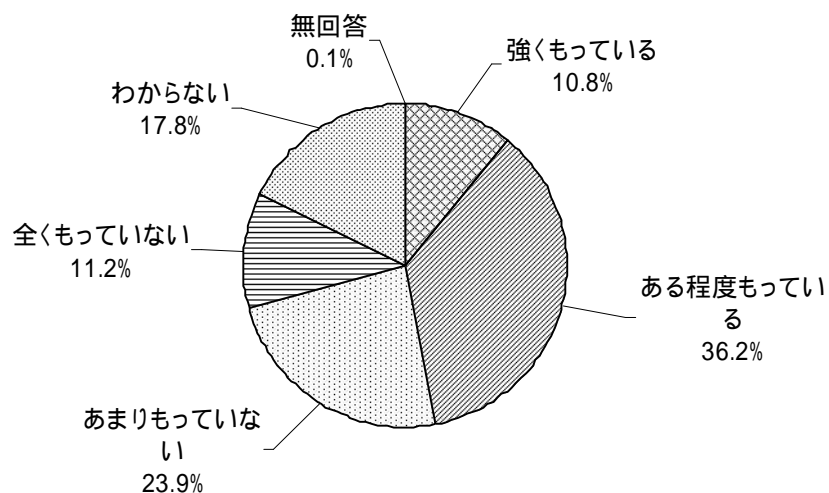
中学生がこれからも土浦市に住み続けたいかどうかの意向では、「住み続けたい」が33.3%、「市内の他の場所に移りたい」が6.6%で合わせて「市内に住みたい」が39.9%です。

一方、「市外に移りたい」が27.5%です。

(3)愛着心

問3 あなたは、土浦市に「わがまち」や「ふるさと」という愛着をもっていますか。
 次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

N=1,179

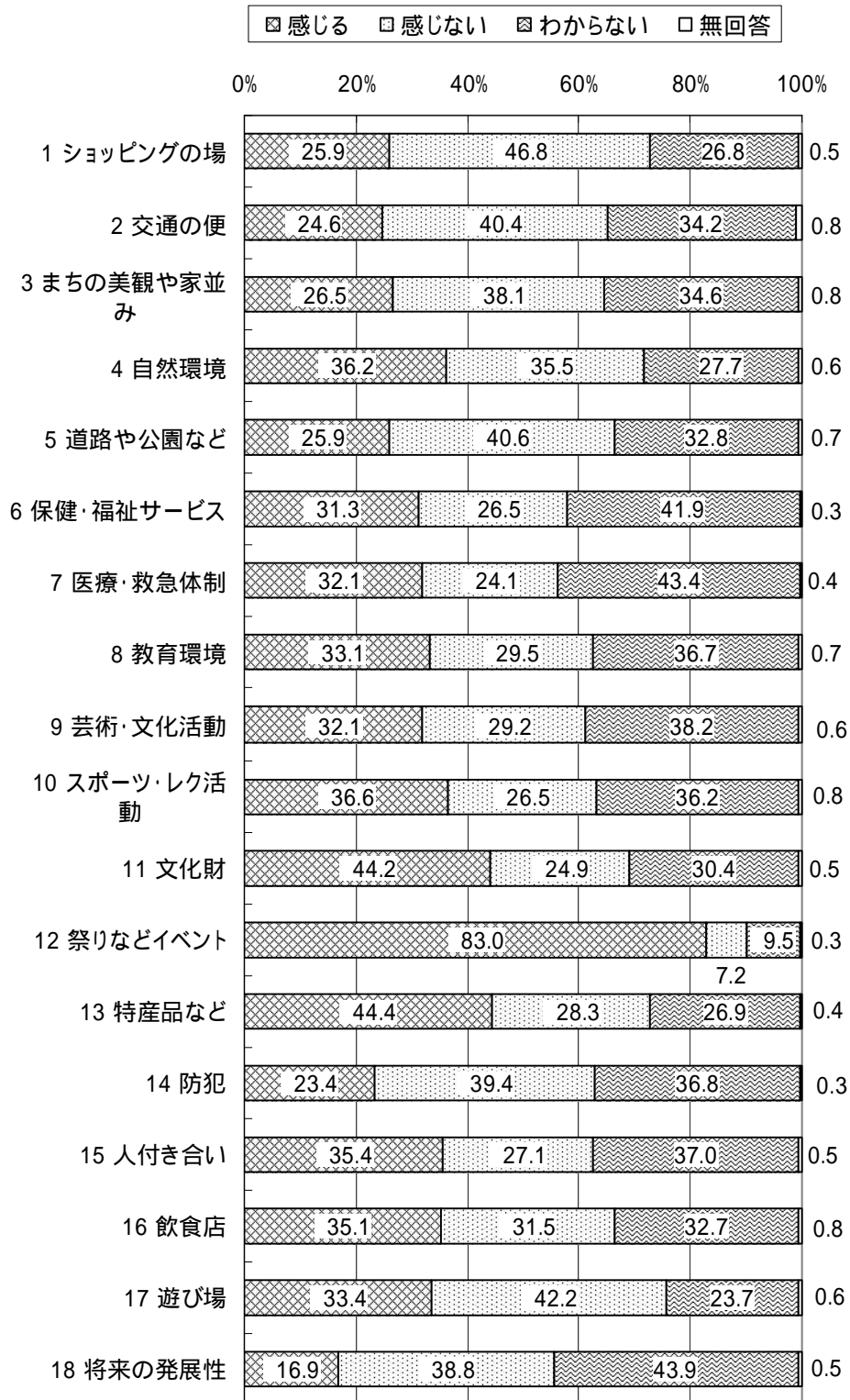


中学生が土浦市に“わがまち・ふるさと”の愛着をもっているかどうかについては、“もっている”が合わせて47.0%で、“もっていない”の35.1%を上回っています。

(4)土浦市の魅力

問4 あなたは、土浦市に魅力を感じていますか。次の各項目について、魅力を感じるかどうか、当てはまる番号を選んで、「 」で囲んでください。

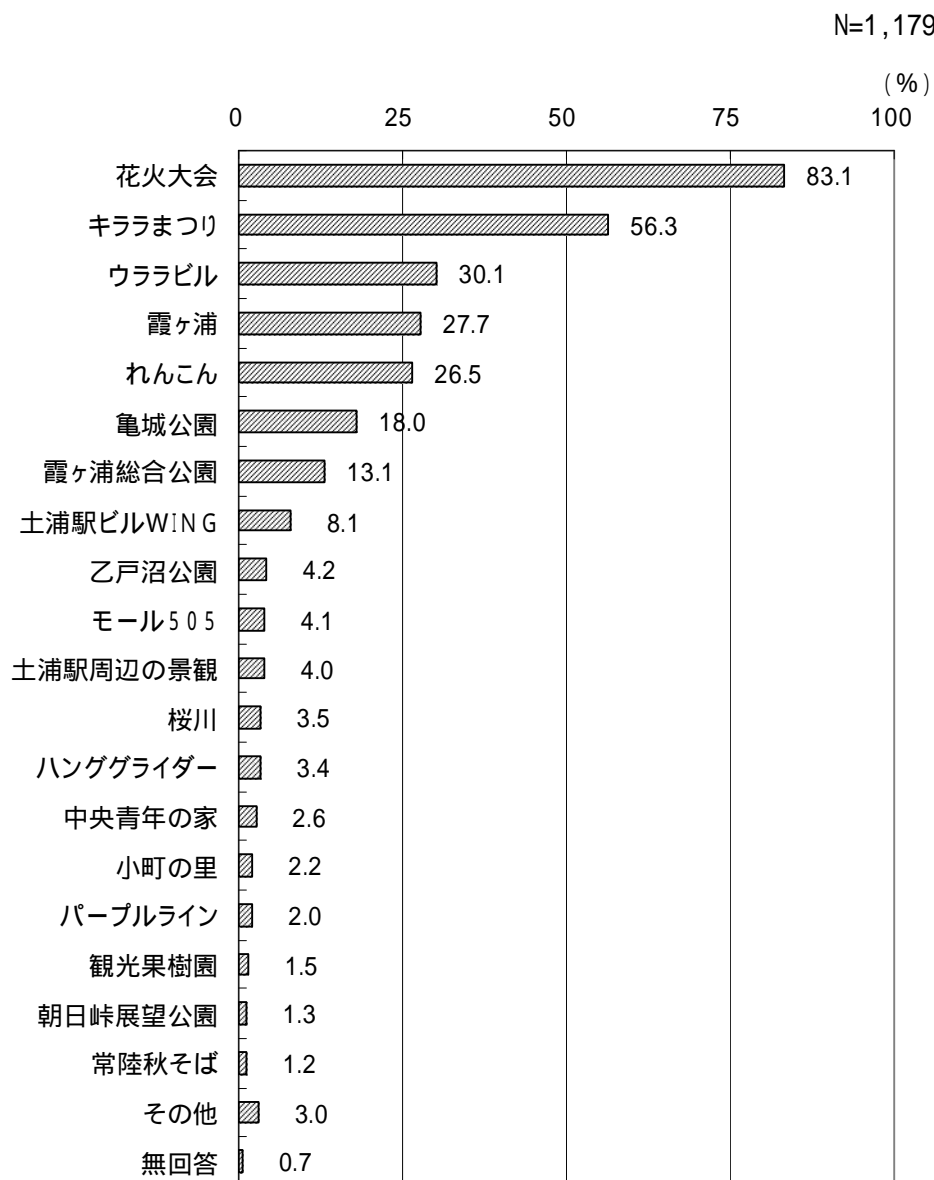
N=1,179



中学生が土浦市に感じる魅力については、「祭りやイベント」が83.0%、「特産品など」が44.4%、「文化財」が44.2%です。一方、魅力を感じないものは、「ショッピングの場」が46.8%です。

(5)土浦らしさ

問5 土浦市の中で、好きな場所、人に紹介したいもの、または土浦らしいと思うものは何ですか。次の中から当てはまるものを3つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

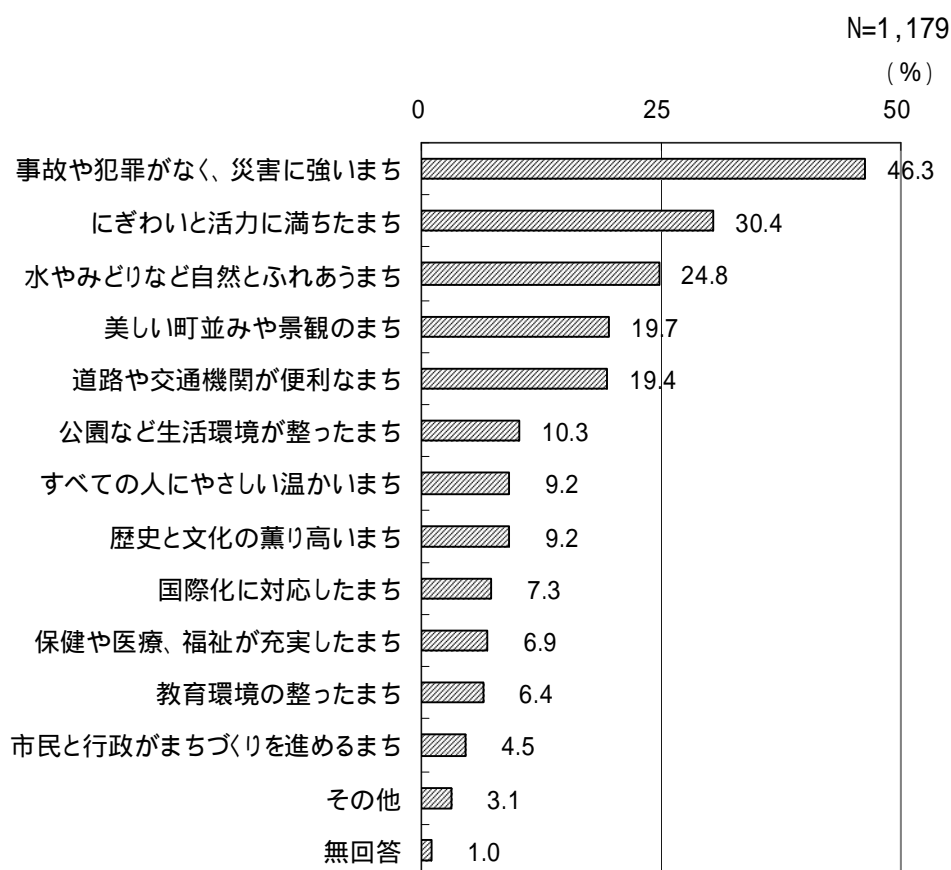


中学生が土浦市で好きな場所、土浦らしいと思うものは、「花火大会」が83.1%と最も多く、「キラまつり」も56.3%と半数を超えています。

3 今後のまちづくり

(1) 将来イメージ

問6 あなたは、土浦市がどのようなまちになればいいと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。



中学生が抱く土浦市の将来のイメージとしては、「事故や犯罪がなく、災害に強いまち」が46.3%で一番多く、現実的な現代っ子像が伺えます。

次いで、「にぎわいと活力に満ちたまち」が30.4%です。

(2)土浦にほしいもの

問7 あなたが、土浦にあったらいいと思うもの（施設、サービスなど）は何ですか。
1つだけ記入してください。

土浦市にあったらいいと思うものは、「ショッピングセンター」や「娯楽施設」、「店舗・お店・商店街」、「スポーツ施設」、「デパート」などです。

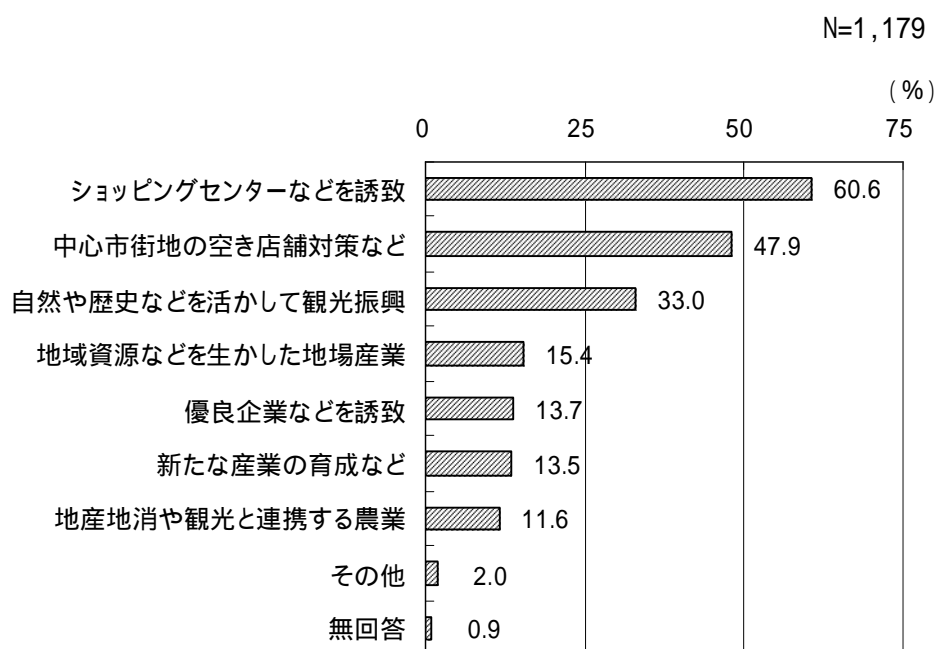
土浦市にほしいもの

項目	件数	割合
ショッピングセンター	116	12.8
娯楽施設	113	12.5
店舗・お店・商店街	112	12.3
スポーツ施設	84	9.3
デパート	54	6.0
子どもの遊び場・施設	39	4.3
公園	38	4.2
テーマパーク	30	3.3
自然・自然とふれあえる場	29	3.2
図書館	25	2.8
イベント・イベント会場	24	2.6
プール	21	2.3
交通機関	20	2.2
道路整備	17	1.9
体育館	14	1.5
観光スポット・施設	9	1.0
文化施設	9	1.0
博物館・美術館	9	1.0
病院	8	0.9
福祉施設	7	0.8
学校にクーラー	7	0.8
高齢者福祉施設	6	0.7
運動公園	6	0.7
生涯学習施設	5	0.6
スポーツ用品店	5	0.6
医療福祉	5	0.6
シンボル施設	4	0.4
まちのガイド	4	0.4
防災施設	4	0.4
その他	105	11.6
記入者数	907	100.0

4 まちの活性化について

(1) 産業振興策

問8 土浦市をさらに「元気」にするため、どのような産業面の取り組みが重要だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

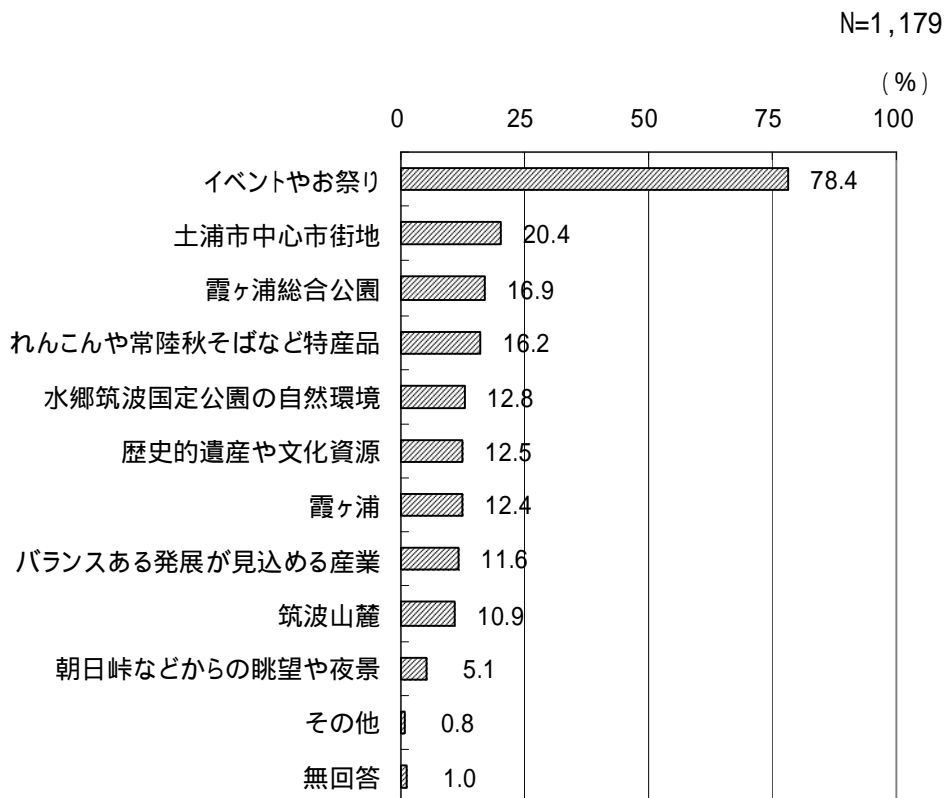


土浦市を“元気”にするために重要なこととしては、「ショッピングセンターなどを誘致」が60.6%で第1位にあがっているのが中学生の特徴です。

次いで、「中心市街地の空き店舗対策など」が47.9%、「自然や歴史などを活かして観光振興」が33.0%です。

(2)地域資源の活用

問9 土浦市のまちづくりのため、有効に活用すべき地域の「資源」には、どのようなものがあると思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。



まちづくりに有効に活用すべき地域の“資源”としては、「イベントやお祭り」が78.4%と突出しているのが中学生の特徴です。

(3)その他の資源

問 10 土浦ならではのもので、まだ生かされていないもの、またはもっと売りこむべきもの（ふるさと自慢^{じまん}）がありましたら、記入してください。

例) 食の関係、歴史的なもの、有名なスポット、人など

土浦市の地域資源としては、「レンコン」が最も多く、「霞ヶ浦」、「花火大会」、「亀城公園」、「歴史的なもの」などが続いています。

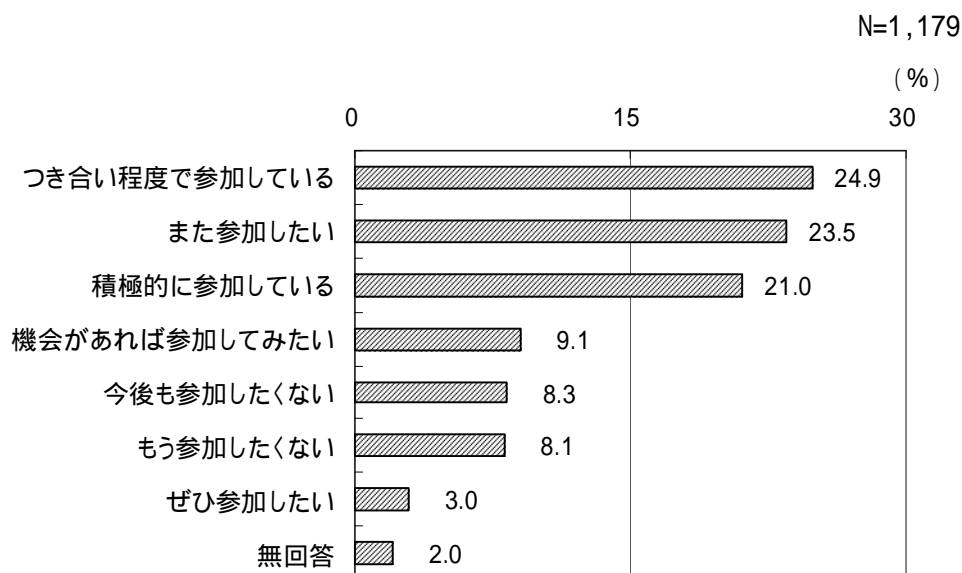
土浦の資源

項目	件数	割合(%)
レンコン	179	35.2
霞ヶ浦	44	8.6
花火大会	44	8.6
亀城公園	32	6.3
歴史的なもの	26	5.1
有名スポット	23	4.5
キララ祭り	20	3.9
水郷公園	14	2.8
商業施設	12	2.4
有名人	12	2.4
祭り	11	2.2
特産品	10	2.0
食	9	1.8
上高津貝塚	8	1.6
小町の里	8	1.6
モール505	8	1.6
自然	7	1.4
筑波山	7	1.4
ウララ	6	1.2
中学校	4	0.8
ツェペリンカレー	4	0.8
真鍋の桜	4	0.8
そば	3	0.6
土浦城	3	0.6
文化	3	0.6
その他	111	21.8
記入者数	509	100.0

5 地域活動への参加

(1) 地域活動への参加状況

問 11 あなたは、身近なボランティア活動やお祭りなど地域の活動にどの程度参加していますか。次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

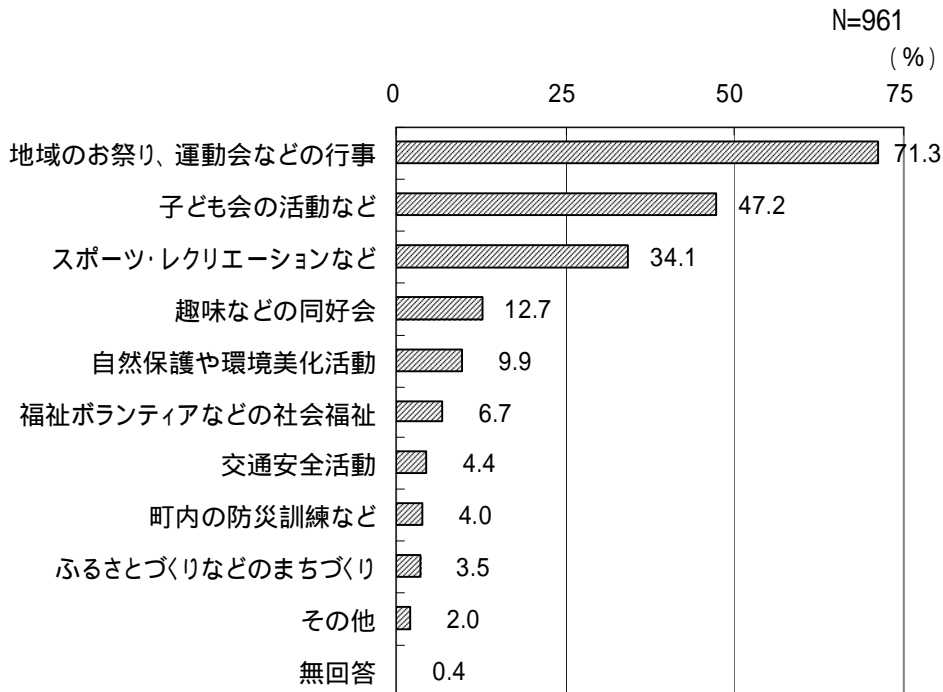


地域の活動への参加については、「つきあい程度で参加している」が24.9%と一番多く、一般市民と同様の傾向が見られます。

“参加している・したい”を合わせると81.5%を占め、“参加したくない”は16.4%となっています。

(2)参加している（参加したい）活動

問 12（問 11 で「1～5」の回答の方） 具体的には、どのような活動に参加、または参加を希望していますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

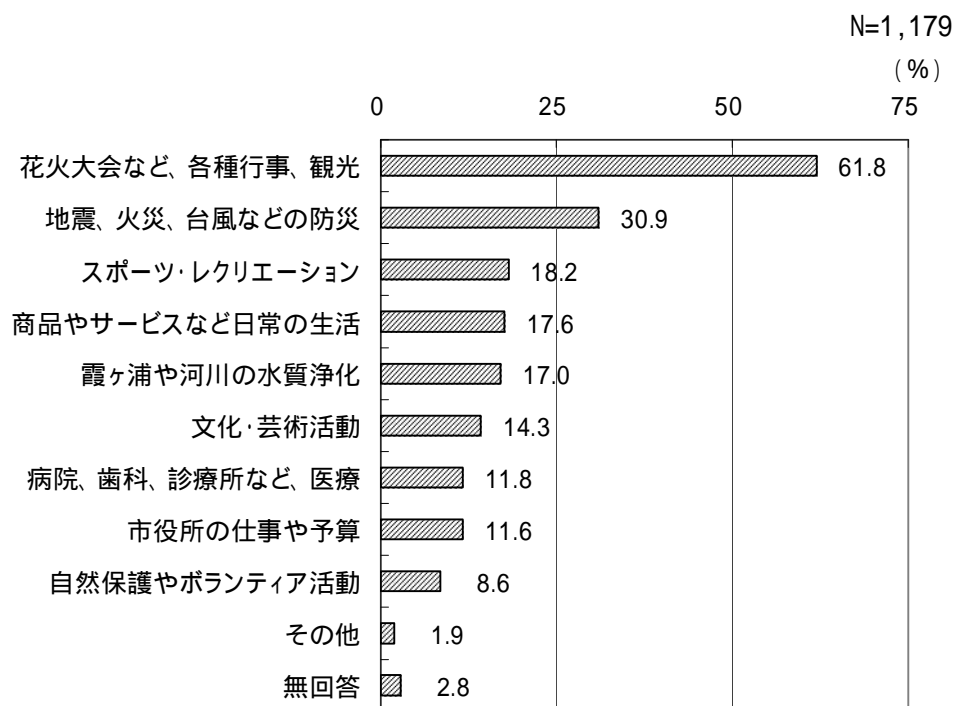


中学生が参加してみたい地域活動では、「地域のお祭り、運動会などの行事」が71.3%と最も多く、次いで、「子ども会の活動など」が47.2%、「スポーツ・レクリエーションなど」が34.1%です。

6 地域情報の入手

(1) 知りたい情報等

問 13 土浦市からのいろいろな情報で、あなたが特に知りたいと思うものは何ですか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

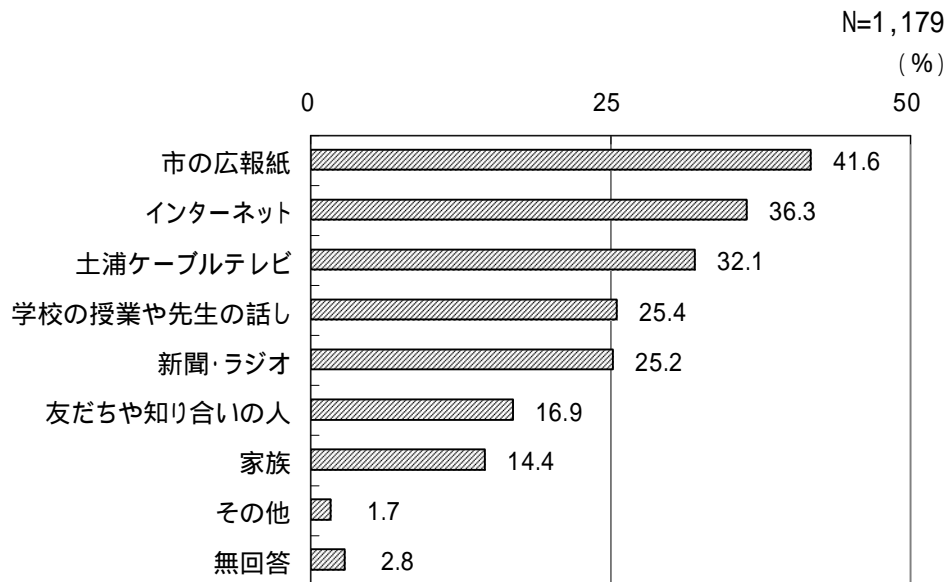


中学生が知りたい土浦市の情報では、「花火大会など、各種行事、観光」が61.8%と突出しており、大学生と同様の傾向です。

次いで、「地震、火災、台風などの防災」が30.9%です。

(2) 情報等入手の方法

問 14 あなたは、土浦市からのいろいろな行事やサービスについて、どんな方法で知りた
いと思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してくだ
さい。



情報を得る手段としては、「市の広報紙」が41.6%、次いで、「インターネット」が36.3%、「土浦ケーブルテレビ」が32.1%です。

“インターネットやケーブルテレビ”が上位を占め、一般市民で2位であがっていた「回覧板」がないことが中学生や大学生に共通した特徴です。

7 自由意見

最後に、新しい土浦市を「住んでよかった、これからも住み続けたい」と思うまちにするため、あなたのアイデアや提案などがあれば、自由に記入してください。

自由記入意見欄に記載された意見等の件数をカウントしたところ、「商業・業務」や「スポーツ・レクリエーション」が、特に多くなっています。

自由記入意見件数

意見	件数	割合(%)
保健・福祉	15	1.7
人にやさしいまちづくり	10	1.2
高齢者福祉	3	0.3
保健・医療	2	0.3
生活環境 防災・防犯	213	24.7
環境の保全及び創造	70	8.1
霞ヶ浦の水質浄化	34	3.9
住宅	6	0.7
ごみ対策	30	3.5
環境衛生	22	2.6
防災	3	0.3
防犯	42	4.9
交通安全	6	0.7
教育・文化	224	26.0
義務教育	56	6.5
生涯学習	13	1.5
青少年の健全育成	17	2.0
スポーツ・レクリエーション	127	14.8
市民文化	7	0.8
文化財	1	0.1
国際化	3	0.3

(つづき)

意見	件数	割合(%)
産業・観光	217	25.2
商業・業務	183	21.3
観光	22	2.6
農林水産業	11	1.3
勤労者福祉	1	0.1
都市環境 都市基盤	130	15.1
都市環境	12	1.4
中心市街地	5	0.6
公共交通	14	1.6
道路	33	3.8
公園・緑地	51	5.9
河川・橋梁	6	0.7
駐車場	1	0.1
都市・自然景観	6	0.7
情報通信技術	2	0.2
市政運営	41	4.8
市民参加	13	1.5
コミュニティ活動	20	2.3
市町村合併	1	0.1
行政運営	3	0.3
財政運営	4	0.5
その他	21	2.4
少子化対策	1	0.1
人口問題	2	0.2
アンケートについて	1	0.1
~のまちづくり	17	2.0
合計	861	100

調査の結果

3 大学生

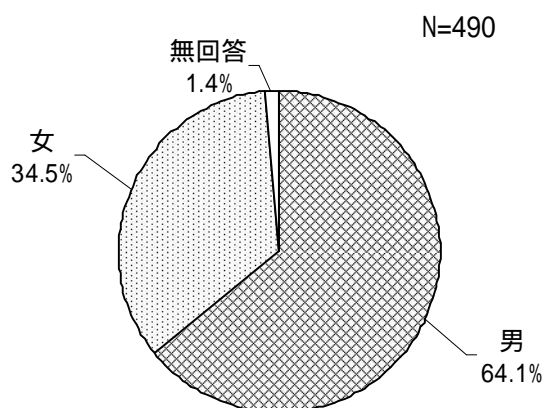
- 3 調査の結果（大学生）

1 回答者の属性

あなたの性別は。

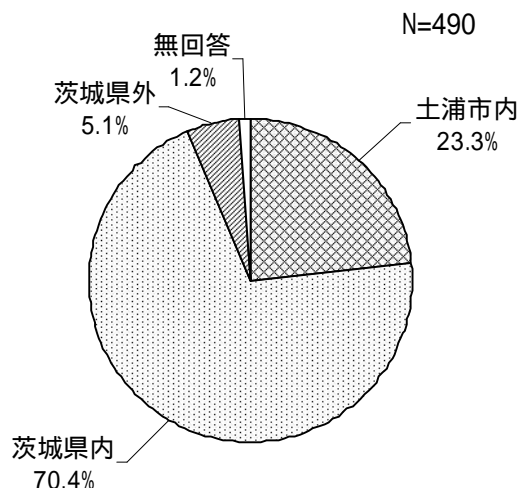
大学生の回答者の属性は、「男」が64.1%、「女」が34.5%です。

“男女比”が一般市民と逆転しています。



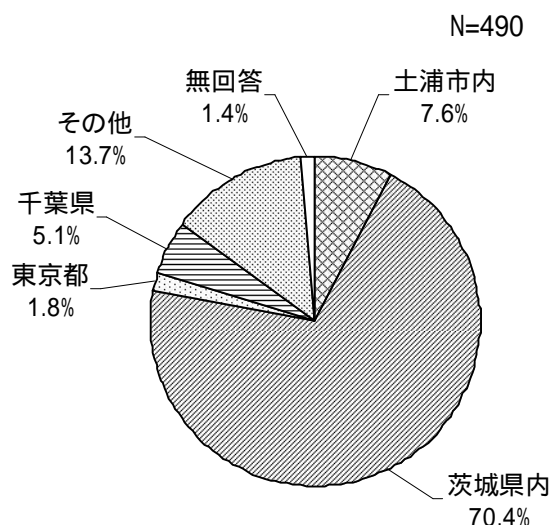
あなたのお住まいは。

「土浦市内」在住者が23.3%、その他の「茨城県内」在住者が70.4%となっており、大学生は“県内在住者”が、全体の93.7%を占めます。



あなたの出身地は。

大学生の出身地は、「土浦市内」が7.3%、その他の「茨城県内」が70.4%で、“県内出身者”が、全体の78.0%を占めます。

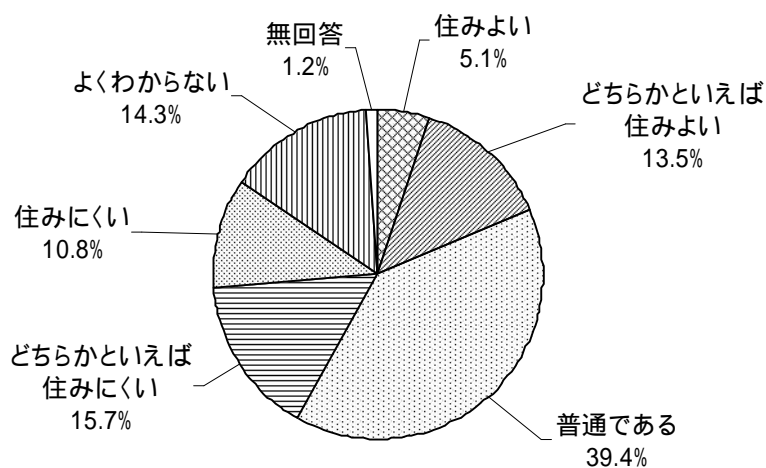


2 土浦市の住み心地

(1)土浦市の住み心地

問1 あなたは、土浦市の住み心地をどのように感じますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。
土浦市内に住んでいない方は、住んだと想定してお答えください。

N=490



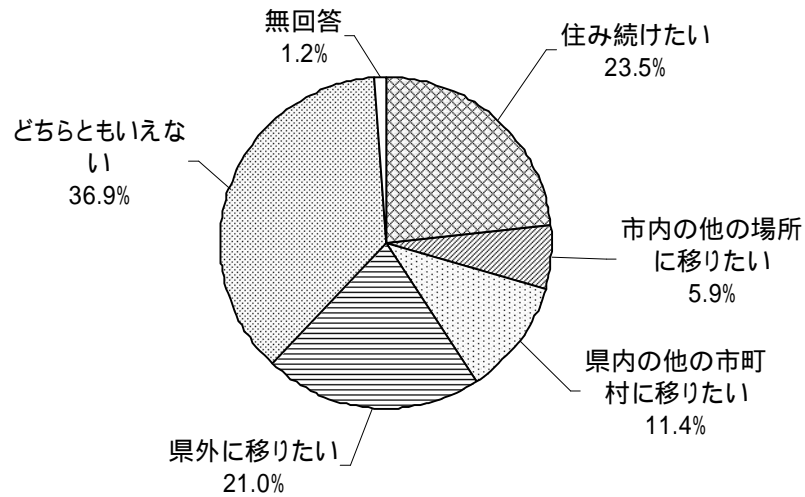
大学生は土浦市の住み心地について、「住みよい」が5.1%、「どちらかといえば住みよい」が13.5%で合わせて「住みよい」が18.6%であり、「住みにくい」の26.5%を下回ります。

「普通である」の39.4%を加えると、「住みよい」という肯定的意見が58.0%になります。

(2)定住意向

問2 あなたは、今住んでいる場所にこれからも住み続けたいと思いますか。
 次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。
 土浦市内に住んでいない方は、住んでいたと想定してお答えください。

N=490



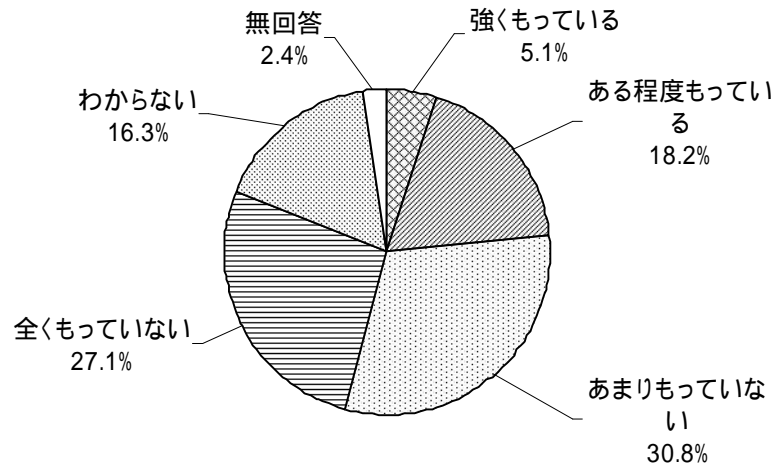
大学生がこれからも土浦市に住み続けたいかどうかの意向では、「住み続けたい」が23.5%、「市内の他の場所に移りたい」が5.9%で合わせて「市内に住みたい」が29.4%です。

一方、「市外に移りたい」が32.4%で「市内に住みたい」を上回りますが、「どちらともいえない」の36.9%を加えると「市内に住みたい」という肯定的意見が66.3%になります。

(3)愛着心

問3 あなたは、土浦市に「わがまち」や「ふるさと」といった愛着をもっていますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

N=490



土浦市に“わがまち・ふるさと”の愛着をもっているかどうかについては、“もっている”が合わせて23.3%で、“もっていない”が57.9%で、中学生と比べると逆転傾向です。

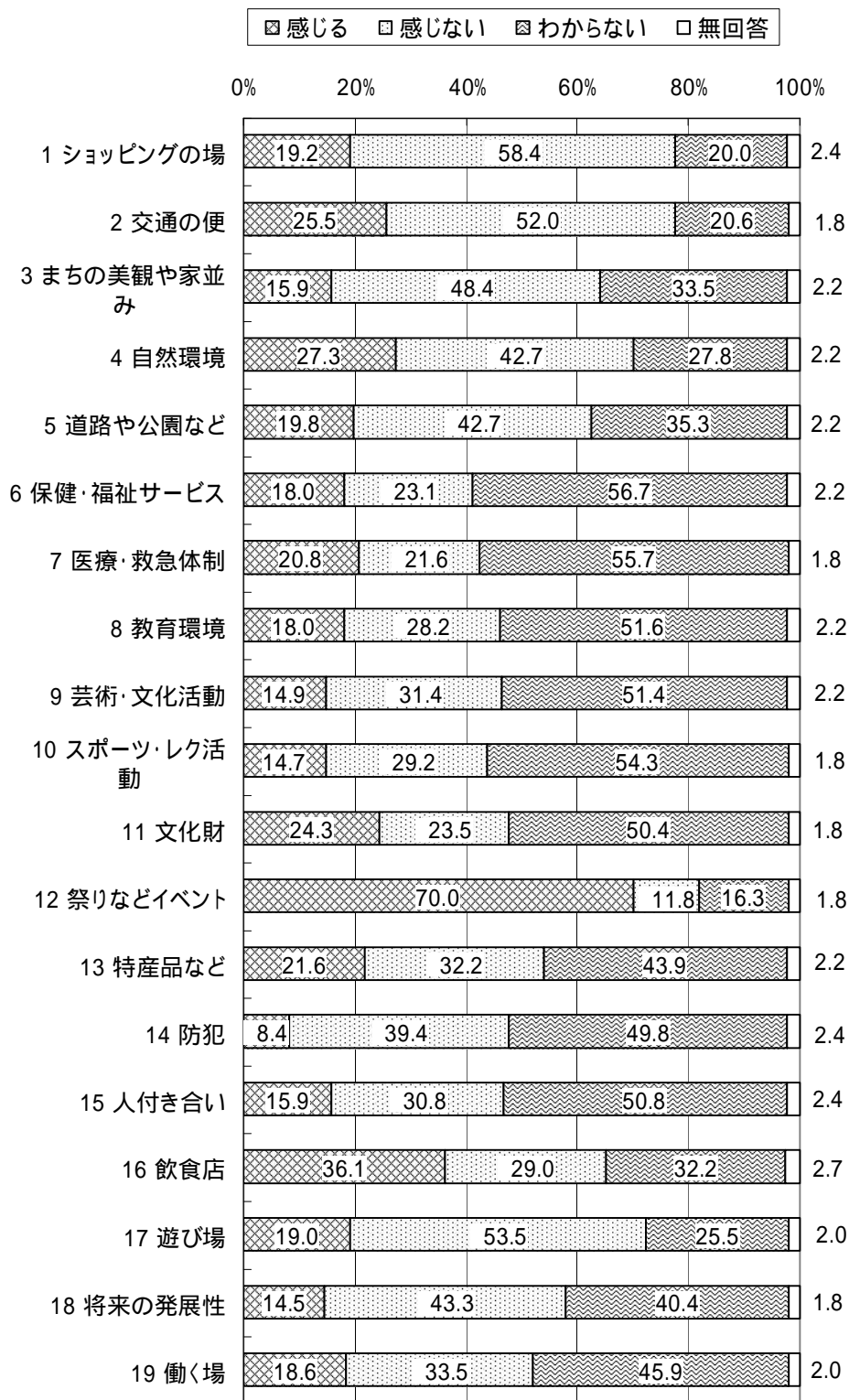
これは、大学生の回答者は“土浦市内在住者”が、23.3%であるための結果と推測されます。

(4)土浦市の魅力

問4 あなたは、土浦市に魅力を感じていますか。

各項目について、魅力を感じるかどうか、当てはまる番号を1つずつ選んで、「」で囲んでください。

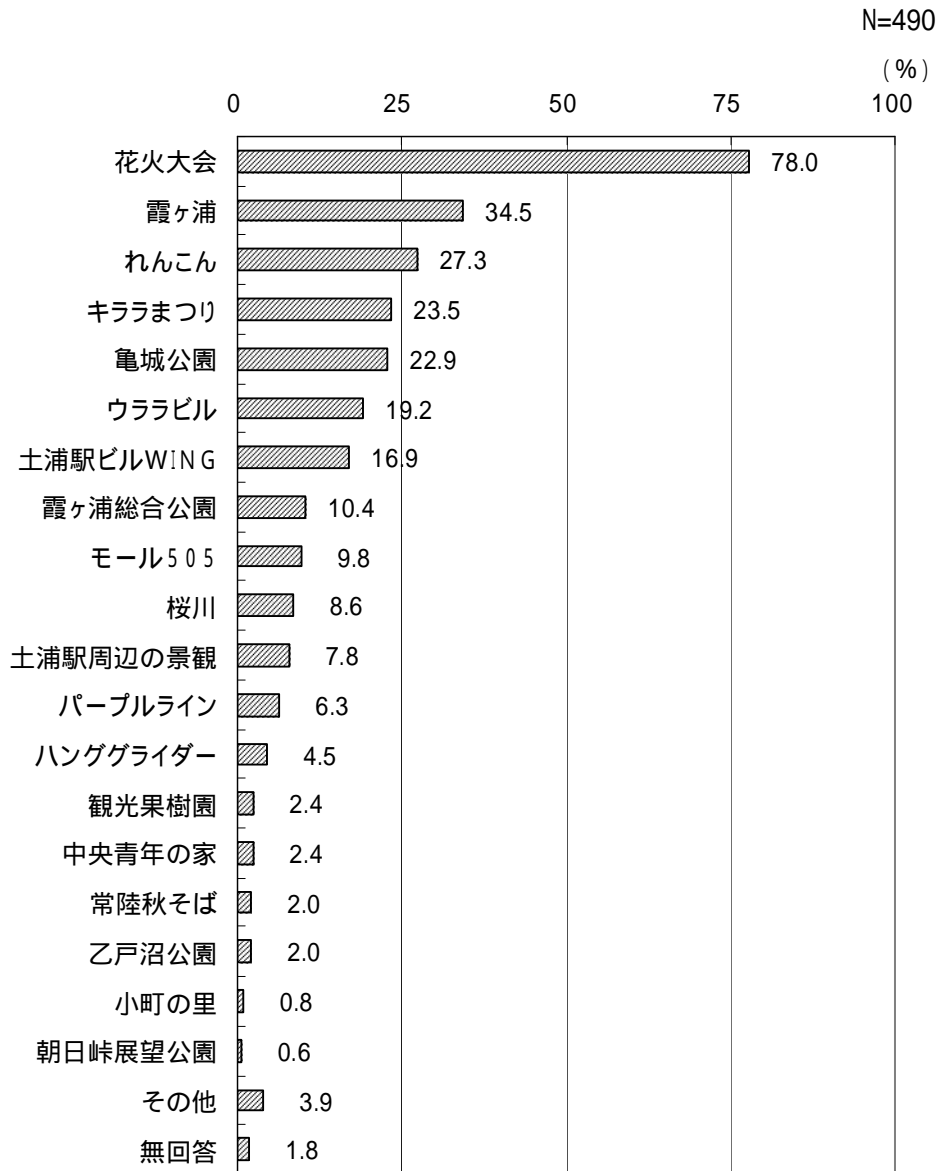
N=490



大学生が魅力を感じるものは、「祭りなどイベント」が70.0%です。一方、魅力を感じないものは、「ショッピングの場」が58.4%、「遊び場」が53.5%です。

(5)土浦らしさ

問5 あなたが土浦市の中で、特に好きな場所、人に紹介したいもの、または土浦らしいと思うものは何ですか。次の中から当てはまるものを3つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

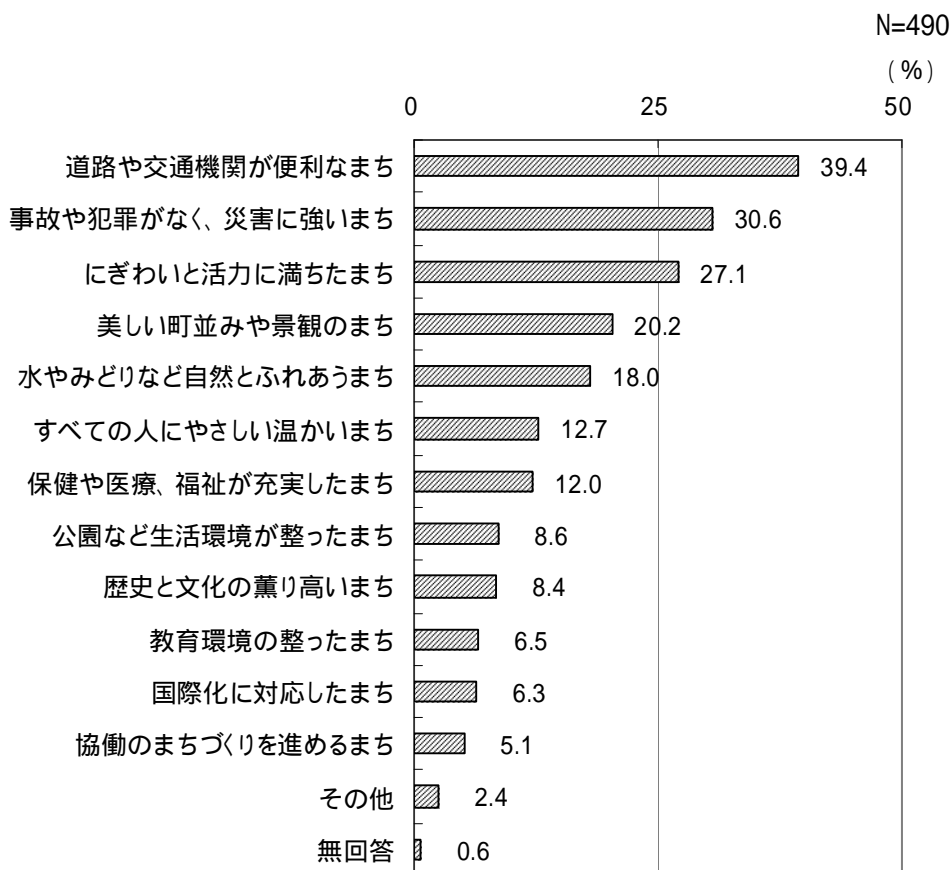


大学生が土浦市で好きな場所、土浦らしいと思うものは、「花火大会」が78.0%と最も多く、次いで、「霞ヶ浦」が34.5%です。

3 今後のまちづくり

(1) 将来イメージ

問6 あなたは、土浦市がどのような「まち」になればいいと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。



大学生が抱く土浦市の将来のイメージとしては、「道路や交通機関が便利なまち」が39.4%で最も多く、交通便を一番にあげている点は一般市民や中学生とは異なります。

これは、市外からの通学者が多いことによると推測されます。

次いで、一般市民や中学生で一番多かった「事故や犯罪がなく、災害に強いまち」が30.6%です。

(2)土浦市にほしいもの

問7 あなたが、土浦にあったらいいと思うもの（施設、サービスなど）は何ですか。
1つだけ記入してください。

N=490

土浦市にあったらいいと思うものは、「ショッピングセンター」、「店舗・お店・商店街」、「娯楽施設」、「スポーツ施設・運動公園」などです。

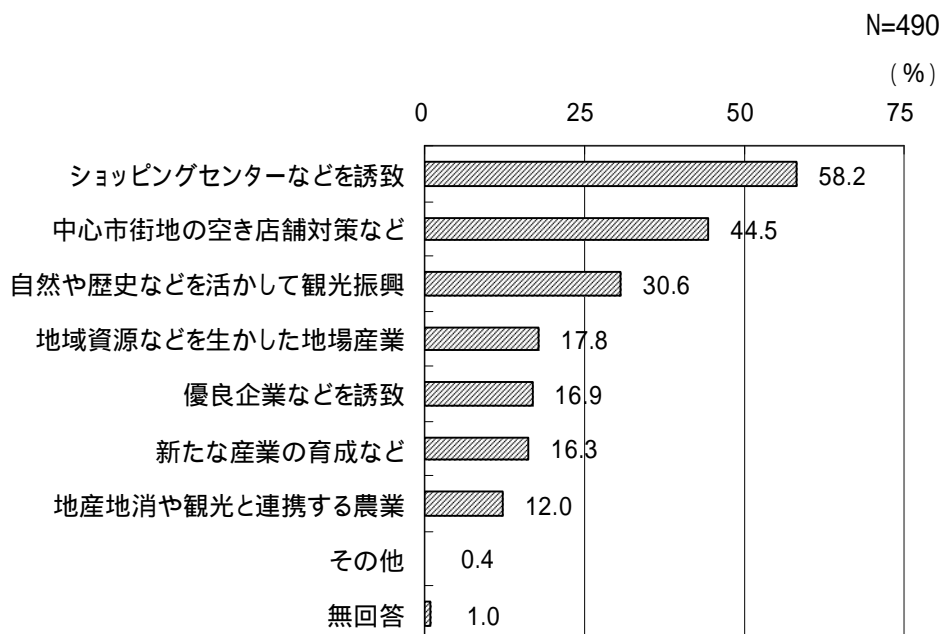
土浦市にほしいもの

項目	件数	割合(%)
ショッピングセンター	48	18.0
店舗・お店・商店街	37	13.9
娯楽施設	33	12.4
スポーツ施設・運動公園	20	7.5
交通機関	19	7.1
子どもの遊び場・施設	16	6.0
デパート	14	5.3
公園	8	3.0
駐車場	7	2.6
自然・自然とふれあえる場	6	2.3
図書館	6	2.3
テーマパーク	4	1.5
観光スポット・施設	4	1.5
イベント・イベント会場	3	1.1
福祉施設・サービス	3	1.1
高齢者福祉施設	3	1.1
道の駅	3	1.1
教育機関	3	1.1
防犯対策	3	1.1
その他	27	10.2
記入者数	266	100.0

4 まちの活性化について

(1)産業振興策

問8 「活力とにぎわいのあるまち土浦」のため、どのような産業振興の取り組みが重要だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

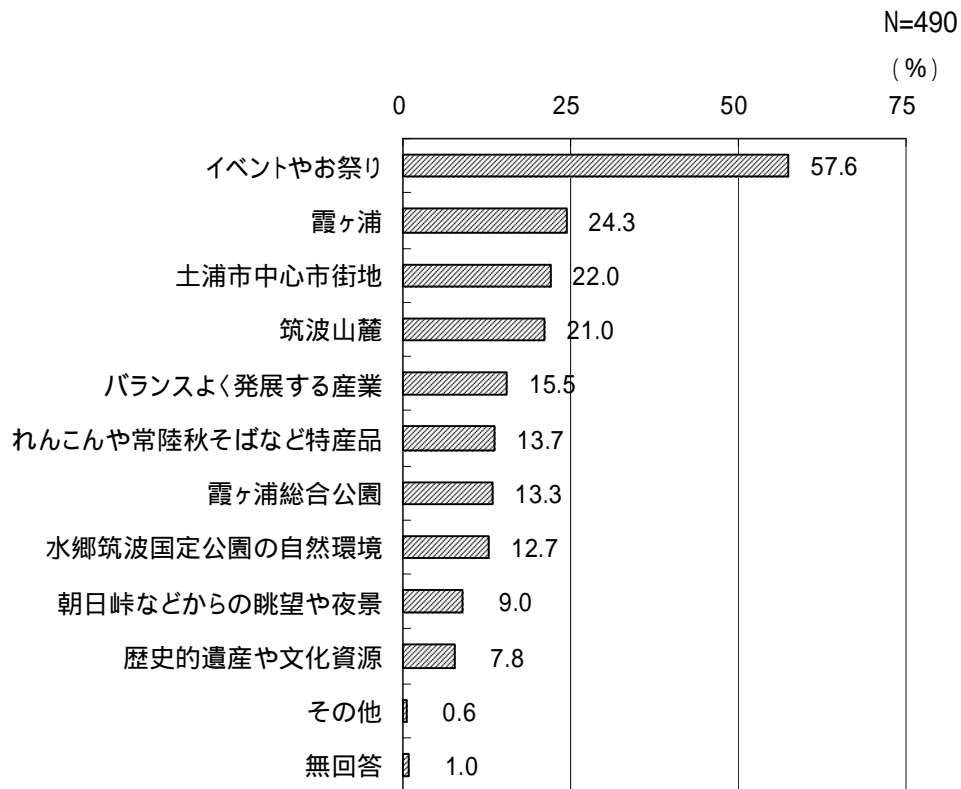


土浦市を“元気”にするために重要なこととしては、「ショッピングセンターなどを誘致」が58.2%と多く、中学生と同様の傾向が大学生にも見られます。

次いで、「中心市街地の空き店舗対策など」が44.5%、「自然や歴史などを活かして観光振興」が30.6%となっています。

(2) 地域資源の活用

問9 今後のまちづくりのため、有効に活用すべき地域資源には、どのようなものがあると考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。



まちづくりに有効に活用すべき地域の“資源”としては、「イベントやお祭り」が57.6%で、一般市民や中学生でも同様に第1位にあげられています。

(3)その他の資源

問 10 土浦ならではのもので、まだ生かされていないもの、またはもっと売りこむべきもの（ふるさと自慢）がありましたら、記入してください。
例）食の関係、歴史的な特性、有名なスポット、人など

N=490

土浦の地域資源としては、「レンコン」、「霞ヶ浦」、「花火大会」などです。

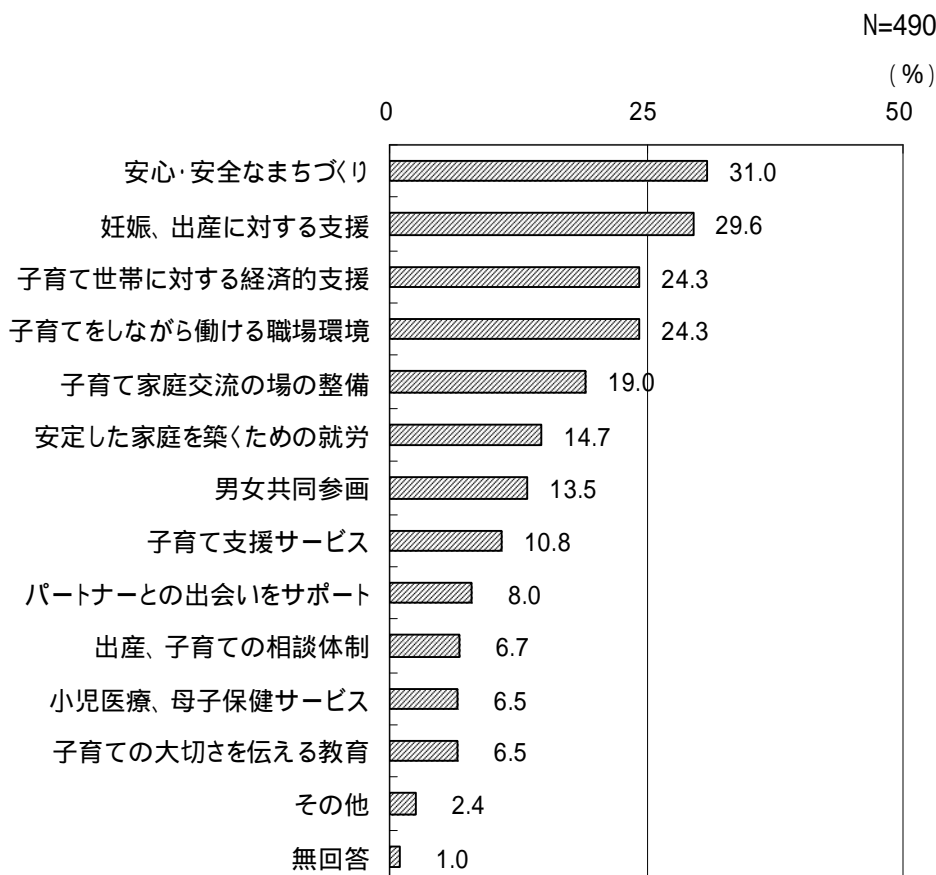
土浦の資源

項 目	件数	割合 (%)
レンコン	34	22.4
霞ヶ浦	21	13.8
花火大会	21	13.8
食	8	5.3
亀城公園	7	4.6
商業施設	4	2.6
自然	4	2.6
歴史的なもの	3	2.0
キララ祭り	3	2.0
祭り	3	2.0
駅周辺	3	2.0
大学	3	2.0
特産品	2	1.3
カレー	2	1.3
かえる	2	1.3
筑波山	2	1.3
その他	41	27.0
記入者数	152	100.0

5 少子化対策

(1)少子化対策

問 11 少子化に歯止めをかけるためには、どのような対策が必要だと思いますか。
特に必要だと思うものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

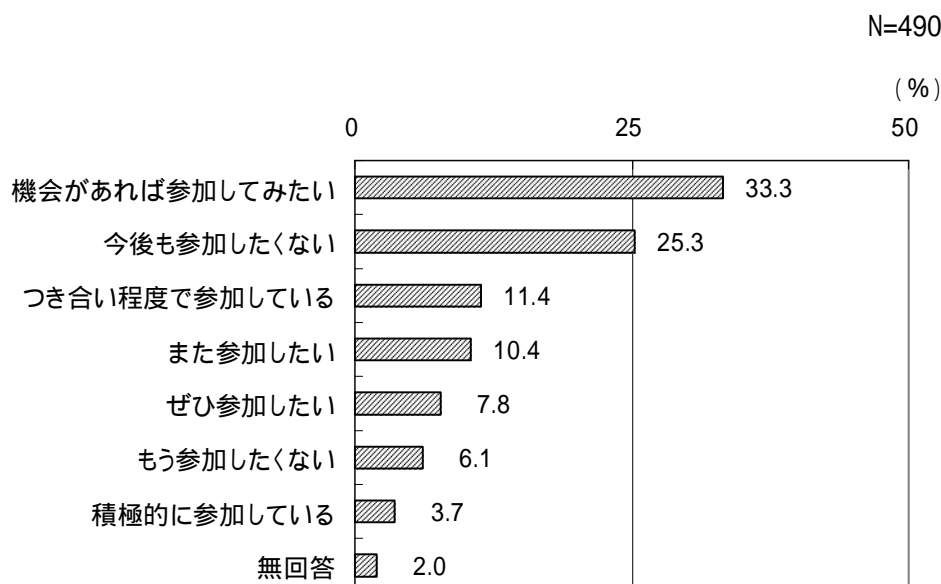


大学生の少子化対策の意見としては、「安心・安全なまちづくり」が31.0%、「妊娠、出産に対する支援」が29.6%となっており、一般市民で第1・2位にあがっている“子育て関連”とは異なることが特徴です。

6 地域活動について

(1) 地域活動への参加状況

問 12 あなたは、お祭りや消防団、文化財活動など、地域の活動にどの程度参加していますか。次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄に記入してください。



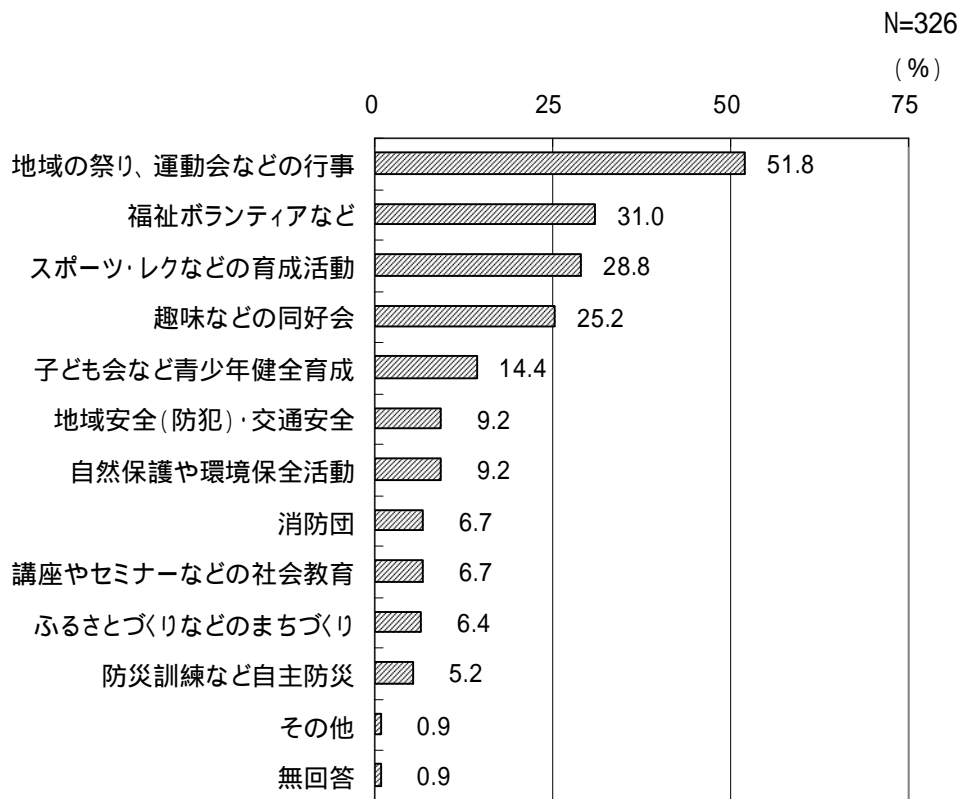
地域活動への参加については、「機会があれば参加してみたい」が33.3%と一番多く、“参加している・したい”を合わせると66.6%を占め、“参加したくない”は31.4%です。

大学生は、一般市民や中学生と比べて「つき合い程度で参加している」割合が低く、「機会があれば参加してみたい」割合が高いのが特徴ですが、“参加したくない”割合も高くなっています。

(2) 参加した（参加したい）活動

問 13（問 12 で回答が「1～5」の方） 具体的には、どのような活動に参加、または参加を希望しますか。

次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。



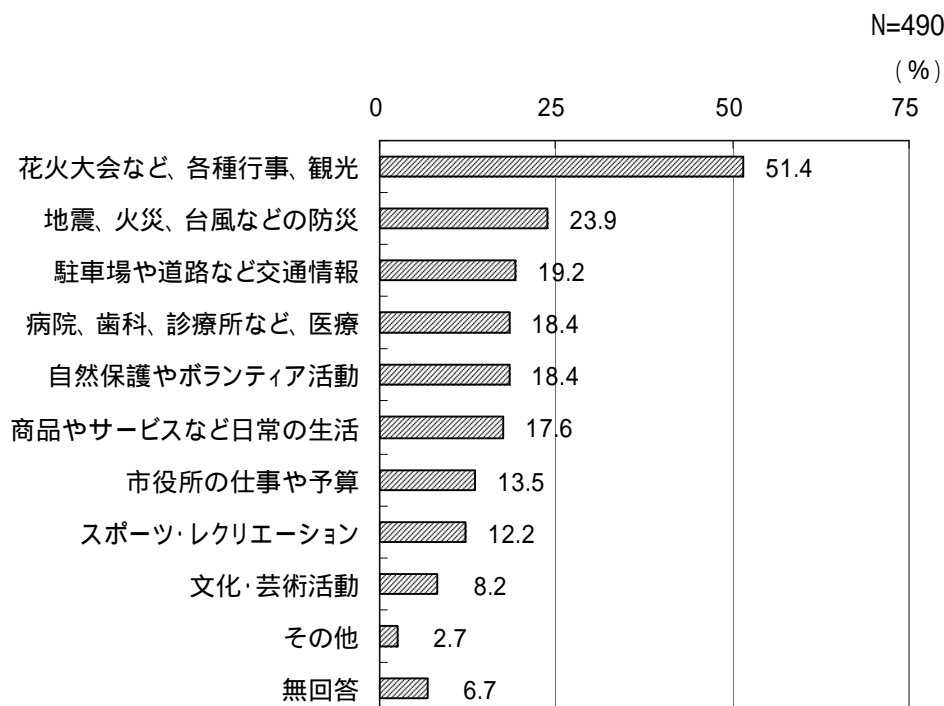
大学生が参加してみたい地域活動では、「地域のお祭り、運動会などの行事」が 51.8%と最も多く、次いで、「福祉ボランティアなど」が 31.0%、「スポーツ・レクなどの育成活動」が 28.8%です。

第2位に“ボランティア”、第3位に“スポーツ・レクリエーション”があげられている点が大学生の特徴です。

7 知りたい情報等

(1) 知りたい情報等

問 14 市からの情報やサービスの中で、あなたが特に知りたいと思うものは何ですか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。

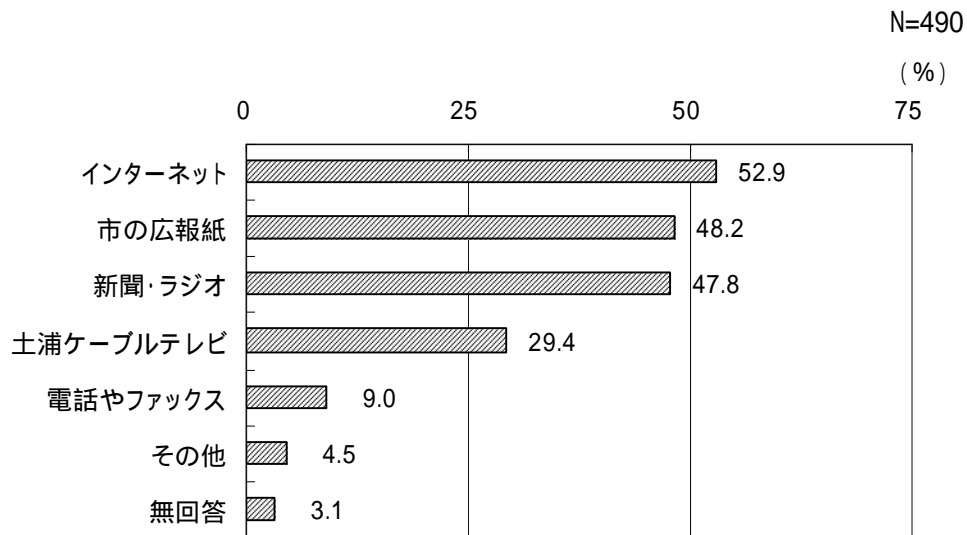


大学生が知りたい土浦市の情報では、「花火大会など、各種行事、観光」が51.4%で最も多く、次いで、「地震、火災、台風などの防災」が23.9%です。

これは、中学生と同様の傾向であり、「市役所の仕事や予算」が13.5%となっています。

(2)情報等の入手方法

問 15 あなたは、市からの情報やサービスを何によって知りたいと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄に記入してください。



大学生が市からの情報を得る手段としては、「インターネット」が52.9%、次いで、「市の広報紙」が48.2%、「新聞・ラジオ」が47.8%です。

大学生では、「インターネット」が第1位で、第3位に「新聞・ラジオ」があがっていることが特徴で、「回覧板」があげられていない点は中学生と同様の傾向です。

8 自由意見

最後に土浦のまちづくりや市政について、ご意見・ご要望、ご提案などがありましたらご自由にお書きください。

自由記入意見欄に記載された意見等の件数をカウントしたところ、「商業・業務」や「道路」などが多くなっています。

自由記入意見件数

意見	件数	割合(%)
保健・福祉	5	2.7
人にやさしいまちづくり	4	2.2
児童福祉	1	0.5
生活環境 防災・防犯	41	22.0
環境の保全及び創造	4	2.2
霞ヶ浦の水質浄化	4	2.2
上水道	1	0.5
ごみ対策	4	2.2
環境衛生	8	4.3
防犯	13	7.0
交通安全	7	3.8
教育・文化	22	11.8
生涯学習	1	0.5
青少年の健全育成	7	3.8
スポーツ・レクリエーション	11	5.9
市民文化	3	1.6
産業・観光	42	22.6
商業・業務	38	20.4
観光	2	1.1
農林水産業	1	0.5
勤労者福祉	1	0.5
都市環境 都市基盤	52	28.0
都市環境	1	0.5
公共交通	13	7.0
道路	28	15.1
公園・緑地	3	1.6
駐車場	5	2.7
都市・自然景観	2	1.1
市政運営	13	7.0
市民参加	7	3.8
市町村合併	1	0.5
広域行政	2	1.1
行政運営	2	1.1
民間活力	1	0.5
その他	11	5.9
人口問題	1	0.5
アンケートについて	1	0.5
～のまちづくり	9	4.8
合計	186	100

調査の結果

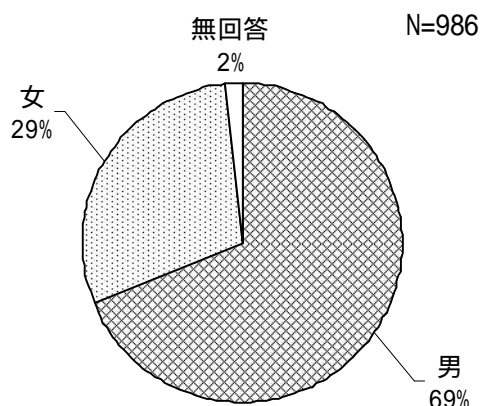
4 職 員

- 4 調査の結果（職員）

1 回答者の属性

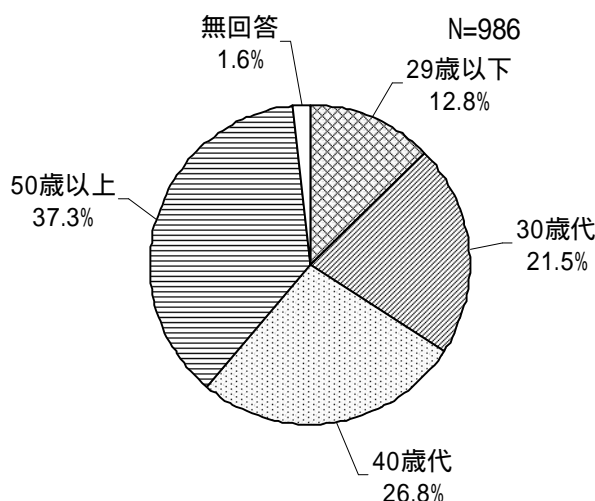
あなたの性別は。

職員の回答者の属性は、「男」が69.0%、「女」が29.0%であり、「男性」が7割を占めています。



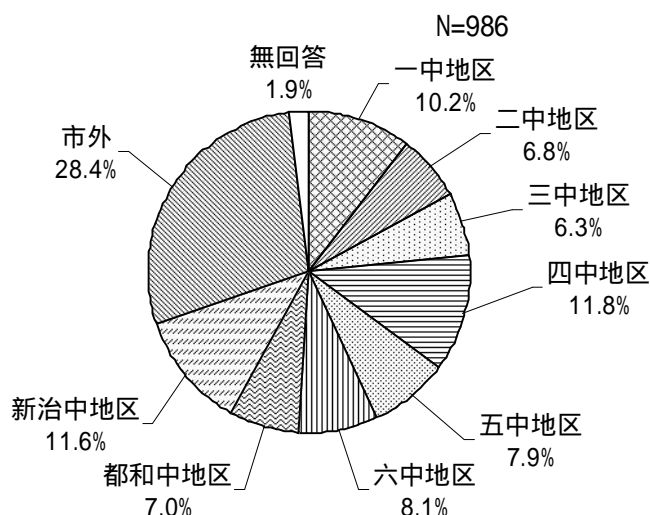
あなたの年齢は。

年齢は、「50歳以上」が37.3%と最も多く、次いで、「40歳代」が26.8%、「30歳代」が21.5%です。



あなたのお住まいの地区（中学校区）は。

職員の居住地区は、「市外」が28.4%で約3割を占め、「市内」では、「四中地区」が11.8%、「新治中地区」が11.6%、「一中地区」が10.2%となっています。

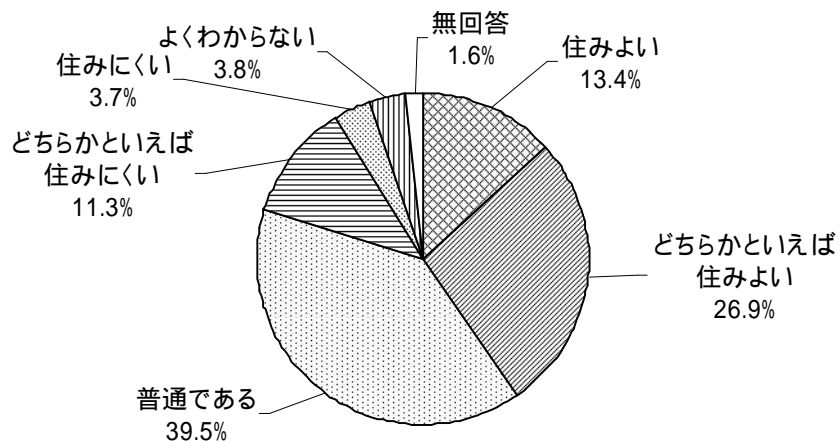


2 土浦市の住み心地

(1)土浦市の住み心地

問1 あなたは、土浦市の住み心地についてどのように感じていますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。

N=986



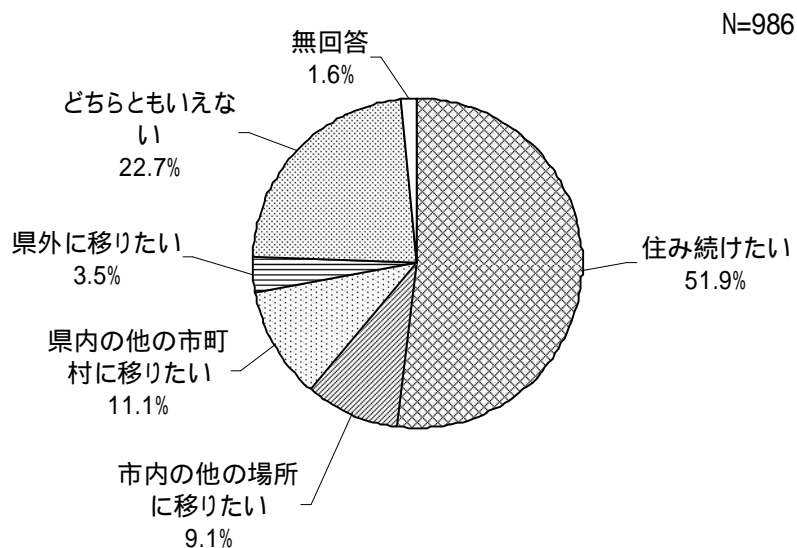
土浦市の住み心地は、「住みよい」が13.4%、「どちらかといえば住みよい」が26.9%で、合わせて40.3%が“住みよい”と答えています。

一方、「住みにくい」が3.7%、「どちらかといえば住みにくい」が11.3%で、合わせて15.0%が“住みにくい”としていますが、「普通である」の39.5%を加えると、“住みよい”とする肯定的な意見が79.8%になります。

これは、一般市民とほぼ同様の傾向です。

(2)定住意向

問2 あなたは、今住んでいる場所にこれからも住み続けたいと思いますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



定住意向は、「住み続けたい」が51.9%、「市内の他の場所に移りたい」が9.1%で、合わせて「市内に住みたい」が61.0%になります。

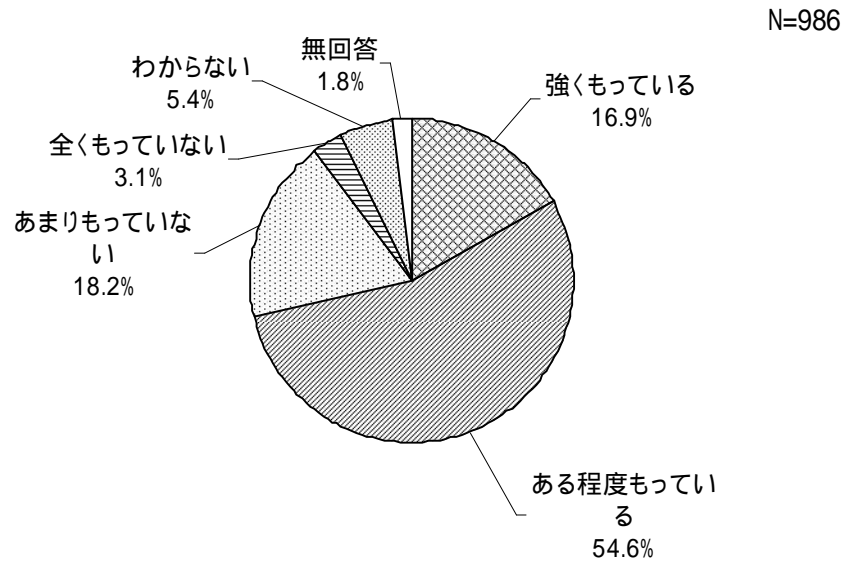
これは一般市民の63.4%とほぼ同じですが、職員の市内在住者割合が約7割であることを考慮するとかなり高い数値であるといえます。

一方、「県内の他の市町村に移りたい」が11.1%、「県外に移りたい」が3.5%で、合わせて14.6%が「市外移転」を希望しています。

一般市民と同様に「どちらともいえない」が22.7%であり、これを「市内に住みたい」と合わせると、肯定的意見が83.7%になります。

(3)愛着心

問3 あなたは、土浦市に「わがまち」といった愛着をもっていますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



土浦市に“わがまち”といった愛着を「強くもっている」が16.9%、「ある程度もっている」が54.6%で、合わせて“愛着をもっている”が71.5%です。

愛着を「全くもっていない」が3.1%、「あまりもっていない」が18.2%で、合わせて“愛着をもっていない”が21.3%です。

一般市民より、それぞれ約1割程度、“愛着をもっている”割合が高く、“愛着をもっていない”割合が低くなっています。

3 市の施策の満足度・重要度

問4 以下に示すことについて、あなたはどのように感じていますか。次の項目（満足度、重要度）ごとに、当てはまる番号を1つ選び、「 」で囲んでください。

N=986

<加重平均の算出>

以下の計算式で求めた。

加重平均

$$= \frac{(A \times 2 + B \times 1 + C \times 0 + D \times (-1) + E \times (-2))}{(\text{回答実数})}$$

- A:満足している（重要）(+ 2ポイント)
 B: **やや**満足している（やや重要）(+ 1ポイント)
 C:どちらともいえない（どちらともいえない）(0ポイント)
 D: **やや**不満である（あまり重要でない）(- 1ポイント)
 E:不満である（重要ではない）(- 2ポイント)

回答者が全員「満足している」であれば、2.0ポイントなり、全員が「**やや**満足している」であれば、1.0ポイントとなる。

施策の満足度は、「救急・消防体制」が0.64ポイントで最も高く、次いで、「市役所の窓口サービス」が0.61ポイント、「行政情報の公開」が0.45ポイントです。

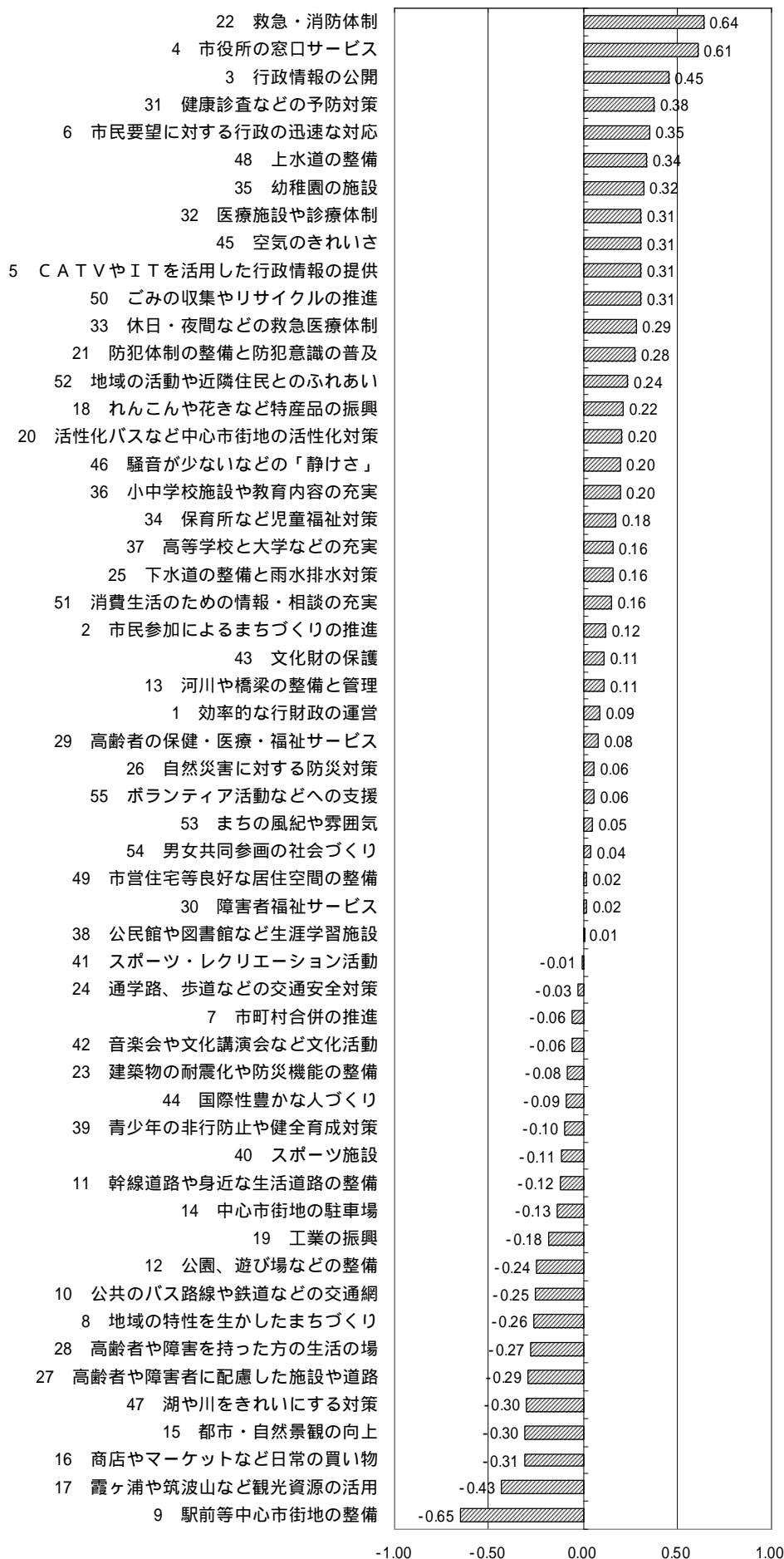
職員では、「市民要望に対する行政の迅速な対応」が0.35ポイントで、第5位ですが、一般市民では、-0.25ポイントであり、満足度に温度差があります。他には、「防犯体制の整備と防犯意識の普及」「保育所など児童福祉対策」「下水道の整備と雨水排水対策」「消費生活のための情報・相談の充実」「市民参加によるまちづくりの推進」などにおいて差があります。

満足度が低いものは、「駅前等中心市街地の整備」が-0.65ポイントで一般市民同様に突出しており、次いで、「霞ヶ浦や筑波山など観光資源の活用」が-0.43ポイント、「商店やマーケットなど日常の買い物」が-0.31ポイントです。全体的に満足度がプラスのものが多くなっています。

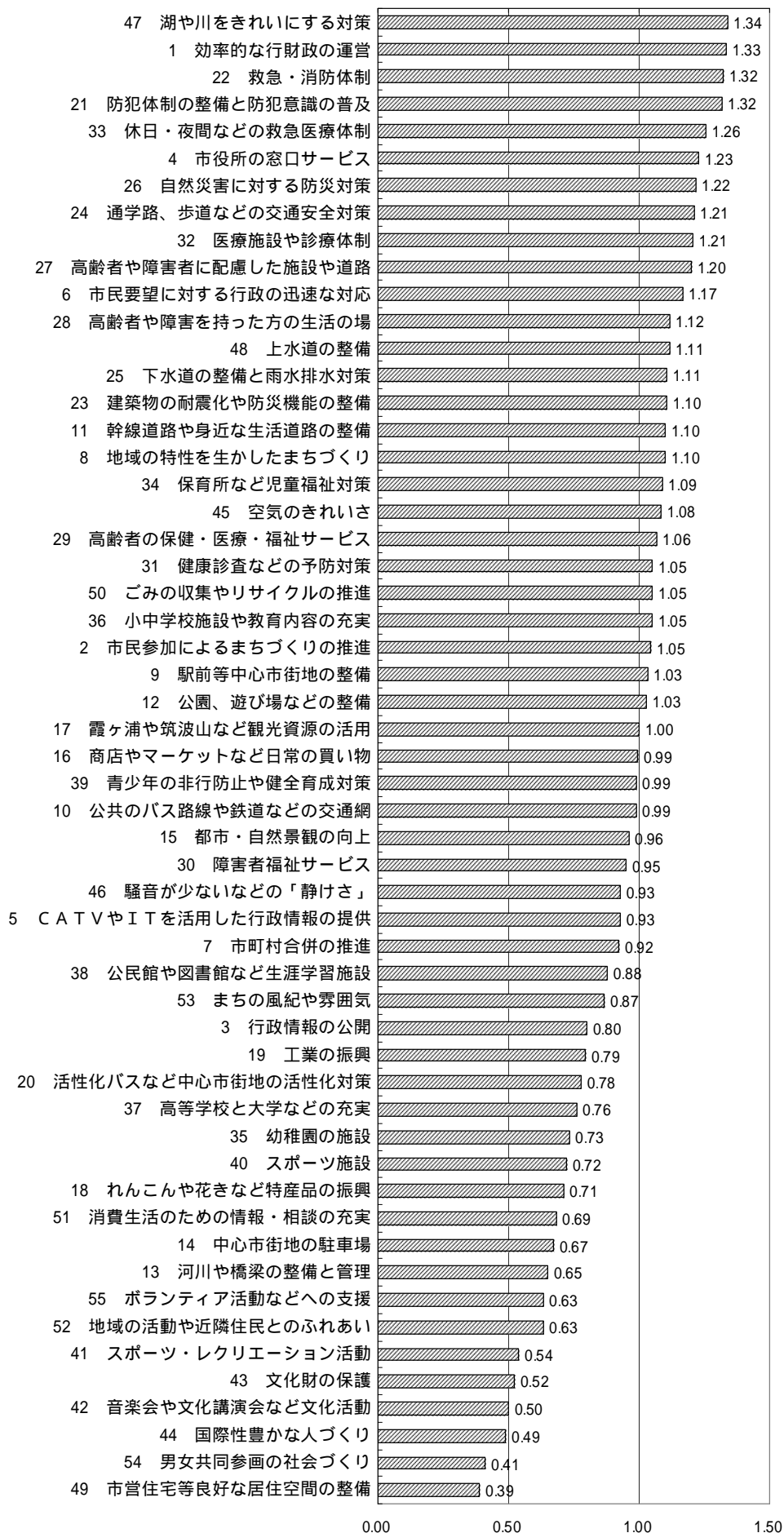
重要度の高いものでは、「湖や川をきれいにする対策」が1.34ポイント、「効率的な行財政の運営」が1.33ポイント、「救急・消防体制」が1.32ポイント、「防犯体制の整備と防犯意識の普及」が1.32ポイント、「休日・夜間などの救急医療体制」が1.26ポイントとなっており、一般市民と同様に安全安心への関心が高いことがわかります。

一方、重要度のポイントが低いものには、「市営住宅等良好な居住空間の整備」「男女共同参画の社会づくり」「国際性豊かな人づくり」「音楽会や文化講演会など文化活動」があげられており、こちらも一般市民と同様の傾向がみられます。

施策の満足度



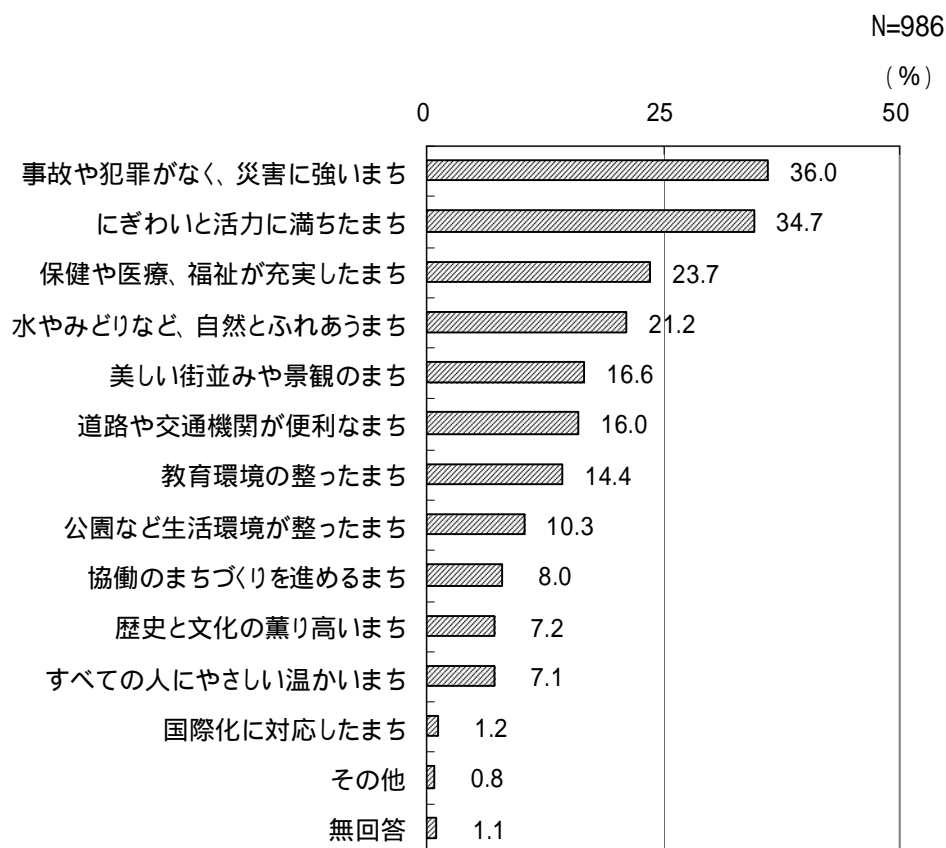
施策の重要度



4 今後のまちづくり

(1) 将来イメージ

問5 あなたは、土浦市がどのようなまちになればいいと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで番号を回答欄にご記入ください。



将来のまちのイメージでは、「事故や犯罪がなく、災害に強いまち」が36.0%と最も多く、次いで「にぎわいと活力に満ちたまち」が34.7%、「保健や医療、福祉が充実したまち」が23.7%となっており、一般市民とほぼ同様の傾向です。

(2)土浦市にほしいもの

問6 あなたが、土浦にあったらいいと思うもの（施設、サービスなど）は何ですか。
1つだけ記入してください。

N=986

土浦市にあったらいいと思うものは、「ショッピングセンター」、「娯楽施設」、「公営競技施設」、「デパート」、「交通機関」などです。

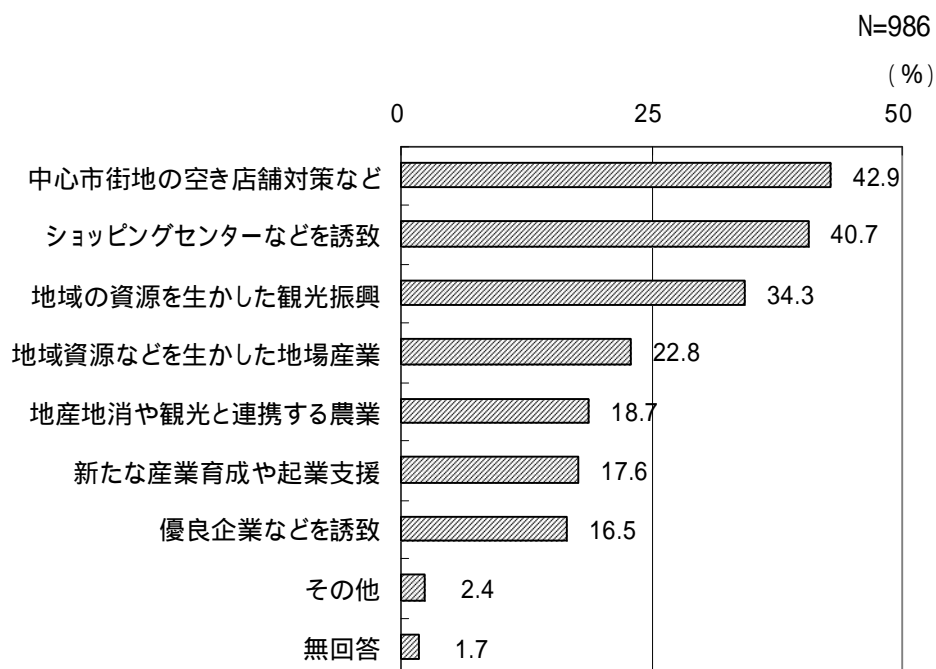
土浦市にほしいもの

項目	件数	割合(%)
ショッピングセンター	33	12.7
娯楽施設	30	11.6
公営競技施設	20	7.7
デパート	17	6.6
交通機関	17	6.6
スポーツ施設・体育館	15	5.8
児童施設・児童福祉	13	5.0
文化施設	13	5.0
観光、観光施設	13	5.0
美術館	10	3.9
図書館	9	3.5
店舗	8	3.1
プール	7	2.7
公園	5	1.9
教育機関	5	1.9
運動公園	4	1.5
その他	51	19.7
記入者数	259	100.0

5 まちの活性化

(1) 産業振興策

問7 「活力とにぎわいのあるまち土浦」のため、どのような産業振興の取り組みが重要だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで番号を回答欄にご記入ください。

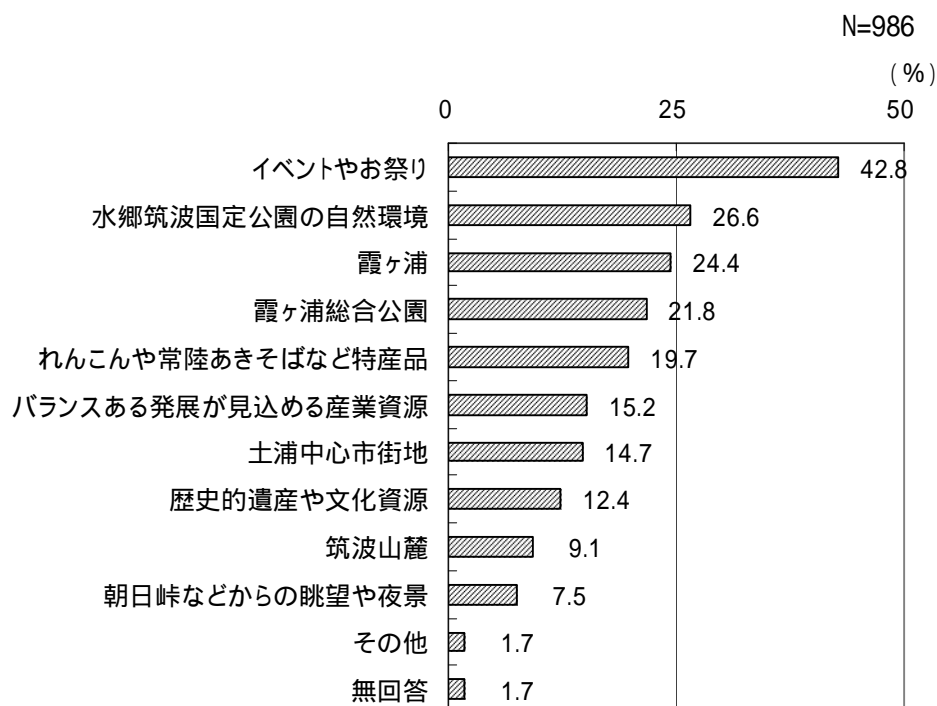


“活力とにぎわいのあるまち土浦”のために必要な産業振興の取り組みとしては、「中心市街地の空き店舗対策など」が42.9%と最も多く、次いで、「ショッピングセンターなどを誘致」が40.7%、「地域の資源を生かした観光振興」が34.3%です。

一般市民では「地域の資源を生かした観光振興」32.5%で第2位、「ショッピングセンターなどを誘致」26.0%で第3位で、上位3つまでの項目は同様ですが、割合において差が生じています。

(2) 地域資源の活用

問8 今後のまちづくりのため、有効に活用すべき地域資源には、どのようなものがあると考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで番号を回答欄にご記入ください。



まちづくりに有効に活用すべき地域資源としては、「イベントやお祭り」が42.8%と突出しており、次いで、「水郷筑波国立公園の自然環境」が26.6%、「霞ヶ浦」が24.4%です。

上位2項目は、一般市民と同様です。

(3)その他の地域資源

問9 土浦ならではのもので、まだ生かされていないもの、またはもっと売りこむべきもの（ふるさと自慢）がありましたら、ご記入ください。

例) 食の関係、歴史的な特性、有名なスポット、人など

N=986

土浦市の地域資源は、「霞ヶ浦」、「レンコン、はす田」が特に多くなっています。

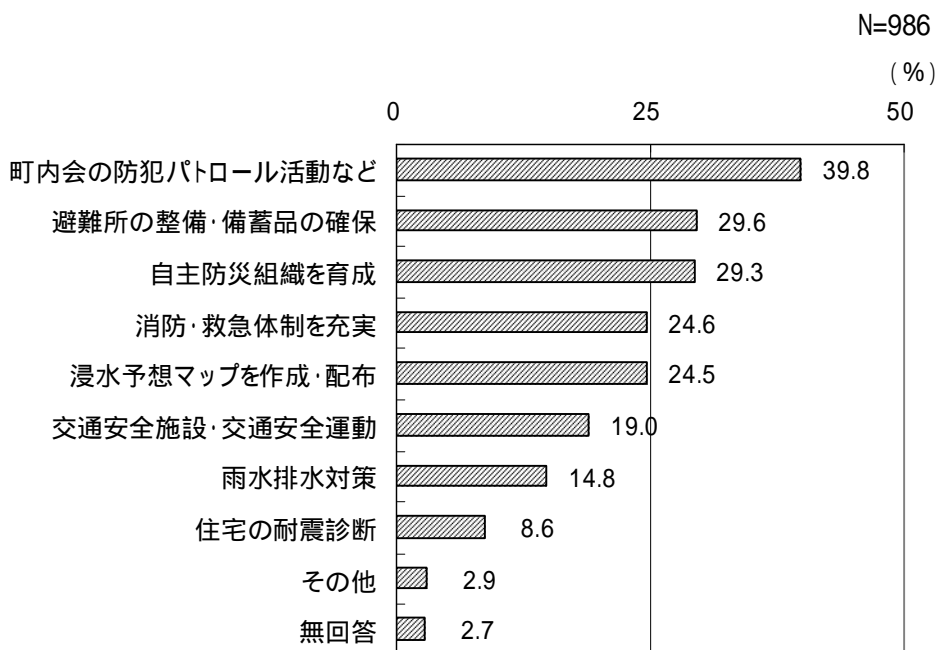
土浦市の資源

項 目	件数	割合(%)
霞ヶ浦	89	32.6
レンコン、はす田	49	17.9
歴史的な特性	14	5.1
そば	12	4.4
亀城公園、土浦城	8	2.9
釣り	8	2.9
筑波山	7	2.6
特産品	7	2.6
小町の里	6	2.2
花火大会	5	1.8
サイクリングロード	5	1.8
朝日峠周辺	4	1.5
水郷公園	4	1.5
カレー	3	1.1
自然環境	3	1.1
予科練	3	1.1
霞ヶ浦総合公園	3	1.1
夜の歓楽街	3	1.1
その他	110	40.3
記入者数	273	100.0

6 安心・安全なまちづくり

(1) 安心・安全なまちづくり

問 10 本市が進めている「安心・安全なまちづくり」のため、特に重要だと思うものは何ですか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



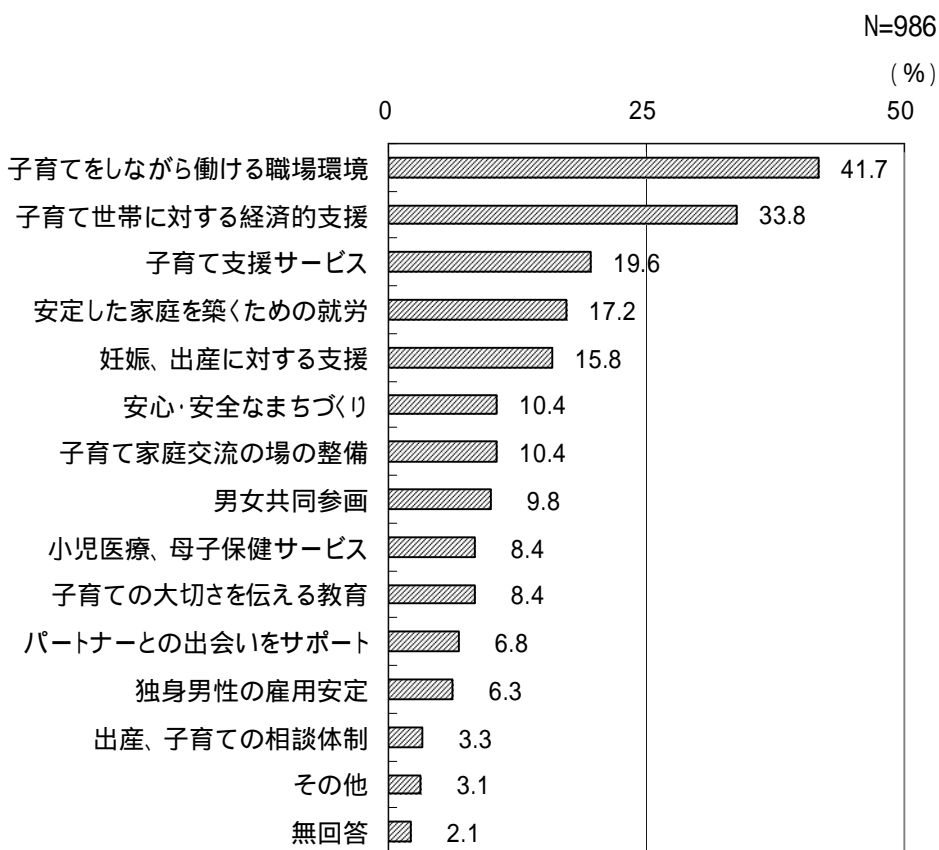
“安心・安全なまちづくり”のために重要と思うことについては、「町内会の防犯パトロール活動など」が39.8%で最も多く、次いで、「避難所の整備・備蓄品の確保」が29.6%、「自主防災組織を育成」が29.3%です。

上位2項目は、一般市民と同様ですが、第3位の「自主防災組織を育成」は、市民では第6位と低い位置にあります。

7 少子高齢化について

(1)少子化対策

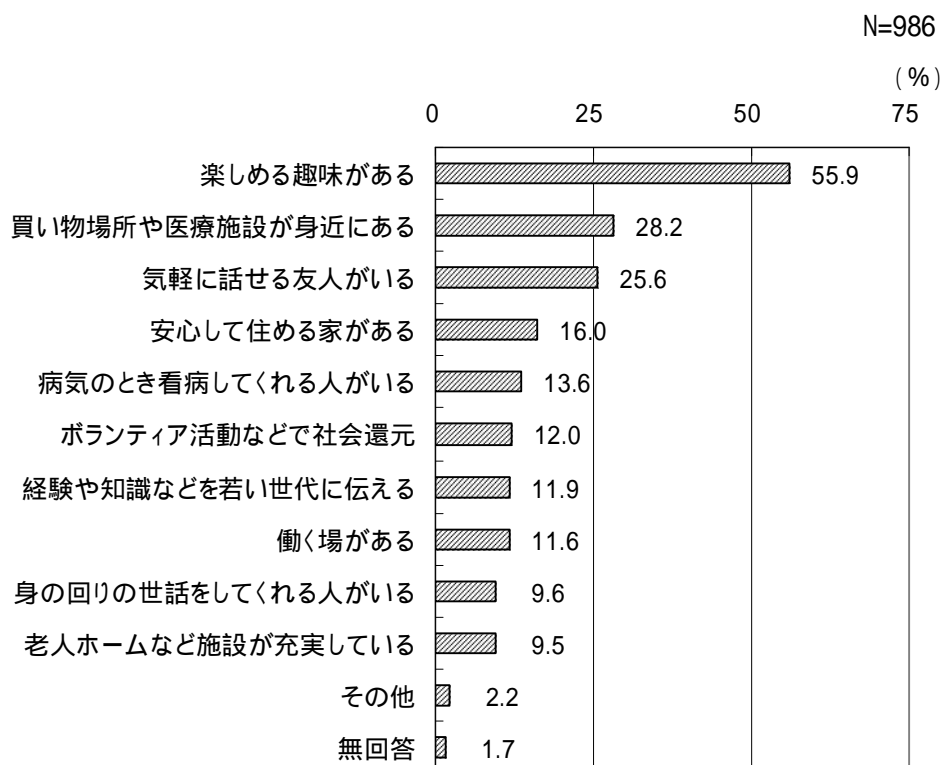
問 11 少子化に歯止めをかけるためには、どのような対策が必要だと思いますか。
特に必要と思うものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



少子化対策としては、「子育てをしながら働ける職場環境」が41.7%、「子育て世帯に対する経済的支援」が32.4%となっており、一般市民同様に3割を超えています。

(2)豊かな老後を送るために必要なこと

問 12 あなたは、豊かな老後を送るためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。

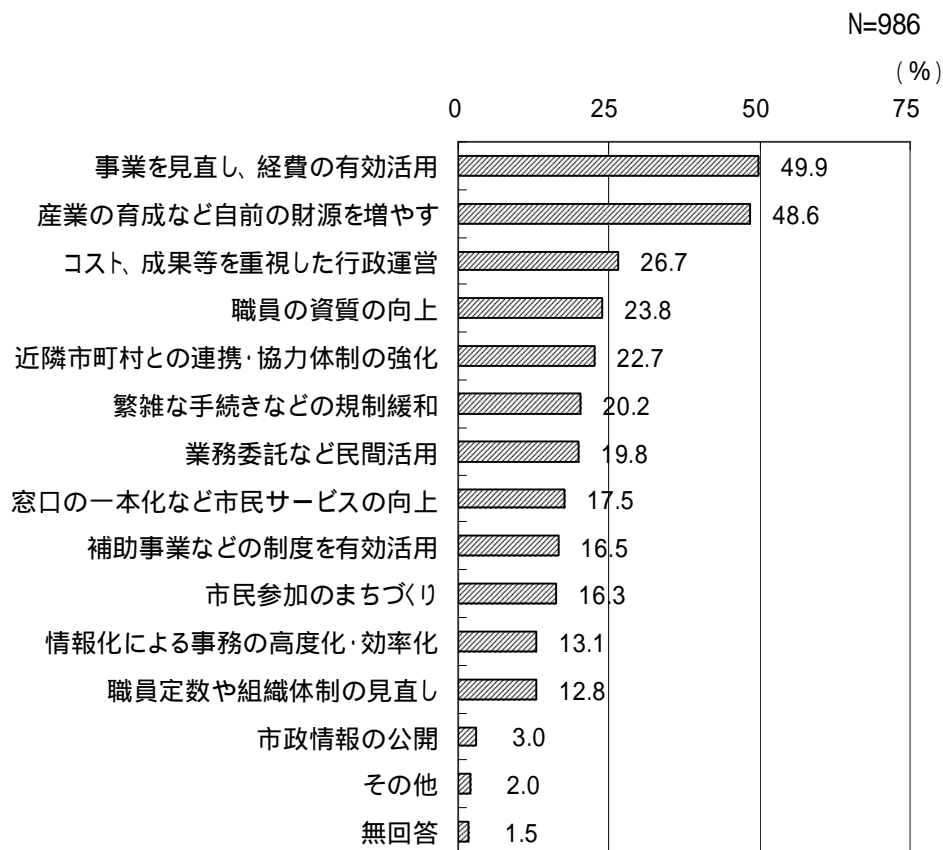


豊かな老後を送るために必要なことでは、「楽しめる趣味がある」が55.9%、「買い物場所や医療施設が身近にある」が28.2%、「気軽に話せる友人がいる」が25.6%で、一般市民と同様の傾向です。

8 行財政改革

(1) 優先順位

問 13 土浦市では、行財政改革に取り組んでいます。その中で優先すべきものは何だと思
いますか。次の中から当てはまるものを3つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。

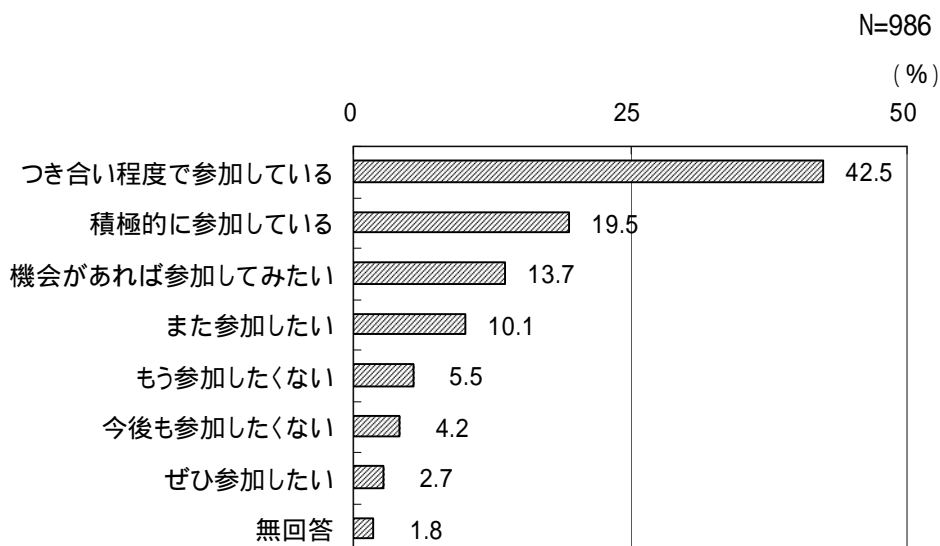


行財政改革の中で優先すべきものとしては、「事業を見直し、経費の有効活用」が49.9%、「産業の育成など自前の財源を増やす」が48.6%でそれぞれ5割近い数値を占めています。

9 地域まちづくり活動

(1) 地域活動への参加状況

問 14 あなたは、町内会活動やボランティアなど地域の活動にどの程度参加していますか。
次の中から当てはまるものを1つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



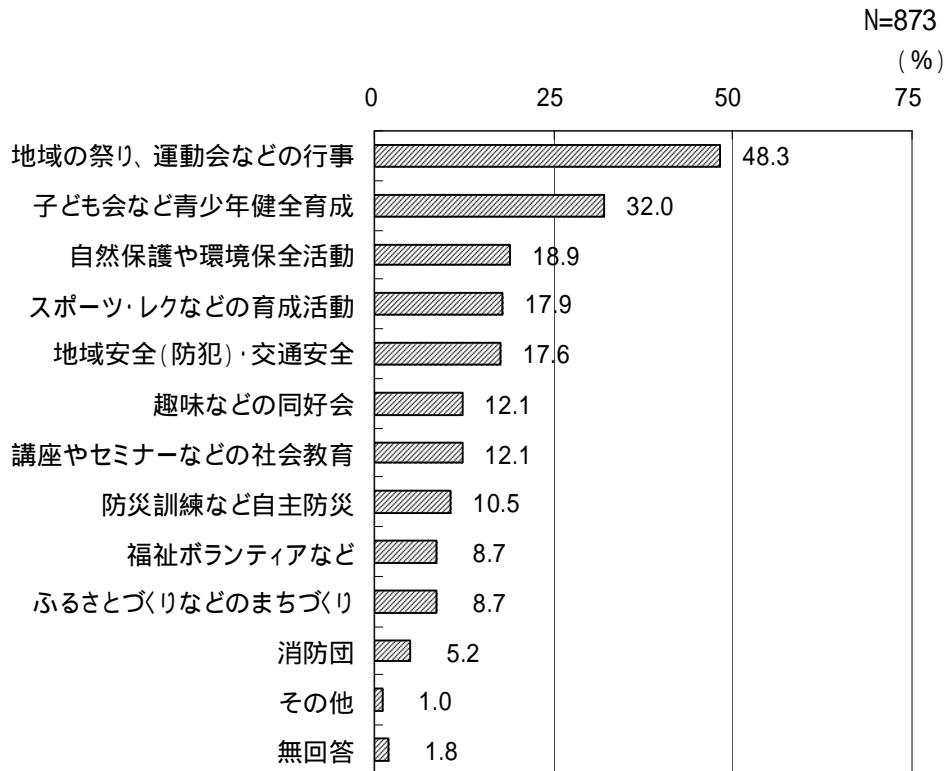
町内会活動やボランティアなど地域の活動への参加状況は、「つき合い程度で参加している」が42.5%、次いで、「積極的に参加している」が19.5%です。

「つき合い程度で参加している」割合は、一般市民が30.7%であったのに対し、職員では42.5%と高くなっている点が指摘されます。

“参加している・参加したい”を合計すると、88.5%になり、“参加したくない”の9.7%を大きく上回っています。

(2)参加している（参加したい）内容

問 15（問 14 で回答が「1～5」の方） 具体的には、どのような活動に参加、または参加を希望しますか。次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。

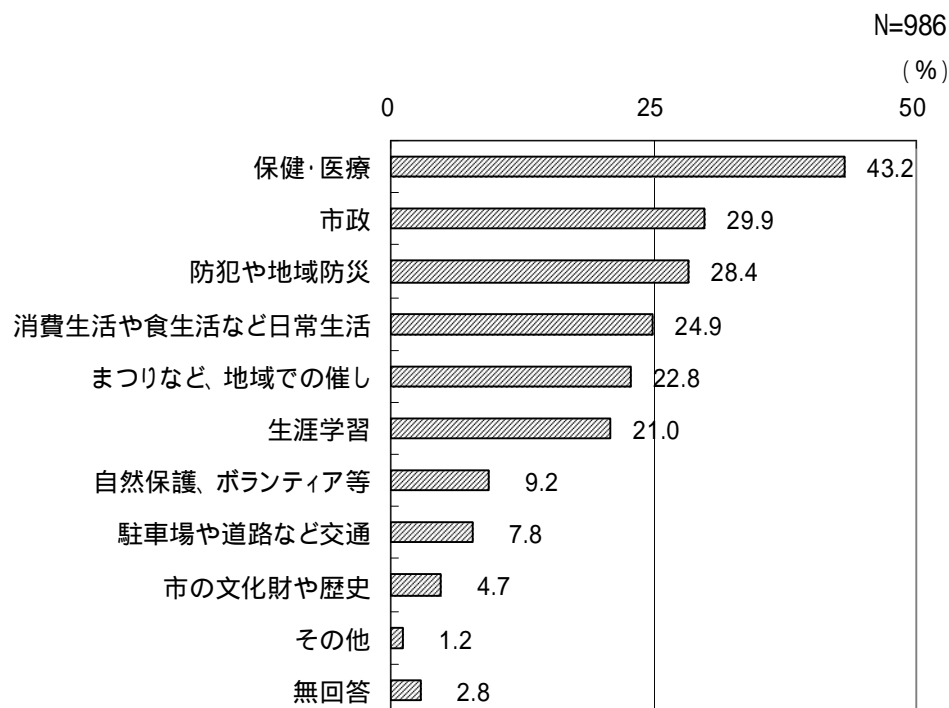


具体的に参加してみたい地域の活動としては、一般市民同様に「地域の祭り、運動会などの行事」が48.3%と最も多く、次いで、「子ども会など青少年健全育成」が32.0%、「自然保護や環境保全活動」が18.9%です。

10 地域情報・まちづくり情報の入手

(1) 知りたい情報等

問 16 土浦市の情報やサービスについて、あなたが特に知りたいものは何ですか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。

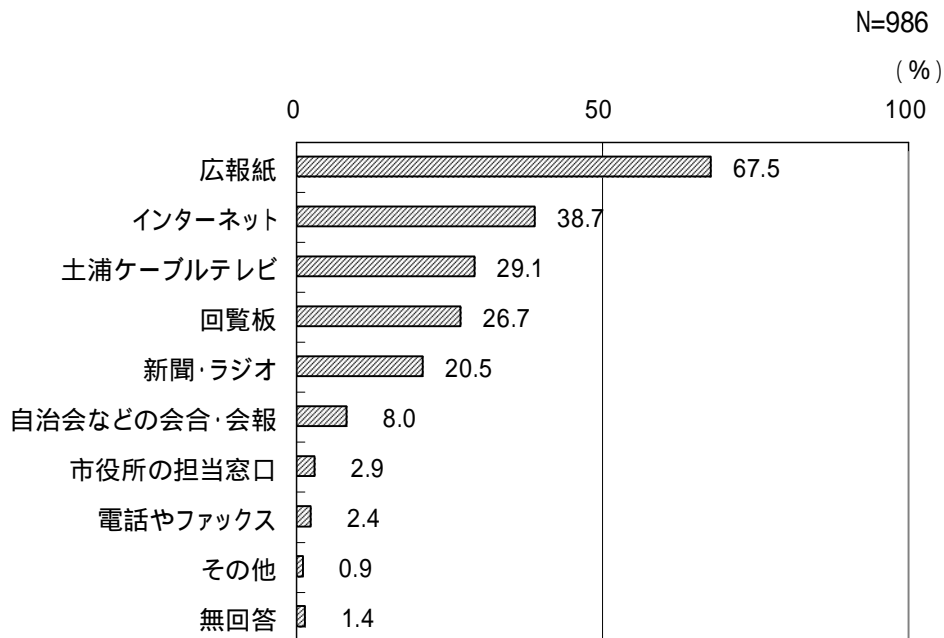


土浦市の情報やサービスについて知りたいものとしては、「保健・医療」が43.2%で突出しており、次いで、「市政」が29.9%、「防犯や地域防災」が28.4%です。

上位3項目は、一般市民と同様ですが、職員では「保健・医療」の数値が高いことが特徴です。

(2) 情報等入手手段

問 17 あなたは、土浦市からの情報やサービスを何によって知りたいと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つ選んで、番号を回答欄にご記入ください。



市からの情報を得る手段としては、「広報紙」が67.5%と突出しており、次いで、「インターネット」が38.7%、「土浦ケーブルテレビ」が29.1%です。

一般市民でも第1位は「広報紙」ですが、第2位に「回覧板」が42.4%の高率であがっている点に差があります。

11 自由意見

最後に、まちづくりや市政について、ご意見・ご要望、ご提案などがありましたらご自由にお書きください。

自由記入意見欄に記載された意見等の件数をカウントしたところ、「商業・業務」、「観光」、「市民参加」、「道路」、「行政運営」などが、比較的多くなっています。

自由記入意見件数

意見	件数	割合(%)
保健・福祉	11	4.9
人にやさしいまちづくり	3	1.3
児童福祉	6	2.7
低所得者福祉	1	0.4
保健・医療	1	0.4
生活環境 防災・防犯	21	9.4
環境の保全及び創造	8	3.6
上水道	1	0.4
環境衛生	2	0.9
防災	2	0.9
消防	1	0.4
防犯	6	2.7
交通安全	1	0.4
教育・文化	35	15.6
幼児教育	1	0.4
義務教育	3	1.3
生涯学習	6	2.7
青少年の健全育成	4	1.8
スポーツ・レクリエーション	12	5.4
市民文化	6	2.7
文化財	3	1.3

(つづき)

項目	件数	割合(%)
産業・観光	47	21.0
商業・業務	24	10.7
観光	15	6.7
農林水産業	8	3.6
都市環境 都市基盤	46	20.5
都市環境	5	2.2
中心市街地	2	0.9
公共交通	4	1.8
道路	14	6.3
公園・緑地	9	4.0
河川・橋梁	3	1.3
駐車場	5	2.2
都市・自然景観	3	1.3
情報通信技術	1	0.4
市政運営	50	22.3
市民参加	15	6.7
コミュニティ活動	1	0.4
男女共同参画社会	1	0.4
地方分権	2	0.9
市町村合併	6	2.7
広域行政	6	2.7
行政運営	14	6.3
財政運営	5	2.2
その他	14	6.3
少子化対策	1	0.4
人口問題	3	1.3
アンケートについて	5	2.2
~のまちづくり	5	2.2
合計	224	100

調査の結果

5 インターネット

- 5 調査の結果（インターネット）

1 回答者の属性

土浦市のホームページ上でアンケートへの協力を求めたところ、12人の協力をいただきましたので、集計結果を紹介します。

（単位：人）

F1 あなたの性別は。

1 男	9	2 女	3
-----	---	-----	---

F2 あなたの年齢は。

1 24歳以下	0	2 25～29歳	1
3 30～34歳	2	4 35～39歳	1
5 40～44歳	7	6 45～49歳	1
7 50～54歳	0	8 55～59歳	0
9 60～64歳	0	10 65～69歳	0
11 70～74歳	0	12 75歳以上	0

F3 あなたのお住まいの地区（中学校区）は。市外の方は「9」を選んでください。 わからないときは、町丁目名を記入してください。

1 一中地区	4	2 二中地区	0
3 三中地区	0	4 四中地区	0
5 五中地区	2	6 六中地区	1
7 都和中地区	1	8 新治中地区	1
9 市外	2	無回答	1

F4 上記の中学校区が分からない方は、町丁目、字名などをお書きください。 回答なし

F5 あなたは土浦市（旧新治村も含めて）にお住まいになってどれくらいになりますか。

1 生まれたときから	4	2 1年未満	0
3 1～3年未満	1	4 3～5年未満	0
5 5～10年未満	0	6 10～20年未満	3
7 20年以上	2	8 住んでいない	2

F6 あなたの職業は。（兼業の方は主たる方を選んでください）

1 農林水産業	0	2 自営業	0
3 会社員	5	4 公務員	2
5 パート・アルバイト	2	6 主婦	0
7 学生	0	8 無職	1
9 その他	2		

F7 あなたの勤務先、通学先は。

1	土浦市内	3	2	つくば市	3
3	その他県内	3	4	千葉県	0
5	東京都	1	6	その他	1
7	通勤・通学していない	1			

F8 あなたの家族構成は。

1	一人暮らし	0	2	夫婦のみ	1
3	二世帯同居（親と子）	9	4	三世帯（親と子と孫）	1
5	その他	1			

F9 あなたの家は。

1	持ち家（一戸建て）	9
2	持ち家（マンション等共同住宅）	1
3	公営借家（県営・市営住宅など）	0
4	民営借家（マンション・アパートなど）	1
5	社宅（会社の寮・宿舎など）	0
6	その他	1

2 回答結果

(単位：人)

問1 あなたは、今後、土浦市がどのようなまちになればいいと思いますか。
次の中から2つ選んでください。

- | | | |
|----|--------------------------------|---|
| 1 | 道路や交通機関が整備された便利なまち | 3 |
| 2 | 商業や工業などが盛んで、にぎわいと活力に満ちたまち | 5 |
| 3 | 安心・安全で、事故や犯罪がなく、地震などの災害に強いまち | 3 |
| 4 | 市民と行政が一体となって「協働」によるまちづくりを進めるまち | 1 |
| 5 | 美しいまちなみや調和のとれた景観のあるまち | 0 |
| 6 | 上下水道や公園などが整備され良好な生活環境が整ったまち | 1 |
| 7 | 水辺やみどりなど、豊かな自然とふれあうまち | 0 |
| 8 | 歩道や道路の段差がないなど、すべての人にやさしい温かいまち | 0 |
| 9 | 保健や医療、福祉が充実したまち | 4 |
| 10 | 幼児教育、学校教育、生涯学習など教育環境の整ったまち | 3 |
| 11 | 歴史と文化の薫り高いまち | 1 |
| 12 | 外国人との交流が活発な国際化に対応したまち | 1 |
| 13 | その他 | 2 |
- (税金が有意義に使われるまち、地域間格差の無いバランスのよいまち)

問2 あなたが、土浦にあったらいいと思うもの(施設、サービスなど)は何ですか。
1つだけ記入してください。
(駅前にはデパート、近隣には無い施設、屋内プール、ウォータースポット
公的スポーツクラブ、若者の集えるクラブ、つくばエクスプレス神立駅など)

問3 活力とにぎわいのあるまち土浦のため、どのような産業振興の取り組みが
重要だと思いますか。次の中から2つ選んでください。

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 自然環境や歴史特性など地域の資源を活かした観光振興を進め、土浦市を訪れる交流人口を増やす | 3 |
| 2 | 中心市街地の商店街が活気づくよう街並みの整備や空き店舗対策などを行う | 7 |
| 3 | 市内に、新しく優良企業などを誘致する | 3 |
| 4 | 集客力の大きな大型店舗(ショッピングセンター)などを誘致する | 4 |
| 5 | 地産地消(地元で生産したものを地元で消費すること)や観光との連携などにより、農業の活性化を進める | 1 |
| 6 | 地域の資源や特徴を生かした地場産業を盛り上げる | 1 |
| 7 | 新たな産業の育成や起業を支援し、意欲のある人が活躍できる環境を整える | 3 |
| 8 | その他 | 2 |
- (土浦という名前を変える、工業団地の整備)

問4 今後のまちづくりのため、有効に活用すべき地域資源には、どのようなものがあると考えられますか。次の中から当てはまるものを2つ選んでください。

- | | |
|--|---|
| 1 県南地域の中心都市である土浦市の中心市街地 | 4 |
| 2 全国花火競技大会・かすみがうらマラソンなどのイベントや「からかさ万灯」「キララまつり」といったお祭り | 6 |
| 3 ハイキングやスカイスポーツのメッカとしての筑波山麓 | 1 |
| 4 商業、工業、農業といったバランスある発展が見込める産業資源 | 0 |
| 5 筑波山麓や霞ヶ浦の豊かな自然を有する水郷筑波国定公園の自然環境 | 2 |
| 6 れんこんや霞ヶ浦の水産加工品、果樹、常陸秋そばなどの地域特産品 | 1 |
| 7 フィッシングやボートなど、レイクレジャーのメッカとしての霞ヶ浦 | 3 |
| 8 歴史的遺産や文化資源（武者塚古墳・清滝観音・亀城公園及び周辺の歴史的町並みなど） | 1 |
| 9 パープルラインの朝日峠などからの眺望と夜景のすばらしさ | 1 |
| 10 霞ヶ浦の湖畔にあって水に親しむことのできる霞ヶ浦総合公園 | 2 |
| 11 その他
（産業廃棄物処理場跡に工業団地整備） | 2 |

問5 土浦市ならではのもので、まだ生かされていないもの、もしくは、もっと売り込むべきもの（ふるさと自慢）がありましたら、記入してください。

例) 食の関係、歴史的な特性、有名なスポット、人など

（土浦駅周辺の活性化、亀城公園に芝生広場、水郷公園などフィルムコミッション、土浦カレー、カレーのまち、空き地を利用した工業団地、鶴沼周辺公園整備）

最後に今後のまちづくりや市政について、ご意見・ご要望、ご提案などがありましたらご自由にお書きください。

（東京根津周辺のような懐かしいたたずまいのまち、土浦市の表玄関の活性化、目抜き通りの振興、市民一人ひとりの声に耳を傾ける、県内の交通の要衝として発展、誰もがゆったり暮らせるまち、地域間バランスの取れたまちづくりなど）

土浦市まちづくりアンケート調査報告書

平成 18 年 9 月発行

発行 **土 浦 市**

編集 **市長公室企画調整課**

〒300-8686

土浦市高津 1 丁目 20 番 35 号

電話 029 (826) 1111 内 2205

E - mail kikaku@city.tsuchiura.ibaraki.jp